

2020・2021年度

母子保健情報センター 報告書

目次

①	大阪母子医療センターの母子保健活動	1
②	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の院内対応について	3
	1) 当院の感染対策状況	4
	2) 当院の患者受入・感染者発生状況	7
	3) 母子保健情報センターの活動に与えた影響	9
③	2020年度の大阪府の母子保健指標	12
	1) 豊能医療圏（池田保健所管轄）	13
	2) 三島医療圏（茨木保健所管轄）	20
	3) 北河内医療圏（守口・四条畷保健所管轄）	25
	4) 中河内医療圏	32
	5) 南河内医療圏及び柏原市（藤井寺・富田林保健所管轄）	33
	6) 泉州医療圏（和泉・岸和田・泉佐野保健所管轄）	42
	7) 政令市・中核政令市	51
	8) 新型コロナウイルス感染症流行下での市町村母子保健活動の実施状況 ...	54
④	2020年母子保健情報センター業務報告	58
	・母子保健調査室	58
	・情報企画室	66
⑤	2021年度の大阪府の母子保健指標	70
	1) 豊能医療圏（池田保健所管轄）	71
	2) 三島医療圏（茨木保健所管轄）	78
	3) 北河内医療圏（守口・四条畷保健所管轄）	83
	4) 中河内医療圏	90
	5) 南河内医療圏及び柏原市（藤井寺・富田林保健所管轄）	91
	6) 泉州医療圏（和泉・岸和田・泉佐野保健所管轄）	100
	7) 政令市・中核政令市	109
⑥	2021年母子保健情報センター業務報告	112
	・母子保健調査室	112
	・情報企画室	121
⑦	編集後記	125

1

大阪母子医療センターの母子保健活動



母子保健情報センター長
総長 倉 智 博 久

今回の母子保健情報センター報告書では、当センターにおける2020・2021年度の母子保健調査室および情報企画室の業務内容を報告します。加えて、特集として長引くコロナ禍に対する当センターの対応や、診療への影響などをまとめました。こどもの新型コロナ感染者数が2022年の第6波から急増し、当センターの業務にもさまざまな影響があったことから、本報告書の発行時期を後ろ倒し、2年間分の活動報告としました。

2021年夏の第5波からはそれまでとは様相が一変して小児や妊婦の感染者が増え、2022年に入ってから第6・7波では小児の感染者数は25-30%で、小児が主な感染者という事態となっています。そのため当センターでは新型コロナ患者以外の入院を制限せざるを得ず、患者さんにご家族に多大なご迷惑をおかけしました。コロナ禍の中でも、私たちは府の周産期と小児の拠点病院としての役割を確実に遂行することが重要と考え職員一同業務に当たっていますが、この事態の一日も早い収束と、医療体制の正常化を強く願っています。

2021年度は、当センター開設40周年の節目の年でした。残念ながら、新型コロナ禍のため記念式典などを催すことはできませんでしたが、40周年記念誌を発行し広く配布させていただきました。今後50周年・60周年に向けてますます発展すべく努力します。皆さまの変わらぬご指導・ご鞭撻と協力をよろしくお願いいたします。

「成育基本法」が2019年12月1日から施行され、また、「産後ケア事業」を促進する「母子保健法の一部を改正する法律」も2021年4月1日から施行されています。当センターの「産後ケア」利用回数（利用者数）は、2021年度は193回（51名）で前年度の87回（28名）から倍増しました。加えて、われわれ母子保健に関わるものとして大いに歓迎したいのが、「こども家庭庁」が設置されることです。まだ詳細は明らかではありませんが、こども政策を推進するという方向性は喜ばしいことと考えます。

当センターの母子保健情報センターには母子保健調査室と情報企画室とがあります。母子保健調査室は、① 府民及び職員向け広報、② WHO指定協力センター業務、③ 当センター内外の研修の策定・研修生の受け入れ、など様々な機能・役割を果たしていますが、何といても重要なのは大阪府の母子保健に関する調査・研究・指導です。この目的を遂行するため2017年11月には、「母子保健推進委員会」および同小委員会を発足させました。この委員会は、当センターで活発に行われている母子保健活動をまとめてセンター内外に発信することに加え、実務としてはハイリスク妊産婦および子育て支援活動を強力にサポー

トすることを目的としています。「にんしんSOS」「児童虐待防止ネットワーク」など多くの府からの受託事業があります。

2022年1月からは母子保健調査室長として馬場幸子医師を新たなメンバーを迎えることができました。徐々に体制を強化して大阪府の母子保健で指導的な役割を果たしていきたいと考えています。

情報企画室では、①電子カルテシステムの開発および運営管理、②センター内のインターネット環境の整備、③「地域医療連携ネットワーク事業（南大阪MOCOネット）」の運営管理、④Medical Gate事業のサポート、⑤新型コロナ以来急増しているWEB会議のサポート、などの重要な業務を担っています。

2021年5月には、電子カルテを第7期システムにバージョンアップしました。今回は、準備に十分な時間をかけて現場の意見を反映したシステムとなりましたが、なお現場からは修正すべき問題点が指摘されていますので、これらに対しては情報企画室を挙げて対応します。2018年3月に開始した南大阪MOCOネットは、本年も参加施設数を増やしました。接続施設数は2021年度末で病院9、診療所19、歯科診療所5、訪問看護ステーション24、障害福祉施設1、医療福祉施設2、薬局13、保健所3の計76か所となっています。当センターの患者基本情報、退院時サマリー、検査結果、画像情報などはもちろん医療機関に対しては、医師記録、看護記録にも開示情報を広げています。このサービスをさらに多くの連携施設に広げるとともに、機能をさらに充実させます。2020年4月に始まったMedical Gate事業でも、2021年度末の登録者数が4,417名となり前年の1,960名から大幅に増加しました。「Medical Gate後払いクレジットサービス」を利用していただくと、診察後に支払いのために待ついただくことがなくなります。患者さんやご家族にとって利便性の高い事業ですのですますます利用者を増やしたいと考えています。

今後、当センターでは幅広い母子保健活動をさらに充実させるとともに、本報告書を通じてその活動を発信していきたいと考えています。皆さまのご協力、ご指導とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

2

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の院内対応について

はじめに

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において初めて確認されて以降、国際的に感染が拡大しており¹⁾、2022年10月現在も世界規模の流行が継続している。世界保健機関（WHO）は2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」、同年3月11日に「世界的大流行（パンデミック）」を宣言した。日本では同年2月1日に指定感染症および検疫感染症に指定された¹⁾。



図1 大阪府における月次別新規陽性者報告数

データ出典：大阪府感染症情報センター¹⁾、大阪府新型コロナウイルス感染症対策サイト²⁾より作成

2020年は、COVID-19という未知のウイルスによる感染症に対応するため、医療機関においても社会においても手探りで様々な対策を行いながら、第1, 2, 3波を経験した（図1）。2021年には医療従事者を対象とした医療機関でのワクチン接種事業、そして高齢者や、妊婦を含む一般市民を対象とした職域及び地域でのワクチン接種事業が公費負担で開始された。一方、感染者は前年よりも増加し第4, 5波と前年より大きな感染の流行を経験した。2022年には、ワクチン接種の対象が5-11歳の小児まで拡大された。一方で社会活動の制限解除が進み、第6, 7波では小児を含めた大規模な感染拡大を認めた。厚労省からの指示（通達）のもと行っていたCOVID-19検査陽性者の全数把握は2022年9月25日まで継続されたが、以後は対象者を絞って陽性者把握を行うこととなった。

本特集では、2020年1月から2022年9月末ごろまでを目安に、院内でのCOVID-19対策および発生状況を公衆衛生学的な観点でまとめた。母子保健情報センター活動への影響についても記録した。

1) <http://www.iph.pref.osaka.jp/infection/disease/corona.html> (2022. 8. 23 アクセス)

2) <https://covid19-osaka.info/> (2022. 10. 11 アクセス)

1) 当院の感染対策状況

1-1) COVID-19感染対策本部設置

当初、常設されている院内感染防止対策委員会が感染対策の指揮をとっていたが、2020年3月9日にCOVID-19対策本部が新規設置された。委員は、病院長を筆頭に、副院長、看護部長、事務局長、感染制御チーム（ICT）の感染症科医師1名・呼吸器科医師1名・集中治療科医師1名・感染管理認定看護師2名・病棟看護師1名で構成された。

1-2) 対応マニュアルの作成

2020年2月6日とかなり早い段階で、院内感染防止対策委員会が、新型コロナウイルス感染症患者（疑い含む）の対応第1版マニュアルを作成・発行した。当時は、本院では原則受入れを行わず、第2種感染症指定医療機関へ搬送することとなっていた。

第2版は、COVID-19対策本部（3月9日発足）およびICTによって同年5月11日に発行された。小児・産科のCOVID-19患者受入体制、外来での対応、検体採取方法、検査、面会、外泊・外出、職員の体調管理、COVID-19濃厚接触者の定義と対策、自宅待機の対象者、その他、という構成であった。その他の項目には、こころ健康相談窓口、医療従事者向けの宿泊施設、感染拡大防止対策としての自動車通勤の認定基準についても記載が追加され、臨床上必要な事項のみならず院内に勤務する全職員に必要な情報が網羅された。患者受入れ経験の集積によるフィードバック、当時の流行状況、求められる診療体制に応じて内容が加筆修正され、同年の6月に第3版が、9月に第4版が発行された。その後、表1のように2021年には第5版、第6版、2022年には第7版、第8版と、内容が加筆修正された。2022年9月26日からは、厚生労働省の方針としてCOVID-19陽性者の全数把握が撤廃されたことに伴い各種定義や届出が変更となったため、それに合わせて第9版が発行された。

表1 対応マニュアルの変遷

	発行日	本文頁数	資料含む 全頁数	主な変更点
第1版	2020年2月6日	9	9	
第1版 修正版	2020年2月18日	8	9	疑い例の定義変更等
第2版	2020年5月11日	8	18	(本文参照のこと)
第3版	2020年6月11日	9	25	・1階東棟、3階東棟の病床運用開始 ・新型コロナウイルス流行下におけるハイリスク手術の対応を追加
第4版	2020年9月1日	12	29	・小児のCOVID-19患者受入れ体制について、大阪府からの確定例の受入れ要請が重症2床から4床へ変更 ・院内出生の新生児のCOVID-19患者受入れ体制（新規追加） ・外来および入院患者がCOVID陽性と判明した場合の対応（小児・産科共通）（新規追加）
第5版	2021年4月30日	14	31	・小児病棟入院付添要件の厳格化
第6版	2021年12月27日	16	36	・1階東棟のゾーニング（一般患者との受入れ体制）を追加
第7版	2022年1月11日	16	36	・入院中の患者がコロナ陽性、濃厚接触者となった場合の対応 ・職員の同居家族がPCR検査を受けた場合の対応
第8版	2022年6月10日	16	37	・5階東棟のゾーニング（一般患者との受入れ体制）を追加
第9版	2022年9月26日	18	41	・COVID発生届について（対象者、提出方法、自宅療養者への説明） →全数届出の廃止

1-3) 防護具の不足への対応

新型コロナ感染症の拡大とともに、防護具（サージカルマスクや長そでエプロン・不織布ガウン、ゴーグル）の不足が見込まれる状況となった。2020年4月ごろには、消毒用アルコールの使用を抑えるために、患者に接する頻度の少ない場面・職種では流水での手洗いが奨励された。マスクについては職員全員を対象としたメーリングリスト（ML）にて繰り返し通知があり、マスクの流通量や感染状況によって制限の内容が柔軟に変更された（表2）。

表2 個人防護具についての連絡

通知日	通知発信元	マスクの使用・配布についてのML通知内容
2020. 2. 7	中央滅菌材料センター	病院支給のマスクは1人につき1枚/日 患者さんに直接接しない職員は、病院支給のマスク着用を控える
2020. 2. 28	ICT	特定の状況以外での患者担当職員や、患者に接しない職員の病院支給マスク使用禁止
2020. 3. 9	病院長	病棟で仕事をする医療従事者全員に1日1枚マスクを配布
2020. 3. 26	病院長	4月1日（水）より病棟や外来で患者と接する職員または病棟で業務を行う職員は勤務日数に応じて『マスクは勤務日数が週3日以内は週1枚、週4日以上は週2枚配布
2020. 3. 30	ICT	布マスクの使用可
2020. 4. 27	中央滅菌材料センター	N95マスクの再使用
2020. 4. 30	ICT	発熱や呼吸器症状がある患者（『病原体不明の呼吸器感染症マニュアルの対象患者』）の気道吸引や処置後は（汚染がなくても） <u>交換する</u>
2020. 5. 8	ICT	面会者や同室者など病棟に出入りする全ての人はマスク着用を義務付け
2020. 5. 18	ICT	職員は『マスクは1日1枚の使用（配布）』

1-4) 職員の健康管理・ワクチン接種

2020年3月6日より、全職員は、出勤前検温及び発熱・咳の有無について健康管理記録にて報告することとなった。このことは、第3版以降のマニュアルにも掲載され、2022年10月現在でも実施されている。

2021年2月より、日本全体で医療従事者を対象としたワクチン接種が開始となった。これを受けて当院では2021年3月より非医療従事者・委託業者を含む敷地内勤務の全職員を対象としてワクチン接種を行った（表3）。主に総務グループと感染管理室が準備を行った。大阪母子医療センターの職員が1,300人弱、委託業者が300人強であることを考えると、1-3回までは90%前後の高接種率であることが伺える。

表3 ワクチン接種の時期・メーカー・接種人数

	時期	回	メーカー	接種人数（委託業者含む）
1	2021年3・4・6月	1・2回目	ファイザー	1,451人
2	2021年6・7月	1・2回目	ファイザー	1,439人
3	2022年1・2月	3回目	ファイザー	1,555人
4	2022年8月	4回目	モデルナ	789人

1-5) 独自のフェーズ対応

2020年9月24日に、当院独自のフェーズ分類に応じたCOVID-19対策が講じられることとなった。これは、基本的には大阪モデルに連動して設定するものの、当院が妊婦とハイリスク小児患者を対象としている点に留意して新たに定められたものである。患者対応以外の様々なセンター運営活動(面会・集団教室等)についての基準を示すものである。フェーズは、大阪モデルと同様4段階に分類された。

フェーズが発表された2020年9月24日当初は、フェーズ2であり、例えば面会が小児では両親のみ、母性では夫・パートナーのみ週2回までに制限されたものの、集団教室は開催可能であった。その後、12月7日にフェーズ3へ移行し、面会は小児で1時間まで、母性で週1回までと制限が強化され、会議はweb開催となった。

1-6) 病床運用・設備面での対応

大阪府内での感染流行状況に応じて、大阪府から病床確保の要請があり、臨機応変に対応してきた(表4)。また、患者受入対応のための病室工事、院内学級のオンライン授業開始に伴うWi-Fi整備等にも対応した。

表4 COVID-19対応に伴う小児病床運用状況・設備対応・感染対策の状況

		病床運用(小児)	設備	感染対策
1波	2020/3	重症2床		COVID対策本部設置 小児・産科COVID受入れ体制整備 COVIDマニュアル作成 小児重症2床で受入れ開始
	2020/4			LAMP法による院内検査開始 リアルタイムPCR開始 小児入院制限、オンライン会議整備
	2020/5		電話回線増設	入院制限一部解除、 ハイリスク手術の術前PCR開始
	2020/6		PCR検査室の空調・ダクト工事	マルチプレックスPCRによる検査開始
2波	2020/7	重症4床(疑似症2床含む) 軽症・中等症25床		
	2020/8		院内学級Wi-Fi工事 オンライン授業開始	
	2020/9		1E除圧個室新設工事 最大6床まで受入れ可能	当センターのフェーズ対応作成 全自動PCRによる検査開始
3波	2020/11	成人重症患者受入れ(1回目)	PCR検査室の拡張工事	
4波	2021/3			職員コロナワクチン接種(1回目、2回目)
	2021/4	成人重症患者受入れ(2回目)		
	2021/6			職員コロナワクチン接種(1回目、2回目)
5波	2021/8	5階東棟25床オープン(1回目) 小児軽症・中等症患者受入れ		
	2021/10	5階東棟一般病棟へ	NICU個室新設工事	
6波	2022/1	5階東棟25床オープン(2回目) 小児軽症・中等症患者受入れ		職員コロナワクチン接種(3回目)
	2022/4			小児コロナワクチン集団接種
	2022/5	5階東棟ゾーニング13床開始 一般患者受入れ再開		
7波	2022/7	5階東棟25床オープン(3回目) 小児軽症・中等症患者受入れ		
	2022/8			職員コロナワクチン接種(4回目)

木下真柄感染管理者より

2) 当院の患者受入・感染者発生状況

2-1) 感染症患者受入

小児は2020年4月に、妊婦は2020年12月に最初のCOVID-19陽性患者を受入れた。また、大阪府からの要請を受けて成人（非妊婦）についても2020年11月に受入を開始した。

2022年7月末までの入院患者累計件数は小児で299件、妊婦で59件、妊婦以外の成人で24件であった（図2）。6月末までの小児の入院患者のうち、小児集中治療室（PCIU）での治療を必要としたのは41人であり、そのうち31人は第6波期間であった（図3）。肺炎や基礎疾患（原疾患）の悪化によるPICU入室が多かった。

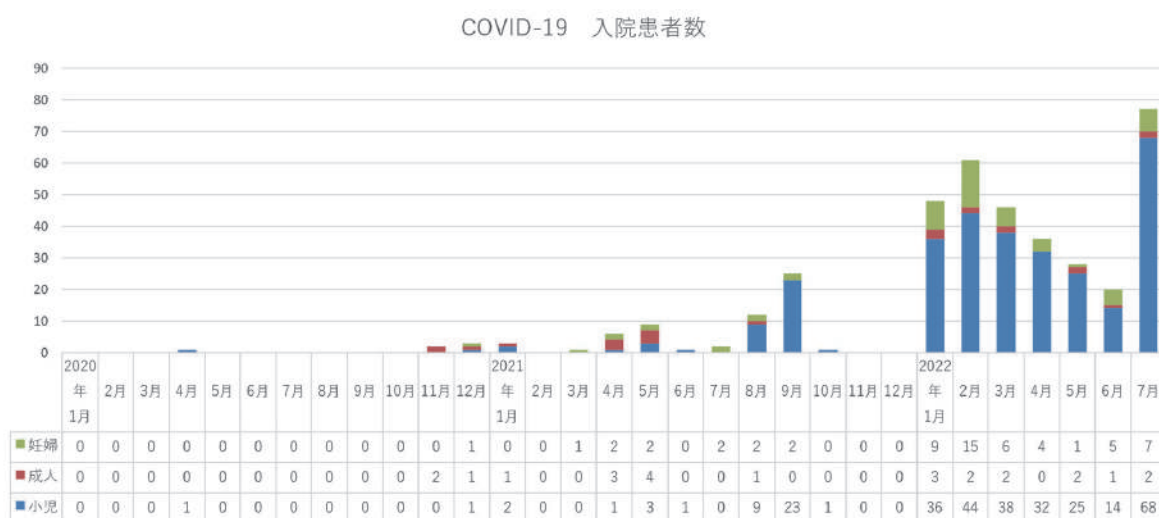


図2 当院における入院患者数推移（月次）2020年1月－2022年7月

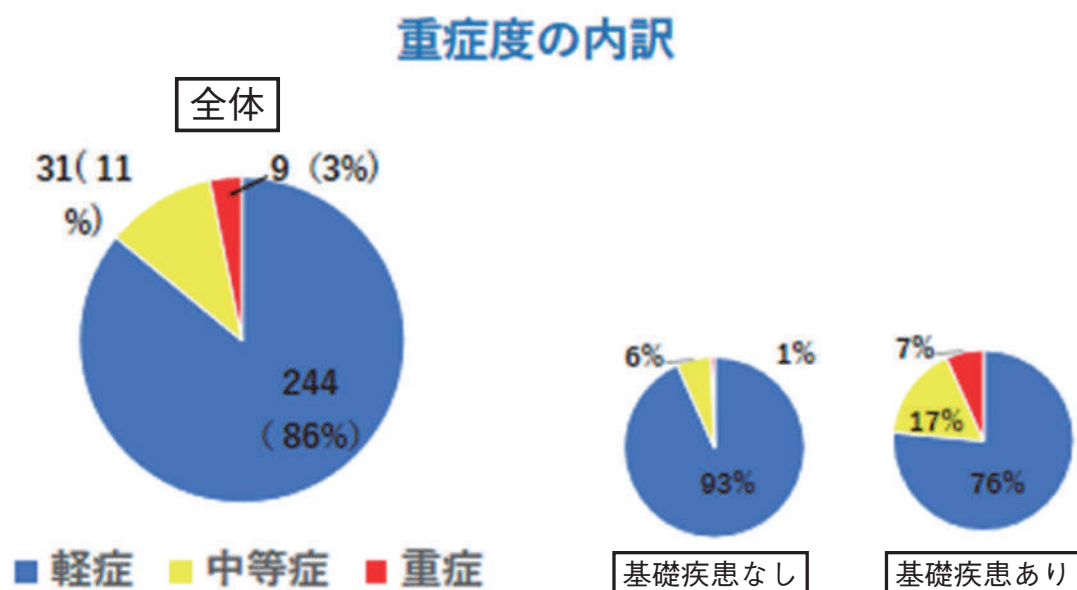
木下真柄感染管理者より



図3 小児入院患者・PICU・人工呼吸器使用者推移（月次）2020年1月－2022年6月

集中治療科 竹内宗之主任部長より

重症度で分類すると、7月末までの小児患者における入院全体の86%が軽症、11%が中等症、3%が重症であった（図4）。基礎疾患の有無に関わらず多くは軽症（酸素飽和度が96%以上で、臨床症状として呼吸器症状なしあるいは咳のみで呼吸困難はなく、いずれも肺炎所見を認めない）であった。2022年夏（第7波）では、熱性けいれんや脳症の症例を認めた。



新型コロナウイルス感染症の重症度分類

重症度	酸素飽和度	臨床症状
軽症	SpO2≥96%	呼吸器症状なし or 咳のみで呼吸困難なし いずれも肺炎所見を認めない
中等症Ⅰ	93≤SpO2<96%	呼吸困難, 肺炎所見あり
中等症Ⅱ	SpO2≤93%	酸素投与が必要
重症		*人工呼吸管理または ECMO を使用

呼吸器・アレルギー科
錦戸知喜主任部長より

新型コロナウイルス感染症 COVID-19 診療の手引き 第7.0版より一部改変
*東京都の重症基準より引用

図4 入院患者の重症度内訳とその定義 2020年11月－2022年7月

2-2) 患者へのワクチン接種

2022年3月に、当院にて5－11歳の小児に対する新型コロナワクチン接種を行うことが決定し、同年4・5月にファイザー社のワクチン接種を実施した。当初の接種対象者は、当センターかかりつけで接種を希望し、地域での接種が難しい患者であった。特に接種が望ましいと思われるハイリスク患者には案内のはがきを送付したが、案内はがきの対象外患者についても希望があれば対応した。実施期間中、108名の患者に接種を行った。

2-3) 職員の感染者・濃厚接触者

こども病院における感染制御は大変難しい。理由として以下の3つがあげられる。①こども、特に低年齢児はマスクの適切な着用が難しい。②病児の抱っこなど、濃厚な接触をせざるを得ない場面が多い。③親の付添や分娩立会いを継続していたため、院外からの持ち込みを完全に防ぐことができない。

2020年初頭から2022年9月末までに、当センターで勤務する職員（委託業者分含む）のうち、289名の陽性者と375名の濃厚接触者（うち、72名は隔離期間に陽性が判明）の報告があった。289名の陽性者のうち、院内感染はわずか8名であった。また、院内でのクラスター発生はなかった。375名の濃厚接触者のうち、院内での接触によるものは21名であった。

図5は、2020年5月から2022年9月までの月次別陽性者・濃厚接触者の推移を示している。2021年12月までは陽性者9名、濃厚接触者47名であり、影響は限定的であった。2022年1-2月（第6波）と、同年7-8月（第7波）に陽性者・濃厚接触者が多かった。陽性者と濃厚接触者は一定の期間勤務不可となるため、勤務体制調整も困難を極めたことが伺える。

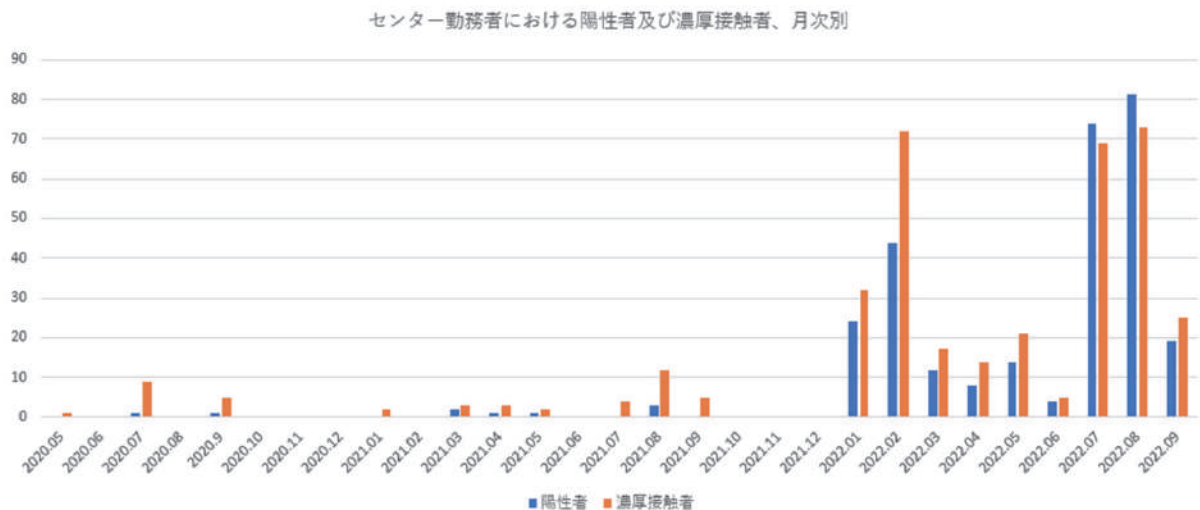


図5 当センター勤務者（委託業者分含む）における陽性者及び濃厚接触者、月次別

3) 母子保健情報センターの活動に与えた影響

3-1) 母子保健調査室

2020年度の大阪母子医療センター利用者に対する母子保健活動（保健師面談）はCOVID-19流行の影響をほとんど受けず、依頼を受けた面談はほぼ全例実施した。カンファレンスも開催される限りは通常通り参加した。一方、発達外来での保健指導数は減少した。

広報活動については、府立病院機構の対応方針「機構が実施する事業等の中止にかかる対応方針」を参照にした。これは府立病院機構共通した、診療以外の活動・行事の対応方針について示したものである。A～Eの5つの行事内容ごとに、実施の可否（○△×）と、

その考え方が示された。例えば、2020年2月21日付方針ではA「センター患者以外の府民が外部から参集するような事業」は「否（×）」となった。その後、同年6月4日には、内容が改訂された。この方針を受け、2020年度の広報活動のうち、府民公開講座は3つのうち2つは中止、1つはオンライン開催となった。

医療実習は中止あるいは条件つきで実施した。条件等は表5にまとめた通りである。JICA関西から海外研修員を受ける受託研修は、当初予定から時期を延期の上オンライン対応した。図書活動は、医学図書室の活動は新規ツールの導入により活発化した。患者家族向けの図書活動は制約を受けた。環境省委託事業では一部期間の調査やイベント中止などの影響を受けた。詳細は58・112ページ以降の活動報告を参照ください。

表5 医療実習の受入方針

日付	実習受入方針
2020. 3. 27	2020年3月26日時点で予定されていた、2020年4月末までの実習は中止
2020. 4. 21	2020年5月末までの実習は中止
2020. 5. 26	2020年6月から条件つきで再開 条件：1. 実習生本人の実習前7日間の体調に問題がないこと。体温、体調について書面で提出すること。 2. 実習生が新型コロナウイルス感染者と濃厚接触していないこと。また、実習生の周囲に感染症患者や体調不良者がいないこと。（書面提出） 3. 実習中、体調が悪くなった場合は、速やかに実習を中止すること。また、当日朝に発熱などの体調不良がある時には、当センターの責任者に連絡の上、来院しないこと。（当日体調を書面提出） 4. 来院時、実習時は必ずマスクを着用すること
2020. 8. 19	実習条件の変更 条件1について、実習前7日間を14日間に変更
2020. 12. 4	実習条件の厳格遵守の通知
2021. 4. 16	実習条件の追加 条件：1. 実習生が、実習2週間前から実習終了までの間、アルバイトをしないこと。 2. 実習生本人の実習前14日間の体調に問題がないこと。体温、体調について書面で提出すること。 3. 実習生が新型コロナウイルス感染者と濃厚接触していないこと。また、実習生の周囲に感染症患者や体調不良者がいないこと。（書面提出） 4. 実習中、体調が悪くなった場合は、速やかに実習を中止すること。また、当日朝に発熱などの体調不良がある時には、当センターの責任者に連絡の上、来院しないこと。（当日体調を書面提出） 5. 来院時、実習時は必ずマスクを着用すること
2021. 8. 24	実習条件の間診票の変更
2022. 1. 24	実習の中止
2022. 5. 23	実習の再開
2022. 9. 20	実習条件の変更 「1. 実習生が、実習開始2週間前から実習終了までの間、アルバイトをしないこと」を撤廃 「2. 実習生が、実習開始14日前からの体調に問題がないこと」を10日前からに変更

3-2) 情報企画室

2021年5月に第7期総合情報システム（電子カルテ）の稼働が予定されていたため、新型コロナウイルスの感染が広がる中、システムリプレイスを行うこととなった。

新システムの打ち合わせやシステム開発、新機能説明会の実施により、多くの人を集める必要があったが、WEB会議システムの活用や動画説明資料の配信などを行う事により、

集合形式の開催を避ける対策を行った。また、情報企画室職員のみならず業者に対しても毎日の体温チェックや頻繁な換気、こまめな手指消毒を励行させることにより、職員やベンダー技術員の間で新型コロナウイルスのクラスターが発生する事なく、スケジュール通りシステム稼働を行う事ができた。

また、新型コロナウイルス感染予防対策の一環として、2020年5月より新たにWeb会議システムの導入に取り組み、運用支援も行った。表6は、院内でWEB会議システムを利用した1か月あたりの平均回数であり、会議だけでなく研修やセミナーなどでも活用されている。この表から分かる通り、新型コロナウイルス流行下の状況においても、WEB会議システムを活用した会議や研修が活発に行われ、今では開催方法の一つとして定着している。

表6 Web会議開催1か月あたりの平均回数【2020.5～2022.9】

（単位：回）

	2020年	2021年	2022年
1ヶ月当たりの平均回数	41.9	70.2	83.1

3 2020年度の大阪府の母子保健指標

「すべての子どもが健やかに育つ社会」の実現に向け2015年度から2024年度まで実施予定である「健やか親子21（第2次）」では、都道府県の役割が示されています。その中で、市町村に対して積極的に協力・支援することが県型保健所の役割として明記されています。これらの役割を果たすためには、保健所にとっては、特に管内の市町村の母子保健に関する課題を認識することが重要です。

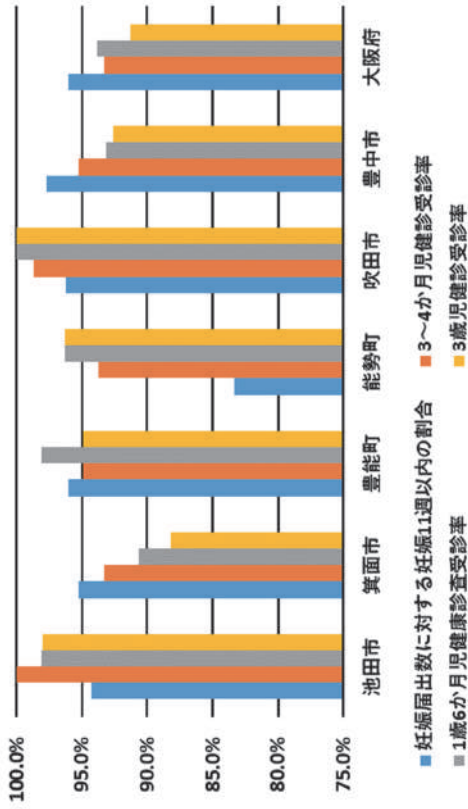
住民への母子保健対策の充実のため、保健所と管轄の市町村と有意義な情報交換を行うための基礎資料として、医療圏ごとの母子保健指標をまとめました。従来の項目に加え、④乳幼児健康診査育児支援・養育問題等異常なし割合、⑤乳幼児健康診査発達障がい（疑い）による要観察割合、⑥歯科健康診査虫歯割合、⑦乳幼児健康診査結果判定の割合推移（5年間）を加えました。母子保健指標を、地域の実情が比較的似通った同圏域の他自治体の値や大阪府平均値と比較することで、根拠に基づいた議論を深め、各市町村における母子保健対策推進につながることを期待します。なお、出典資料ごとに報告単位が年次・年度と異なることに留意ください。また、中核市については、一部項目のみを提示しています。

2020年では新型コロナウイルス感染症流行下での市町村母子保健活動の乳児健診等実施状況についても、情報を整理しまとめました。おおまかな傾向としては、第一波時緊急事態宣言下では健康診査や集団を対象とした母子保健活動を中止・延期したものの、個別支援は実施していました。第二波以降は、感染対策を行いながら各種事業を実施する傾向を認めました。

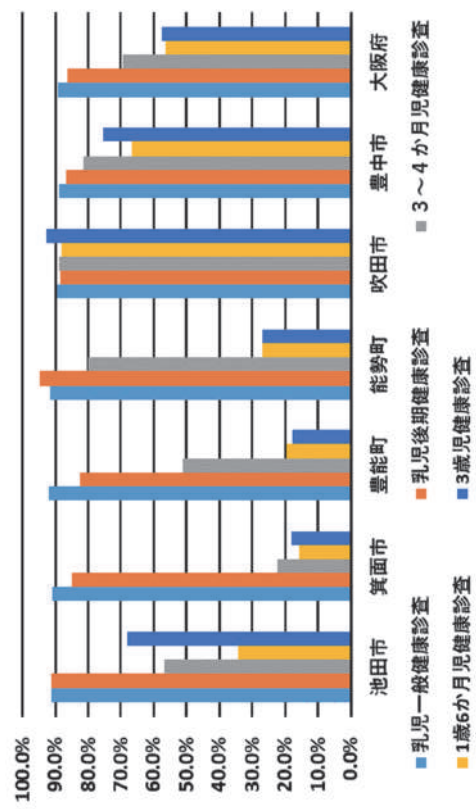
（出典：人口動態統計、大阪府母子保健関係業務報告、地域増進事業報告）

1) 豊能医療圏（池田保健所管轄） 令和2年度（2020年度）実施分 中核市：吹田市・豊中市（④～⑥のデータなし）

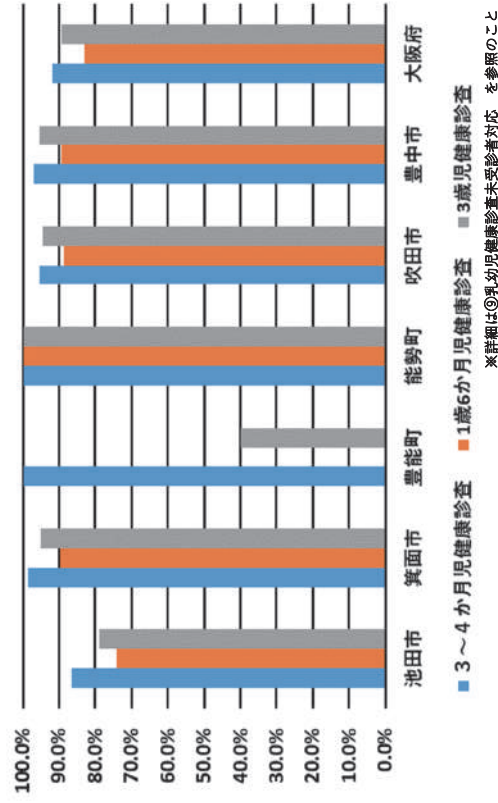
①妊娠届出数に対する妊娠11週以内の割合、乳幼児健康診査受診率



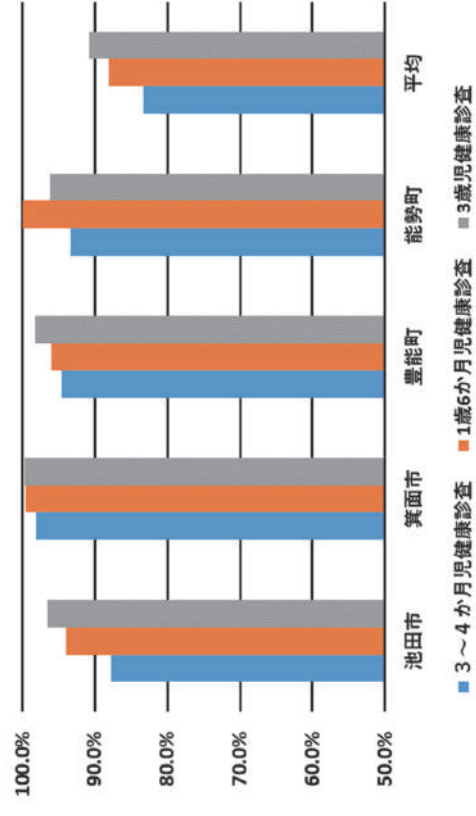
③乳幼児健康診査異常なし割合



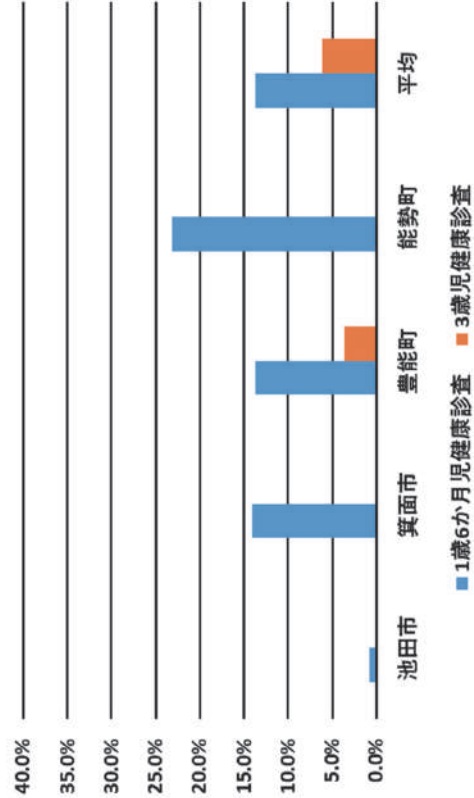
②乳幼児健康診査未受診者の現認できた割合



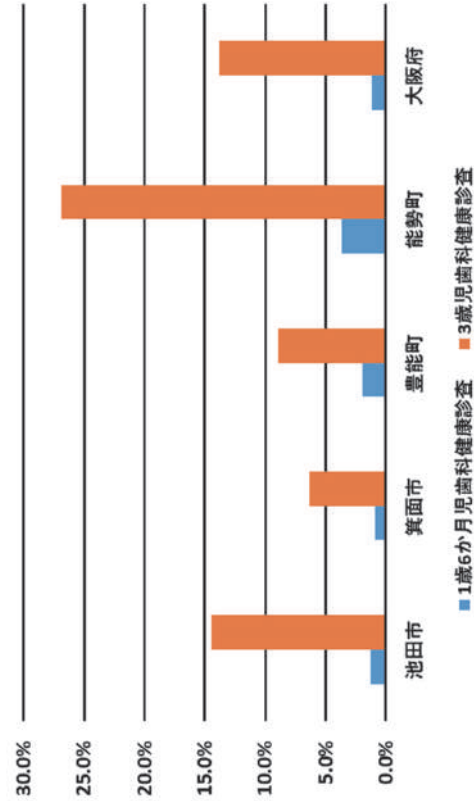
④乳幼児健康診査育児支援・養育問題等異常なし割合



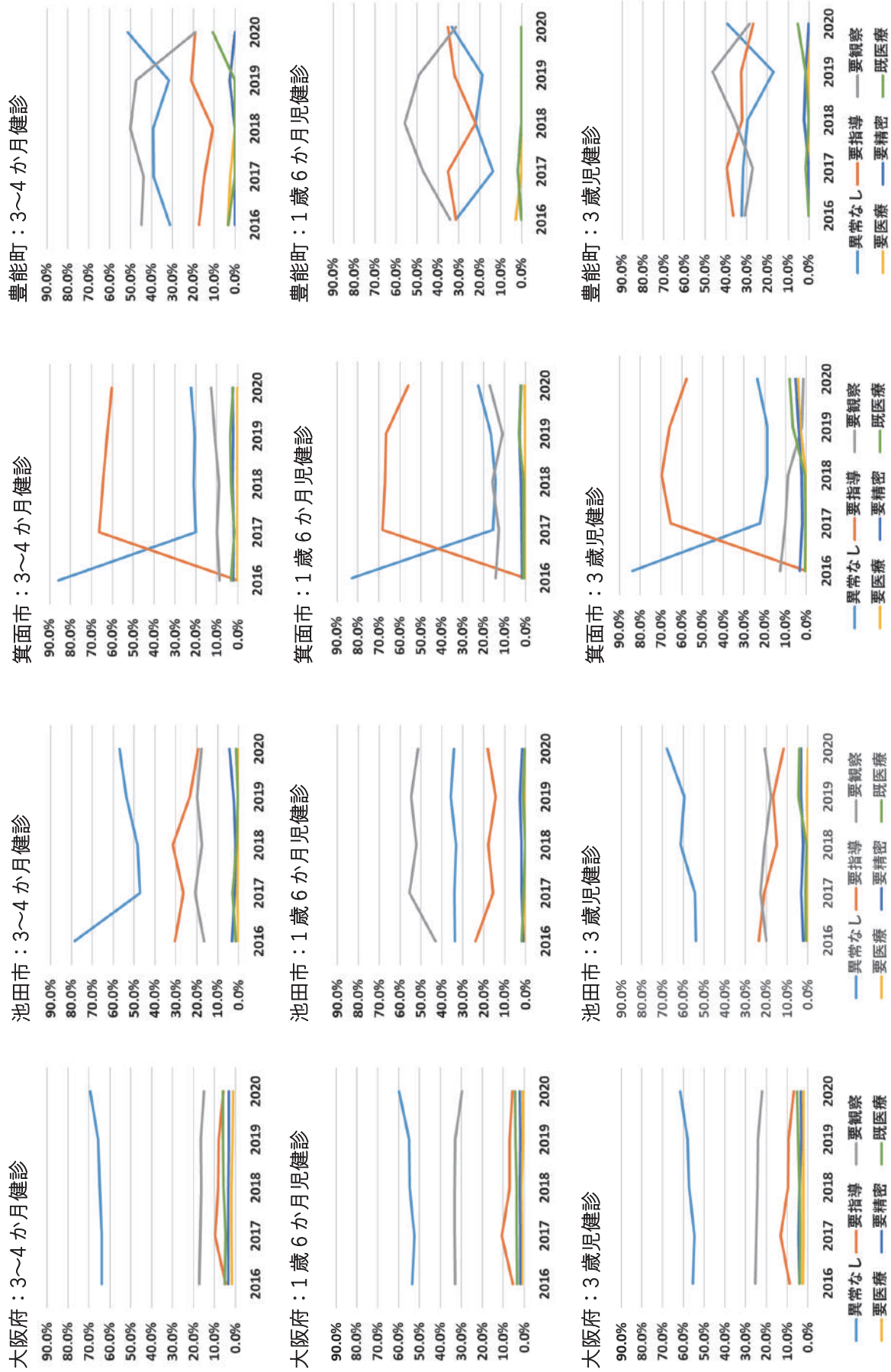
⑤乳幼児健康診査発達障がい（疑い）による要観察割合



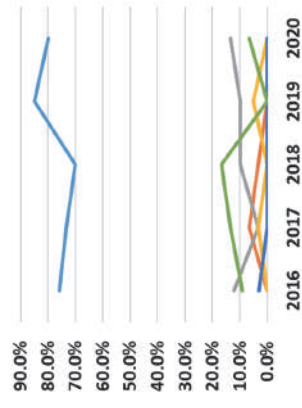
⑥歯科健康診査虫歯割合



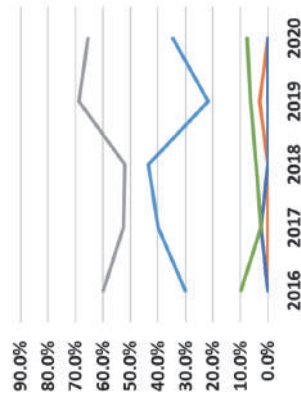
⑦異常なし・要指導・要観察・要医療・要精密・既医療の割合の推移（平成28年度（2016年度）～令和2年度（2020年度））



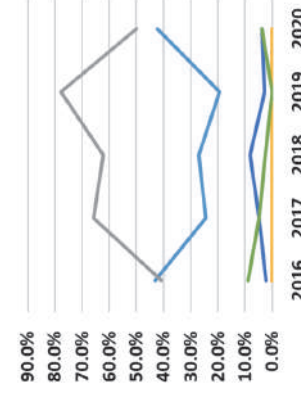
能勢町：3～4 か月健診



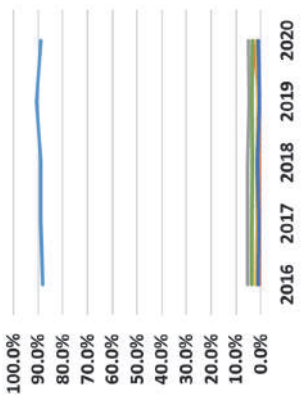
能勢町：1歳6か月児健診



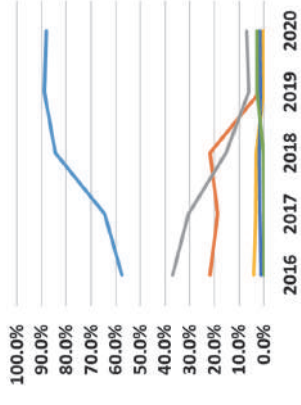
能勢町：3歳児健診



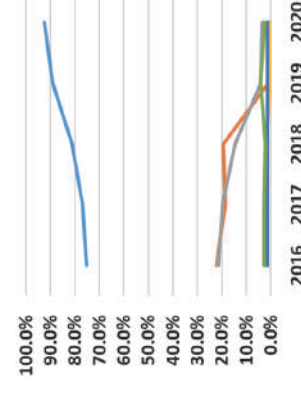
吹田市：3～4 か月健診



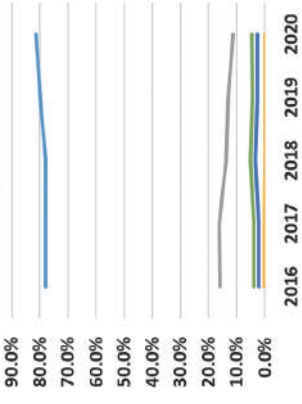
吹田市：1歳6か月児健診



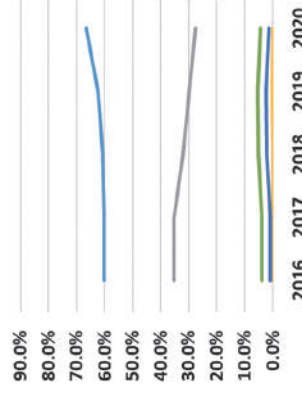
吹田市：3歳児健診



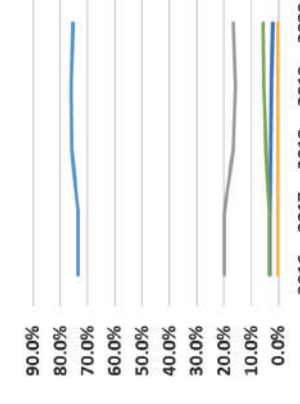
豊中市：3～4 か月健診



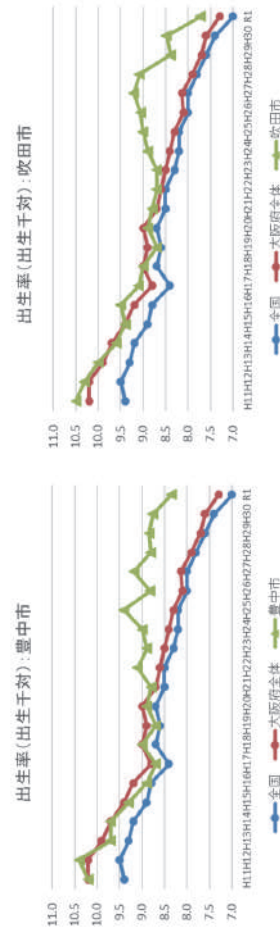
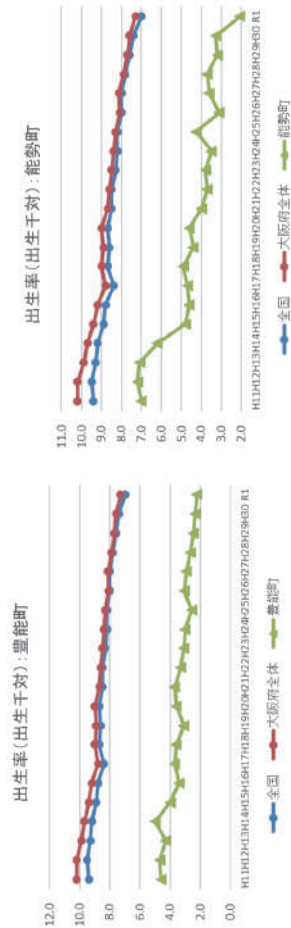
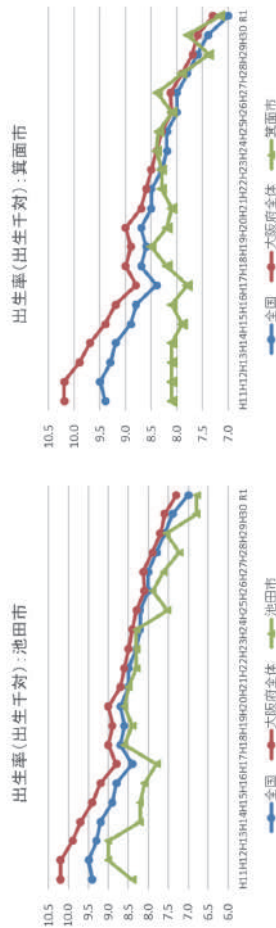
豊中市：1歳6か月児健診



豊中市：3歳児健診



⑧出生率推移（平成11年（1999年）～令和元年（2019年））



⑨乳幼児健康診査未受診者対応

3~4か月児 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
池田市	22	19 (86.4%)	0 (0.0%)	3 (13.6%)	0 (0.0%)
箕面市	67	66 (98.5%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
豊能町	2	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
能勢町	2	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
吹田市	176	168 (95.5%)	0 (0.0%)	4 (2.3%)	4 (2.3%)
豊中市	99	96 (97.0%)	0 (0.0%)	2 (2.0%)	1 (1.0%)
大阪府	2,932	2,696 (92.0%)	30 (1.0%)	83 (2.8%)	118 (4.0%)

1歳6か月児 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
池田市	23	17 (73.9%)	3 (13.0%)	3 (13.0%)	0 (0.0%)
箕面市	115	103 (89.6%)	3 (2.6%)	9 (7.8%)	0 (0.0%)
豊能町	2	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
能勢町	1	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
吹田市	238	211 (88.7%)	0 (0.0%)	12 (5.0%)	15 (6.3%)
豊中市	140	125 (89.3%)	0 (0.0%)	13 (9.3%)	2 (1.4%)
大阪府	3,349	2,775 (82.9%)	152 (4.5%)	285 (8.5%)	132 (3.9%)

3歳児健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
池田市	33	26 (78.8%)	3 (9.1%)	4 (12.1%)	0 (0.0%)
箕面市	165	157 (95.2%)	1 (0.6%)	6 (3.6%)	1 (0.6%)
豊能町	5	2 (40.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)
能勢町	1	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
吹田市	423	399 (94.3%)	0 (0.0%)	18 (4.3%)	5 (1.2%)
豊中市	200	191 (95.5%)	1 (0.5%)	6 (3.0%)	3 (1.5%)
大阪府	4,982	4,446 (89.2%)	181 (3.6%)	240 (4.8%)	109 (2.2%)

⑩乳幼児健康診査受診率の推移（平成25年度（2013年度）～令和2年度（2020年度））

池田市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	97.3	96.0	93.8
2014	98.2	96.3	96.7
2015	98.4	97.9	95.4
2016	98.5	97.9	97.6
2017	99.9	98.4	97.0
2018	98.3	96.6	96.9
2019	97.6	97.6	97.2
2020	103.9	98.0	98.0

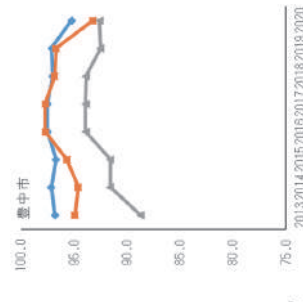
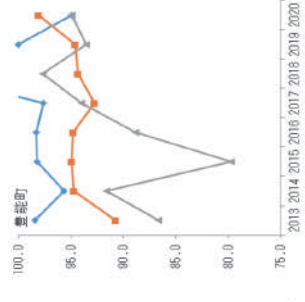
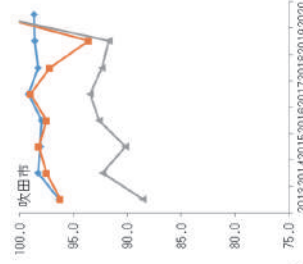
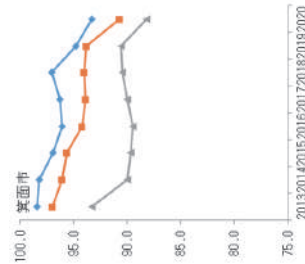
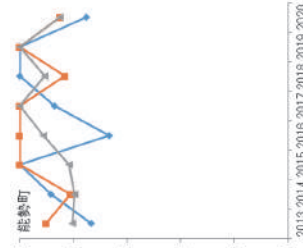
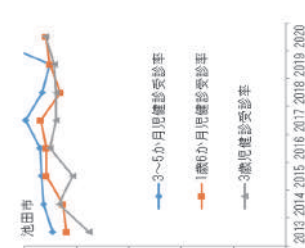
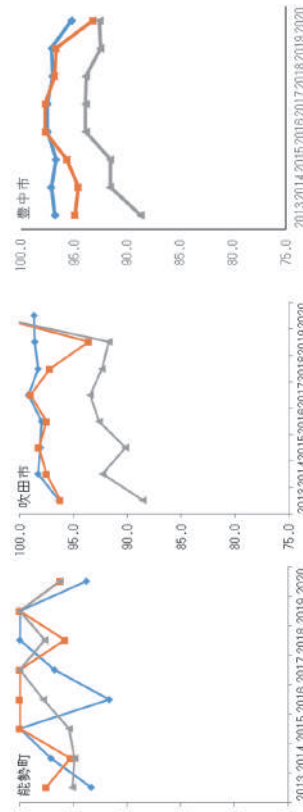
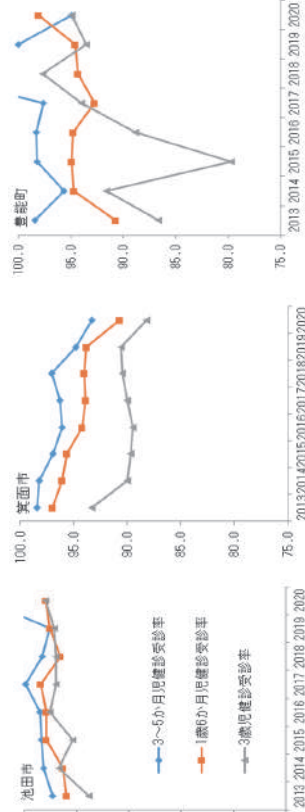
能勢町	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	93.3	97.6	95.1
2014	97.1	95.3	94.9
2015	100.0	100.0	95.5
2016	91.7	100.0	97.8
2017	96.8	100.0	100.0
2018	100.0	95.8	97.7
2019	100.0	100.0	100.0
2020	93.8	96.3	96.3

吹田市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	96.4	96.3	88.6
2014	98.3	97.5	92.3
2015	98.1	98.2	90.2
2016	98.0	97.5	92.6
2017	99.2	99.0	93.5
2018	98.3	97.2	92.4
2019	98.6	93.6	91.7
2020	98.7	102.7	103.0

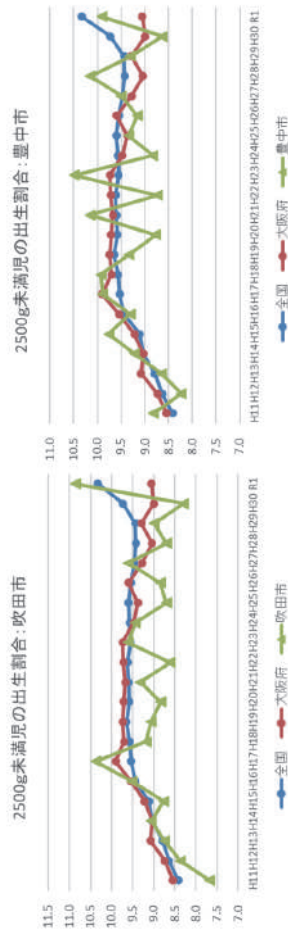
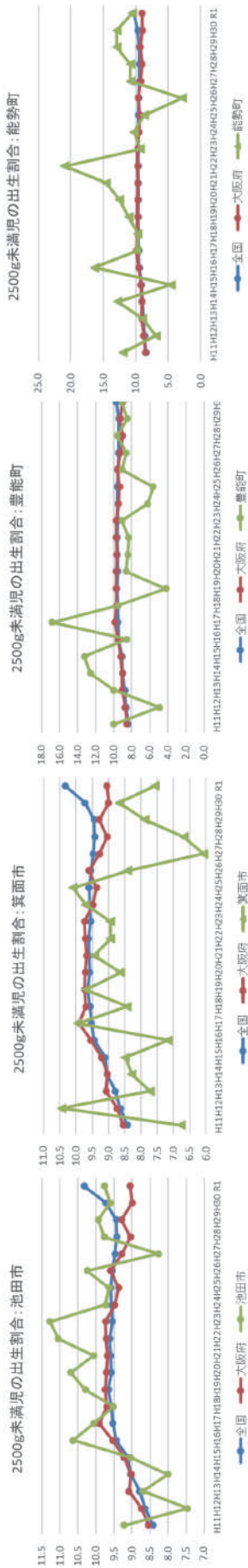
箕面市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	98.4	97.0	93.3
2014	98.2	96.1	90.0
2015	96.9	95.6	89.6
2016	96.1	94.2	89.5
2017	96.3	93.9	90.0
2018	97.1	94.0	90.4
2019	94.8	93.8	90.6
2020	93.3	90.7	88.2

豊能町	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	98.4	90.8	86.7
2014	95.6	94.7	91.6
2015	98.2	94.9	79.7
2016	98.3	94.8	88.8
2017	97.6	92.7	94.0
2018	109.0	94.3	97.7
2019	100.0	94.6	93.5
2020	94.9	98.1	94.9

豊中市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	96.8	94.9	88.7
2014	97.1	94.6	91.6
2015	96.7	95.7	91.6
2016	97.5	97.7	93.9
2017	97.5	97.7	93.9
2018	97.0	96.8	93.9
2019	97.1	96.7	92.5
2020	95.2	93.2	92.6

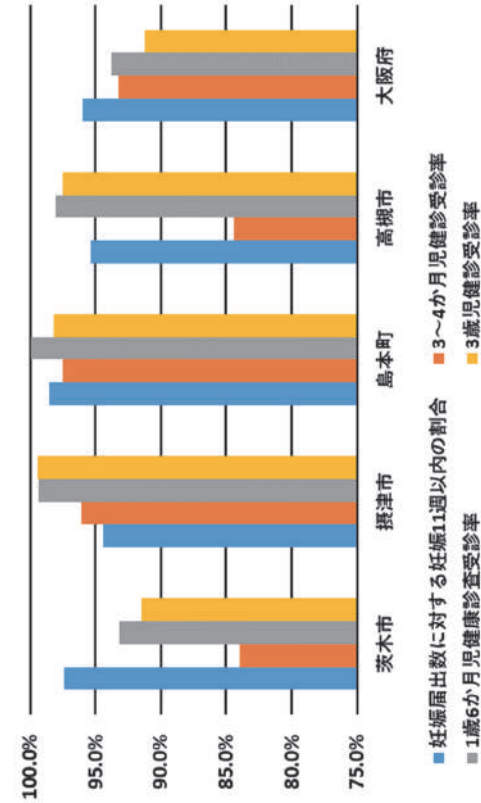


⑩低出生体重児の推移（平成11年（1999年）～令和元年（2019年））

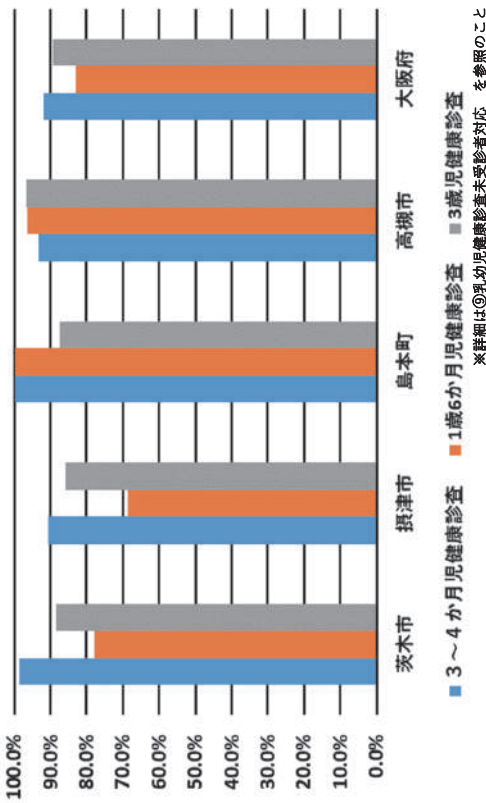


2) 三島医療圏（茨木保健所管轄） 令和2年度（2020年度）実施分 中核市：高槻市（④～⑥のデータなし）

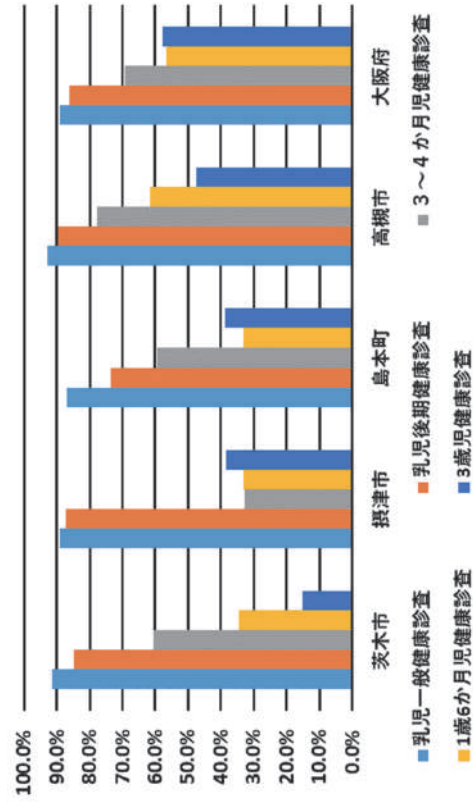
①妊娠届出数に対する妊娠11週以内の割合、乳幼児健康診査受診率



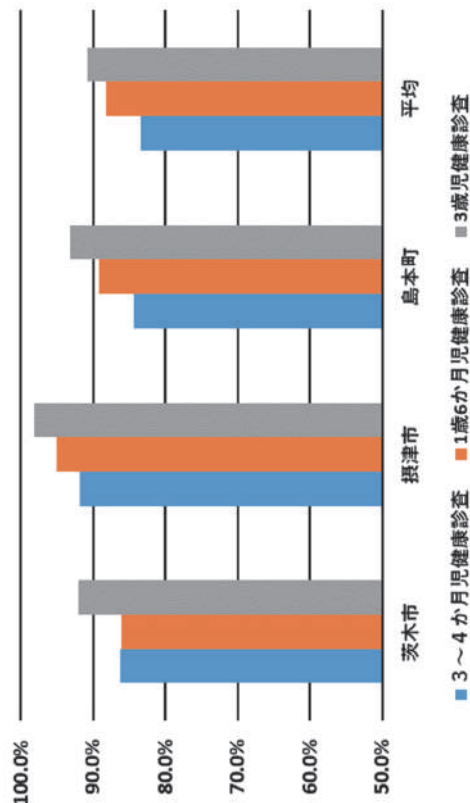
②乳幼児健康診査未受診者の現認できた割合



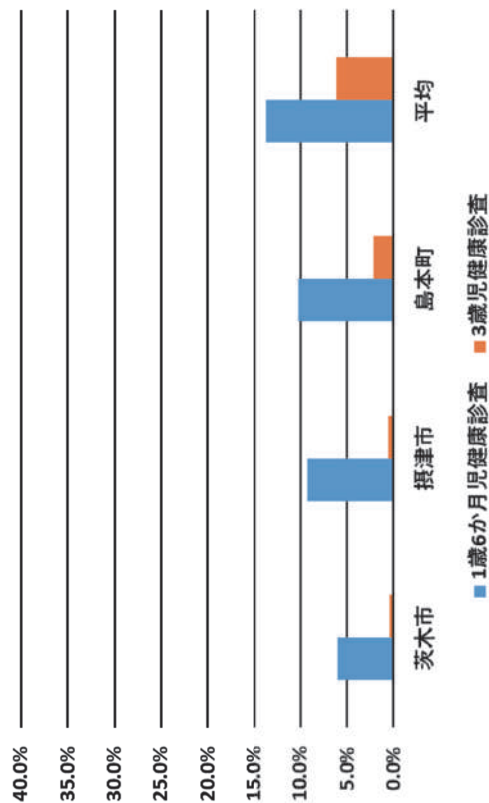
③乳幼児健康診査異常なし割合



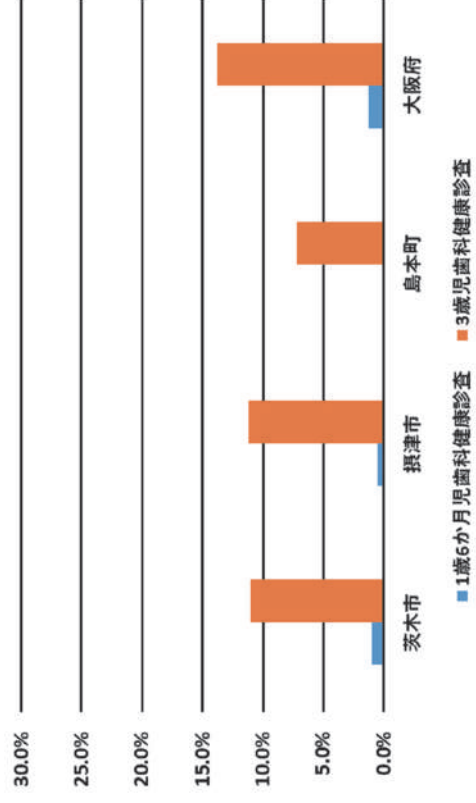
④乳幼児健康診査育児支援・養育問題等異常なし割合



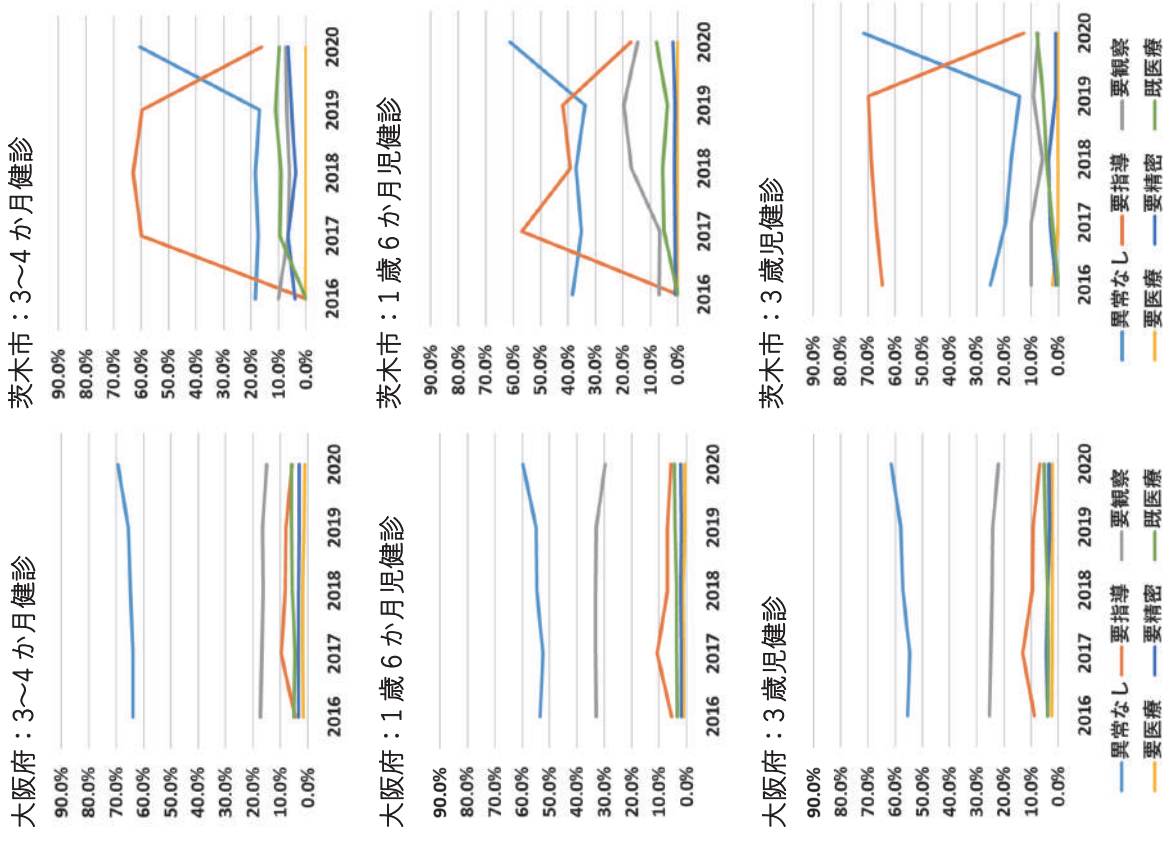
⑤乳幼児健康診査発達障がい（疑い）による要観察割合



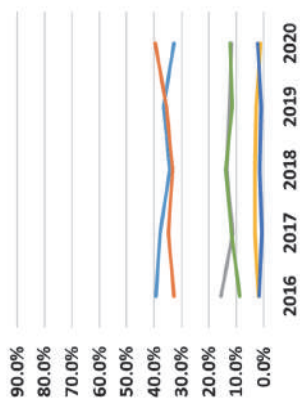
⑥歯科健康診査虫歯割合



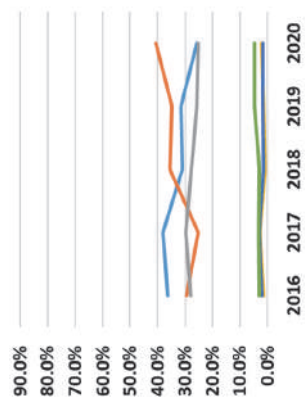
⑦異常なし・要指導・要医療・要精密・既医療の割合の推移
(平成28年度(2016年度)～令和2年度(2020年度))



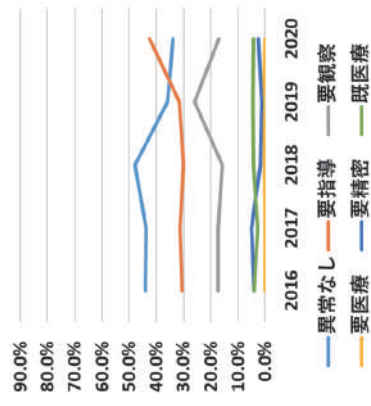
摂津市：3～4 か月健診



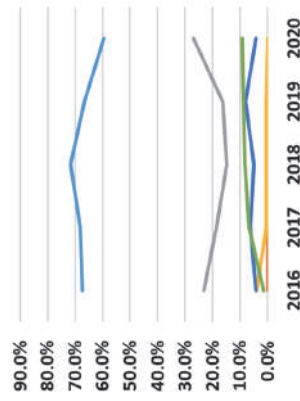
摂津市：1 歳 6 か月児健診



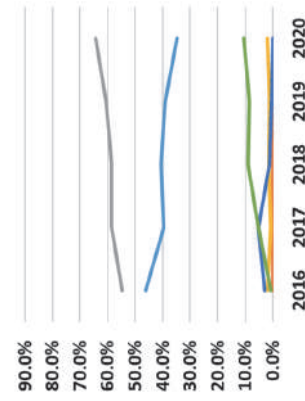
摂津市：3 歳児健診



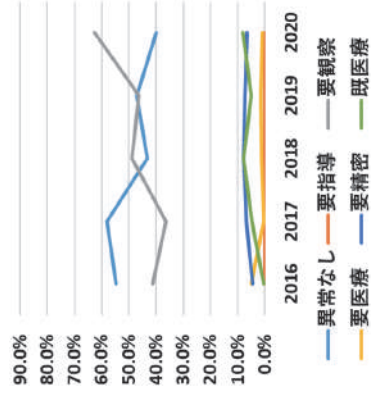
島本町：3～4 か月健診



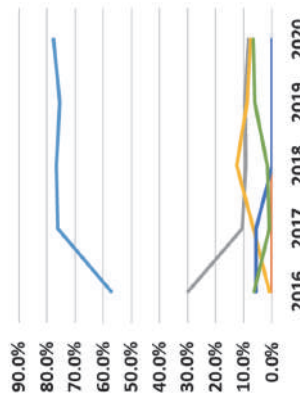
島本町：1 歳 6 か月児健診



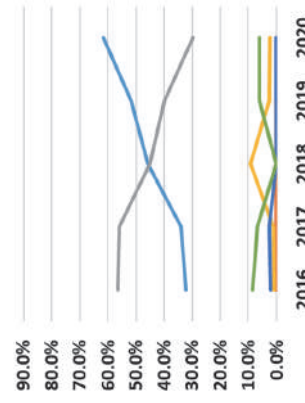
島本町：3 歳児健診



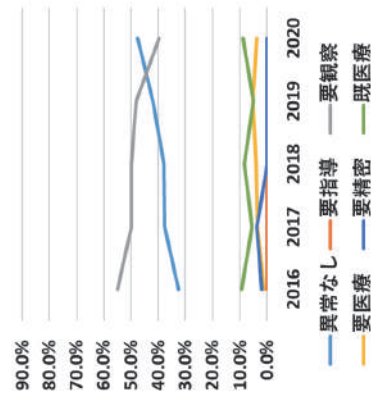
高槻市：3～4 か月健診



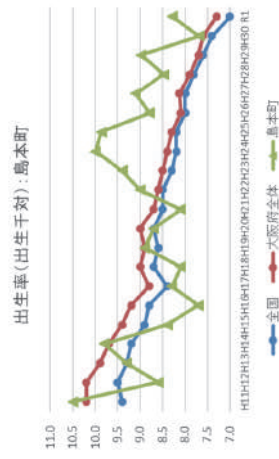
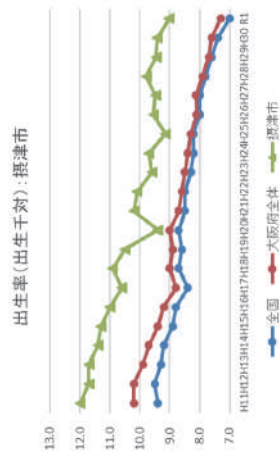
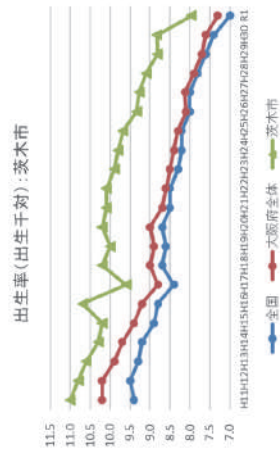
高槻市：1 歳 6 か月児健診



高槻市：3 歳児健診



⑧出生率推移（平成11年（1999年）～令和元年（2019年））



⑨乳幼児健康診査未受診者対応

3～4か月児 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
茨木市	145	143 (98.6%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)	0 (0.0%)
摂津市	43	39 (90.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (9.3%)
島本町	7	7 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
高槻市	59	55 (93.2%)	0 (0.0%)	4 (6.8%)	0 (0.0%)
大阪府	2,932	2,696 (92.0%)	30 (1.0%)	83 (2.8%)	118 (4.0%)

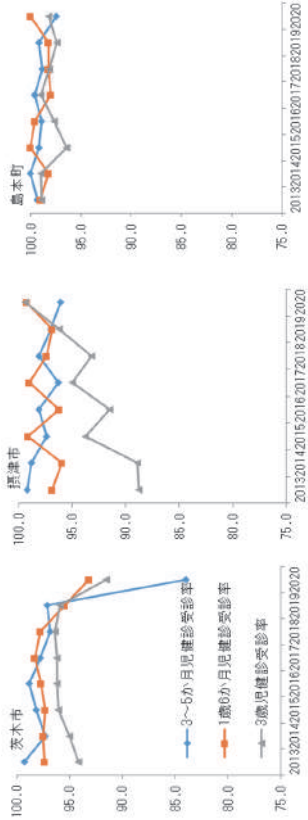
1歳6か月児 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
茨木市	99	77 (77.8%)	10 (10.1%)	10 (10.1%)	2 (2.0%)
摂津市	35	24 (68.6%)	2 (5.7%)	2 (5.7%)	7 (20.0%)
島本町	4	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
高槻市	110	106 (96.4%)	0 (0.0%)	4 (3.6%)	0 (0.0%)
大阪府	3,349	2,775 (82.9%)	152 (4.5%)	285 (8.5%)	132 (3.9%)

3歳児健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
茨木市	205	181 (88.3%)	12 (5.9%)	5 (2.4%)	7 (3.4%)
摂津市	35	30 (85.7%)	1 (2.9%)	1 (2.9%)	3 (8.6%)
島本町	8	7 (87.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
高槻市	147	142 (96.6%)	0 (0.0%)	5 (3.4%)	0 (0.0%)
大阪府	4,982	4,446 (89.2%)	181 (3.6%)	240 (4.8%)	109 (2.2%)

⑩乳幼児健康診査受診率の推移（平成25年度（2013年度）～令和2年度（2020年度））

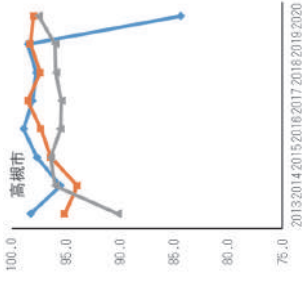
茨木市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	99.3	97.4	94.2
2014	97.3	97.5	95.0
2015	98.2	97.3	96.0
2016	98.8	97.7	96.2
2017	97.8	98.3	96.2
2018	96.8	97.8	96.4
2019	97.1	95.5	95.9
2020	84.0	93.2	91.5

摂津市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	99.2	96.9	88.8
2014	98.8	96.0	88.9
2015	97.4	99.1	93.7
2016	98.1	96.2	91.5
2017	96.3	99.0	95.0
2018	98.1	97.4	93.2
2019	97.0	96.9	96.2
2020	96.1	99.3	99.4

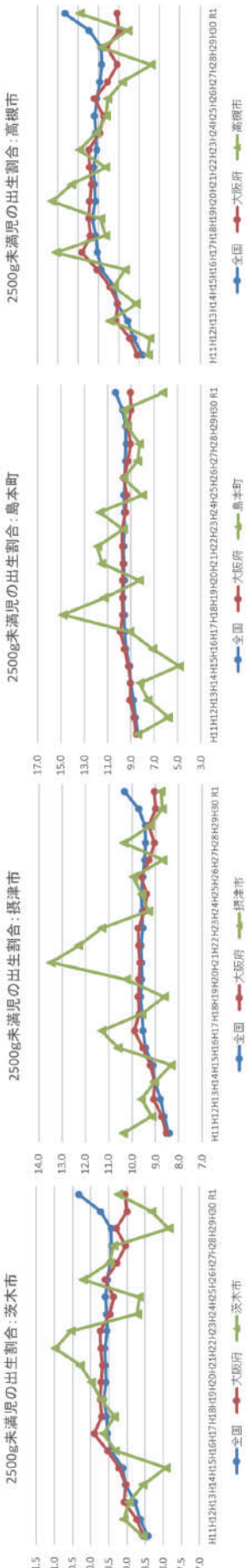


島本町	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	99.3	99.1	98.9
2014	100.0	98.2	99.0
2015	99.2	100.0	96.4
2016	98.9	99.6	97.7
2017	99.6	98.0	99.0
2018	98.8	98.2	98.2
2019	99.2	98.2	97.4
2020	97.5	100.0	98.2

高槻市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	98.2	95.1	90.2
2014	95.5	93.9	96.0
2015	97.7	96.4	96.4
2016	98.9	97.3	95.5
2017	98.1	98.5	95.4
2018	97.7	97.4	95.9
2019	98.5	98.3	96.0
2020	84.4	98.0	97.5

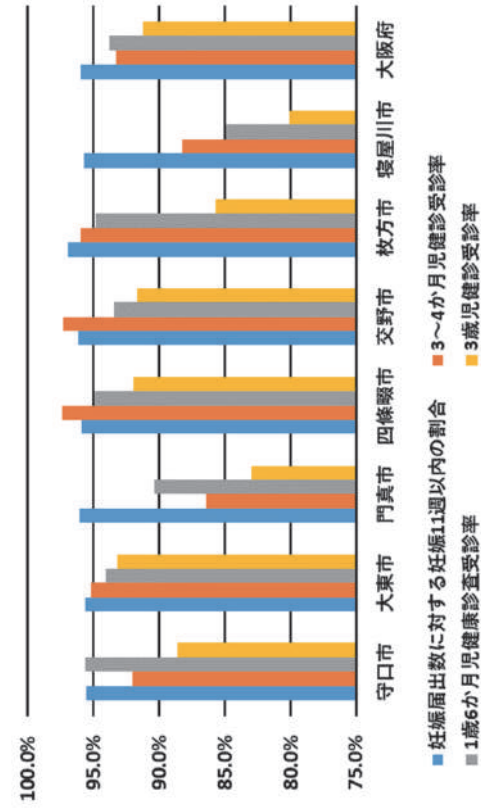


⑪低出生体重児の推移（平成11年（1999年）～令和元年（2019年））

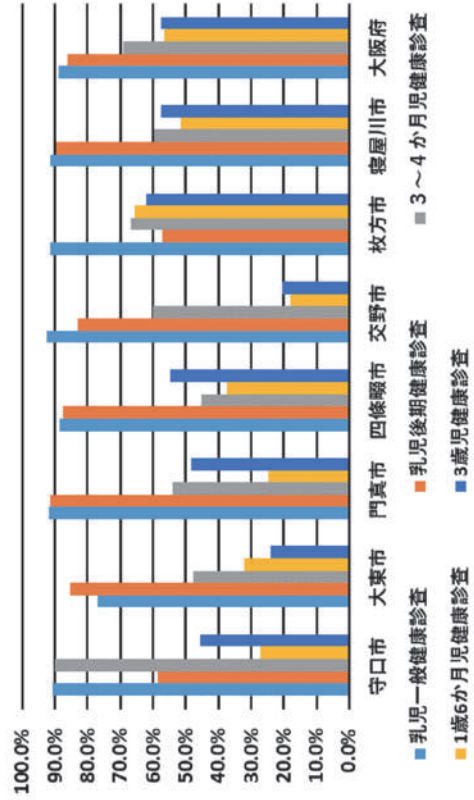


3) 北河内医療圏（守口・四條畷保健所管轄） 令和2年（2020）度実施分 中核市：枚方市・寝屋川市（④～⑥のデータなし）

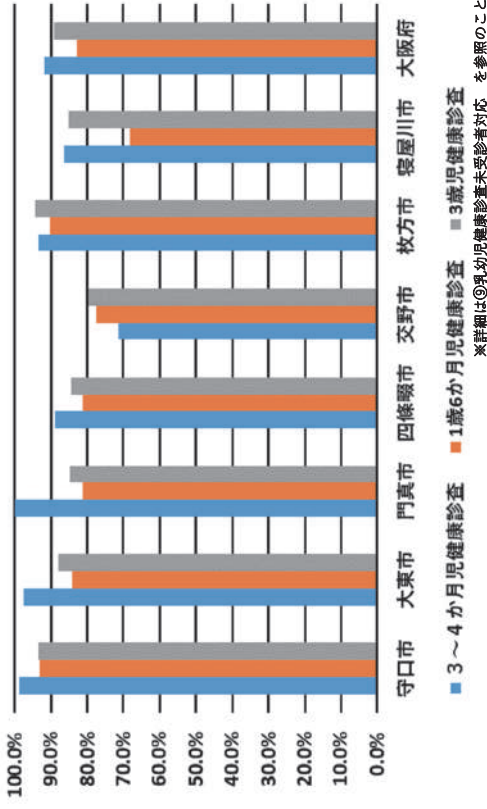
①妊娠届出数に対する妊娠11週以内の割合、乳幼児健康診査受診率



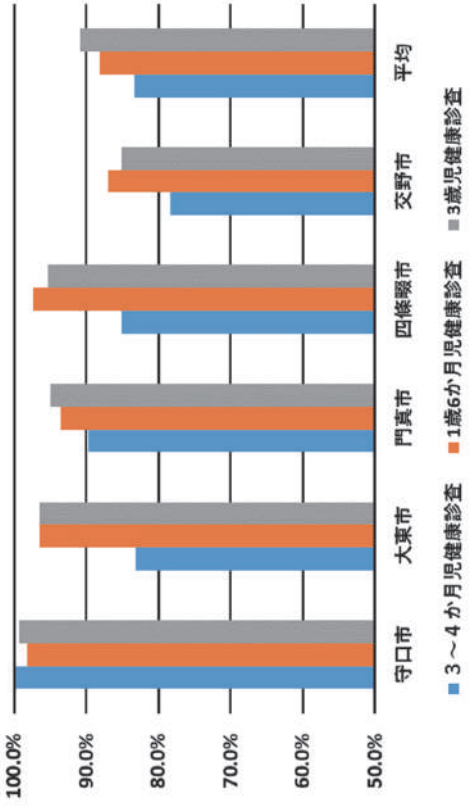
③乳幼児健康診査異常なし割合



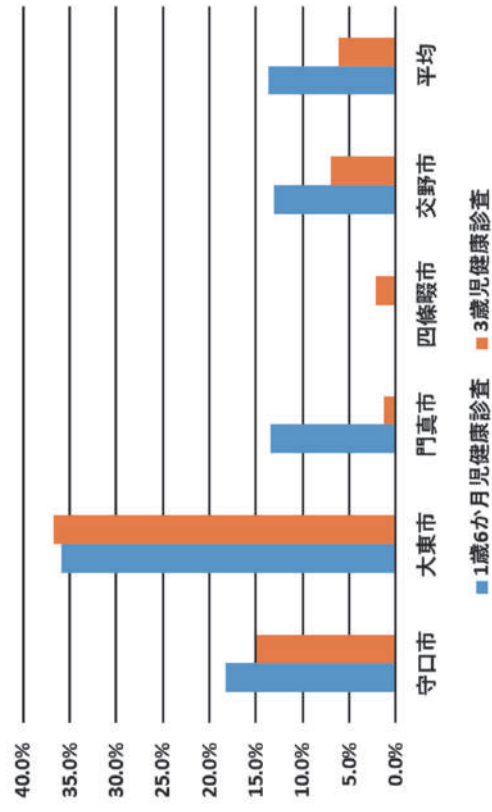
②乳幼児健康診査未受診者の現認できた割合



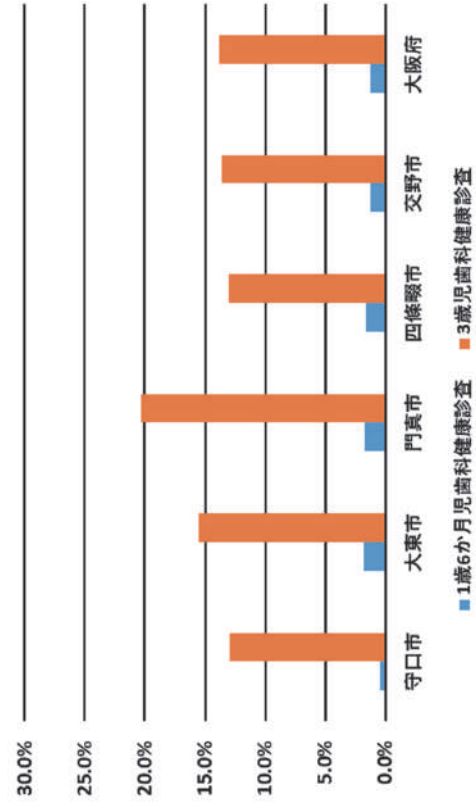
④乳幼児健康診査育児支援・養育問題等異常なし割合



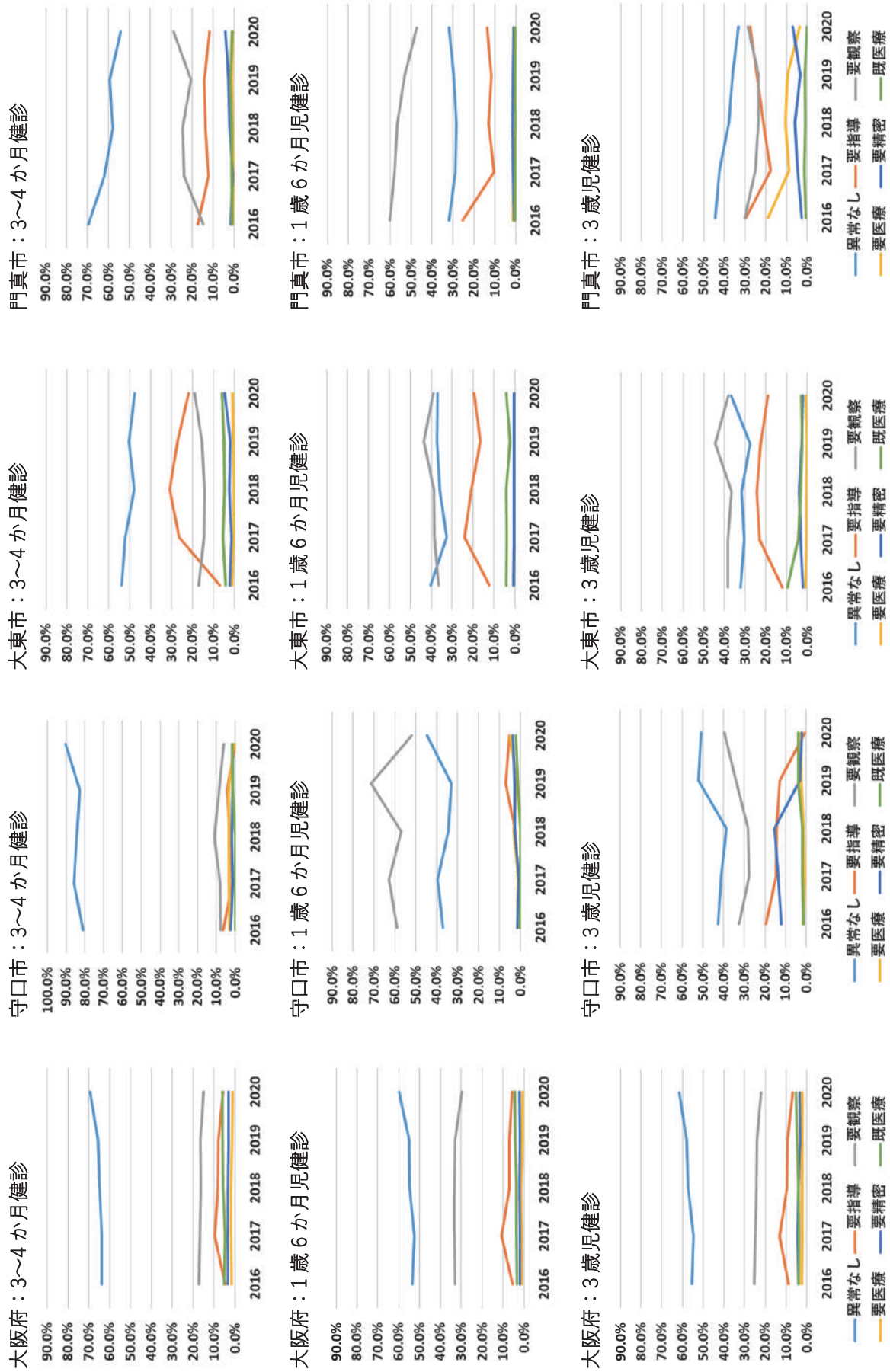
⑤乳幼児健康診査発達障がい（疑い）による要観察割合



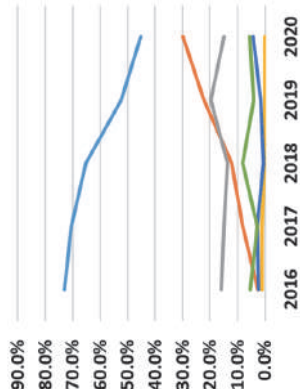
⑥歯科健康診査虫歯割合



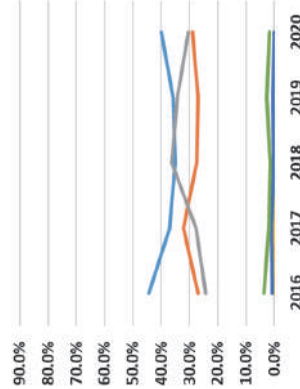
⑦異常なし・要指導・要観察・要医療・要精密・既医療の割合の推移（平成28年度（2016年度）～令和2年度（2020年度））



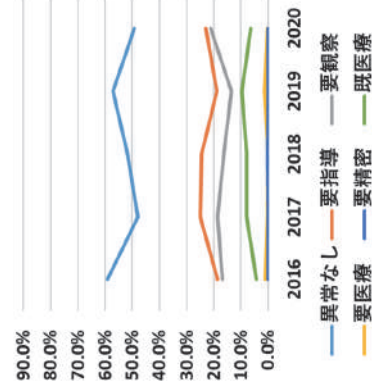
四条畷市：3～4か月健診



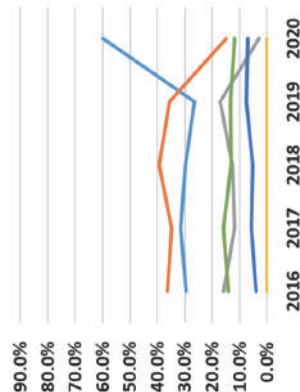
四條畷市：1歳6か月児健診



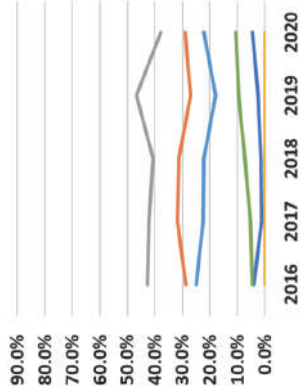
四 条 市 : 3 歳 児 健 診



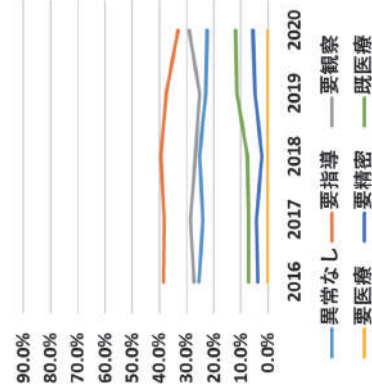
交野市：3～4か月健診



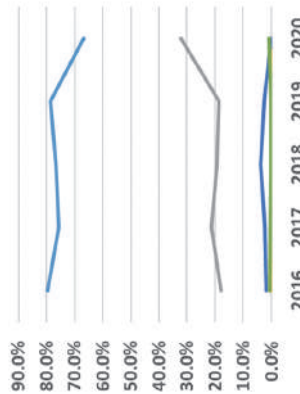
交野市：1歳6か月児健診



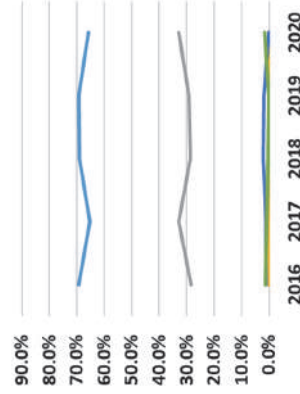
交野市：3歳児健診



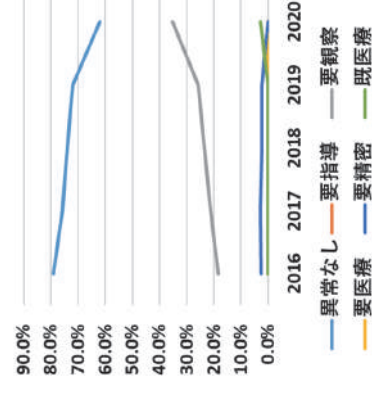
枚方市：3～4か月健診



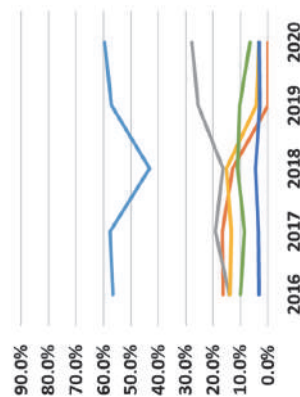
枚方市：1歳6か月児健診



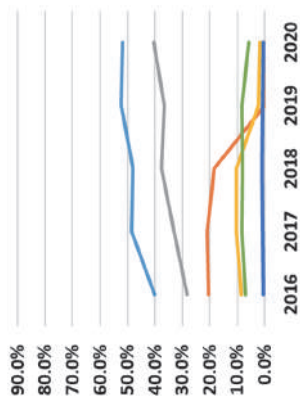
枚方市：3歳児健診



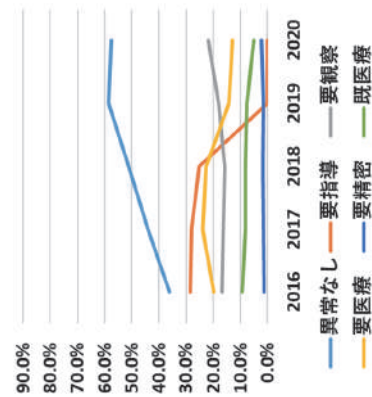
寝屋川市：3～4か月健診



寝屋川市：1歳6か月児健診



寢屋川市：3歳児健診



⑨乳幼児健康診査未受診者対応



1歳6か月児 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
守口市	73	68 (93.2%)	2 (2.7%)	0 (0.0%)	3 (4.1%)
大東市	51	43 (84.3%)	0 (0.0%)	7 (13.7%)	2 (3.9%)
門真市	75	61 (81.3%)	14 (18.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
四條畷市	32	26 (81.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (15.6%)
交野市	53	41 (77.4%)	9 (17.0%)	0 (0.0%)	3 (5.7%)
枚方市	206	186 (90.3%)	10 (4.9%)	0 (0.0%)	10 (4.9%)
寝屋川市	151	103 (68.2%)	35 (23.2%)	3 (2.0%)	10 (6.6%)
大阪府	3,349	2,775 (82.9%)	152 (4.5%)	285 (8.5%)	132 (3.9%)

3歳児健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
守口市	119	111 (93.3%)	6 (5.0%)	0 (0.0%)	2 (1.7%)
大東市	66	58 (87.9%)	0 (0.0%)	7 (10.6%)	2 (3.0%)
門真市	85	72 (84.7%)	13 (15.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
四條畷市	58	49 (84.5%)	2 (3.4%)	0 (0.0%)	6 (10.3%)
交野市	89	71 (79.8%)	17 (19.1%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)
枚方市	483	455 (94.2%)	14 (2.9%)	0 (0.0%)	14 (2.9%)
寝屋川市	209	178 (85.2%)	26 (12.4%)	2 (1.0%)	3 (1.4%)
大阪府	4,982	4,446 (89.2%)	181 (3.6%)	240 (4.8%)	109 (2.2%)

⑩乳幼児健康診査受診率の推移（平成25年度（2013年度）～令和2年度（2020年度））

守口市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	100.0	92.1	80.4
2014	92.7	95.1	79.0
2015	97.4	93.5	78.3
2016	99.5	95.1	82.9
2017	97.8	96.3	85.7
2018	98.5	93.0	87.3
2019	99.6	95.0	90.4
2020	92.0	95.6	88.6

大東市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	93.8	91.0	87.0
2014	94.7	94.0	90.4
2015	96.7	92.9	91.9
2016	97.2	92.9	91.4
2017	96.5	93.2	90.8
2018	97.2	94.9	93.1
2019	96.7	96.8	92.6
2020	95.2	94.1	93.1

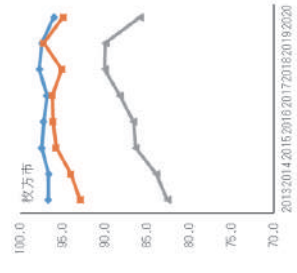
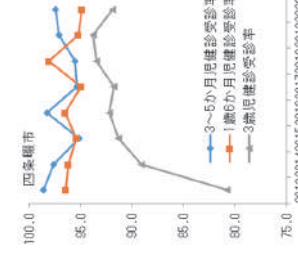
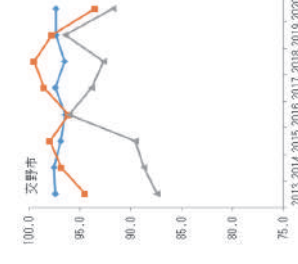
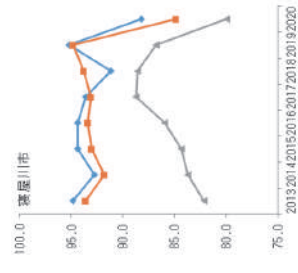
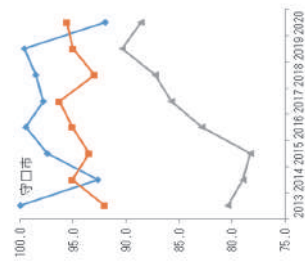
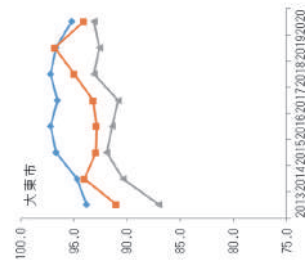
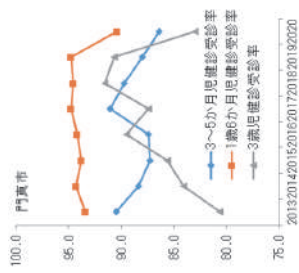
門真市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	90.5	93.4	80.6
2014	88.4	94.3	84.1
2015	87.3	93.8	85.6
2016	87.4	94.2	89.5
2017	91.1	94.8	87.4
2018	89.7	94.6	91.6
2019	88.0	94.8	90.7
2020	86.4	90.4	83.0

四條畷市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	98.6	96.5	80.8
2014	97.6	96.2	89.1
2015	95.2	95.4	91.3
2016	98.3	96.5	92.2
2017	95.4	94.9	91.8
2018	95.5	98.1	93.5
2019	97.1	95.2	93.8
2020	97.4	94.9	91.9

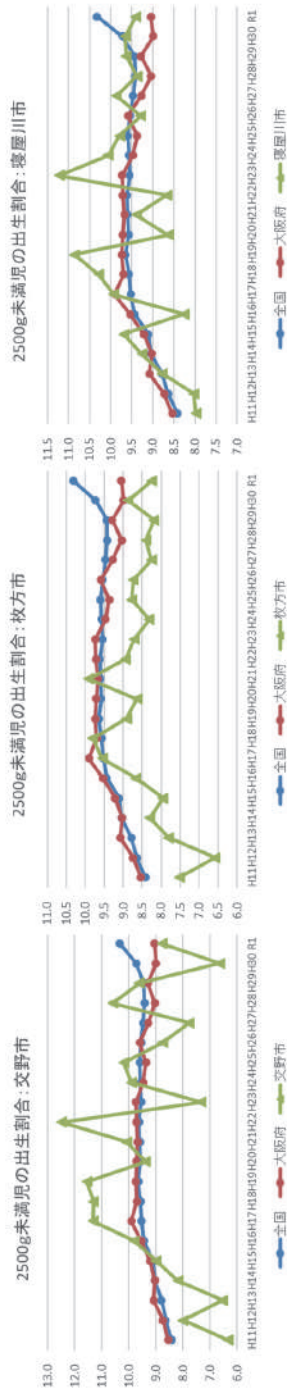
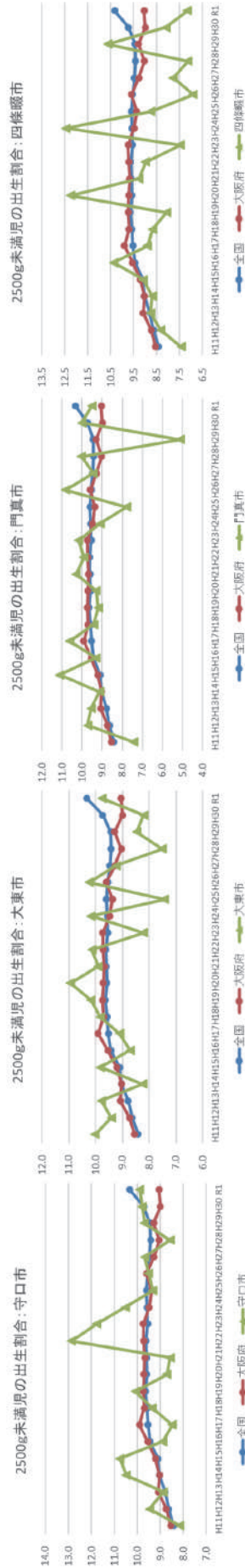
交野市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	97.4	94.5	87.3
2014	97.5	96.8	88.7
2015	96.8	97.9	89.5
2016	96.4	96.1	96.0
2017	97.4	98.5	93.8
2018	96.4	99.5	92.7
2019	97.3	97.7	96.4
2020	97.3	93.5	91.7

寝屋川市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	94.8	93.6	82.2
2014	92.8	91.8	83.7
2015	94.4	93.0	84.4
2016	94.4	93.4	86.0
2017	93.6	93.1	88.7
2018	91.2	93.8	88.6
2019	95.2	94.8	86.8
2020	88.2	84.9	80.0

枚方市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	96.7	92.9	82.6
2014	96.6	94.0	83.9
2015	97.4	95.7	86.3
2016	97.2	96.1	86.6
2017	96.8	96.2	88.2
2018	97.7	95.1	90.0
2019	97.4	97.2	89.9
2020	96.0	94.9	85.8



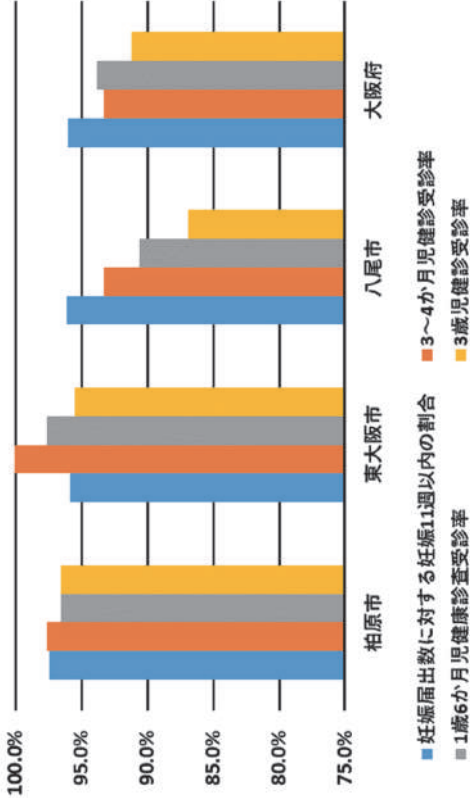
①低出生体重児の推移（平成11年（1999年）～令和元年（2019年））



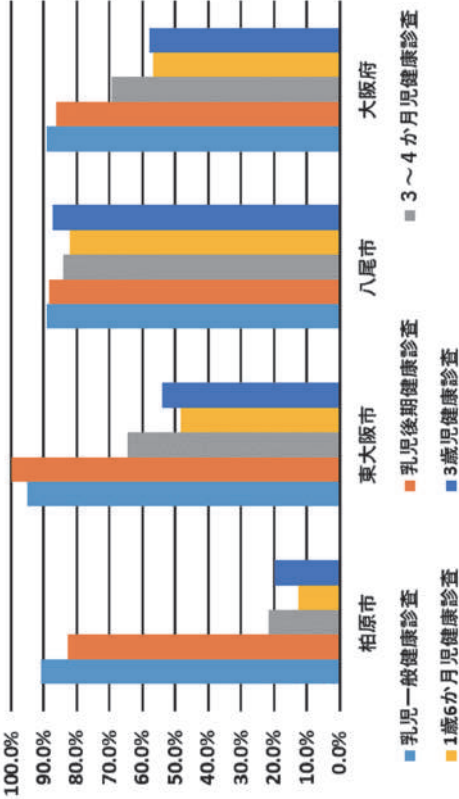
4) 中河内医療圏 令和2年度(2020年度)実施分

中核市：東大阪市・八尾市（④～⑥のデータなし）

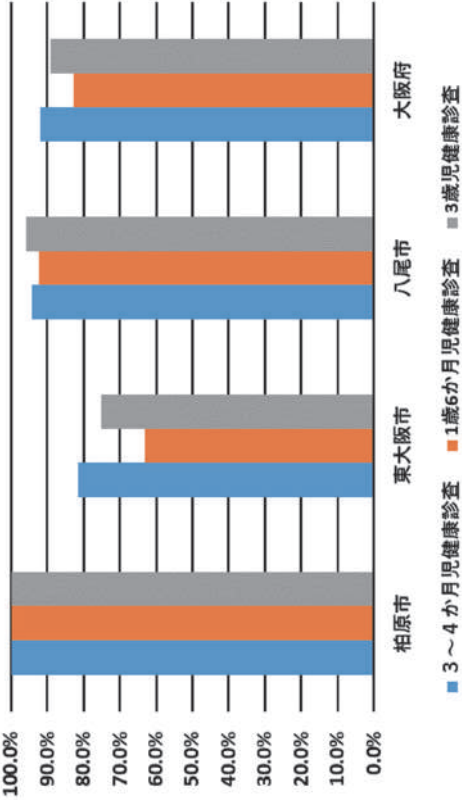
①妊娠届出数に対する妊娠11週以内の割合、乳幼児健康診査受診率



③乳幼児健康診査異常なし割合

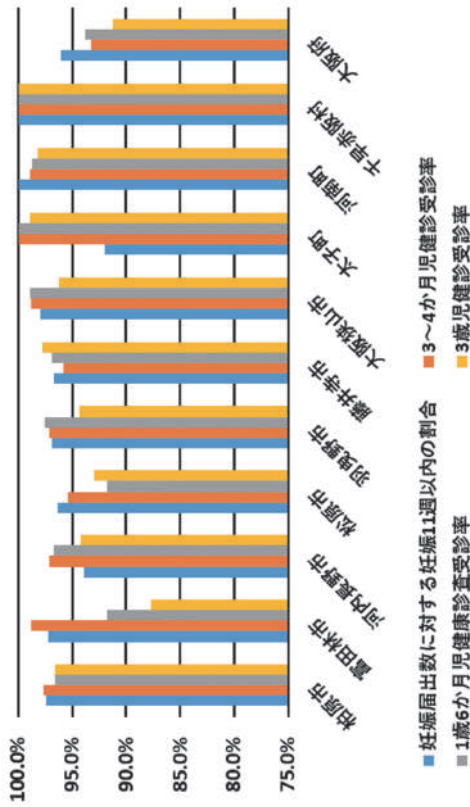


②乳幼児健康診査未受診者の現認できた割合

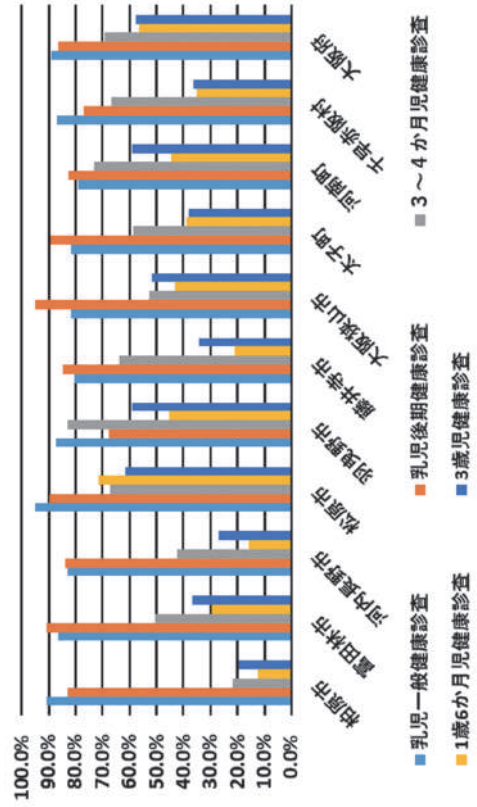


5) 南河内医療圏及び柏原市（藤井寺・富田林保健所管轄） 令和2年度（2020年度）実施分

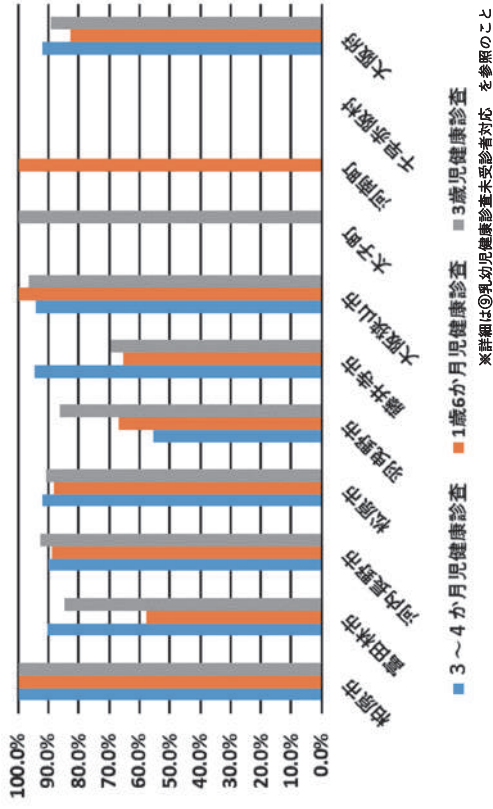
①妊娠届出数に対する妊娠11週以内の割合、乳幼児健康診査受診率



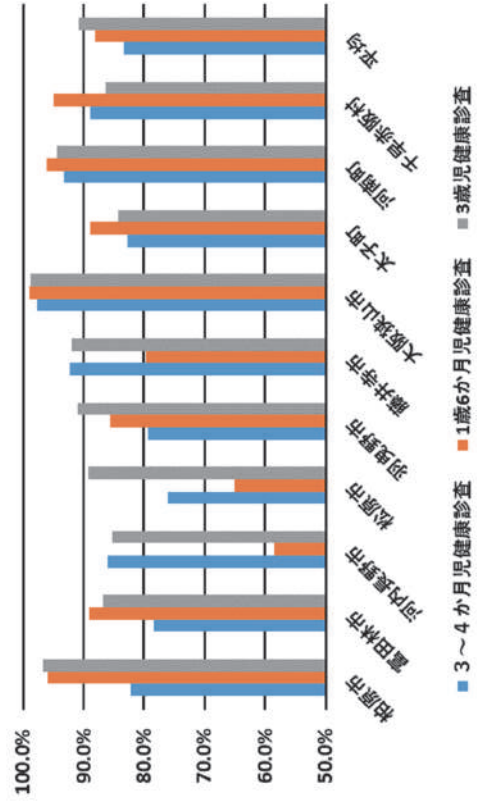
③乳幼児健康診査異常なし割合



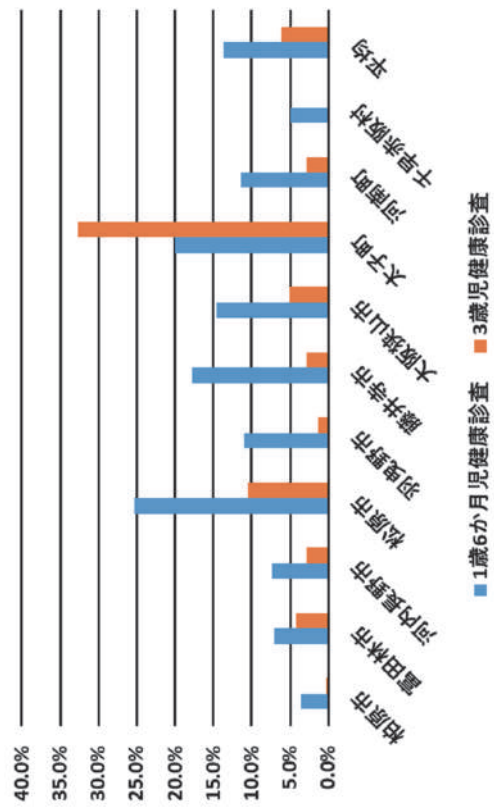
②乳幼児健康診査未受診者の現認できた割合



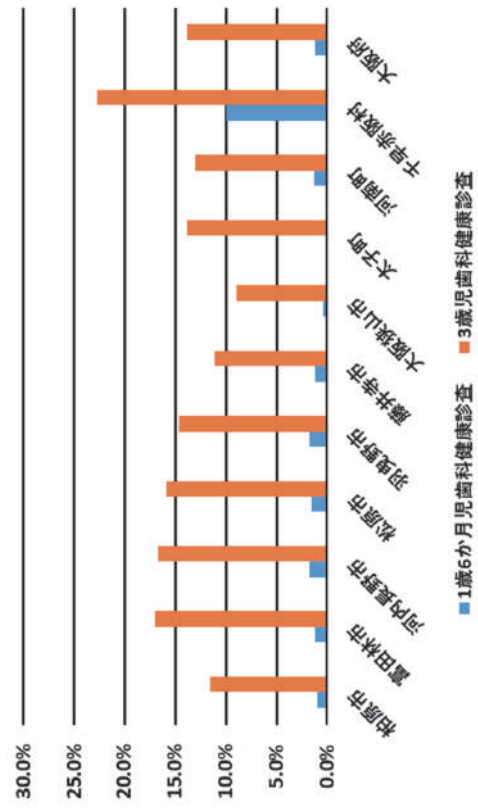
④乳幼児健康診査育児支援・養育問題等異常なし割合



⑤乳幼児健康診査発達障がい（疑い）による要観察割合

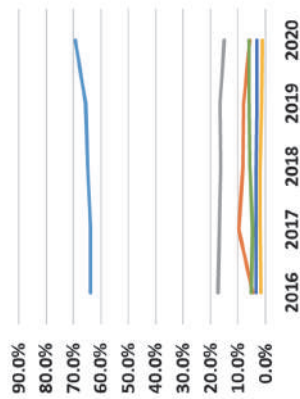


⑥歯科健康診査虫歯割合

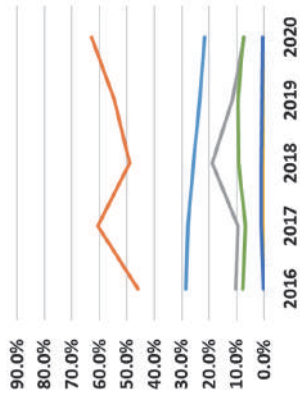


⑦異常なし・要指導・要観察・要医療・要精密・既医療の割合の推移（平成28年度（2016年度）～令和2年度（2020年度））

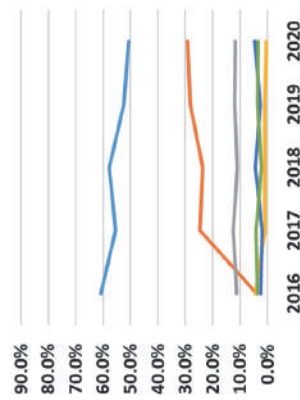
大阪府：3～4 か月健診



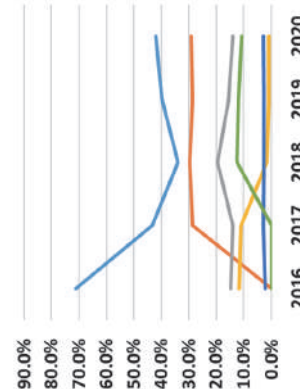
柏原市：3～4 か月健診



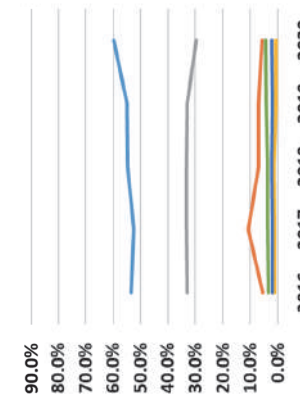
富田林市：3～4 か月健診



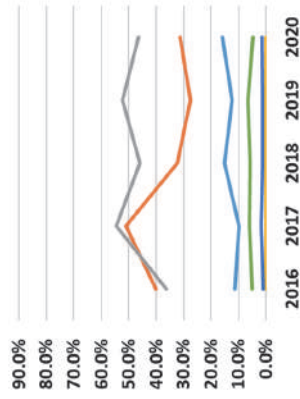
河内長野市：3～4 か月健診



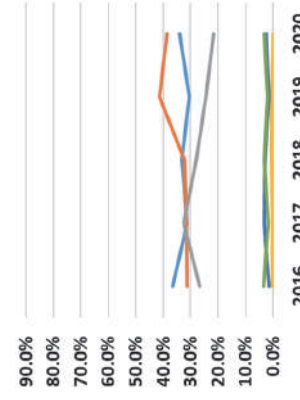
大阪府：1 歳 6 か月児健診



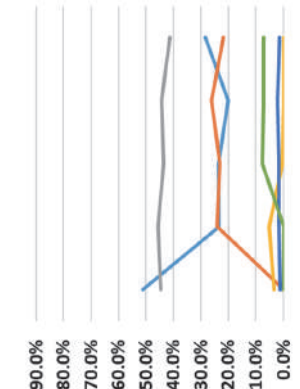
柏原市：1 歳 6 か月児健診



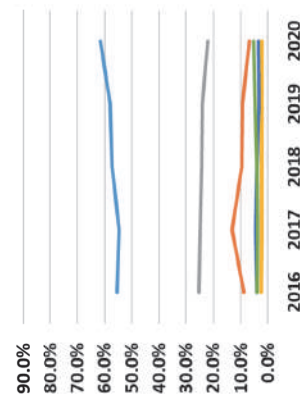
富田林市：1 歳 6 か月児健診



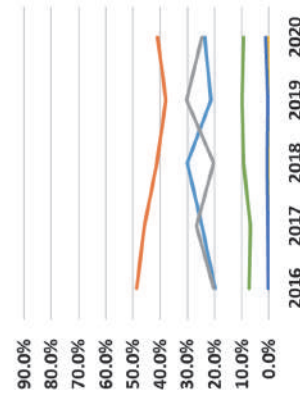
河内長野市：1 歳 6 か月児健診



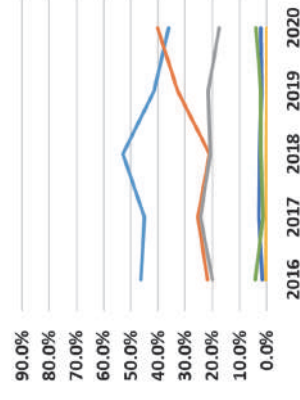
大阪府：3 歳児健診



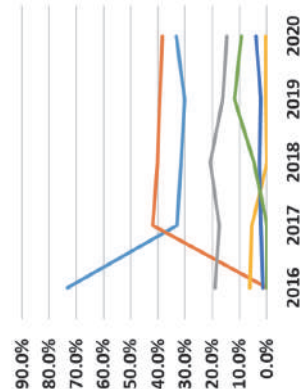
柏原市：3 歳児健診



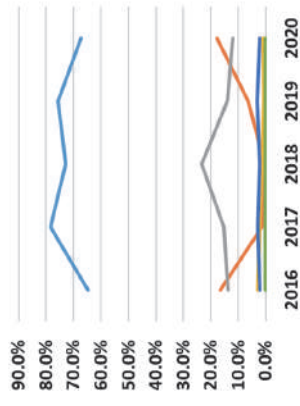
富田林市：3 歳児健診



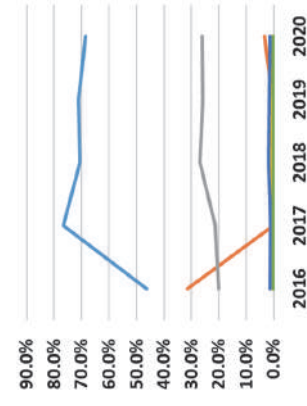
河内長野市：3 歳児健診



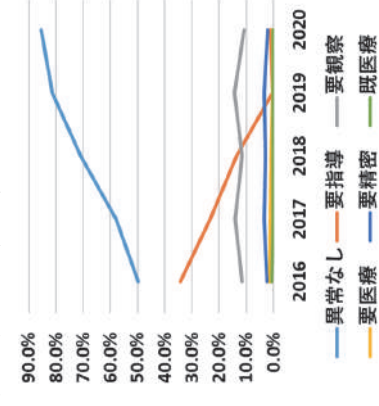
松原市：3～4 か月健診



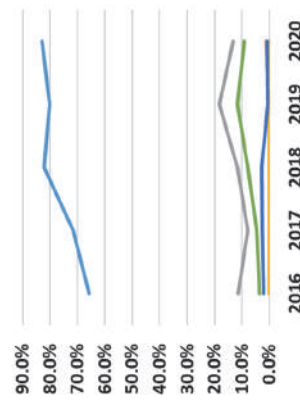
松原市：1 歳 6 か月健診



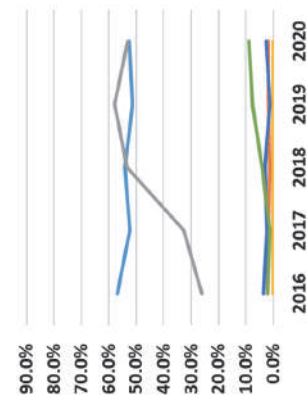
松原市：3 歳児健診



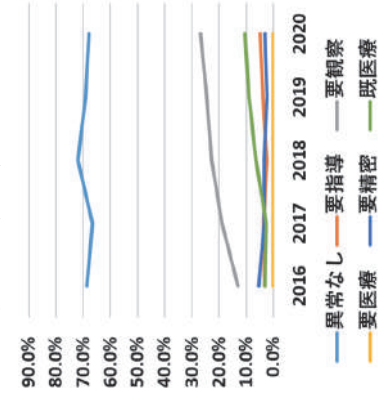
羽曳野市：3～4 か月健診



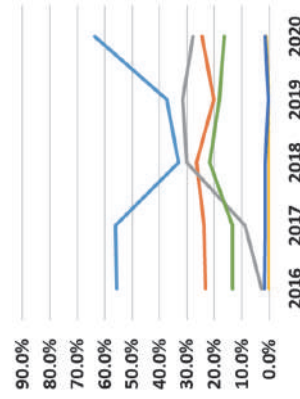
羽曳野市：1 歳 6 か月健診



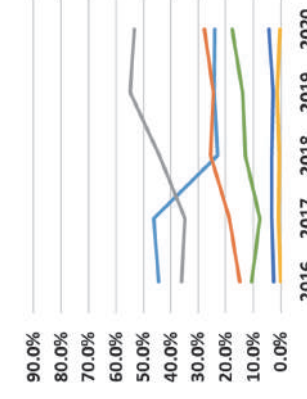
羽曳野市：3 歳児健診



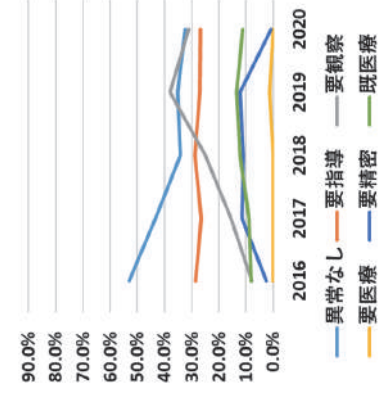
藤井寺市：3～4 か月健診



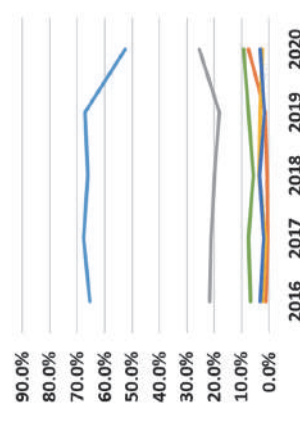
藤井寺市：1 歳 6 か月健診



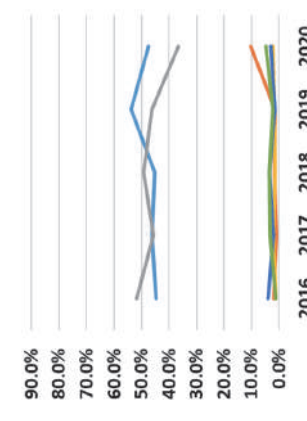
藤井寺市：3 歳児健診



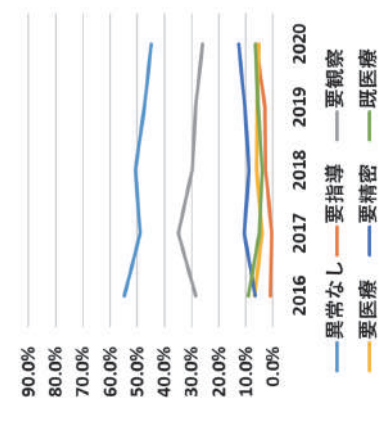
大阪狭山市：3～4 か月健診

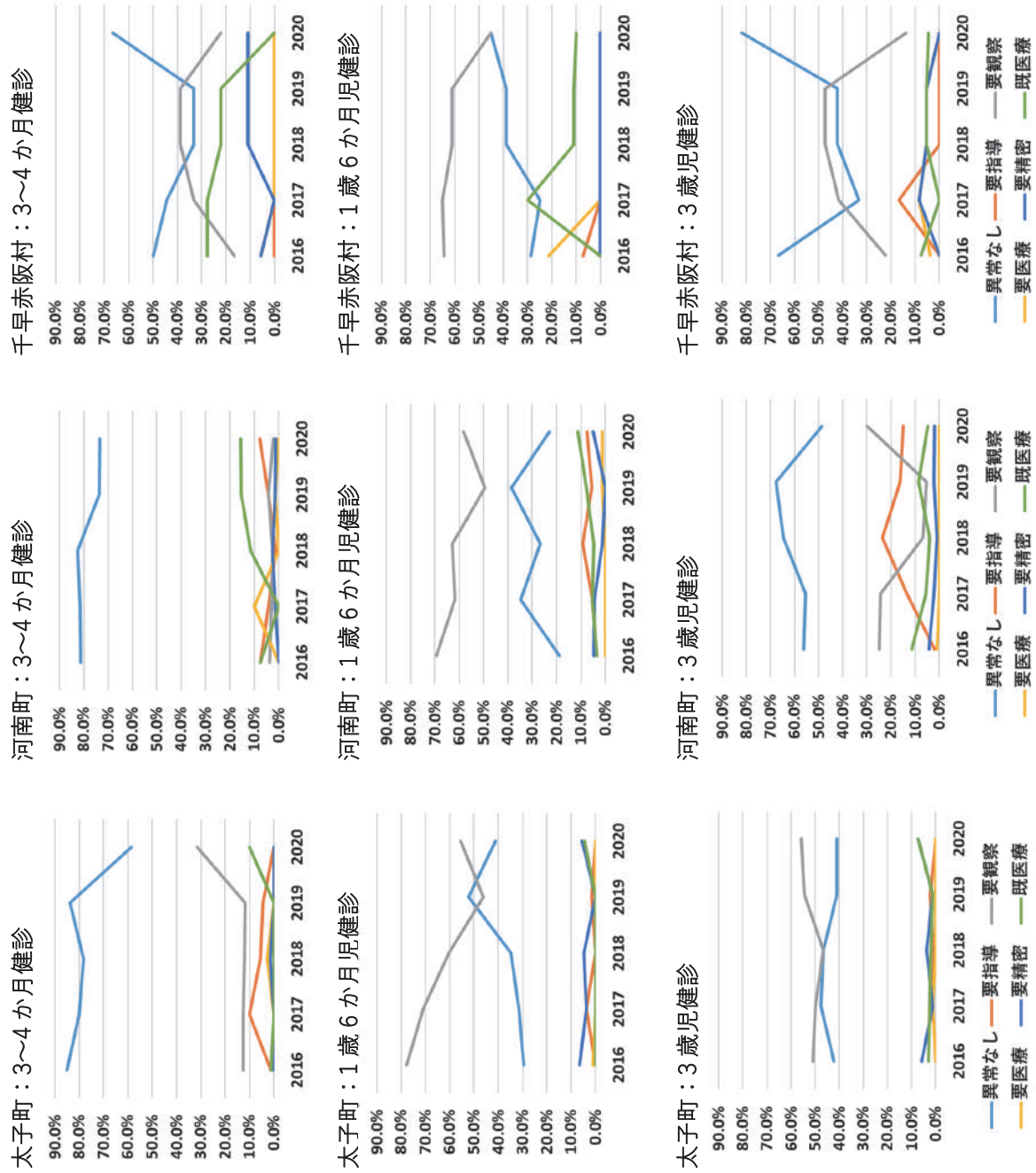


大阪狭山市：1 歳 6 か月健診

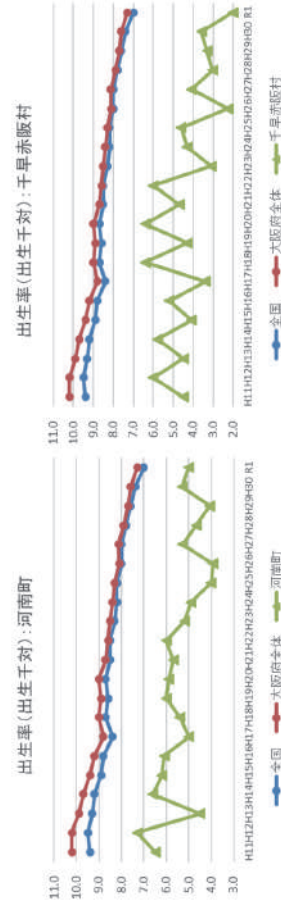
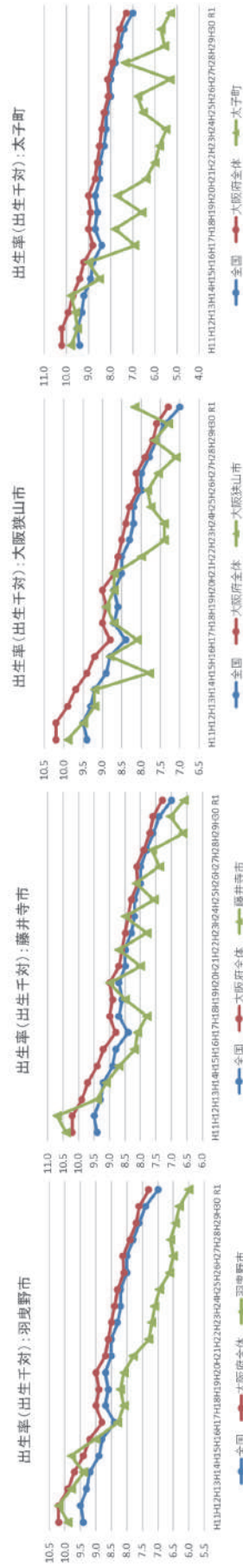
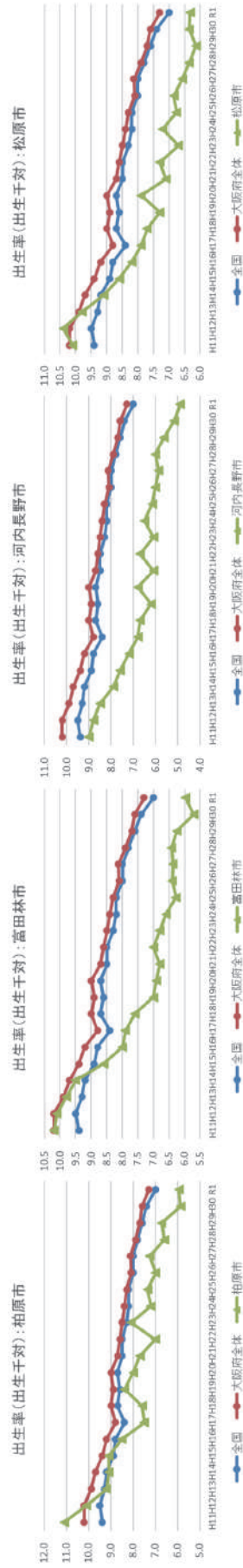


大阪狭山市：3 歳児健診





⑧出生率推移 (平成 11 年 (1999 年) ~令和元年 (2019 年))



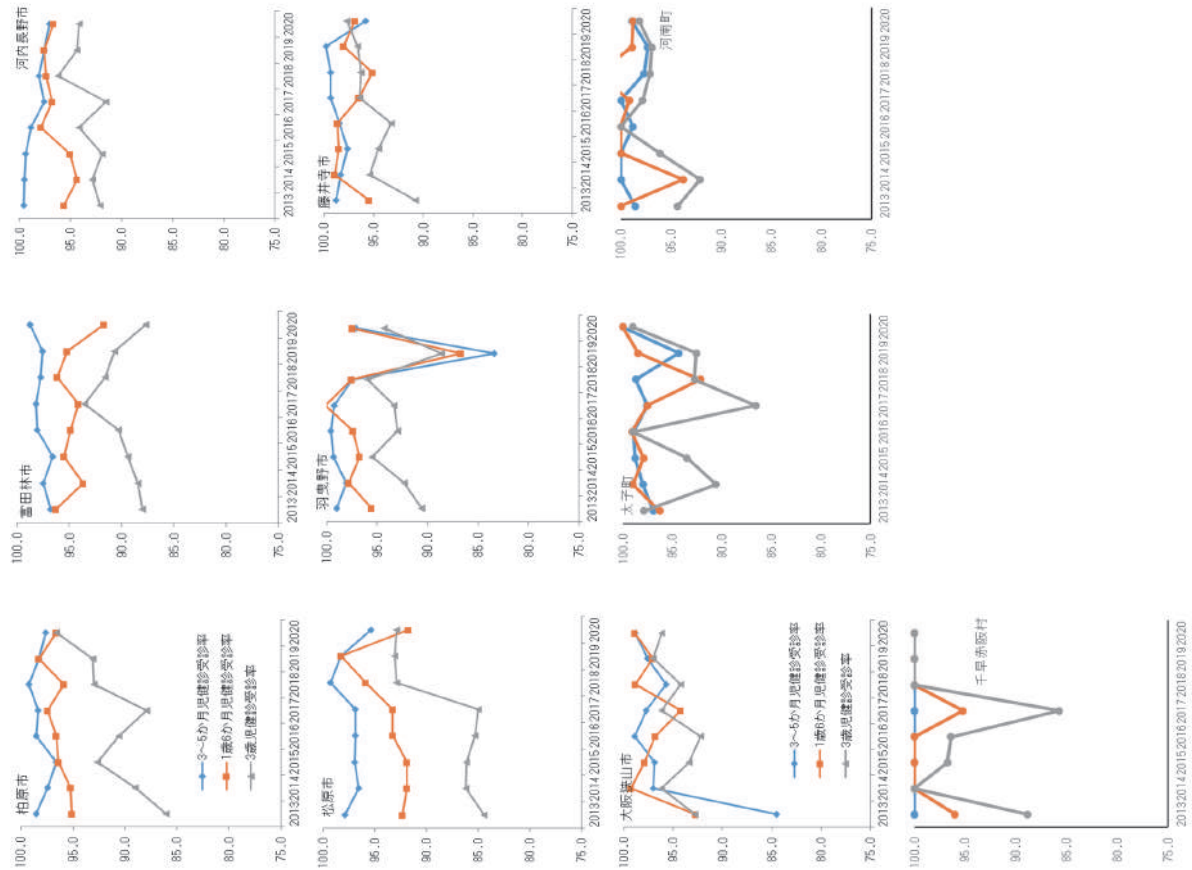
⑨乳幼児健康診査未受診者対応

3~4か月児 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
柏原市	13	13 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
富田林市	21	19 (90.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (9.5%)
河内長野市	10	9 (90.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)
松原市	37	34 (91.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (8.1%)
羽曳野市	27	15 (55.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (40.7%)
藤井寺市	18	17 (94.4%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)
大阪狭山市	51	48 (94.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (5.9%)
太子町	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
河南町	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
千早赤阪村	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
大阪府	2,932	2,696 (92.0%)	30 (1.0%)	83 (2.8%)	118 (4.0%)

1歳6か月児 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
柏原市	16	16 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
富田林市	33	19 (57.6%)	12 (36.4%)	1 (3.0%)	1 (3.0%)
河内長野市	18	16 (88.9%)	0 (0.0%)	2 (11.1%)	0 (0.0%)
松原市	66	58 (87.9%)	0 (0.0%)	2 (3.0%)	6 (9.1%)
羽曳野市	21	14 (66.7%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	4 (19.0%)
藤井寺市	23	15 (65.2%)	0 (0.0%)	4 (17.4%)	4 (17.4%)
大阪狭山市	81	81 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
太子町	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
河南町	1	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
千早赤阪村	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
大阪府	3,349	2,775 (82.9%)	152 (4.5%)	285 (8.5%)	132 (3.9%)

3歳児健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
柏原市	16	16 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
富田林市	71	60 (84.5%)	9 (12.7%)	2 (2.8%)	0 (0.0%)
河内長野市	40	37 (92.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (7.5%)
松原市	64	58 (90.6%)	0 (0.0%)	4 (6.3%)	2 (3.1%)
羽曳野市	50	43 (86.0%)	4 (8.0%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)
藤井寺市	23	16 (69.6%)	0 (0.0%)	3 (13.0%)	4 (17.4%)
大阪狭山市	115	111 (96.5%)	2 (1.7%)	0 (0.0%)	2 (1.7%)
太子町	1	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
河南町	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
千早赤阪村	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
大阪府	4,982	4,446 (89.2%)	181 (3.6%)	240 (4.8%)	109 (2.2%)

⑩乳幼児健康診査受診率の推移 (平成25年度 (2013年度) ~令和2年度 (2020年度))

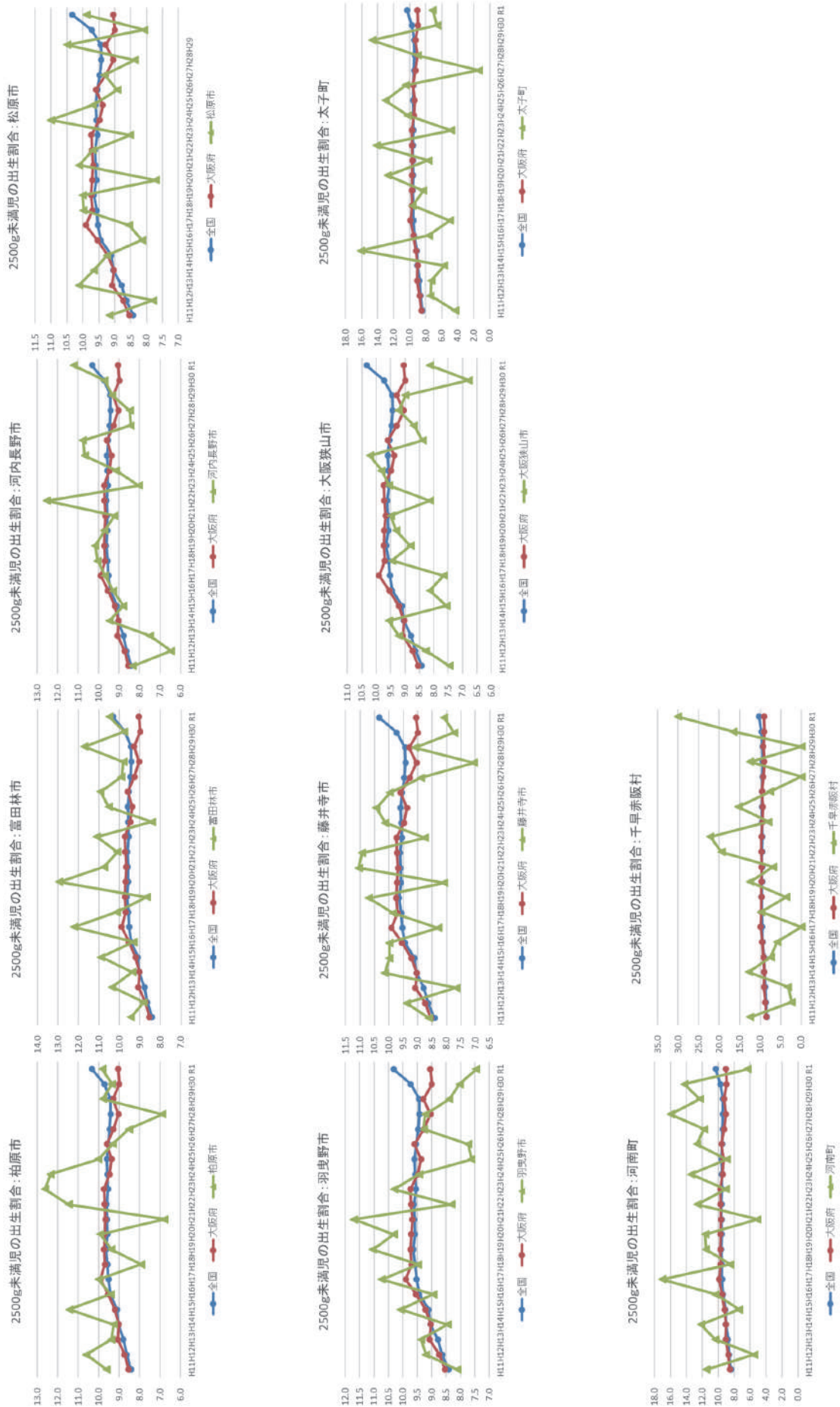


柏原市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	98.5	95.1	86.0
2014	97.4	95.2	89.0
2015	96.6	96.4	92.7
2016	98.5	96.6	90.6
2017	98.3	97.4	87.9
2018	99.3	95.9	92.9
2019	98.3	98.3	93.1
2020	97.6	96.6	96.6
松原市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	97.9	92.3	84.4
2014	96.6	91.9	86.2
2015	97.0	91.9	86.1
2016	96.9	93.3	85.3
2017	96.9	93.3	85.0
2018	99.3	95.9	92.9
2019	98.3	98.3	93.1
2020	95.4	91.8	92.9
大阪狭山市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	84.5	92.7	92.8
2014	97.0	99.3	96.2
2015	96.9	97.9	93.4
2016	98.9	96.8	92.2
2017	97.7	94.2	96.2
2018	95.7	98.8	94.2
2019	97.6	97.1	97.0
2020	98.8	98.9	96.2
千早赤阪村	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	100.0	96.0	88.9
2014	100.0	100.0	100.0
2015	100.0	100.0	96.8
2016	100.0	100.0	96.4
2017	100.0	95.2	85.7
2018	100.0	100.0	100.0
2019	100.0	100.0	100.0
2020	100.0	100.0	100.0

富田林市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	96.8	96.3	88.0
2014	97.5	93.7	88.5
2015	96.6	95.5	89.4
2016	98.1	94.9	90.3
2017	98.2	94.1	93.5
2018	97.8	96.2	91.6
2019	97.6	95.2	90.7
2020	98.8	91.7	87.7
羽曳野市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	99.0	95.6	90.6
2014	98.1	97.8	92.3
2015	99.3	96.7	95.5
2016	99.6	97.4	93.0
2017	99.3	100.1	93.3
2018	97.5	97.5	95.9
2019	83.4	86.7	88.6
2020	97.1	97.5	94.3
太子町	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	96.9	96.3	97.9
2014	98.0	99.0	90.6
2015	98.8	97.9	93.5
2016	98.9	99.1	99.0
2017	97.6	97.5	86.6
2018	98.7	92.2	92.8
2019	94.4	98.5	92.6
2020	100.0	100.0	99.0

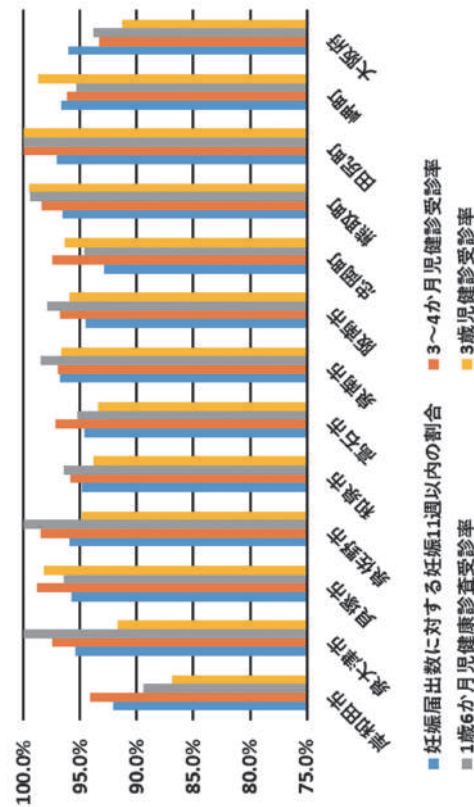
河内長野市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	99.6	95.6	92.1
2014	99.5	94.4	92.9
2015	99.4	95.1	91.9
2016	98.9	97.9	94.2
2017	97.6	96.8	91.5
2018	98.1	97.4	96.2
2019	97.6	97.6	94.4
2020	97.1	96.7	94.2
藤井寺市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	98.8	95.5	90.8
2014	98.3	98.9	95.4
2015	97.6	98.5	94.5
2016	98.4	98.6	93.2
2017	99.3	96.5	96.4
2018	99.3	95.1	96.3
2019	99.8	98.0	96.6
2020	95.8	96.9	97.7
河南町	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	98.6	100.0	94.4
2014	100.0	93.8	92.1
2015	100.0	100.0	96.1
2016	98.8	100.0	100.0
2017	100.0	99.1	97.8
2018	97.7	102.4	97.1
2019	97.3	98.9	96.9
2020	98.9	98.8	98.2

⑩低出生体重児の推移（平成11年（1999年）～令和元年（2019年））

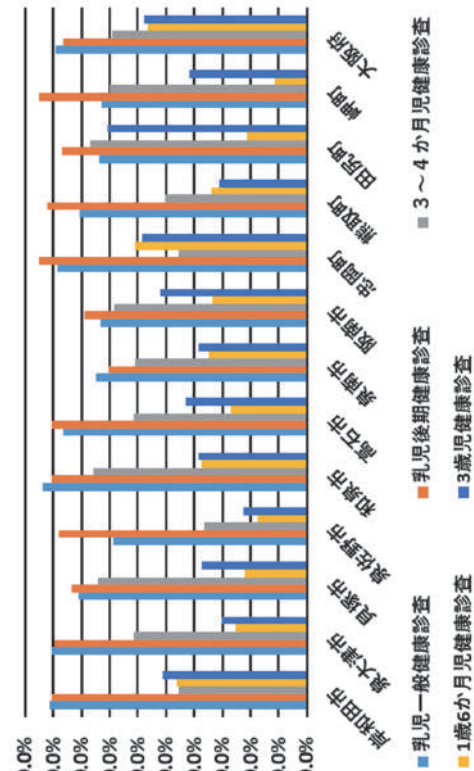


令和2年度(2020年度)実施分

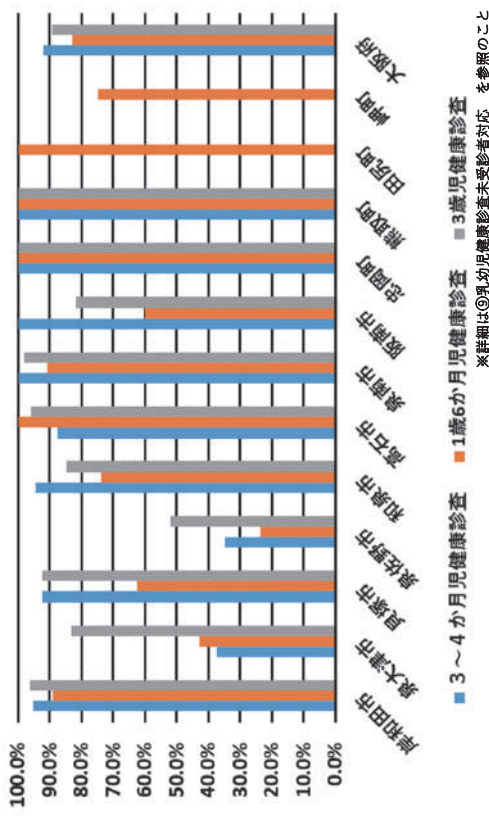
①妊娠届出数に対する妊娠11週以内の割合、乳幼児健康診査受診率



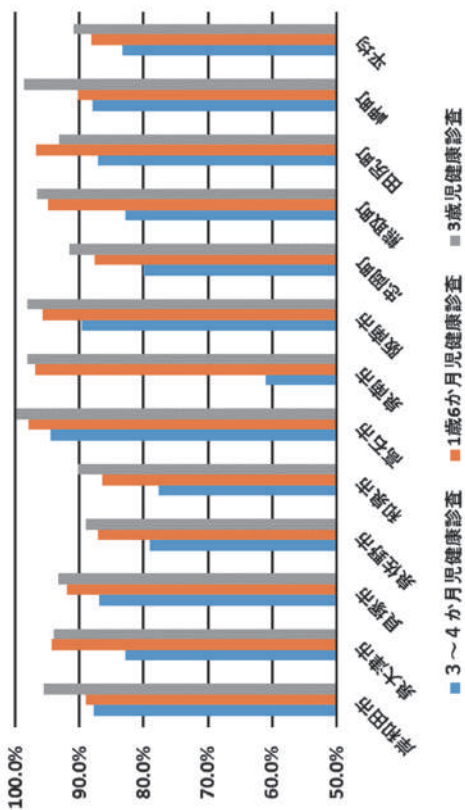
③乳幼児健康診査異常なし割合



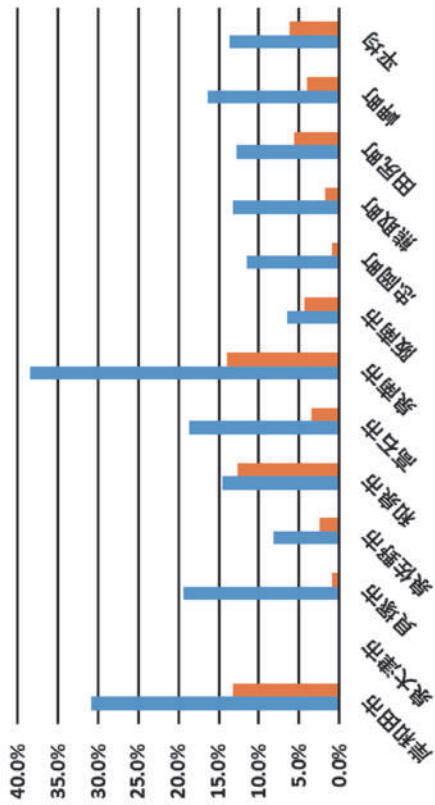
②乳幼児健康診査未受診者の現認できた割合



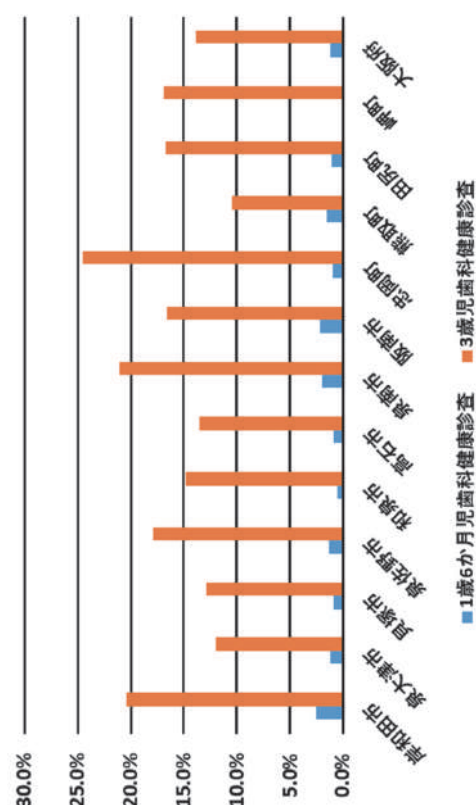
④乳幼児健康診査育児支援・養育問題等異常なし割合



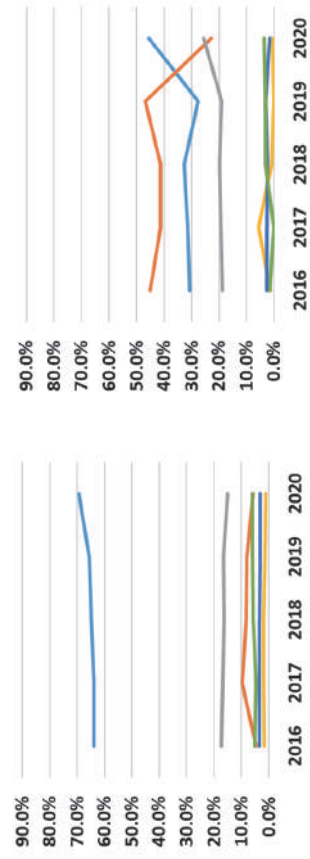
⑤乳幼児健康診査発達障がい（疑い）による要観察割合



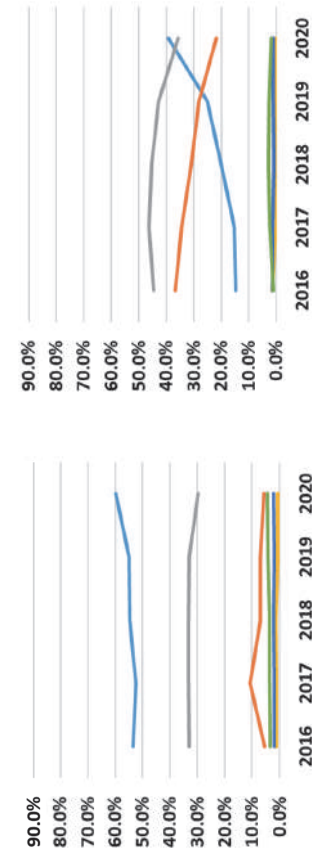
⑥歯科健康診査虫歯割合



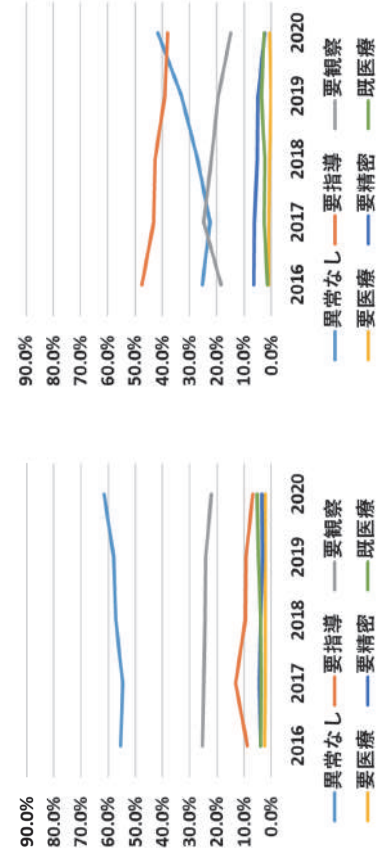
⑦異常なし・要指導・要観察・要医療・要精密・既医療の割合の推移
(平成28年度(2016年度)～令和2年度(2020年度))
大阪府：3～4 か月健診
岸和田市：3～4 か月健診



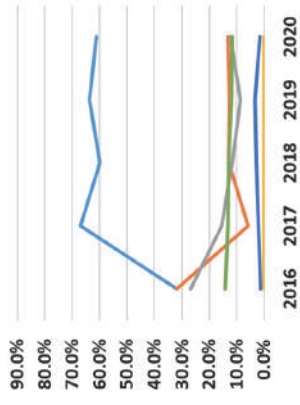
大阪府：1歳6か月児健診



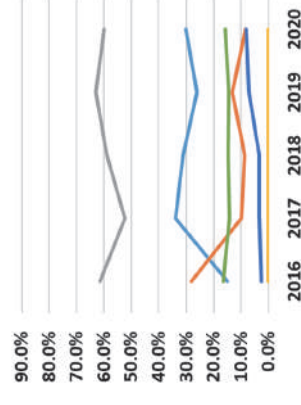
大阪府：3歳児健診



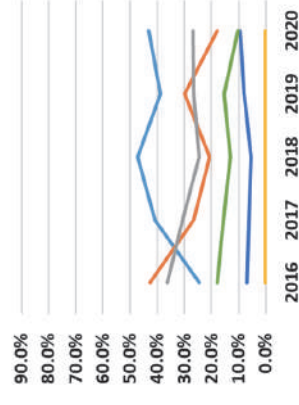
泉大津市：3～4 か月健診



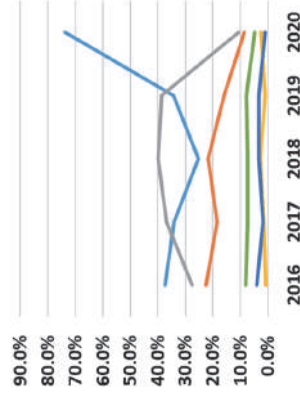
泉大津市：1歳6か月児健診



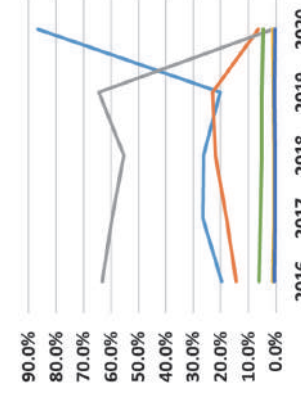
泉大津市：3歳児健診



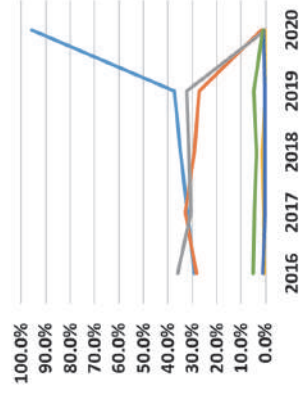
貝塚市：3～4 か月健診



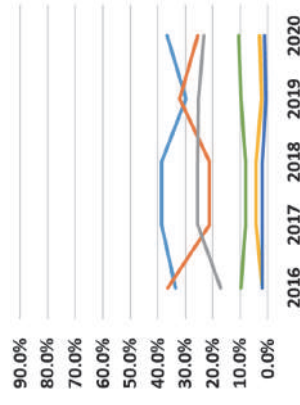
貝塚市：1歳6か月児健診



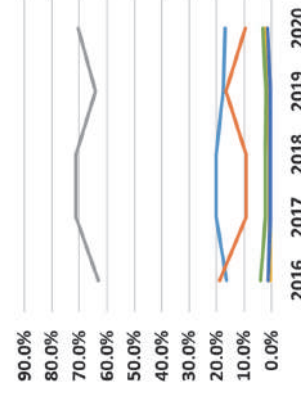
貝塚市：3歳児健診



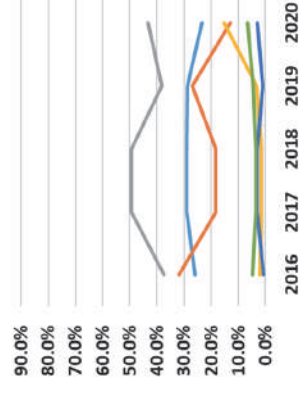
泉佐野市：3～4 か月健診



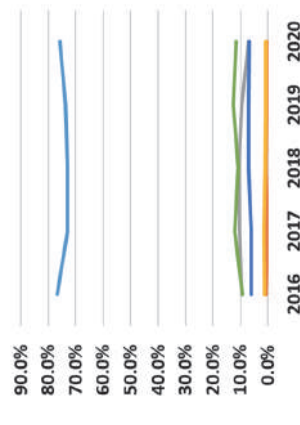
泉佐野市：1歳6か月児健診



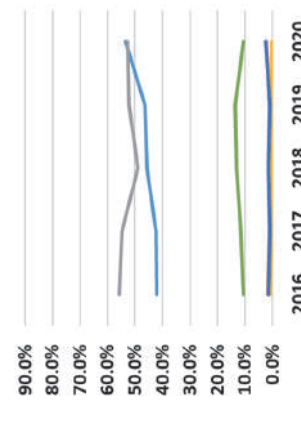
泉佐野市：3歳児健診



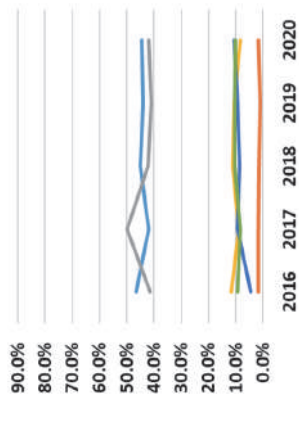
和泉市：3～4 か月健診



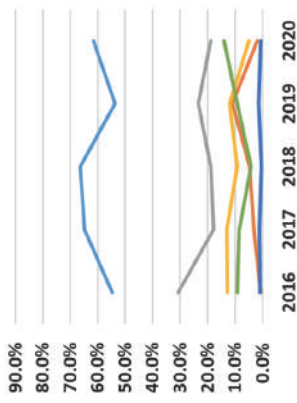
和泉市：1歳6か月児健診



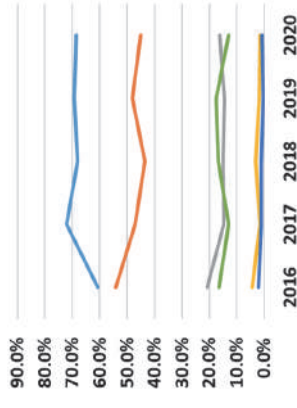
和泉市：3歳児健診



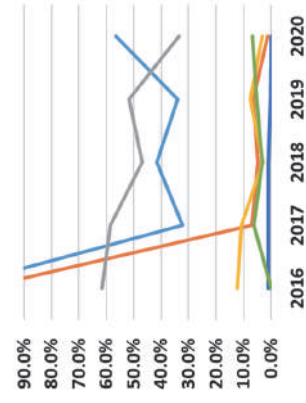
泉南市：3～4か月健診



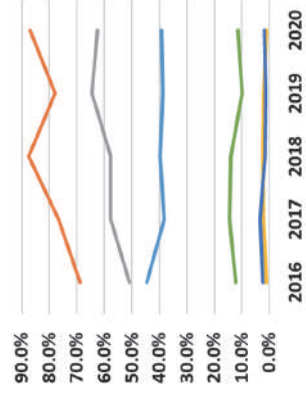
忠岡町：3～4か月健診



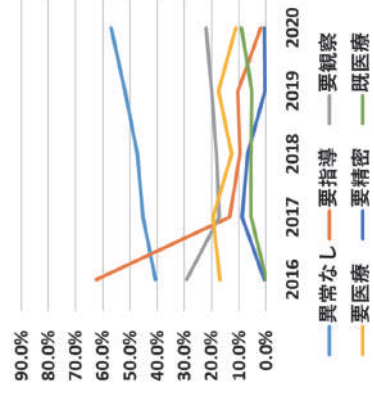
泉南市：1歳6か月児健診



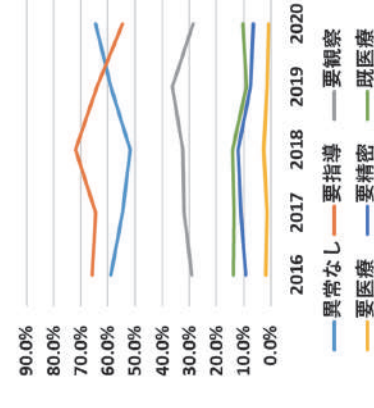
忠岡町：1歳6か月児健診



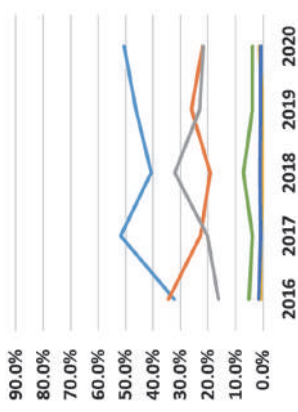
泉南市：3歳児健診



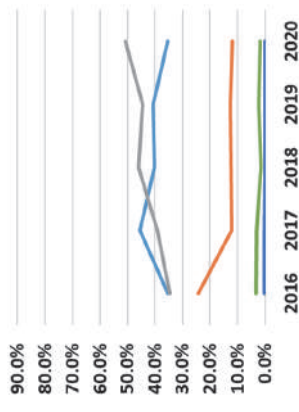
町田 3歳児健診



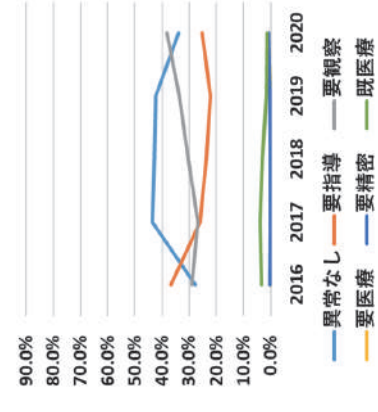
熊取町：3～4 か月健診



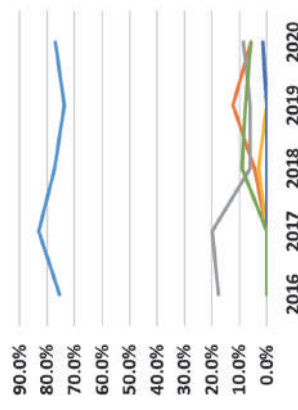
熊取町：1 歳 6 か月児健診



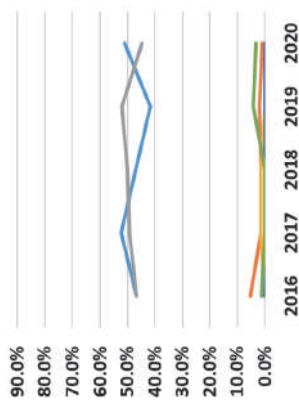
熊取町：3 歳児健診



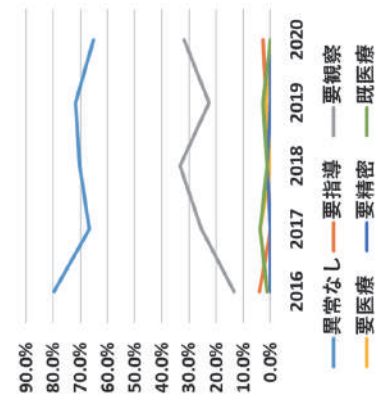
田尻町：3～4 か月健診



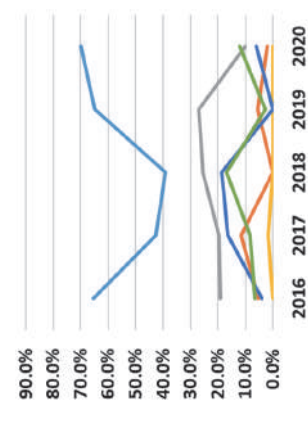
田尻町：1 歳 6 か月児健診



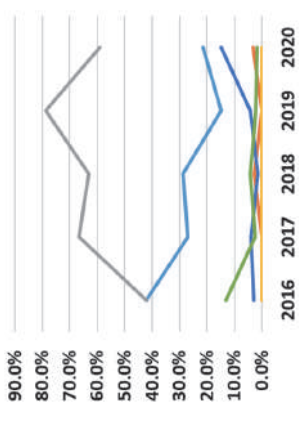
田尻町：3 歳児健診



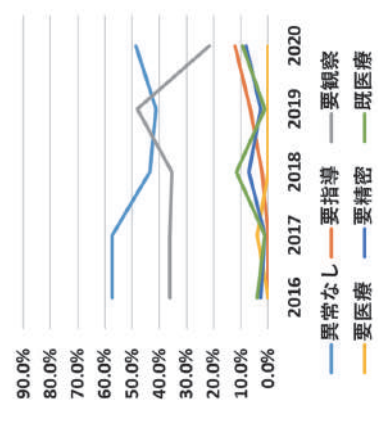
岬町：3～4 か月健診



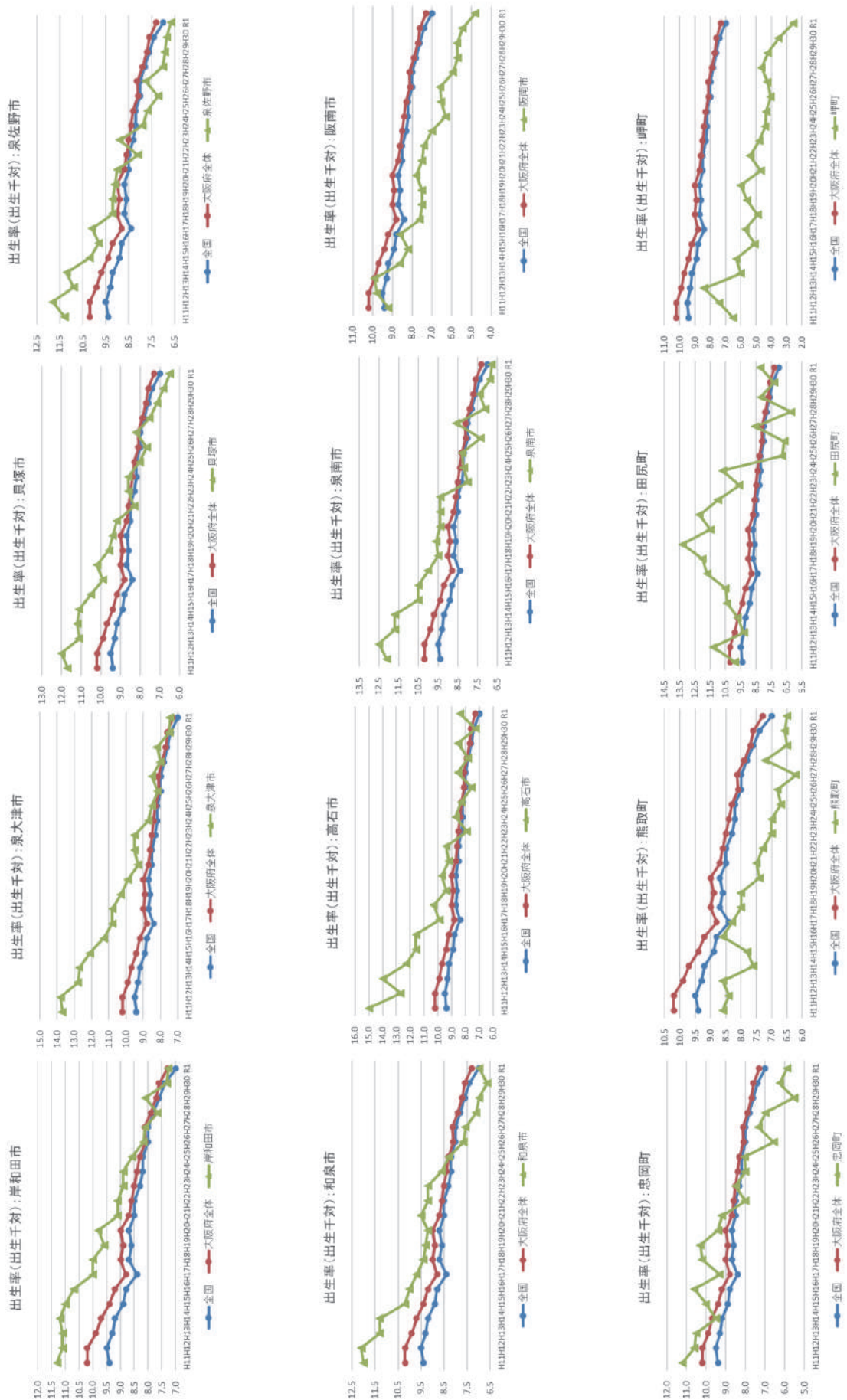
岬町：1 歳 6 か月児健診



岬町：3 歳児健診



⑧出生率推移（平成11年（1999年）～令和元年（2019年））



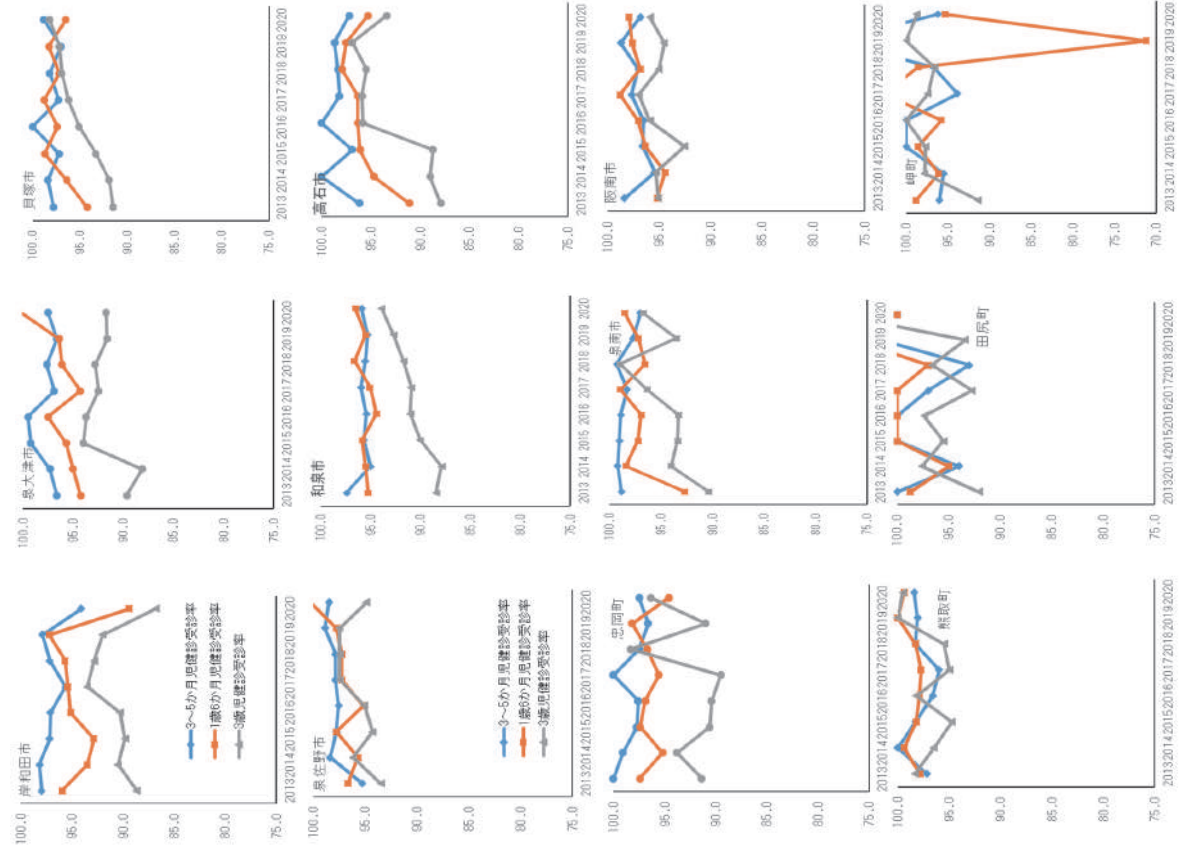
⑨乳幼児健康診査未受診者対応

3~4か月児 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
岸和田市	141	134 (95.0%)	1 (0.7%)	3 (2.1%)	3 (2.1%)
泉大津市	24	9 (37.5%)	5 (20.8%)	0 (0.0%)	8 (33.3%)
貝塚市	13	12 (92.3%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)
泉佐野市	20	7 (35.0%)	0 (0.0%)	2 (10.0%)	11 (55.0%)
和泉市	54	51 (94.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (3.7%)
高石市	8	7 (87.5%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
泉南市	12	12 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
阪南市	9	9 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
忠岡町	3	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
熊取町	4	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
田尻町	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
岬町	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
大阪府	2,932	2,696 (92.0%)	30 (1.0%)	83 (2.8%)	118 (4.0%)

1歳6か月児 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
岸和田市	137	122 (89.1%)	8 (5.8%)	3 (2.2%)	4 (2.9%)
泉大津市	14	6 (42.9%)	3 (21.4%)	0 (0.0%)	2 (14.3%)
貝塚市	32	20 (62.5%)	4 (12.5%)	8 (25.0%)	0 (0.0%)
泉佐野市	17	4 (23.5%)	0 (0.0%)	5 (29.4%)	8 (47.1%)
和泉市	53	39 (73.6%)	1 (1.9%)	4 (7.5%)	9 (17.0%)
高石市	8	8 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
泉南市	22	20 (90.9%)	0 (0.0%)	2 (9.1%)	0 (0.0%)
阪南市	5	3 (60.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)
忠岡町	6	6 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
熊取町	7	7 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
田尻町	1	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
岬町	4	3 (75.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)
大阪府	3,349	2,775 (82.9%)	152 (4.5%)	285 (8.5%)	132 (3.9%)

3歳児健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
岸和田市	209	201 (96.2%)	2 (1.0%)	4 (1.9%)	2 (1.0%)
泉大津市	59	49 (83.1%)	5 (8.5%)	0 (0.0%)	2 (3.4%)
貝塚市	53	49 (92.5%)	1 (1.9%)	3 (5.7%)	0 (0.0%)
泉佐野市	25	13 (52.0%)	5 (20.0%)	4 (16.0%)	3 (12.0%)
和泉市	97	82 (84.5%)	1 (1.0%)	3 (3.1%)	11 (11.3%)
高石市	25	24 (96.0%)	1 (4.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
泉南市	49	48 (98.0%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)
阪南市	11	9 (81.8%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)
忠岡町	4	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
熊取町	9	9 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
田尻町	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
岬町	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
大阪府	4,982	4,446 (89.2%)	181 (3.6%)	240 (4.8%)	109 (2.2%)

⑩乳幼児健康診査受診率の推移 (平成25年度 (2013年度) ~令和2年度 (2020年度))

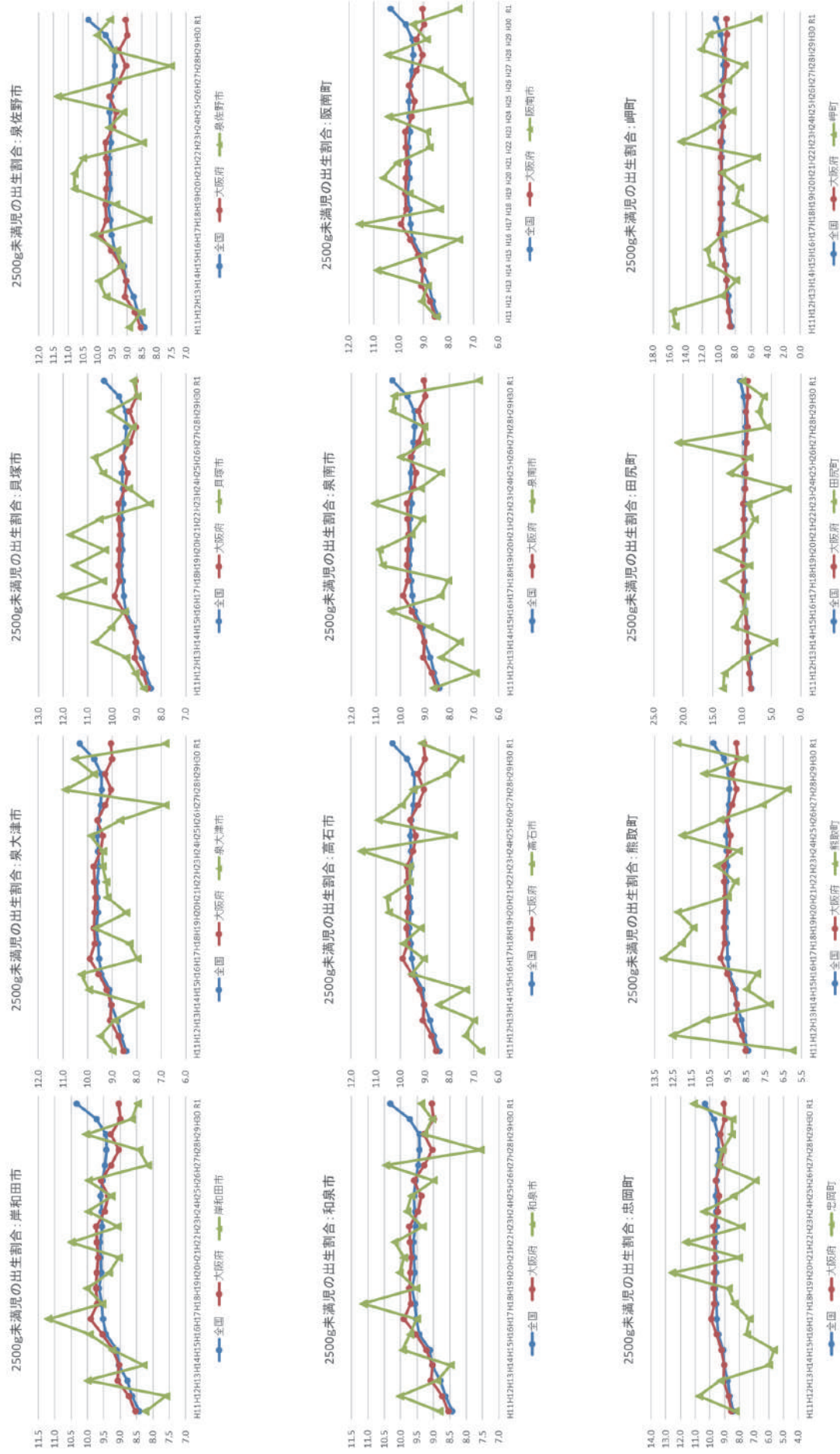


貝塚市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	97.8	94.2	91.5
2014	98.4	96.4	91.9
2015	97.2	98.7	93.3
2016	100.0	97.4	95.1
2017	97.2	98.8	96.2
2018	98.2	97.2	96.9
2019	97.0	98.3	97.2
2020	98.8	96.5	98.2
高石市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	96.2	91.1	87.9
2014	100.0	94.7	89.0
2015	96.9	96.1	88.7
2016	100.0	96.3	95.8
2017	98.2	96.3	95.9
2018	98.3	97.9	95.5
2019	98.7	97.5	96.9
2020	97.2	95.3	93.4
忠岡町	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	100.0	97.4	91.4
2014	99.1	95.2	93.8
2015	97.7	97.4	90.6
2016	97.6	96.9	90.4
2017	100.0	95.6	89.5
2018	97.5	96.7	98.3
2019	96.6	98.2	91.0
2020	97.5	94.6	96.4
岬町	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	96.0	98.8	91.4
2014	95.5	96.1	97.8
2015	100.0	98.6	97.7
2016	100.0	95.8	100.0
2017	93.8	102.6	97.4
2018	96.7	98.6	96.6
2019	108.8	71.2	100.0
2020	96.2	95.3	98.7

泉大津市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	96.6	94.3	89.6
2014	97.3	95.0	88.1
2015	99.2	95.7	94.0
2016	99.5	97.5	93.7
2017	96.9	94.3	92.5
2018	97.6	96.1	92.8
2019	96.6	96.4	91.6
2020	97.5	100.2	91.7
和泉市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	97.4	95.3	88.4
2014	95.0	95.5	87.9
2015	95.7	95.8	90.0
2016	95.4	94.4	91.0
2017	96.0	95.1	90.9
2018	95.5	96.6	91.7
2019	95.3	95.5	92.7
2020	95.9	96.5	93.9
阪南市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	98.4	95.2	95.1
2014	95.4	94.4	95.3
2015	96.6	96.3	92.5
2016	96.5	97.0	95.9
2017	97.7	98.8	97.0
2018	97.0	96.8	95.0
2019	98.7	97.6	94.5
2020	96.8	97.9	95.9
田尻町	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	100.0	98.7	92.0
2014	94.0	95.0	97.6
2015	100.0	100.0	95.5
2016	100.0	100.0	97.4
2017	97.0	100.0	92.7
2018	93.0	97.0	96.6
2019	101.6	104.3	93.4
2020	100.0	100.0	105.9

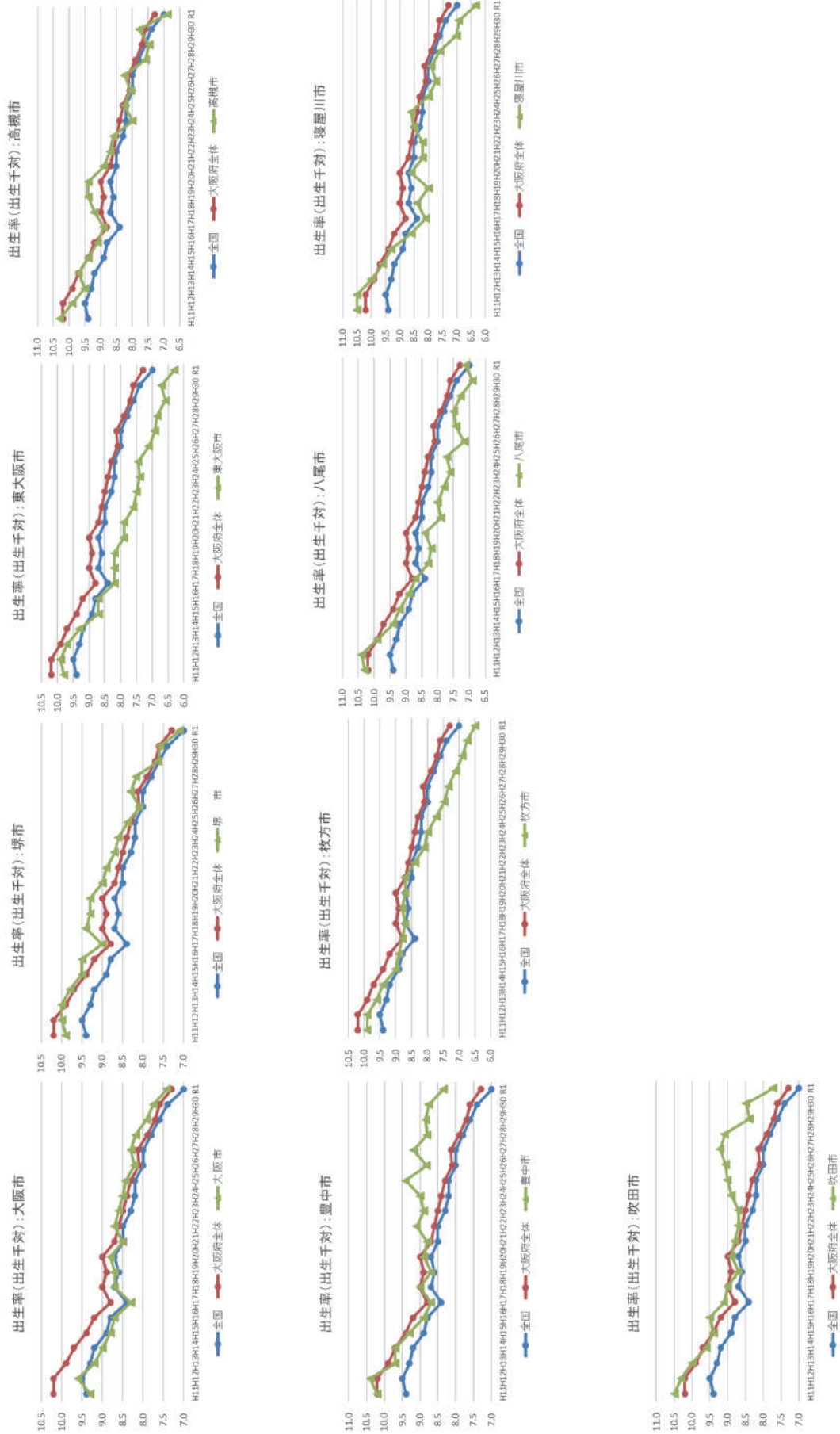
岸和田市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	97.9	96.0	88.7
2014	98.2	93.5	90.5
2015	97.2	92.8	89.8
2016	97.1	95.1	90.3
2017	95.6	95.4	93.5
2018	97.2	95.7	92.8
2019	97.9	97.2	92.0
2020	94.1	89.4	86.8
泉佐野市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	95.3	96.7	93.5
2014	98.4	95.7	96.2
2015	97.8	97.8	94.3
2016	97.6	95.2	95.1
2017	97.9	97.3	97.5
2018	97.9	97.3	97.5
2019	98.9	97.8	97.5
2020	98.5	100.3	94.9
泉南市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	98.8	92.7	90.4
2014	99.2	98.4	94.0
2015	99.0	97.2	93.4
2016	98.9	96.9	93.3
2017	98.3	98.9	96.3
2018	99.3	96.5	99.0
2019	97.7	97.2	93.5
2020	97.0	98.5	96.7
熊取町	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	97.2	97.8	98.4
2014	100.0	99.4	96.5
2015	98.3	98.2	94.8
2016	96.6	97.9	98.2
2017	96.0	97.7	95.0
2018	98.3	98.3	95.5
2019	98.1	100.0	100.0
2020	98.4	99.4	99.5

⑪低出生体重児の推移（平成11年（1999年）～令和元年（2019年））



7) 政令市・中核政令市 令和2年度(2020年度)実施分

①出生率推移(平成11年(1999年)～令和元年(2019年))



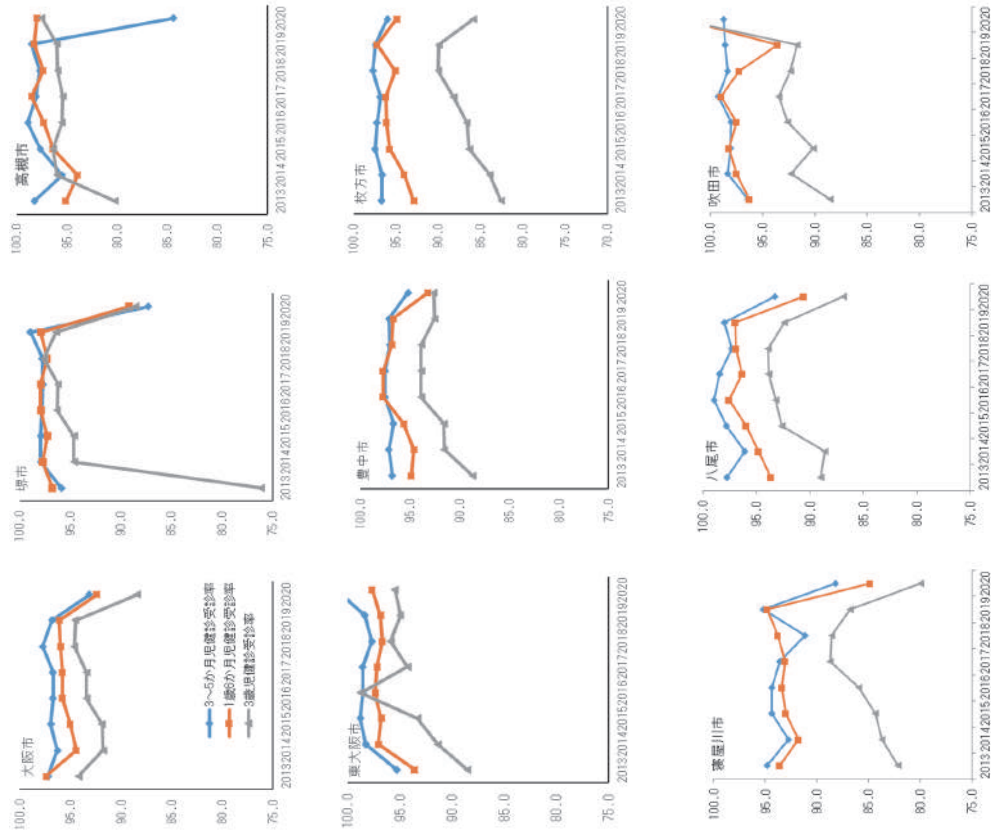
②乳幼児健康診査未受診者対応

3-4か月児 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
大阪市	912	824 (90.4%)	6 (0.7%)	51 (5.6%)	31 (3.4%)
堺市	227	227 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
東大阪市	54	44 (81.5%)	4 (7.4%)	6 (11.1%)	0 (0.0%)
高槻市	59	55 (93.2%)	0 (0.0%)	4 (6.8%)	0 (0.0%)
豊中市	99	96 (97.0%)	0 (0.0%)	2 (2.0%)	1 (1.0%)
枚方市	122	114 (93.4%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	7 (5.7%)
八尾市	142	134 (94.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (5.6%)
寝屋川市	169	146 (86.4%)	5 (3.0%)	3 (1.8%)	15 (8.9%)
吹田市	176	168 (95.5%)	0 (0.0%)	4 (2.3%)	4 (2.3%)
大阪府	2,932	2,696 (92.0%)	30 (1.0%)	83 (2.8%)	118 (4.0%)

1歳6か月児 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
大阪市	844	648 (76.8%)	15 (1.8%)	161 (19.1%)	20 (2.4%)
堺市	207	207 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
東大阪市	119	75 (63.0%)	16 (13.4%)	28 (23.5%)	0 (0.0%)
高槻市	110	106 (96.4%)	0 (0.0%)	4 (3.6%)	0 (0.0%)
豊中市	140	125 (89.3%)	0 (0.0%)	13 (9.3%)	2 (1.4%)
枚方市	206	186 (90.3%)	10 (4.9%)	0 (0.0%)	10 (4.9%)
八尾市	206	190 (92.2%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	14 (6.8%)
寝屋川市	151	103 (68.2%)	35 (23.2%)	3 (2.0%)	10 (6.6%)
吹田市	238	211 (88.7%)	0 (0.0%)	12 (5.0%)	15 (6.3%)
大阪府	3,349	2,775 (82.9%)	152 (4.5%)	285 (8.5%)	132 (3.9%)

3歳児健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
大阪市	943	757 (80.3%)	30 (3.2%)	138 (14.6%)	18 (1.9%)
堺市	312	311 (99.7%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
東大阪市	181	136 (75.1%)	22 (12.2%)	22 (12.2%)	1 (0.6%)
高槻市	147	142 (96.6%)	0 (0.0%)	5 (3.4%)	0 (0.0%)
豊中市	200	191 (95.5%)	1 (0.5%)	6 (3.0%)	3 (1.5%)
枚方市	483	455 (94.2%)	14 (2.9%)	0 (0.0%)	14 (2.9%)
八尾市	294	282 (95.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (4.1%)
寝屋川市	209	178 (85.2%)	26 (12.4%)	2 (1.0%)	3 (1.4%)
吹田市	423	399 (94.3%)	0 (0.0%)	18 (4.3%)	5 (1.2%)
大阪府	4,982	4,446 (89.2%)	181 (3.6%)	240 (4.8%)	109 (2.2%)

③乳幼児健康診査受診率の推移 (平成25年度 (2013年度) ～令和2年度 (2019年度))



高槻市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	98.2	95.1	90.2
2014	95.5	93.9	96.0
2015	97.7	96.4	96.4
2016	98.9	97.3	95.5
2017	98.1	98.5	95.4
2018	97.7	97.4	95.9
2019	98.5	98.3	96.0
2020	84.4	98.0	97.5

枚方市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	96.7	92.9	82.6
2014	96.6	94.0	83.9
2015	97.4	95.7	86.3
2016	97.2	96.1	86.6
2017	96.8	96.2	88.2
2018	97.7	95.1	90.0
2019	97.4	97.2	89.9
2020	96.0	94.9	85.8

吹田市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	96.4	96.3	88.6
2014	98.3	97.5	92.3
2015	98.1	98.2	90.2
2016	98.0	97.5	92.6
2017	99.2	99.0	93.5
2018	98.3	97.2	92.4
2019	98.6	93.6	91.7
2020	98.7	102.7	103.0

堺市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	95.9	96.8	76.2
2014	97.9	97.7	94.6
2015	97.9	97.2	94.6
2016	97.8	97.9	96.3
2017	97.7	97.9	96.2
2018	97.7	97.3	97.5
2019	98.9	97.9	96.4
2020	87.3	89.2	88.5

豊中市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	96.8	94.9	88.7
2014	97.1	94.6	91.6
2015	96.7	95.7	91.6
2016	97.5	97.7	93.9
2017	97.5	97.7	93.9
2018	97.0	96.8	93.9
2019	97.1	96.7	92.5
2020	95.2	93.2	92.6

寝屋川市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	94.8	93.6	82.2
2014	92.8	91.8	83.7
2015	94.4	93.0	84.4
2016	94.4	93.4	86.0
2017	93.6	93.1	88.7
2018	91.2	93.8	88.6
2019	95.2	94.8	86.8
2020	88.2	84.9	80.0

大阪市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	97.2	97.4	94.2
2014	96.3	94.4	91.8
2015	97.0	95.0	91.9
2016	96.7	95.8	93.4
2017	96.7	95.8	93.4
2018	97.7	96.0	94.6
2019	96.8	96.1	94.5
2020	93.1	92.4	88.4

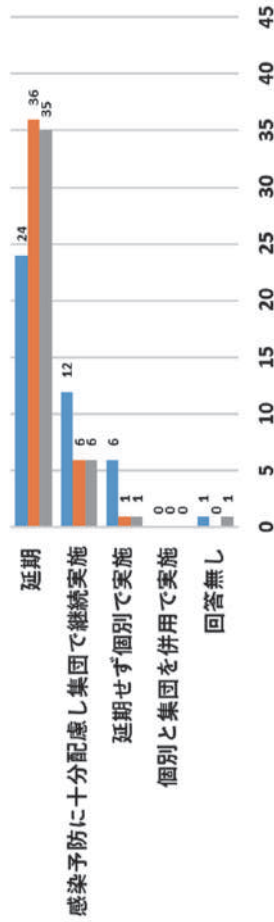
東大阪市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	95.3	93.6	88.6
2014	98.3	97.1	91.4
2015	98.8	96.8	93.4
2016	98.6	97.4	98.8
2017	98.6	97.2	94.3
2018	97.7	96.7	95.9
2019	98.4	96.9	95.0
2020	101.1	97.7	95.5

八尾市	3～5か月 児健診受 診率	1歳6か月 児健診受 診率	3歳児健診 受診率
2013	97.8	93.7	89.0
2014	96.1	94.8	88.6
2015	97.9	96.0	92.7
2016	99.0	97.6	93.2
2017	98.5	96.4	93.9
2018	97.3	97.0	93.9
2019	98.0	97.0	92.4
2020	93.3	90.6	86.9

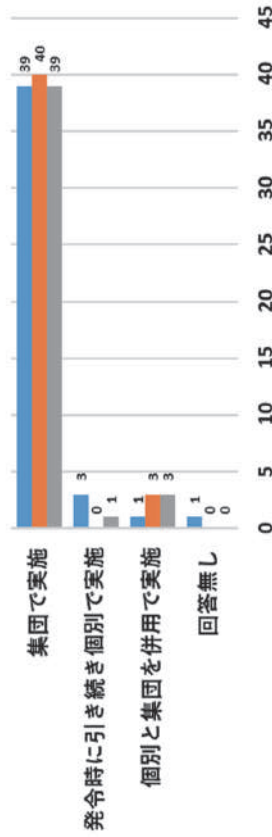
8) 新型コロナウイルス感染症流行下での市町村母子保健活動の実施状況

①健康診査（母子保健法第12条第1項に定める健康診査）

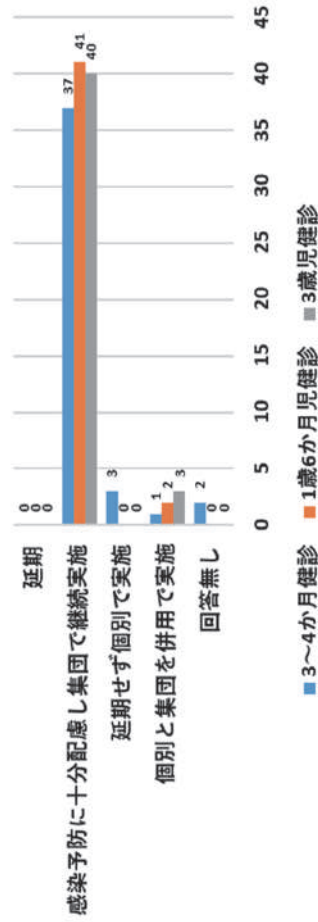
第1波時緊急事態宣言下の対応



第2波時及び第3波時（緊急事態宣言解除時）の対応



第3波緊急事態宣言下の対応



第1波：令和2年1月29日～6月13日

第2波：令和2年6月14日～10月9日

第3波：令和2年10月10日～令和3年2月28日

緊急事態宣言 第1波時：令和2年4月7日～5月21日

第3波時：令和3年1月14日～2月28日

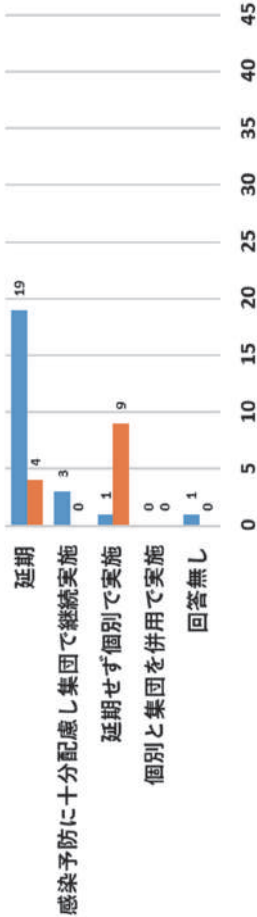
※平時の実施方法：集団のみ 41 市町村、個別と集団の併用 1 市町村

【具体的な対策】

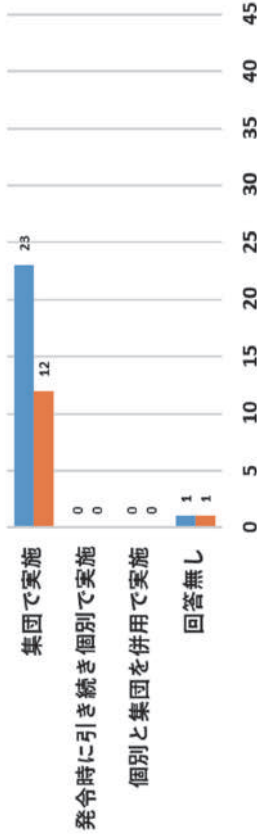
	第1波時緊急事態宣言下の対応		第2波時及び第3波時（緊急事態宣言解除時）の対応		第3波時緊急事態宣言下の対応	
	「延期」 した場合	電話で全数確認、家庭訪問や面接・電話相談で状況を把握、書面アセスメント後電話にて保健指導・要フォローケースは二次健診や訪問、個別対応の臨時相談開催、幼保・子育て支援センターと情報共有、等	「個別」を実施した場合（集団との併用含む）	「個別」を実施した場合（集団との併用含む）	「個別」を実施した場合（集団との併用含む）	電話などで事後支援を実施、育児相談は7チケットを送付し電話等で保健師が実施、等
3～4か月児健診	「延期」しなかった場合	受診券・マニュアル等調整し医療機関にて個別健診、少人数制または個別の呼び出し対応、マスク・手指消毒・検温・換気の徹底等、レイアウトの工夫、等	「集団」のみの場合	集団指導を行わない、部屋・流れの見直し、時間毎の人数を制限、呼び出し時間の細分化・健診日を増やす、マスク・手指消毒・検温・換気等の徹底第一波延期に伴う受診者月齢の高伸に応じて指導媒体作成、等	「集団」のみの場合	集団指導を行わない、部屋・流れの見直し、時間毎の人数を制限、呼び出し時間の細分化・健診日を増やす、マスク・手指消毒・検温・換気等の徹底第一波延期に伴う受診者月齢の高伸に応じて指導媒体作成、等
	「延期」した場合	電話での延期連絡時に状況把握、電話、訪問等個別で状況把握、診察必要時は二次健診を活用、等。	「個別」を実施した場合（集団との併用含む）	延期した児について、内科は個別実施、歯科は集団実施、個別実施のうえ歯科および保健指導は宣下解除後に増設した集団の日程を案内、等。	集団指導を行わない、部屋・流れの見直し、時間毎の人数を制限、呼び出し時間の細分化・健診日を増やす、予防衣・マスク・手指消毒・検温・換気等の徹底、発熱を伴わない軽微な症状がある来所者の個室対応、特に歯科検診での感染防止対策の徹底、等	
1歳6か月児健診	「延期」しなかった場合	問診の短縮、部屋・流れの見直し、時間毎の人数を制限、呼び出し時間の細分化・健診日を増やす、予防衣・マスク・手指消毒・検温・換気等の徹底、集団指導中止、地元医師会と調整し内科のみ個別実施のうえ歯科および保健指導は宣下解除後に増設した集団の日程を案内、等。	「集団」のみの場合	集団指導を行わない、部屋・流れの見直し、時間毎の人数を制限、呼び出し時間の細分化・健診日を増やす、予防衣・マスク・手指消毒・検温・換気等の徹底、等		
3歳児健診	「延期」した場合	家庭訪問や面接、電話相談で状況を把握、必要に応じて経過観察健診への案内、相談先の周知、適正月齢実施のために重言解除後の健診日を増設、等	「個別」を実施した場合（集団との併用含む）	内科は個別・歯科は集団（延期見対応）、個別受診後に別途保健師面談と歯科のみ集団対応、等	集団指導を行わない、部屋・流れの見直し、時間毎の人数を制限、呼び出し時間の細分化・健診日を増やす、予防衣・マスク・手指消毒・検温・換気等の徹底、発熱を伴わない軽微な症状がある来所者の個室対応、特に歯科検診での感染防止対策の徹底、等	
	「延期」しなかった場合	入場人数の制限、呼び出し時間分散、消毒徹底、流れの見直し、パーテーション設置、開催日の増加、等	「集団」のみの場合	集団指導を行わない、部屋・流れの見直し、時間毎の人数を制限、呼び出し時間の細分化・健診日を増やす、マスク・手指消毒・検温・換気等の徹底、等		

②その他の健康診査

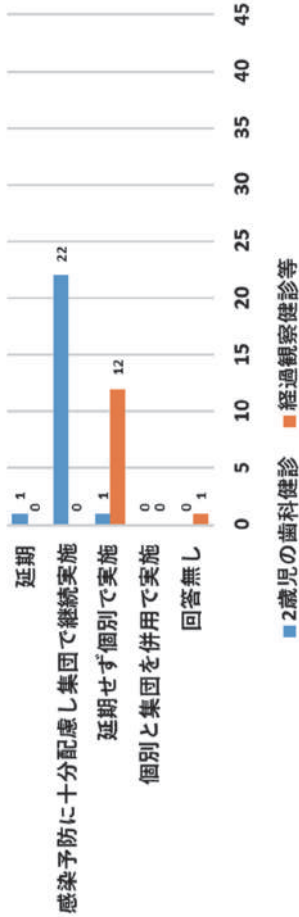
第1波時緊急事態宣言下の対応



第2波時及び第3波時（緊急事態宣言解除時）の対応



第3波緊急事態宣言下の対応



第1波：令和2年1月29日～6月13日

第2波：令和2年6月14日～10月9日

第3波：令和2年10月10日～令和3年2月28日

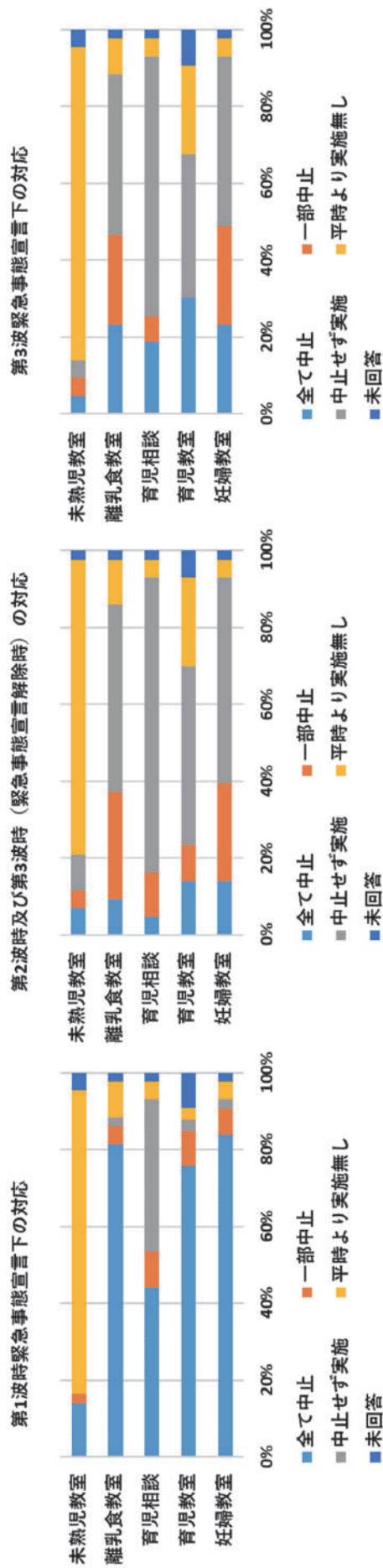
緊急事態宣言 第1波時：令和2年4月7日～5月21日

第3波時：令和3年1月14日～2月28日

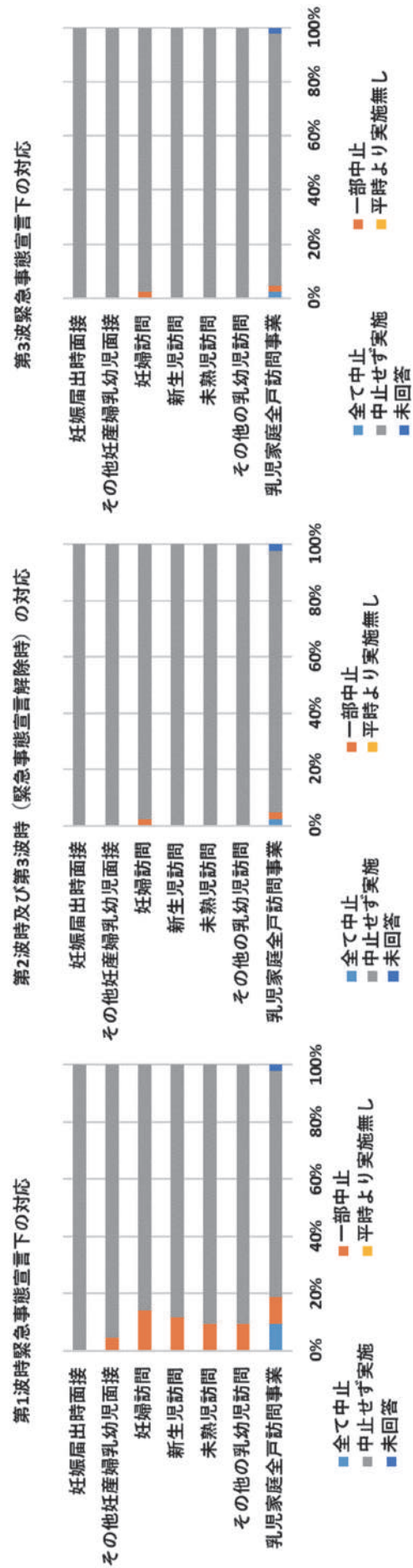
※平時に実施している市町村：

2歳児の歯科健診 24市町村、経過観察健診等 13市町村

③健康診査以外（平時に集団で実施している事業）



③健康診査以外（個別支援）



4 2020年母子保健情報センター業務報告

＜母子保健調査室＞

1. センター利用者に対する母子保健活動

1) センター利用者への保健指導と地域保健機関との連携支援

母子医療センター出生児（産科）及び新生児科入院児の保護者、及び小児医療で高度医療を受けた児の保護者や社会的ハイリスク妊婦（母性）に対して、地域保健機関への連携と予防医学・公衆衛生看護の立場からの保健指導を行うため、保健師による面接・相談を実施した。2020年の面接による保健相談数は953件、うち初回保健相談は733件、継続保健相談は220件であった（表1）。入院中に実施する病棟面接で最も多いのは母性の387件で、その次に多いのは新生児の239件であった。病棟面接のうち継続面接の占める割合は、小児医療がもっとも高く、継続した支援が必要であることを示唆していた。次に、外来面接で最も多いのは母性の77件で、次点は小児医療の45件であった。外来面接のうち半数以上が継続面接であった。新型コロナウイルス感染症流行前の2019年（表2）の保健指導件数と比較すると、総指導件数は917件から953件へと増加した。初回相談割合は、2019年の66%から2020年は77%へと増加した。

初回と継続及び病棟と外来を合計した母性の面接は464件で、面接総数（953件）に占める母性患者の割合が多い状況が継続していた。

退院後の支援が必要な事例については適切な支援が速やかに実施されるよう地域保健機関に家庭訪問依頼等の情報提供を行った（表3）。大阪府内市町村への訪問依頼件数は281件、府外は39件、合計320件であった。堺市、大阪市、和泉市への依頼が多かった。

表1 面接による保健指導数（2020年）

相談方法	面接区分	初 回	継 続	合 計
病棟面接	新 生 児	215	24	239
	小児医療	136	39	175
	母 性	308	79	387
	そ の 他	4	4	8
外来面接	新 生 児	0	17	17
	小児医療	21	24	45
	母 性	46	31	77
	そ の 他	3	2	5
総 計		733	220	953

（保健師業務システム：面談日報データより作成）

表2 （参考）面接による保健相談数（2019年）

相談方法	面接区分	初 回	継 続	合 計
病棟面接	新生児	202	51	253
	小児医療	90	27	117
	母性	229	157	386
	その他	12	5	17
外来面接	新生児	2	33	35
	小児医療	19	20	39
	母性	47	19	66
	その他	1	3	4
総 計		602	315	917

（保健師業務システム：面談日報データより作成）

2) 病院内外の連携業務及びカンファレンス

院内連携業務2,447件のうち、最も多い連携先は母性で、なかでも助産師・看護師が多かった。小児医療では、看護師だけでなく、患者支援センターのMSWとの連携業務も多かった。（表4）。院外では、地域保健機関、地域児童福祉機関等と連携して支援を行っており、年

表3 大阪府内保健所・市町村／都府県別家庭訪問依頼数及び報告書受理数（2020年）

大阪府内保健所・市町村／都府県			家庭訪問依頼数		訪問報告書受理数※	
大阪府	府保健所	池田	1	(0.3%)	1	(0.4%)
		茨木	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		守口	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		四條畷	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		藤井寺	3	(0.9%)	2	(0.8%)
		富田林	3	(0.9%)	2	(0.8%)
		和泉	3	(0.9%)	1	(0.4%)
		岸和田	1	(0.3%)	0	(0.0%)
	泉佐野	2	(0.6%)	1	(0.4%)	
	市保健所	大阪市保健所	33	(10.3%)	27	(11.2%)
		堺市保健所	92	(28.8%)	65	(27.0%)
		高槻市保健所	1	(0.3%)	1	(0.4%)
		東大阪市保健所	4	(1.3%)	4	(1.7%)
		豊中市保健所	2	(0.6%)	1	(0.4%)
		枚方市保健所	2	(0.6%)	2	(0.8%)
		八尾市保健所	5	(1.6%)	1	(0.4%)
		寝屋川市保健所	0	(0.0%)	0	(0.0%)
	吹田市保健所	0	(0.0%)	0	(0.0%)	
	市保健センター	豊能町	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		箕面市	1	(0.3%)	1	(0.4%)
		能勢町	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		吹田市	1	(0.3%)	1	(0.4%)
		摂津市	1	(0.3%)	0	(0.0%)
		茨木市	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		島本町	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		寝屋川市	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		守口市	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		門真市	1	(0.3%)	1	(0.4%)
		四條畷市	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		交野市	2	(0.6%)	0	(0.0%)
		大東市	1	(0.3%)	1	(0.4%)
		八尾市	6	(1.9%)	4	(1.7%)
		柏原市	5	(1.6%)	5	(2.1%)
		松原市	9	(2.8%)	7	(2.9%)
		羽曳野市	2	(0.6%)	1	(0.4%)
		藤井寺市	3	(0.9%)	0	(0.0%)
		大阪狭山市	7	(2.2%)	6	(2.5%)
		富田林市	6	(1.9%)	6	(2.5%)
		河内長野市	8	(2.5%)	5	(2.1%)
		河南町	1	(0.3%)	1	(0.4%)
		太子町	1	(0.3%)	1	(0.4%)
		千早赤阪村	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		和泉市	21	(6.6%)	18	(7.5%)
		泉大津市	6	(1.9%)	4	(1.7%)
		高石市	10	(3.1%)	9	(3.7%)
		忠岡町	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		岸和田市	15	(4.7%)	12	(5.0%)
		貝塚市	8	(2.5%)	7	(2.9%)
		泉佐野市	6	(1.9%)	6	(2.5%)
		熊取町	1	(0.3%)	1	(0.4%)
		田尻町	2	(0.6%)	1	(0.4%)
		泉南市	4	(1.3%)	3	(1.2%)
		阪南市	1	(0.3%)	0	(0.0%)
		岬町	0	(0.0%)	0	(0.0%)
大阪府合計			281	(87.8%)	209	(86.7%)
他府県	東京都	4	(1.3%)	1	(0.4%)	
	神奈川県	1	(0.3%)	1	(0.4%)	
	埼玉県	1	(0.3%)	1	(0.4%)	
	静岡県	1	(0.3%)	1	(0.4%)	
	岐阜県	1	(0.3%)	0	(0.0%)	
	愛知県	5	(1.6%)	5	(2.1%)	
	三重県	1	(0.3%)	1	(0.4%)	
	京都府	2	(0.6%)	0	(0.0%)	
	奈良県	9	(2.8%)	7	(2.9%)	
	兵庫県	6	(1.9%)	7	(2.9%)	
岡山県	和歌山県	5	(1.6%)	4	(1.7%)	
	岡山県	2	(0.6%)	3	(1.2%)	
	福岡県	1	(0.3%)	1	(0.4%)	
他都府県合計			39	(12.2%)	32	(13.3%)
総計			320	(100.0%)	241	(100.0%)

※前年分の返却を含む（保健師業務システム：面談日報データより作成）

間で2,203件の連携業務を実施した。最も多い連携先は市町村保健センター（1,941件）であるが、在宅高度医療児の支援の場合は保健所（176件）と連携を密にとった（表5）。また、カンファレンスでは、情報の共有やアセスメント、援助方針の協議等を行っており、地域（院外）カンファレンス回数は58回、院内カンファレンス回数は45回の計103回であった（表6）。

表4 院内連携業務（2020年）

相談対象	医 師	看護師	MSW	心 理	P T	院内職員 その他	総 計
新 生 児	32	450	36	44	0	0	562
小 児 医 療	112	388	131	19	2	13	665
母 性	15	1,069	74	5	0	5	1,168
そ の 他	22	23	5	0	0	2	52
総 計	181	1,930	246	68	2	20	2,447

（保健師業務システム：面談日報データより作成）

表5 院外連携業務（2020年）

相談対象	保 健 所	市 保 健 セ ン タ ー	他 医 療 機 関	児 童 相 談 所	家 児 相	市 町 村 福 祉 課	通 園 施 設	保 育 所	幼 稚 園	小 学 校	中 学 校	そ の 他 機 関	総 計
電 話 発 信	97	1,475	3	1	8	32	1	0	0	1	0	7	1,625
電 話 受 信	79	459	0	2	8	13	1	0	0	0	0	3	565
文 書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
面 談	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	13
総 計	176	1,941	3	3	16	45	2	0	0	1	0	16	2,203

（保健師業務システム：面談日報データより作成）

表6 カンファレンス（2020年）

カンファレンス対象区分			院 内										関 係 機 関														総計
			産科 医 師	母性 内 科 医 師	新生 児 科 医 師	小児 医 療 部 門 医 師	看護 師	M S W	心 理 士	P T	保 健 士	院内 職員 その他	小計	保健 所	市町村 保健セ ンター	他 医 療 機 関	児 童 相 談 所	家 児 相 談	市町村 福祉 課	通 園 施 設	保 育 所	幼 稚 園	小 学 校	中 学 校	関係機 関その他	小計	
区分	カンファレンス内容	回数	師	師	師	師	師	W	理	T	師	他	計	所	1	関	所	相	課	設	所	園	校	校	他		
院外	在宅看護への支援	18	0	0	4	22	48	19	12	4	18	2	129	9	11	18	1	3	0	6	0	0	2	0	34	84	213
	障害受容困難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	育児能力、体制の不備	32	7	1	3	5	90	38	1	0	35	0	180	0	37	1	31	35	11	0	1	0	1	0	20	137	317
	多問題を抱える	1	0	0	0	3	1	1	1	0	1	1	8	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	4	12
	被虐待児及び疑い	7	0	0	0	6	14	7	0	0	7	0	34	2	9	5	11	9	2	2	0	0	6	0	3	49	83
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	58	7	1	7	36	153	65	14	4	61	3	351	11	58	24	43	48	13	8	1	0	10	0	58	274	625
院内	在宅看護への支援	19	0	0	3	38	56	18	18	2	19	4	158													0	158
	障害受容困難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													0	0
	育児能力、体制の不備	5	0	0	3	4	9	3	2	0	5	0	26													0	26
	多問題を抱える	3	0	0	0	9	8	2	0	0	3	3	25													0	25
	被虐待児及び疑い	16	0	0	12	24	44	15	2	1	15	0	113													0	113
	その他	2	0	0	0	4	4	2	0	0	2	0	12													0	12
	小 計	45	0	0	18	79	121	40	22	3	44	7	334													0	334
総 計		103	7	1	25	115	274	105	36	7	105	10	685	11	58	24	43	48	13	8	1	0	10	0	58	274	959

（保健師業務システム：面談日報データより作成）

3) 発達外来での保健指導

発達外来に通院する児とその保護者に対して、公衆衛生看護の立場からの育児支援を目的とした保健師面接・相談を実施してきた。当初は新生児科入院歴のある低出生出生児及びハイリスク児とその保護者を対象としていたが、現在では循環器科や小児外科における手術を受けた児も対象としている。センター報告書における実施件数報告が今回初めてであるため過去年の実施件数についても報告する（表7）。2020年は698件の面接を実施し、内訳は新生児科470件、循環器科148件、小児外科80件であった。2020年のみ前年より実施件数が減少している要因として、コロナの影響で発達外来の受診者減少があり、その結果発達外来後の面談実施も少なくなった可能性がある。

表7 発達外来通院児の保護者への面接による保健指導

	新生児科	循環器科	小児外科	合計
2016	536	—	44	580
2017	510	75	18	603
2018	507	105	72	684
2019	520	124	88	732
2020	470	148	80	698

（保健師業務システム：面談日報データより作成）

2. 地域保健機関に対する支援及び情報発信

1) 地域保健機関における母子保健活動推進のための技術的支援

母子保健の水準向上に寄与すべく、地域保健機関に対し事例の相談対応や、事例検討会におけるスーパーバイズ及び各種研修会の講師を務めるなど、技術向上への支援を行った。

2013年に母子保健法の改正により未熟児支援が都道府県（保健所）から市町村に移管され、移管前の2012年より継続して当センター多部署の協力を得て市町村保健師等に研修を実施している。2019年からはこれまでの母子保健研修の内容に加え、新たに「健やか親子21（第2次）」研修を実施した。2020年は、県型保健所を対象に母子保健事業検討会ワーキング会議を実施し、その中で「健やか親子21（第2次）」についても取り扱った。

2) 母子保健情報センター報告書の発行

母子保健情報センターの前身の企画調査部は、病院開設当初の1981年に設置された。大阪府の母子保健推進のため、母子保健にかかる調査分析や保健医療従事者の研修や教育を実施するほか、地域の関連機関と連携し、院内の患者支援のみならず地域の母子保健の推進を行ってきた。開設当初からの経緯を含め、大阪母子医療センターで行われている母子保健活動を横断的に取りまとめ、発信することで、患者支援における保健機関との更なる連携強化、大阪府内市町村における母子保健活動の更なる充実に寄与することを目的として、母子保健情報センター報告書を初めて作成した（初版：2016年度）。2017年度報告書では「健やか親子21の推進」に向けたデータ整備、2018年度報告書では、母性部門を中

心とした社会的ハイリスク妊婦支援のとりくみ、及び大阪府委託事業である「にんしんSOS」を扱った。2020年12月に出版した2019年度報告書では、地域診療情報連携システムである「南大阪MOCOネット」について特集を組んだ。

3. 広報活動

- 広報誌刊行

センターの活動をまとめたセンター年報の第38号、センターの研究成果などをまとめた医学雑誌第35巻第1・2号（2020年3月31日）及び36巻第1号（2020年10月30日）を発行した。

- 府民公開講座

例年は、一般向けのセミナーとして3月ごろに室堂セミナー、一般子ども向けのセミナーとして夏休みにきっずセミナーを、一般及び専門職（教育職、保健医療職）向けのセミナーとして光明池セミナーを秋ごろに開催していた。2020年は新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、3月28日実施予定の第14回室堂セミナーは中止、8月の第11回きっずセミナー（オンライン開催：49名）は実施、11月の光明池セミナーは中止した。

4. 研修・実地修練等の受け入れ

- 研修・実地修練受け入れ事業

毎年国内外から母子医療従事者及び研修者の受け入れ事業を行っている。2020年は新型コロナウイルス感染対応として外部からの受入を縮小した。11人の臨床研修生（大阪大学医学部附属病院・第二大阪警察病院・大手前病院）、12人の実地修練生、7人の研修研究員（研究所）、97人の臨床実習生（大阪大学医学部・歯学部・兵庫医科大学・近畿大学医学部）、990人の受託実習生、60人の見学者を受け入れた。このうち、外国からの受け入れ人数は13人であった。

- センター内職員向け研修の推進

臨床研究セミナーの事務を行っている。

- 研修受託業務（2020年度）

JICA関西から2020年度課題別研修「周産期・新生児保健医療」にかかる業務を受託した。新型コロナウイルス感染症の世界的拡大を踏まえ、例年秋に実施していた研修を翌年1月に延期しウェブ会議・オンデマンド配信等による課題・添削型研修を実施した。

2021年2月5日から2月26日まで9カ国10名（ブルンジ1名、カンボジア1名、コートジボワール2名、フィリピン2名、フィジー1名、タジキスタン1名、ブータン1名、ギニアビサウ1名、タンザニア1名（オブザーバー））の研修員を受け入れた。

5. WHO指定研究協力センター活動及び情報発信

・WHO指定研究協力センター（母子保健）

わが国で唯一の母子保健にかかる研究協力センターである。WHO西太平洋地域事務所と協力してホームページを通じた周産期・母子保健に関連した情報を発信した。また、引き続き、発展途上国からの母子保健従事者研修の申し出があったが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、受入は見合わせた。

6. 図書活動

① 医学図書室（24時間開館）

医者や看護師など医療従事者対象の医学研究用図書室で、ジャーナルや書籍の貸出、レファレンス、ILLの図書館サービスをおこなっている。PubMedのリンクアウト機能の終了にともない、文献検索を支援するOutside Tool “Full Text Finder”を導入した。本センターで利用可能なフルテキストへのアクセス・各種データベースへのリンク・文献複写依頼がよりスムーズに行えるようになり、利用者サービスの向上につながった。またリンクリゾルバへのアクセスも増加し、他機関から文献を取り寄せる依頼件数が前年より1.41倍に増加した。

② 親と子のとしょかん（稼働日：250日：前年より約30日減）

入院患者とその家族を対象とする図書館サービスで、児童書を中心に本の貸出・レファレンス・読書指導をおこなっている。例年は病棟を巡回する移動図書館サービスを毎週金曜日に、毎月第3金曜日におはなし会を開催していたがコロナ禍によりボランティア活動が困難となり2020年2月以降休止した。親と子のとしょかん便り「モコっと通信」を月1回刊行し、掲示及び職員用MLで配信することで定期的に親と子のとしょかんの催しやテーマ展示の案内を行った。

7. 委託事業

1) 大阪府委託事業：「にんしんSOS」

大阪府からの委託を受け、2011年10月から電話及びメールによる思いがけない妊娠で悩む人の相談事業「にんしんSOS」を実施している。助産師や保健師から成る相談員10名のうち原則2名が従事し、週6日（平日5日＋日曜日）稼働している。相談対応以外に、相談員相互の情報交換やケース検討のため一か月に1回連絡会を行っている。また、質の向上のため、自主研修や定期研修を行っている。センター内の関係者からの意見をより委託事業に反映するため、2018年4月より委託事業運営委員会を設置し、年に1回委員会を開催している。また、産科医師、外来及び病棟看護部門、保健師、母子保健調査室医師等からなるワーキンググループを設置して、地域への紹介事例や母子医療センターへの紹介事

例などの情報交換を隔月で行っている。

2020年度の電話相談実件数は399件、メール相談実件数は528件、電話相談延件数は508件、メール相談延件数1,925件と、メールによる相談が多かった。関係機関への連絡件数は142件であった。また、府内からの相談は54.4%、府外からの相談は38.6%であり、例年と異なり今年度は大阪府内からの相談が多かった。啓発活動として、大阪府地域保健課母子グループを通じて大阪府内の高等学校205校に、「にんしんSOS」ステッカー・チラシ（A4サイズ）を送付した。

2）環境省委託事業：子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）

大阪大学とともに大阪ユニットセンターとして当室にエコチル調査室を設置し、事業を運営・実施している。調査期間は2011年から2026年で、和泉市・岸和田市・貝塚市・泉佐野市・泉南市・阪南市・熊取町・田尻町・岬町を対象地域とし、調査開始時8,043件（全国103,102件）の参加が得られた。妊娠期から子どもが13歳になるまで行う調査で、当センターでは、全数に行う調査に加え約5%に行う詳細調査（家庭訪問による環境測定等調査、児の医学的検査や発達検査）を2014年12月から実施している。

6歳詳細調査（医学的検査）の対象者は382人で、2019年4月から2021年1月までに263名が参加し終了した。実施率が約70%と、4歳医学的検査の実施率94.8%を下回ったのは、コロナ禍によりコアセンターからの指示で2020年3－6月に調査が中止となったことが影響したと考えられる。また、大阪大学が担当している学童期検査（小学2年生）は、大阪ユニットセンターが対象とする全数の子どもとその母親を対象にした調査で、2020年度は8月1日から11月29日に実施した。対象となる子どもは2,181人で867人が参加し、参加率は38.9%であった。コロナ禍のためか、2019年度の学童期検査参加率58.9%よりも低かった。

エコチル参加者向けのイベントとして、2月29日に映画上演会を予定していたがコロナ禍のため中止した。

エコチル調査地域運営協議会を2020年10月1日、2021年3月4日に開催し、エコチル調査の進捗状況、調査分析結果等を報告した。広報活動の一環として大阪ユニットセンターのウェブサイトを担当し、2013年9月より継続している、医師・研究者等による育児に役立つ情報コラム「子育て応援コラム」は2020年度に5回の配信を行った。お子さんからのぬりえを249枚掲載、活動紹介など積極的なHPの更新を66回行った。また、10月には新規に「学術論文」のページを新設し、大阪ユニットセンターから発表された学術論文をウェブサイトにて紹介した。セッション数178,029件（昨年比約4倍）、ページビュー数289,142件（昨年比約3倍）と大幅に増えた。

3）大阪府委託事業「児童虐待防止医療ネットワーク事業」

全国の児童虐待の相談件数は、2008年の43,291（府4354件）から2018年の159,850件（府20,694件）と10年で全国は3.7倍、大阪府では4.8倍に増加している。地域全体で児童虐待を防止する体制を整備することが求められる中、厚生労働省は、「小児医療の現場でも、頭部外傷をはじめ身体的虐待を疑わせる子どもの受診も多い一方で、医療機関においては

虐待に関する知識や被虐待児の診療経験が不十分である場合や、組織的対応の体制が無い場合など、十分に対応ができていないという課題がある」という認識のもと、2012年度に「児童虐待防止医療ネットワーク事業」を開始した。大阪府は、子ども家庭センターへの全相談における医療機関からの相談の割合が全国に比べて低く（全国2.0%／府1.5%）、医療機関への虐待対応の周知がさらに必要とされていた。そのような背景のもと、拠点病院を中心に、地域の医療機関等の児童虐待対応のネットワークづくり、医療保健関係者への研修、連絡会等を行い、医療機関における児童虐待対応、発生予防、早期発見の対応能力の強化を図ることを目的として2017年度より大阪府においても本事業が開始された。当センターは、拠点病院として大阪府北部を担当する愛仁会高槻病院とともに児童虐待防止医療ネットワーク事業を受託した。

この事業の開始により、大阪府における救急告示医療機関認定基準に「児童虐待に組織として対応するための院内体制の整備」が追加され、2次・3次救急医療を担う各医療機関において、児童虐待に関する委員会設置または児童虐待対応マニュアル整備が必須になった。

当センターの対応としては、2018年度から児童虐待防止医療ネットワーク運営委員会（委員長：副院長光田信明）を設立し、委員会で事業内容を検討するとともに、子ども虐待防止委員会運営委員（委員長：子どものこころの診療科主任部長小杉恵）を中心とした事業運営を行い、体制強化を図った。

2020年度からは継続事業として「医療機関における児童虐待防止体制整備フォローアップ事業」が開始された。フォローアップ事業では、各救急告示機関における、外部機関との相談窓口の設定、対応マニュアルの作成、そして、拠点病院である当センターと高槻病院が研修会を実施することとなっている。2020年度は高槻病院と共同で2回の研修会をweb開催した。第1回研修会は大阪母子医療センター主催のBEAMSプログラムstage1で121名の参加があり、第2回研修会が高槻病院主催の「高槻病院における特定妊婦への支援」で66名が参加した。

<情報企画室>

1. 2020年の業務概要

当センターでは、総合診療情報システム（電子カルテ）を導入しており、院内業務の円滑化、効率化に寄与している。情報企画室では、2015年に、この総合診療情報システムの更新を行い、今年度も、その安定的な運用に努めた。

電子カルテシステムの運用では、24時間、365日の安定稼働が求められる。情報企画室職員は、現場職員、ベンダー技術員と協力し、業務に支障の出るような大きな障害なく、システムの運用を行った。

表1の開発・再開発件数については、年間660件（前年811件）と、21.5%減少した。新型コロナウイルス感染予防対策などでの業務が繁忙となったことにより依頼が減少したものと思われる。

一方、表2の問い合わせ対応件数については、年間9,537件（前年8,761件）と、9.0%増加した。これは、システム導入後5年を経過して、機器の老朽化に伴い故障などの不具合対応などの問い合わせが増加したことによるものと思われる。

また、表3のインターネットシステム関連業務対応件数も、2,159件（前年2,000件）と、8.0%増加した。これは、Web会議の対応を含めパソコン利用についての支援依頼が増えたため、利用者のきめ細かい要望に応じている結果と思われる。インターネット環境については、無線アクセスポイントを充実させ、全館での無線LAN利用を進めたことにより、医局などを含め、ノートパソコンや、タブレット端末などで、インターネットを利用できる環境が整えられている。

従来のソフト保守作業等としては、主に以下を実施した。

【主なソフト保守等項目】

- 電子カルテシステムの医療改定対応
- 初療室受診患者記録テンプレートの作成
- 予約票への採血受付締切時間の表示
- モダリティ機器（聴力検査機器・内視鏡検査機器）の接続（データ取り込み）
- インシュリンの投与オーダー単位についての警告表示
- 子どものこころの診療科に含まれている心理検査の予約枠を別枠化対応
- 薬剤アレルギーのアラート表示変更
- 手術申込一覧の「希望手術室（実施場所）」名称変更
- 有効期限切れの血液製剤認証時の設定変更（エラー通知）

表1 開発・再開発件数（2020年）

所属科名	依頼件数	実施件数				
		件数	内訳（X：人日）			
			X < 2	2 ≤ X < 5	5 ≤ X < 10	10 ≤ X
【病院】						
産科	48	48	48	0	0	0
新生児科	17	17	17	0	0	0
母性内科	4	4	4	0	0	0
総合小児科	2	2	2	0	0	0
消化器・内分泌科	33	33	33	0	0	0
腎・代謝科	3	3	3	0	0	0
血液・腫瘍科	10	10	10	0	0	0
小児神経科	19	19	19	0	0	0
子どものこころの診療科	3	3	3	0	0	0
遺伝診療科	6	6	6	0	0	0
呼吸器・アレルギー科	7	7	7	0	0	0
小児循環器科	71	71	71	0	0	0
心臓血管外科	10	10	10	0	0	0
小児外科	43	43	43	0	0	0
脳神経外科	8	8	8	0	0	0
泌尿器科	14	14	14	0	0	0
整形外科	0	0	0	0	0	0
眼科	22	22	22	0	0	0
耳鼻咽喉科	7	7	7	0	0	0
形成外科	6	6	6	0	0	0
口腔外科	18	18	18	0	0	0
麻酔科	20	20	20	0	0	0
集中治療科	25	25	25	0	0	0
放射線科・放射線部門	19	19	19	0	0	0
看護部	51	51	51	0	0	0
病理診断科	7	7	7	0	0	0
薬局	9	9	9	0	0	0
患者支援センター	4	4	4	0	0	0
MEセンター	2	2	2	0	0	0
医療安全管理室	20	20	20	0	0	0
感染管理室	0	0	0	0	0	0
栄養管理室	16	16	16	0	0	0
診療情報管理室	36	36	36	0	0	0
臨床検査部門	5	5	5	0	0	0
リハ・育療支援部門	1	1	1	0	0	0
その他	3	3	3	0	0	0
（小計）	569	569	569	0	0	0
【事務局】						
総務・人事 G	6	6	6	0	0	0
経営企画 G	20	20	20	0	0	0
施設保全 G	1	1	1	0	0	0
医事 G	56	56	56	0	0	0
（小計）	83	83	83	0	0	0
【母子保健情報センター】						
母子保健調査室	5	5	5	0	0	0
図書室	0	0	0	0	0	0
情報企画室	0	0	0	0	0	0
エコチル調査室	0	0	0	0	0	0
（小計）	5	5	5	0	0	0
【研究所】						
病因病態部門	0	0	0	0	0	0
代謝部門	0	0	0	0	0	0
免疫部門	1	1	1	0	0	0
環境影響部門	2	2	2	0	0	0
（小計）	3	3	3	0	0	0
合 計	660	660	660	0	0	0

表2 総合診療情報システム問い合わせ対応件数〔部署別〕（2020.1～2020.12）

所 属	2020年												年 計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
事 務 局	125	98	153	225	147	145	138	129	142	131	119	145	1,697
母 子 保 健 調 査 室	107	93	113	156	84	120	90	85	98	101	66	80	1,193
病院管理部門・医局	197	201	185	278	213	170	175	158	204	200	208	171	2,360
小 児 外 来	28	38	29	36	29	51	37	43	41	28	42	40	442
母 性 外 来	18	13	7	28	15	11	24	13	14	11	21	21	196
母 性 東 棟	24	18	23	21	27	27	20	21	38	12	23	22	276
母 性 西 棟	27	18	19	33	18	28	21	7	11	16	13	24	235
分 娩 部	27	6	13	11	21	20	5	12	12	6	7	5	145
I C U	16	8	19	21	17	29	24	26	22	16	26	29	253
手 術 室	9	15	12	18	31	23	5	7	19	16	12	14	181
新 生 児 棟	15	12	16	52	23	28	22	29	15	28	18	17	275
1 階 東 棟	5	3	4	10	7	4	1	4	5	5	6	4	58
2 階 東 棟	12	17	6	4	8	4	6	6	13	12	7	5	100
3 階 東 棟	9	5	10	6	9	12	7	3	4	15	10	8	98
3 階 西 棟	7	10	11	18	8	13	8	8	10	15	15	9	132
4 階 東 棟	17	9	7	14	21	12	7	7	5	7	7	17	130
4 階 西 棟	10	12	11	9	17	8	3	2	6	10	10	5	103
5 階 東 棟	11	17	5	11	10	12	7	13	11	11	12	17	137
5 階 西 棟	15	7	6	20	18	13	11	7	12	15	16	11	151
検 査 科	22	25	23	31	23	21	26	32	22	38	40	24	327
放 射 線 科	7	7	8	8	11	5	11	13	8	7	5	17	107
薬 局	41	47	65	69	70	65	54	43	57	63	63	50	687
中央滅菌材料室	6	3	3	4	3	6	4	3	4	5	6	2	49
研 究 所	6	1	11	9	7	9	10	6	8	7	13	7	94
そ の 他	8	6	1	1	1	10	15	12	21	17	3	16	111
合 計	769	689	760	1,093	838	846	731	689	802	792	768	760	9,537

表3 インターネットシステム関連業務対応件数（2020.1～2020.12）

対 応 内 容	2020年												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
ク ラ イ ア ン ト 対 応	55	42	37	72	45	52	30	32	40	47	37	55	544
ホ ー ム ペ ー ジ 更 新 対 応	54	33	43	83	55	46	33	30	27	45	38	62	549
通 信 環 境 設 定 対 応	19	23	32	34	37	30	18	4	2	0	1	0	200
ウ イ ル ス 対 応	6	3	4	1	2	3	0	0	1	0	4	5	29
ハ ー ド 対 応	0	0	0	0	3	1	1	0	4	2	0	0	11
メ ー ル ア カ ウ ン ト 対 応	80	48	63	168	116	57	60	35	44	47	47	53	818
イ ン タ ー ネ ッ ト サ ー バ 対 応	0	0	0	2	1	2	0	0	1	0	1	1	8
合 計	214	149	179	360	259	191	142	101	119	141	128	176	2,159

2. 2020年の活動

【診療情報システム（電子カルテ）】

第6期総合診療情報システムを安定稼働させた。また、2021年5月運用開始の次期電子カルテシステムの開発を行った。

診療情報システムに関連する作業として、主に次のものを実施した。

- ・地域医療連携システム（南大阪MOCOネット）のシステム運用
- ・小児治験ネットワーク事業（継続）
- ・タブレット端末を活用した会議資料閲覧システムの運用
- ・アメーバ方式病院経営分析システムへの協力
- ・薬学生実習対応

【インターネット等】

インターネット機器については、今年（2020年）は、インターネット環境についての円滑な運用に努めた。

新型コロナウイルス感染予防対策の一環として新たにWeb会議システムの導入に取り組み、運用支援も行った。

インターネット環境における関連作業のホームページの更新については、変更依頼に柔軟に対応した。

また、無線アクセスポイントを活用してのインターネット利用を進め、職員に利用開放を行っており、電子メールの利用登録依頼についても順次対応した。

さらに、近年多く発生している、電子メールによって送られてくるコンピュータウイルスについて、対策と院内への注意喚起を行った。

5 2021年度の大阪府の母子保健指標

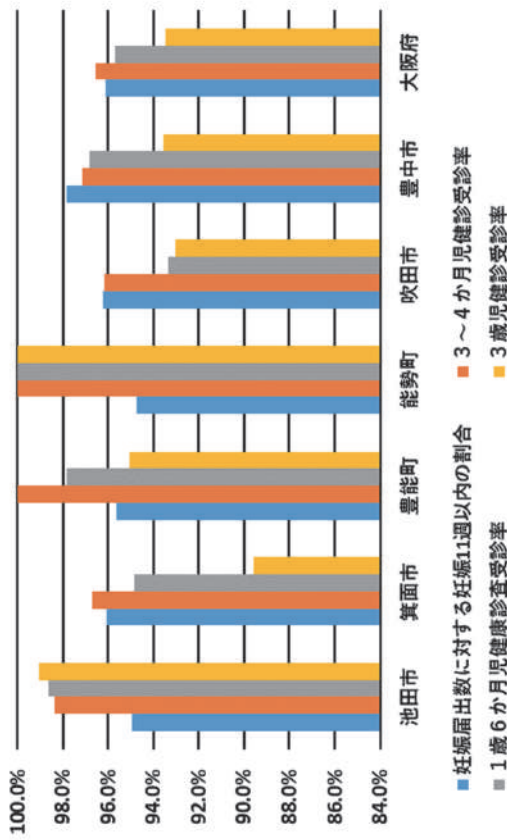
「すべての子どもが健やかに育つ社会」の実現に向け2015年度から2024年度まで実施予定である「健やか親子21（第2次）」では、都道府県の役割が示されています。その中で、市町村に対して積極的に協力・支援することが県型保健所の役割として明記されています。これらの役割を果たすためには、保健所にとっては、特に管内の市町村の母子保健に関する課題を認識することが重要です。

住民への母子保健対策の充実のため、保健所と管轄の市町村と有意義な情報交換を行うための基礎資料として、医療圏ごとの母子保健指標をグラフとしてまとめました。母子保健指標を、地域の実情が比較的似通った同圏域の他自治体の値や大阪府平均値と比較することで、根拠に基づいた議論を深め、各市町村における母子保健対策推進につながることを期待します。なお、出典資料ごとに報告単位が年次・年度と異なること、政令中核市については、一部項目のみを提示していること、人口動態統計を用いたグラフは令和3年分が未発表であり令和2年までを報告対象としていること、グラフ中の「大阪府」は大阪府平均、「平均」は政令中核市以外の平均となっていることにご留意ください。

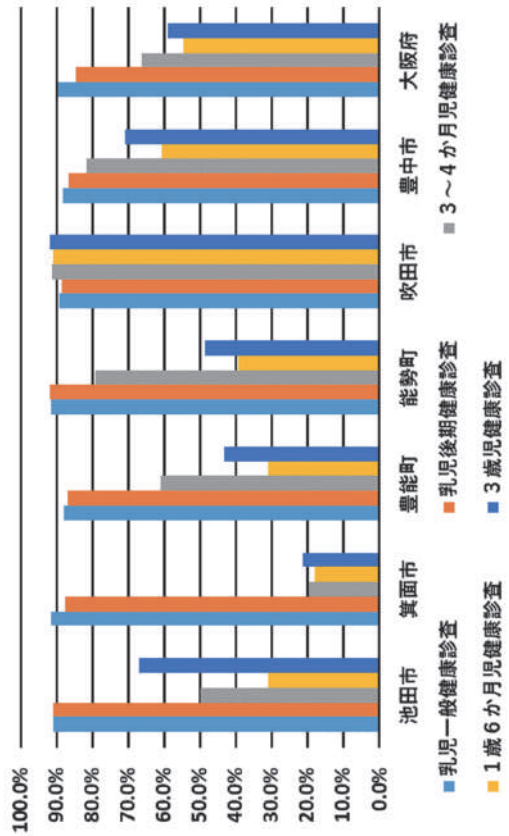
（出典：人口動態統計、大阪府母子保健関係業務報告、地域増進事業報告）

1) 豊能医療圏（池田保健所管轄） 令和3年度（2021年度）実施分 中核市：吹田市・豊中市（④～⑥のデータなし）

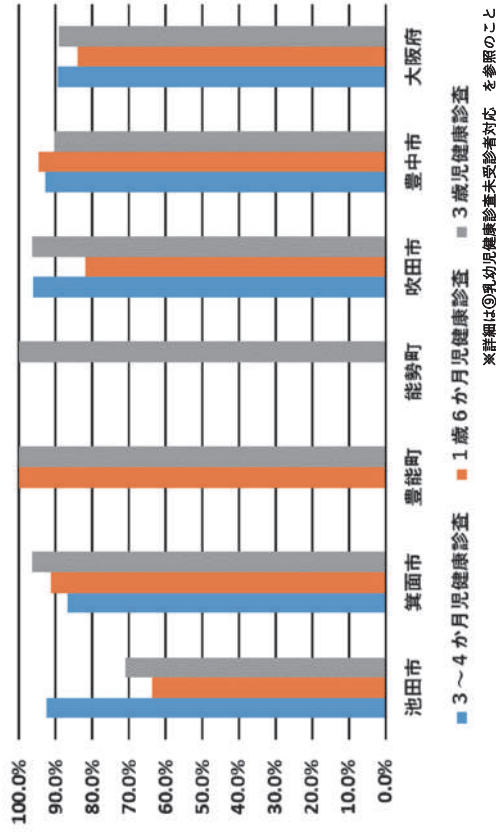
①妊娠届出数に対する妊娠11週以内の割合、乳幼児健康診査受診率



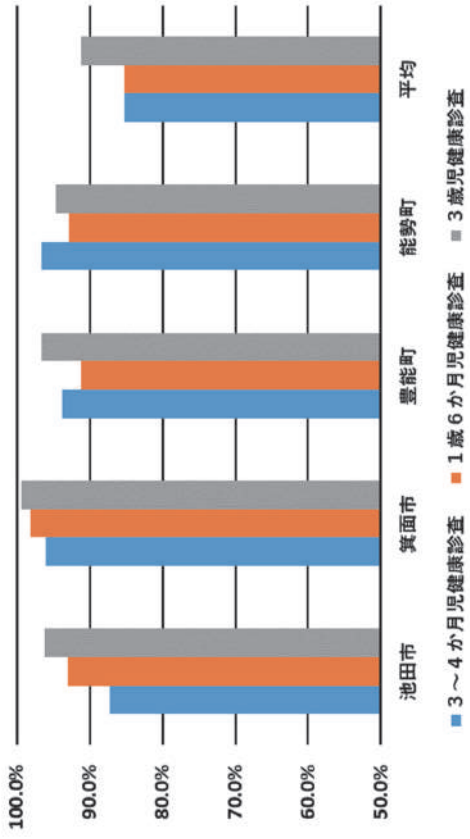
③乳幼児健康診査異常なし割合



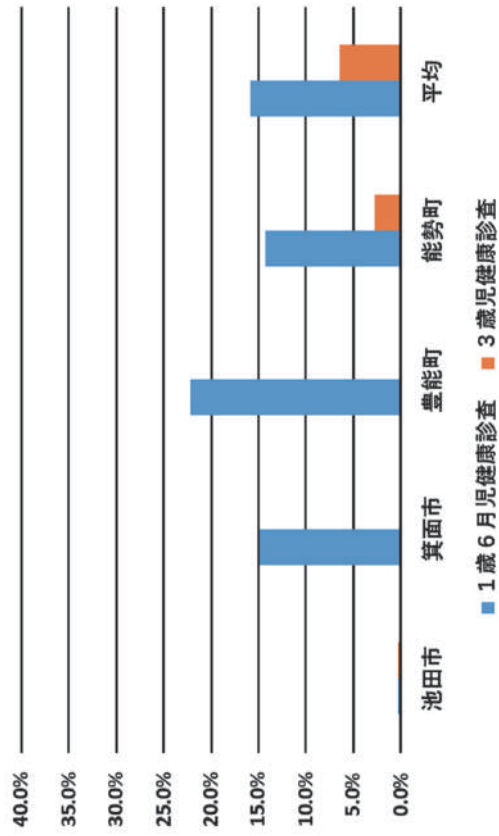
②乳幼児健康診査未受診者の現認できた割合



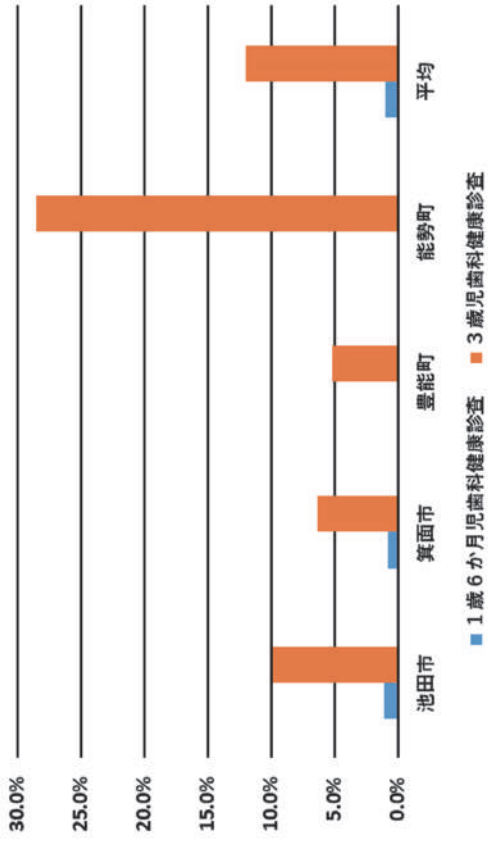
④乳幼児健康診査育児支援・養育問題等異常なし割合



⑤乳幼児健康診査発達障がい（疑い）による要観察割合

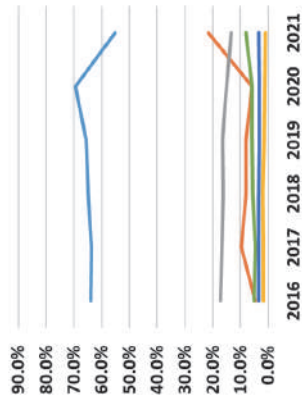


⑥歯科健康診査虫歯割合

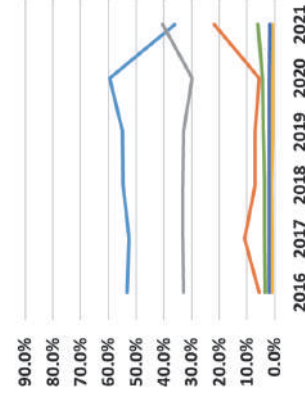


⑦異常なし・要指導・要観察・要医療・要精密・既医療の割合の推移（平成28年度（2016年度）～令和3年度（2021年度））

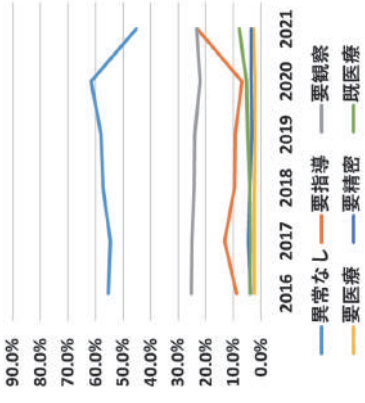
大阪府：3～4 か月健診



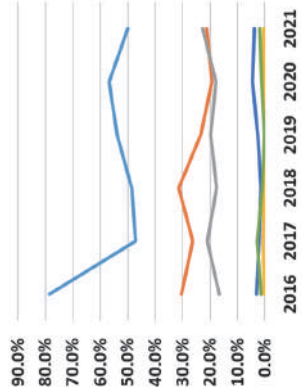
大阪府：1歳6か月児健診



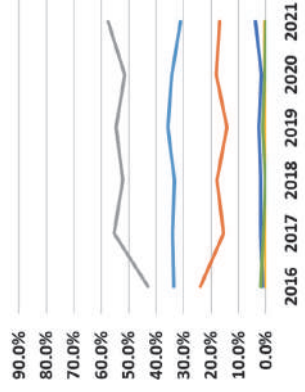
大阪府：3歳児健診



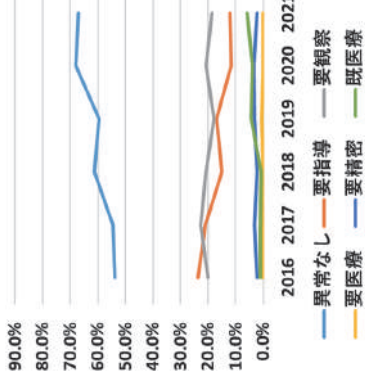
池田市：3～4か月健診



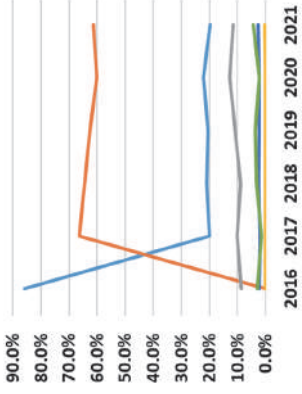
池田市：1歳6か月児健診



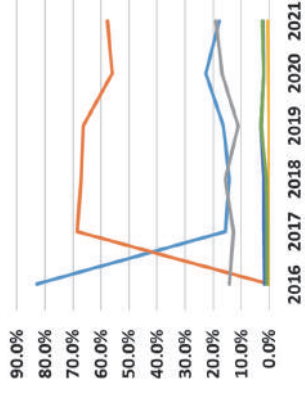
池田市：3歳児健診



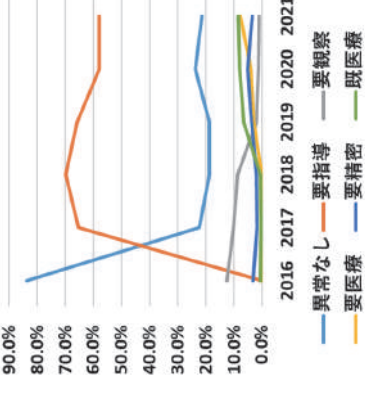
箕面市：3～4か月健診



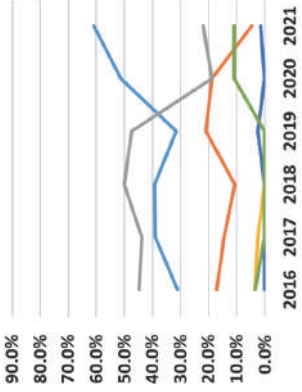
箕面市：1歳6か月児健診



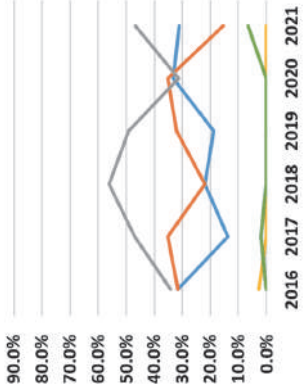
箕面市：3歳児健診



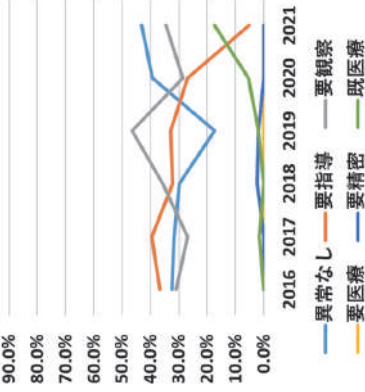
豊能町：3～4か月健診



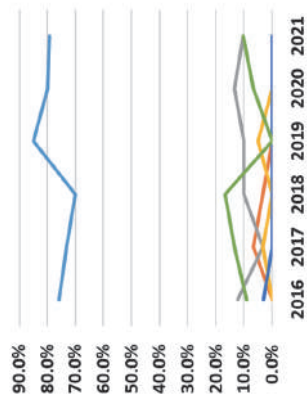
豊能町：1歳6か月児健診



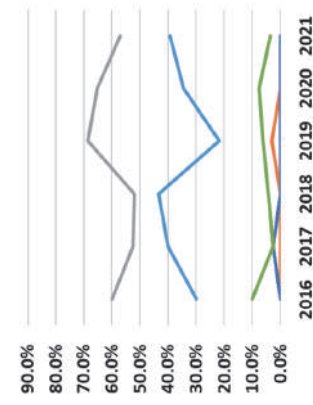
豊能町：3歳児健診



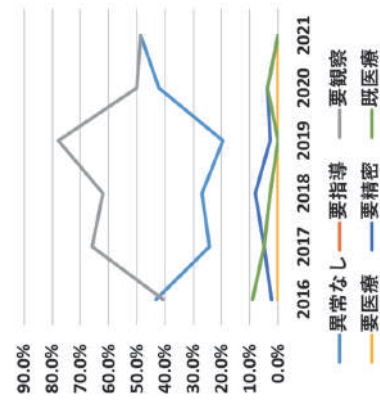
能勢町：3～4 か月健診



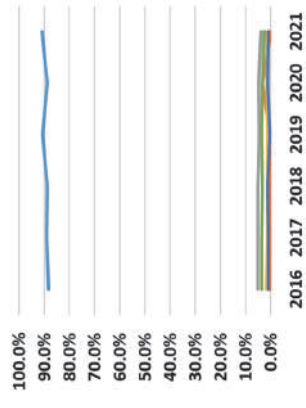
能勢町：1 歳 6 か月健診



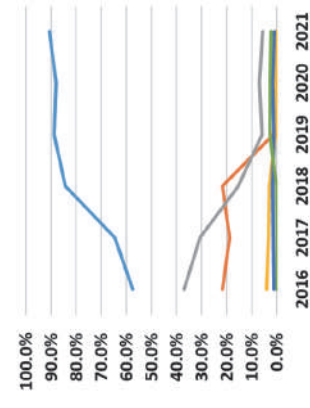
能勢町：3 歳児健診



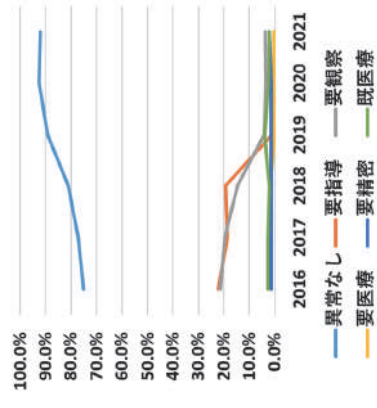
吹田市：3～4 か月健診



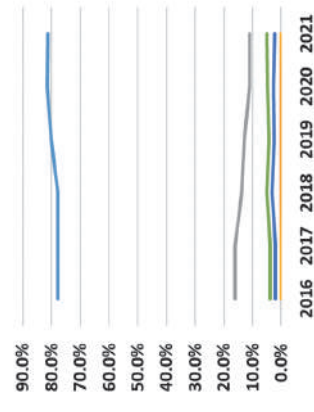
吹田市：1 歳 6 か月健診



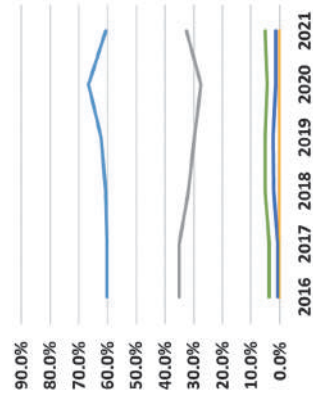
吹田市：3 歳児健診



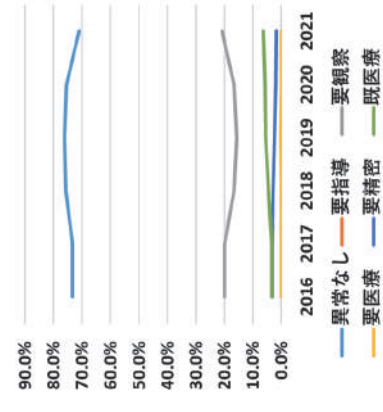
豊中市：3～4 か月健診



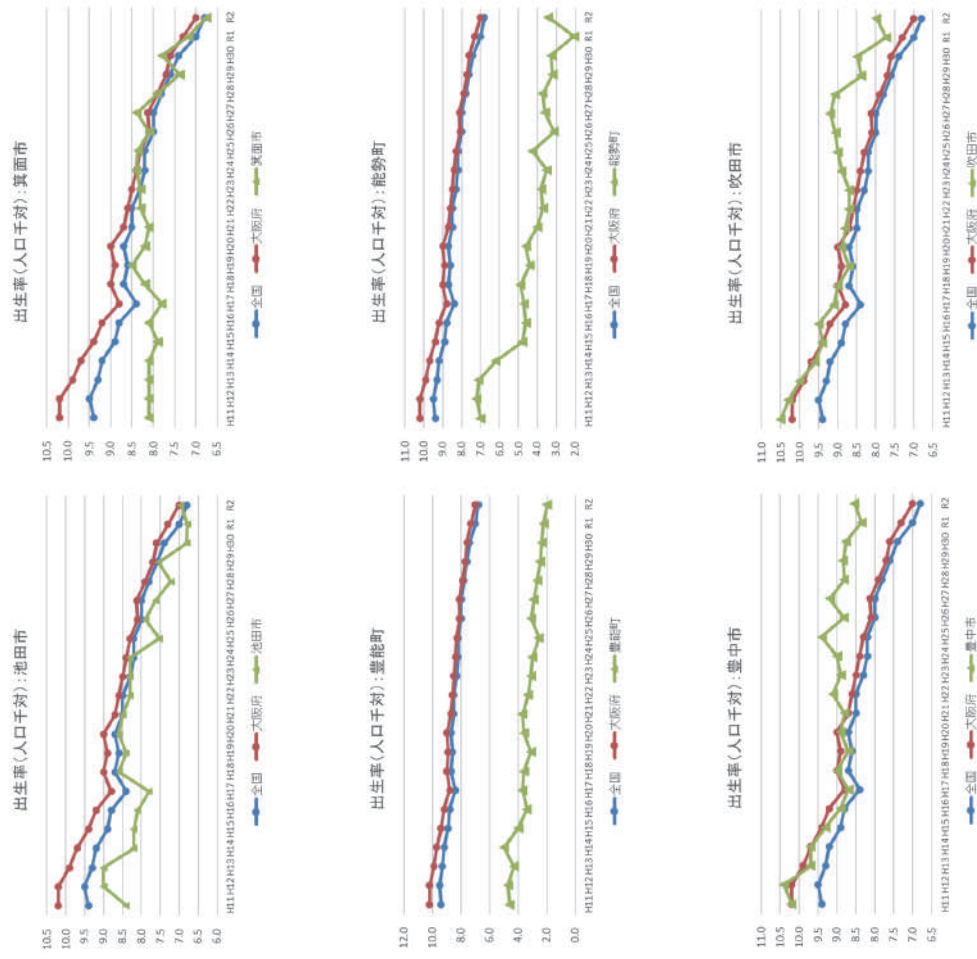
豊中市：1 歳 6 か月児健診



豊中市：3 歳児健診



⑧出生率推移（平成 11 年（1999 年）～令和 2 年（2020 年））



⑨乳幼児健康診査未受診者対応

3-4か月児 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
池田市	13	12 (92.3%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)
箕面市	30	26 (86.7%)	0 (0.0%)	4 (13.3%)	0 (0.0%)
豊能町	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
能勢町	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
吹田市	201	193 (96.0%)	0 (0.0%)	3 (1.5%)	5 (2.5%)
豊中市	97	90 (92.8%)	1 (1.0%)	4 (4.1%)	2 (2.1%)
大阪府	2,061	1,840 (89.3%)	28 (1.4%)	64 (3.1%)	129 (6.3%)

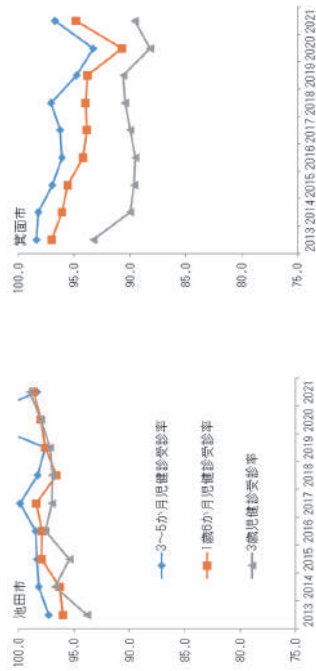
1歳6か月児 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
池田市	11	7 (63.6%)	0 (0.0%)	4 (36.4%)	0 (0.0%)
箕面市	56	51 (91.1%)	1 (1.8%)	4 (7.1%)	0 (0.0%)
豊能町	2	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
能勢町	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
吹田市	188	154 (81.9%)	0 (0.0%)	14 (7.4%)	20 (10.6%)
豊中市	199	188 (94.5%)	4 (2.0%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)
大阪府	3,039	2,548 (83.8%)	163 (5.4%)	181 (6.0%)	148 (4.9%)

3歳児健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
池田市	24	17 (70.8%)	0 (0.0%)	7 (29.2%)	0 (0.0%)
箕面市	135	130 (96.3%)	1 (0.7%)	4 (3.0%)	0 (0.0%)
豊能町	3	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
能勢町	1	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
吹田市	635	611 (96.2%)	0 (0.0%)	10 (1.6%)	14 (2.2%)
豊中市	387	350 (90.4%)	16 (4.1%)	18 (4.7%)	3 (0.8%)
大阪府	5,194	4,628 (89.1%)	189 (3.6%)	256 (4.9%)	120 (2.3%)

⑩乳幼児健康診査受診率の推移（平成25年度（2013年度）～令和3年度（2021年度））

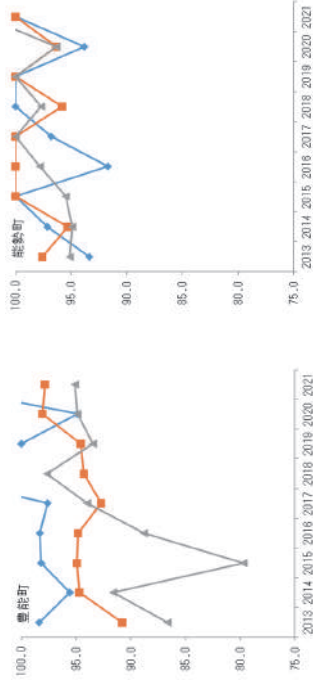
池田市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	97.3	96.0	93.8
2014	98.2	96.3	96.7
2015	98.4	97.9	95.4
2016	98.5	97.9	97.6
2017	99.9	98.4	97.0
2018	98.3	96.6	96.9
2019	97.6	97.6	97.2
2020	103.9	98.0	98.0
2021	98.3	98.6	99.0

箕面市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	98.4	97.0	93.3
2014	98.2	96.1	90.0
2015	96.9	95.6	89.6
2016	96.1	94.2	89.5
2017	96.3	93.9	90.0
2018	97.1	94.0	90.4
2019	94.8	93.8	90.6
2020	93.3	90.7	88.2
2021	96.7	94.8	89.6



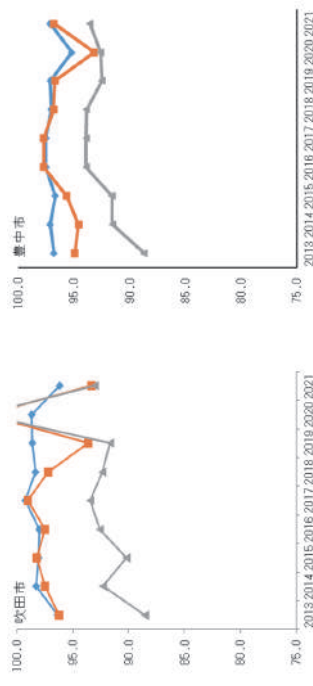
豊能町	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	98.4	90.8	86.7
2014	95.6	94.7	91.6
2015	98.2	94.9	79.7
2016	98.3	94.8	88.8
2017	97.6	92.7	94.0
2018	109.0	94.3	97.7
2019	100.0	94.6	93.5
2020	94.9	98.1	94.9
2021	108.5	97.8	95.1

能勢町	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	93.3	97.6	95.1
2014	97.1	95.3	94.9
2015	100.0	100.0	95.5
2016	91.7	100.0	97.8
2017	96.8	100.0	100.0
2018	100.0	95.8	97.7
2019	100.0	100.0	100.0
2020	93.8	96.3	96.3
2021	100.0	100.0	102.8

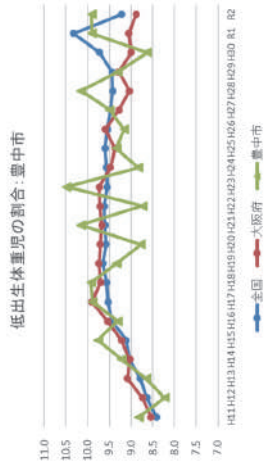
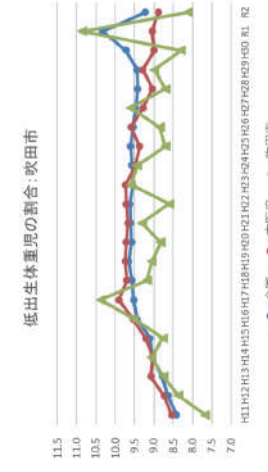
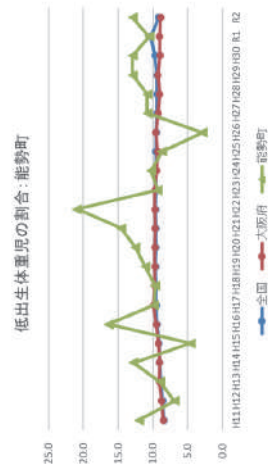
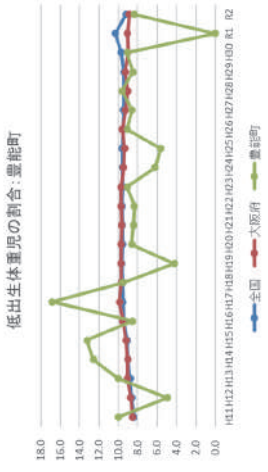
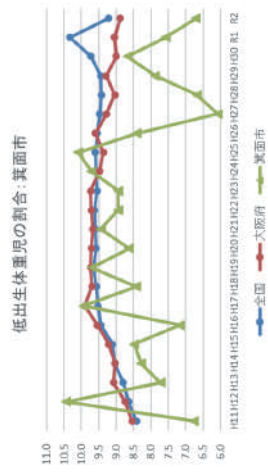
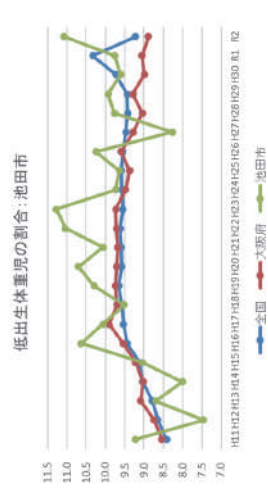


吹田市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	96.4	96.3	88.6
2014	98.3	97.5	92.3
2015	98.1	98.2	90.2
2016	98.0	97.5	92.6
2017	99.2	99.0	93.5
2018	98.3	97.2	92.4
2019	98.6	93.6	91.7
2020	98.7	102.7	103.0
2021	96.2	93.3	93.0

豊中市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	96.8	94.9	88.7
2014	97.1	94.6	91.6
2015	96.7	95.7	91.6
2016	97.5	97.7	93.9
2017	97.5	97.7	93.9
2018	97.0	96.8	93.9
2019	97.1	96.7	92.5
2020	95.2	93.2	92.6
2021	97.1	96.8	93.6

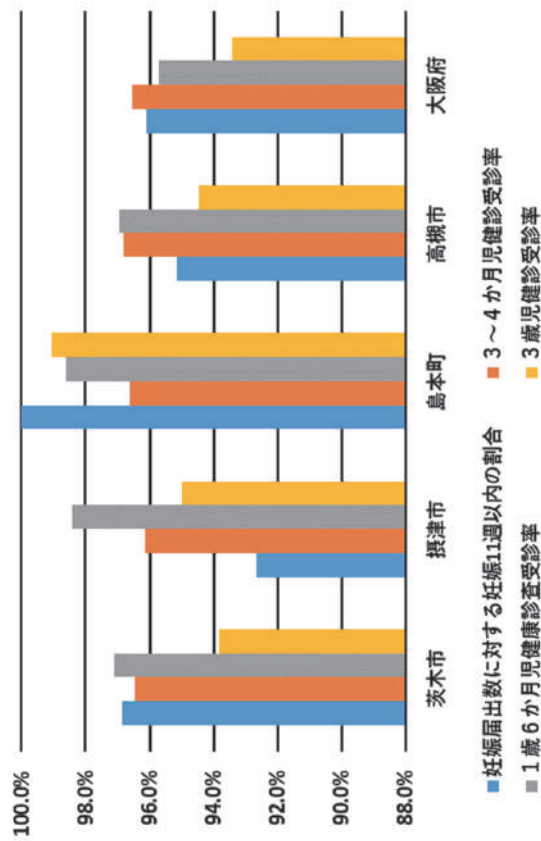


⑪低出生体重児の推移（平成11年（1999年）～令和2年（2020年））

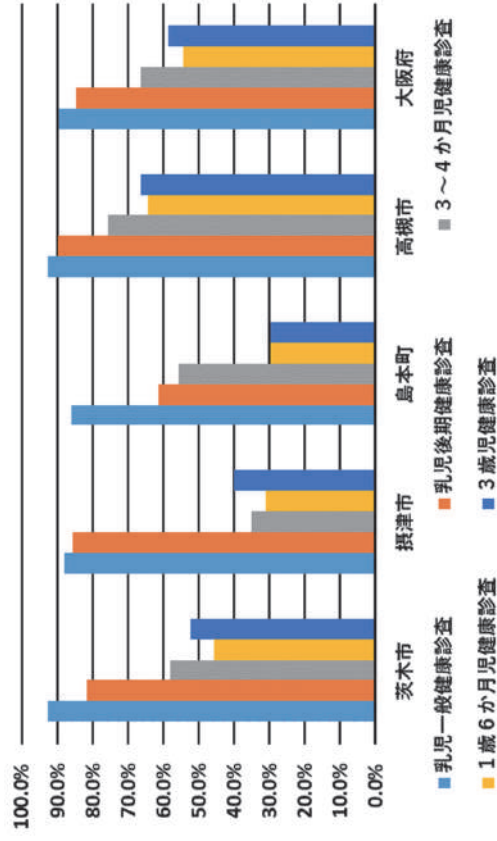


2) 三島医療圏（茨木保健所管轄） 令和3年度（2021年度）実施分 中核市：高槻市（④～⑥のデータなし）

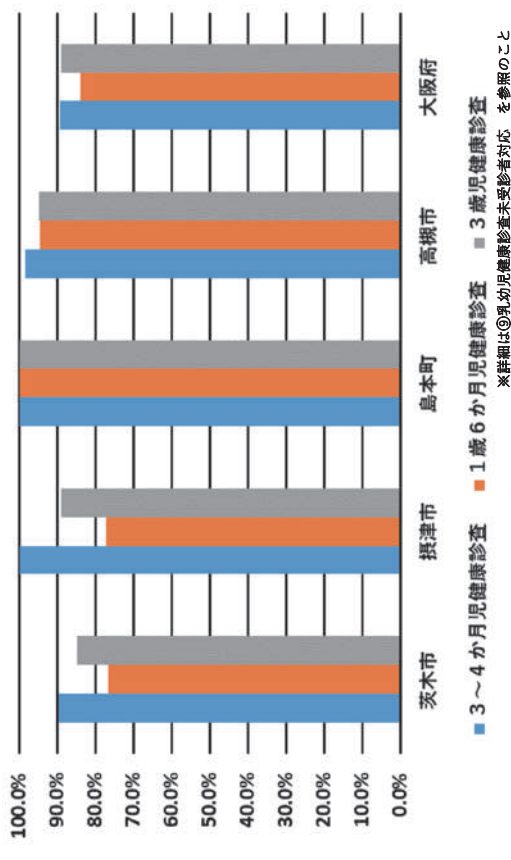
①妊娠届出数に対する妊娠11週以内の割合、乳幼児健康診査受診率



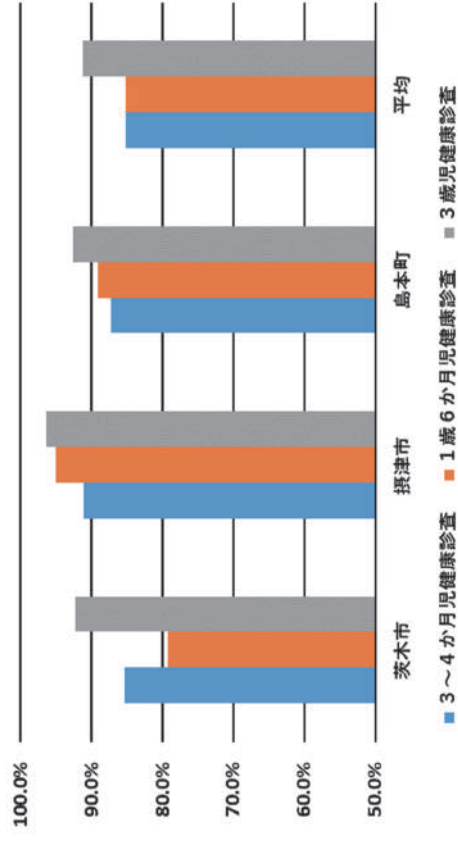
③乳幼児健康診査異常なし割合



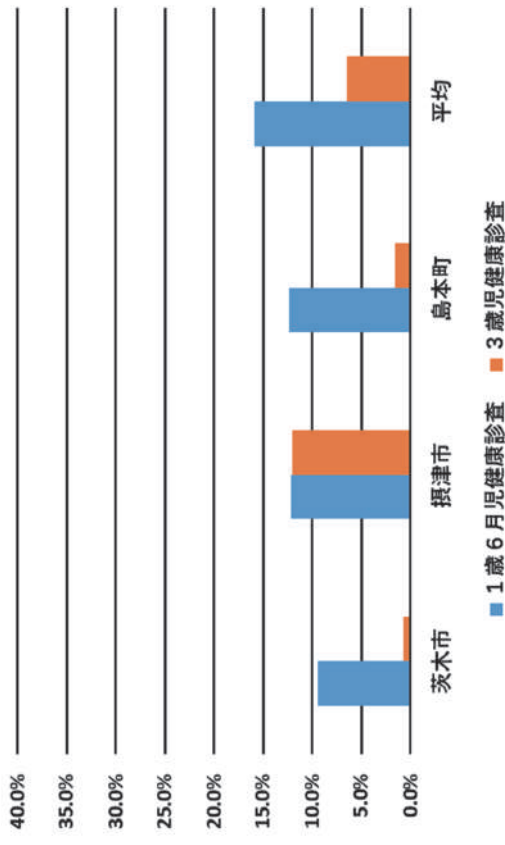
②乳幼児健康診査未受診者の現認できた割合



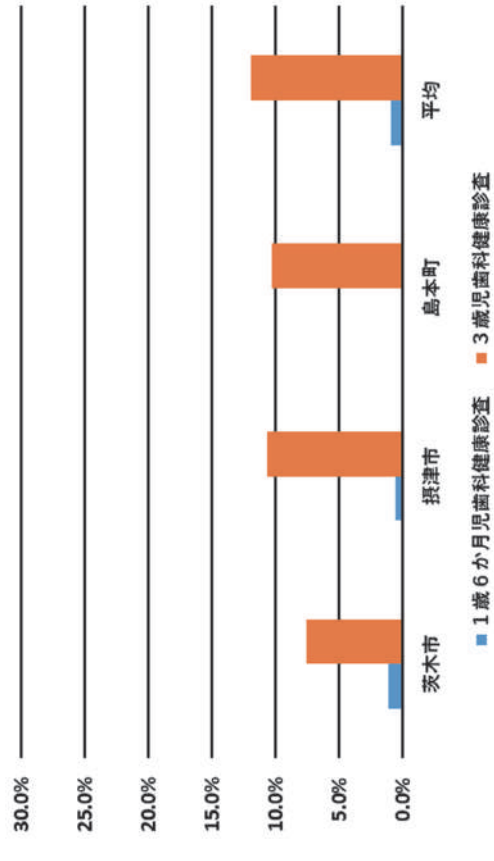
④乳幼児健康診査育児支援・養育問題等異常なし割合



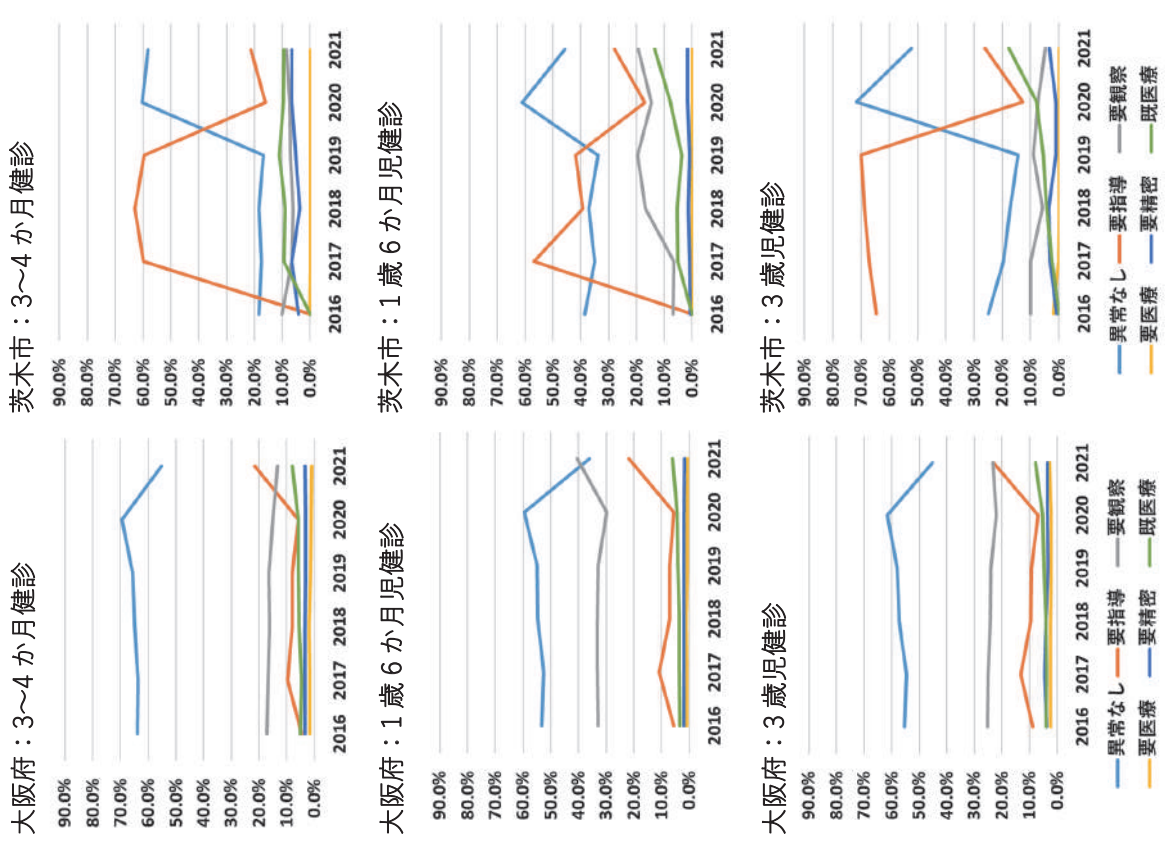
⑤乳幼児健康診査発達障がい（疑い）による要観察割合



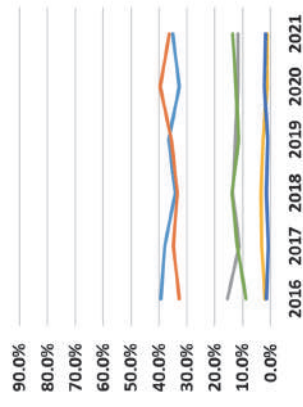
⑥歯科健康診査虫歯割合



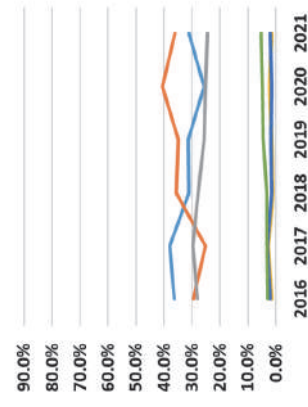
⑦異常なし・要指導・要観察・要医療・要精密・既医療の割合の推移
(平成28年度(2016年度)～令和3年度(2021年度))



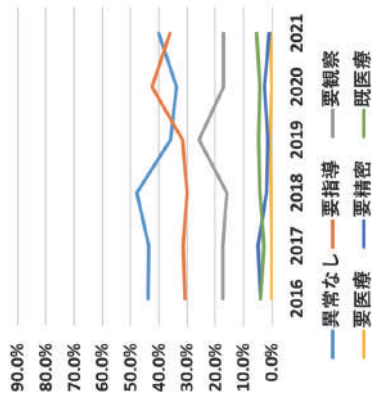
摂津市：3～4 か月健診



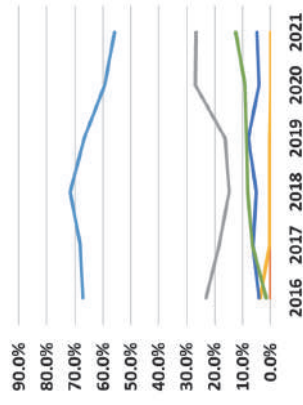
摂津市：1 歳 6 か月児健診



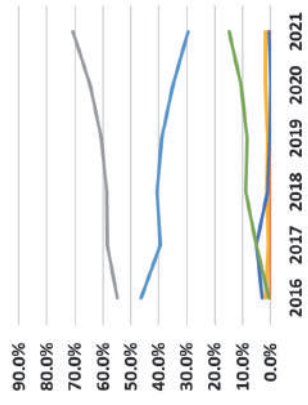
摂津市：3 歳児健診



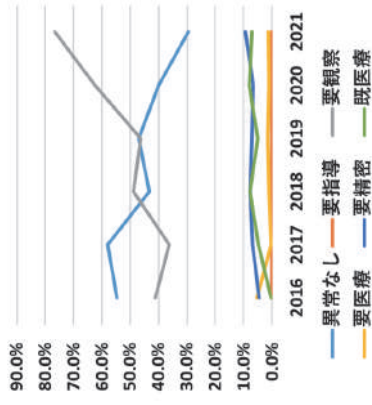
島本町：3～4 か月健診



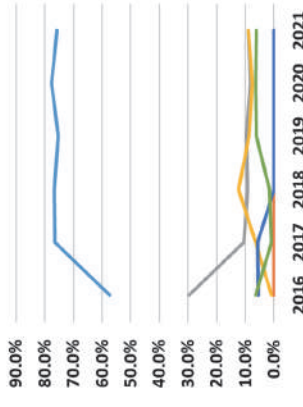
島本町：1 歳 6 か月児健診



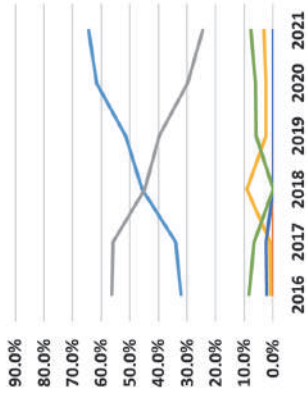
島本町：3 歳児健診



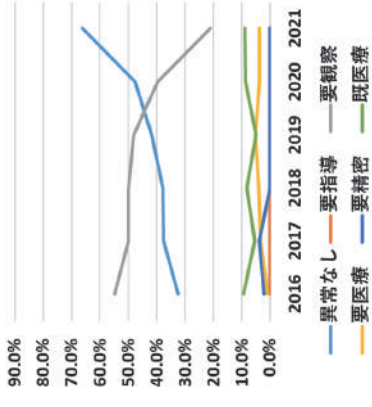
高槻市：3～4 か月健診



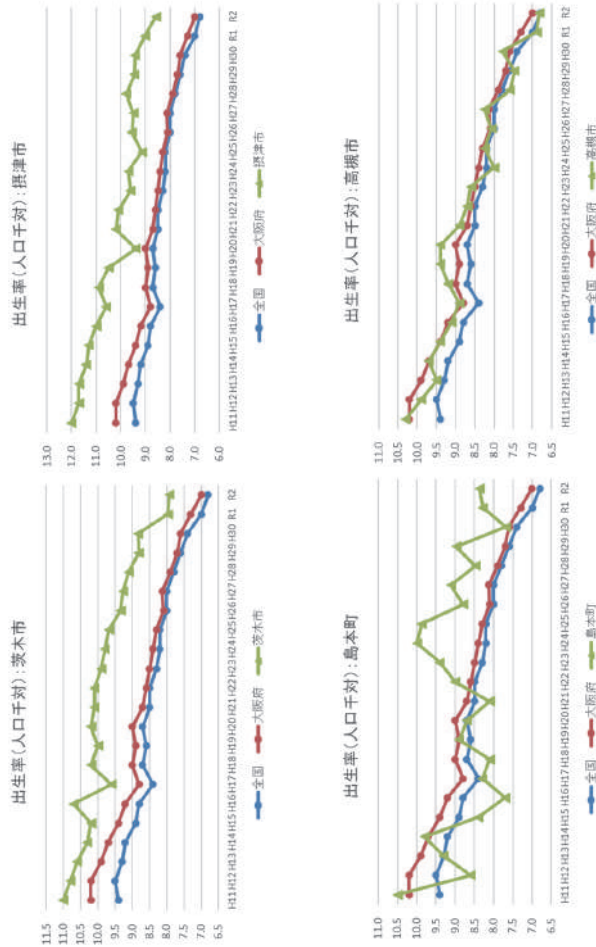
高槻市：1 歳 6 か月児健診



高槻市：3 歳児健診



⑧出生率推移（平成11年（1999年）～令和2年（2020年））



⑨乳幼児健康診査未受診者対応

3~4か月児 健康 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
茨木市	78	70 (89.7%)	0 (0.0%)	1 (1.3%)	7 (9.0%)
摂津市	9	9 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
島本町	10	10 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
高槻市	60	59 (98.3%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)
大阪府	2,061	1,840 (89.3%)	28 (1.4%)	64 (3.1%)	129 (6.3%)

1歳6か月児 健康 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
茨木市	149	114 (76.5%)	31 (20.8%)	2 (1.3%)	2 (1.3%)
摂津市	35	27 (77.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (22.9%)
島本町	6	6 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
高槻市	111	105 (94.6%)	0 (0.0%)	6 (5.4%)	0 (0.0%)
大阪府	3,039	2,548 (83.8%)	163 (5.4%)	181 (6.0%)	148 (4.9%)

3歳児健康 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
茨木市	239	203 (84.9%)	17 (7.1%)	9 (3.8%)	10 (4.2%)
摂津市	37	33 (89.2%)	2 (5.4%)	0 (0.0%)	2 (5.4%)
島本町	4	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
高槻市	154	146 (94.8%)	0 (0.0%)	8 (5.2%)	0 (0.0%)
大阪府	5,194	4,628 (89.1%)	189 (3.6%)	256 (4.9%)	120 (2.3%)

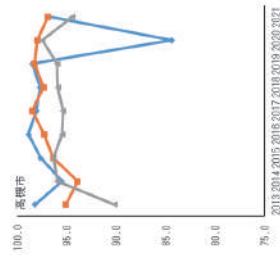
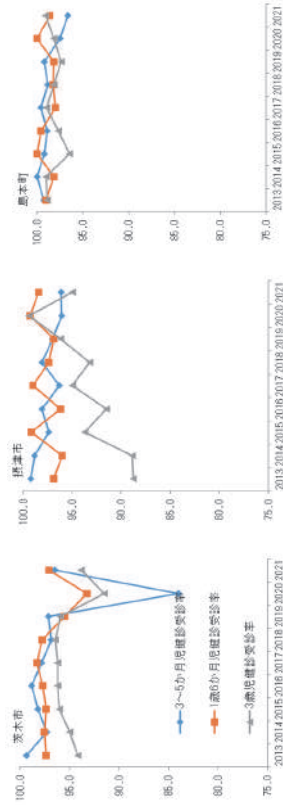
㊤乳幼児健康診査受診率の推移（平成25年度（2013年度）～令和3年度（2021年度））

茨本市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	99.3	97.4	94.2
2014	97.3	97.5	95.0
2015	98.2	97.3	96.0
2016	98.8	97.7	96.2
2017	97.8	98.3	96.2
2018	96.8	97.8	96.4
2019	97.1	95.5	95.9
2020	84.0	93.2	91.5
2021	96.5	97.1	93.8

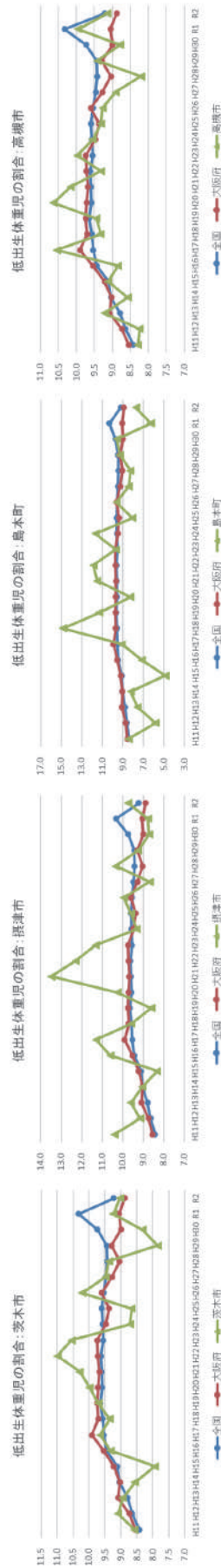
島本町	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	99.3	99.1	98.9
2014	100.0	98.2	99.0
2015	99.2	100.0	96.4
2016	98.9	99.6	97.7
2017	99.6	98.0	99.0
2018	98.8	98.2	98.2
2019	99.2	98.2	97.4
2020	97.5	100.0	98.2
2021	96.6	98.6	99.1

摂津市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	99.2	96.9	88.8
2014	98.8	96.0	88.9
2015	97.4	99.1	93.7
2016	98.1	96.2	91.5
2017	96.3	99.0	95.0
2018	98.1	97.4	93.2
2019	97.0	96.9	96.2
2020	96.1	99.3	99.4
2021	96.2	98.4	95.0

高槻市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	98.2	95.1	90.2
2014	95.5	93.9	96.0
2015	97.7	96.4	96.4
2016	98.9	97.3	95.5
2017	98.1	98.5	95.4
2018	97.7	97.4	95.9
2019	98.5	98.3	96.0
2020	84.4	98.0	97.5
2021	96.8	96.9	94.4

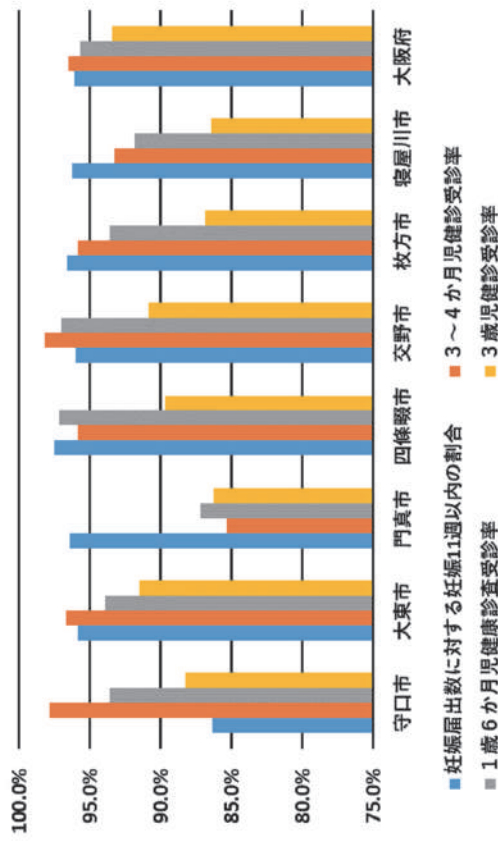


㊤低出生体重児の推移（平成11年（1999年）～令和2年（2020年））

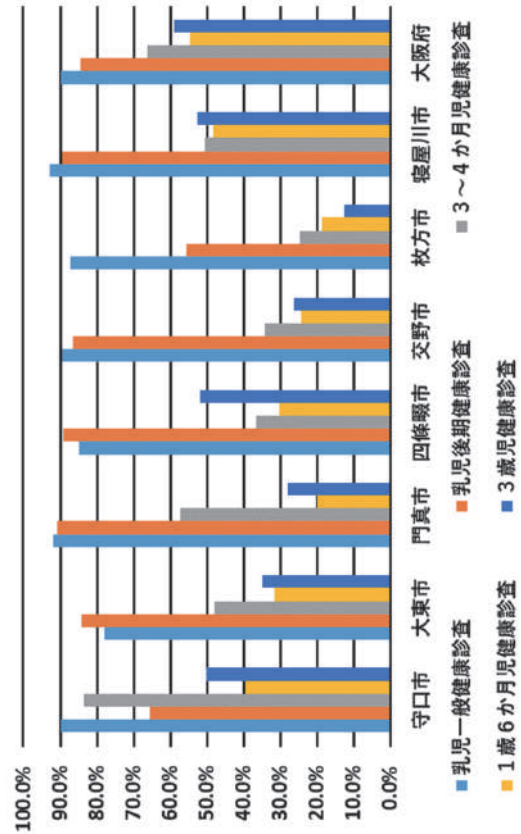


3) 北河内医療圏（守口・四條畷保健所管轄） 令和3年（2021）度実施分 中核市：枚方市・寝屋川市（④～⑥のデータなし）

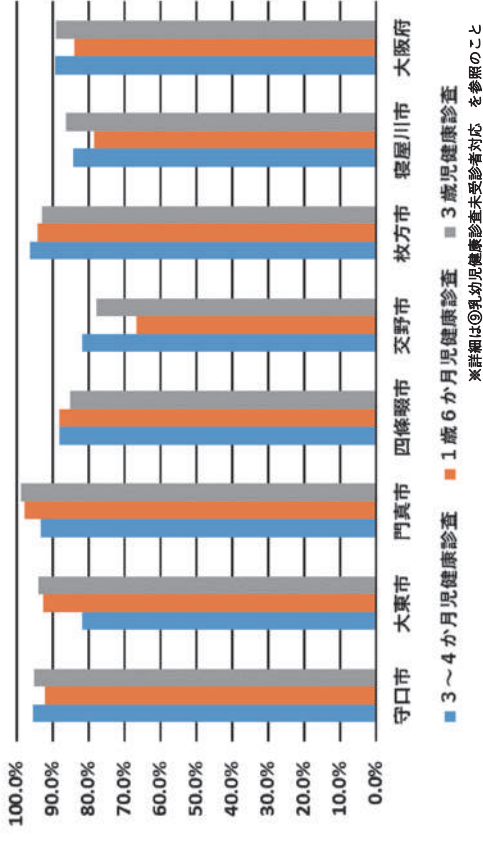
①妊娠届出数に対する妊娠11週以内の割合、乳幼児健康診査受診率



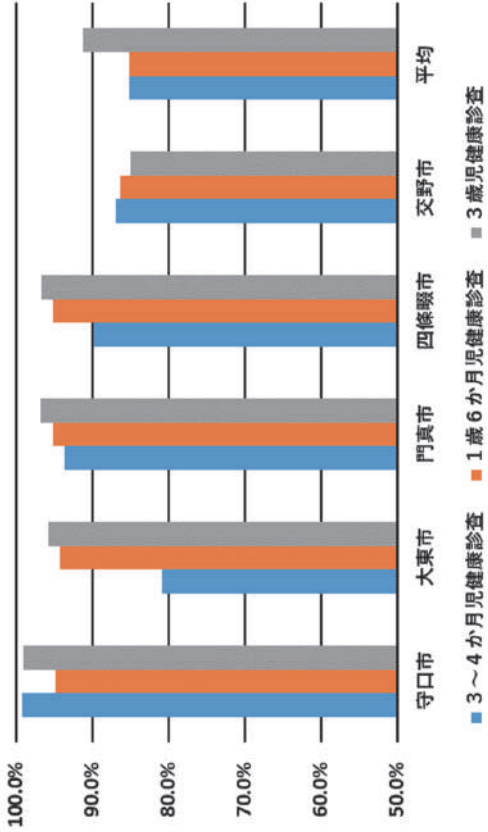
③乳幼児健康診査異常なし割合



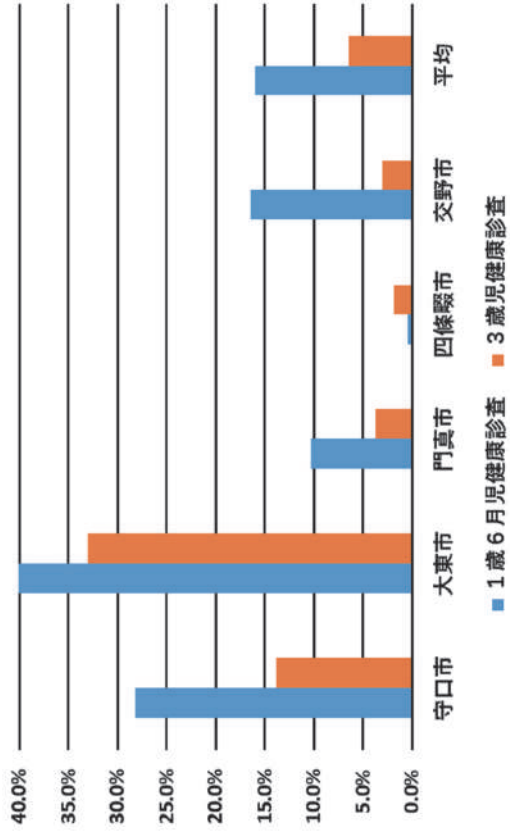
②乳幼児健康診査未受診者の現認できた割合



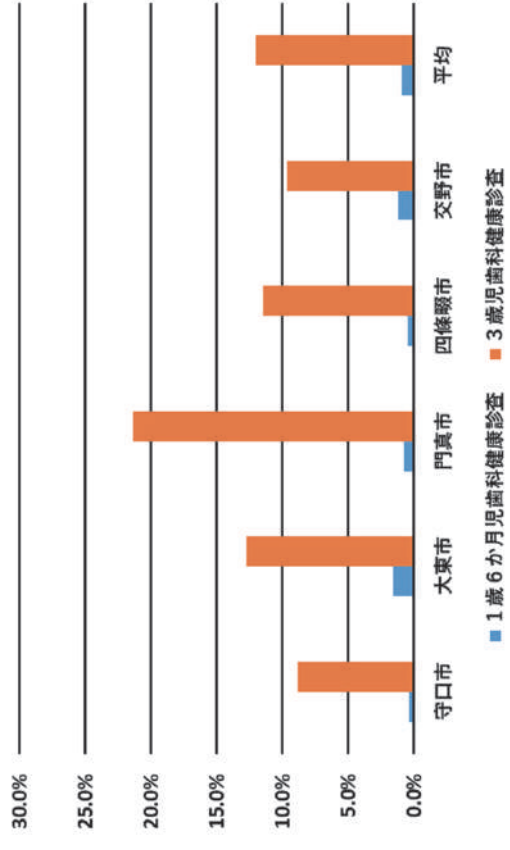
④乳幼児健康診査育児支援・養育問題等異常なし割合



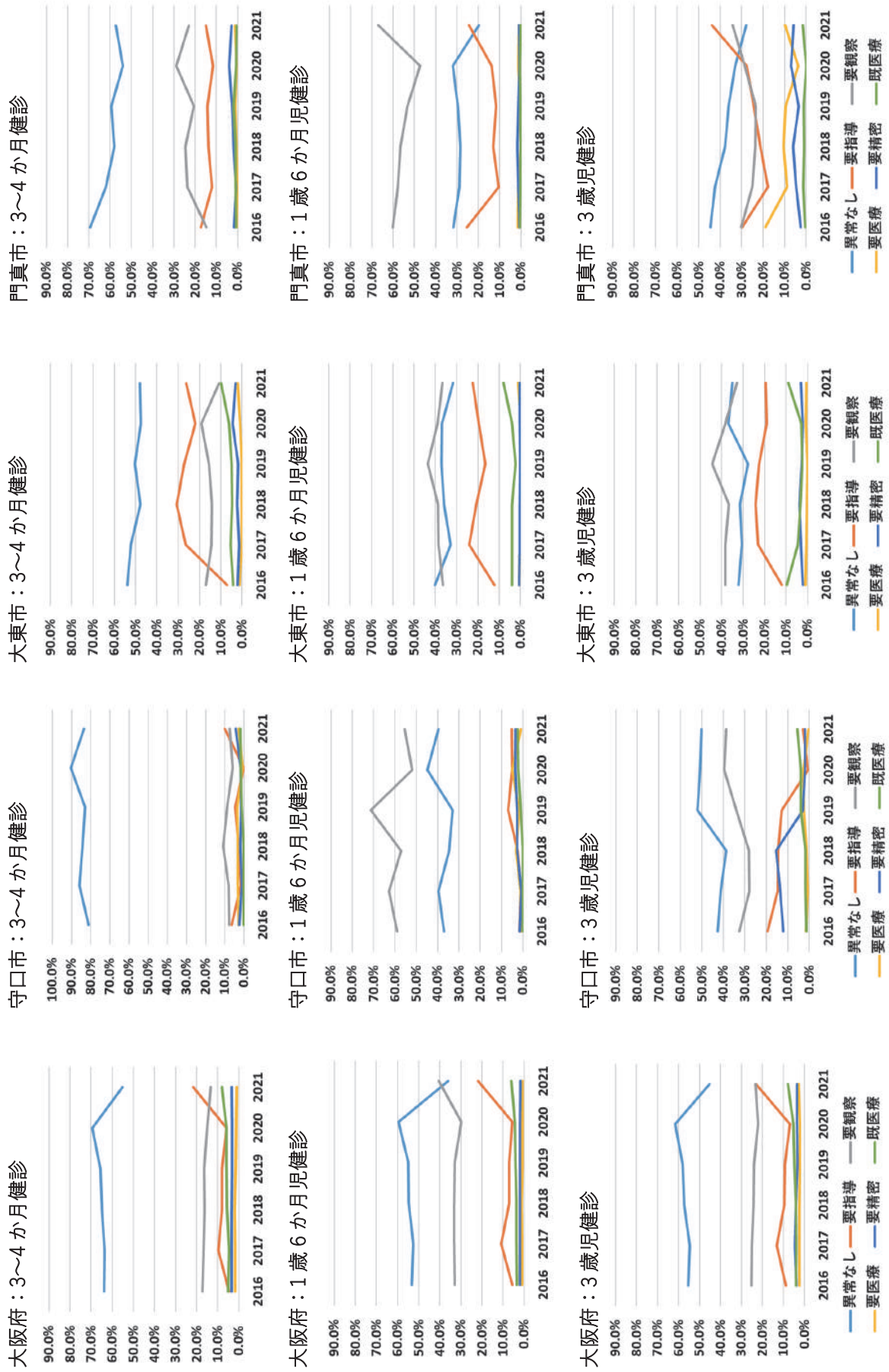
⑤乳幼児健康診査発達障がい（疑い）による要観察割合



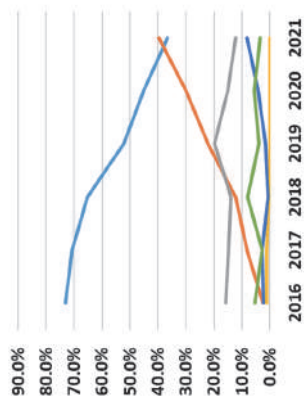
⑥歯科健康診査虫歯割合



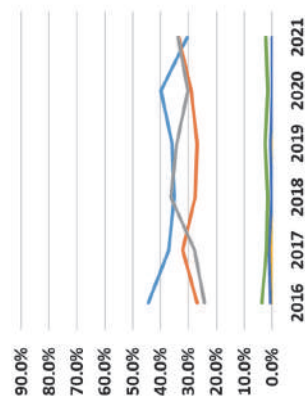
⑦異常なし・要指導・要観察・要医療・要精密・既医療の割合の推移（平成28年度（2016年度）～令和3年度（2021年度））



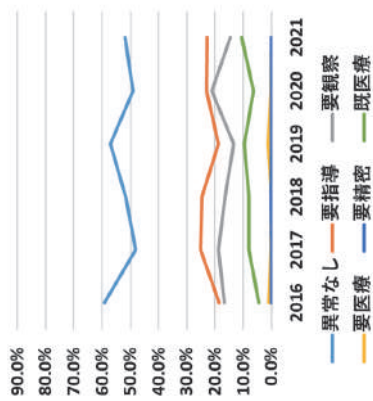
四条畷市：3～4 か月健診



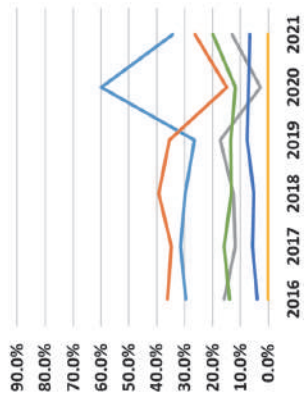
四条畷市：1 歳 6 か月児健診



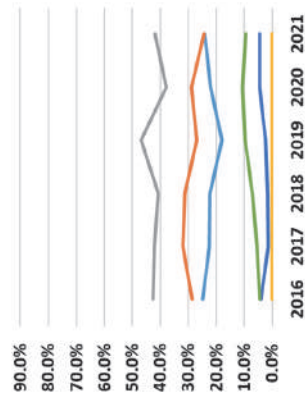
四条畷市：3 歳児健診



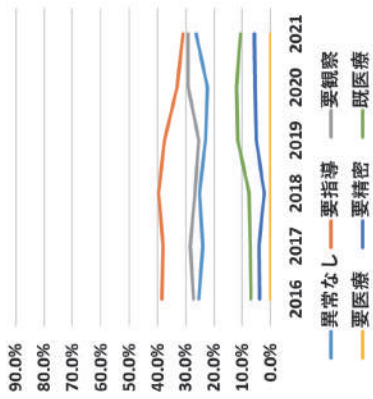
交野市：3～4 か月健診



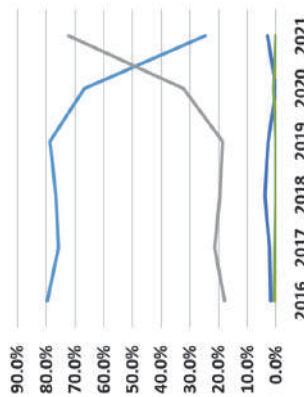
交野市：1 歳 6 か月児健診



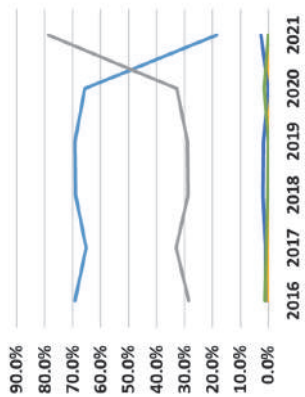
交野市：3 歳児健診



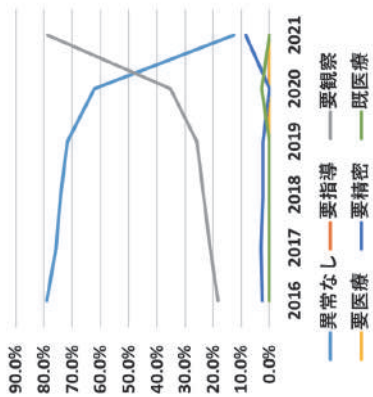
枚方市：3～4 か月健診



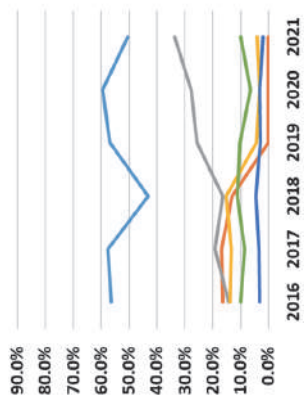
枚方市：1 歳 6 か月児健診



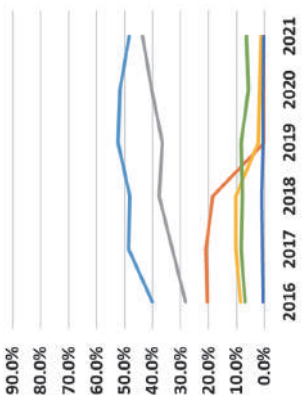
枚方市：3 歳児健診



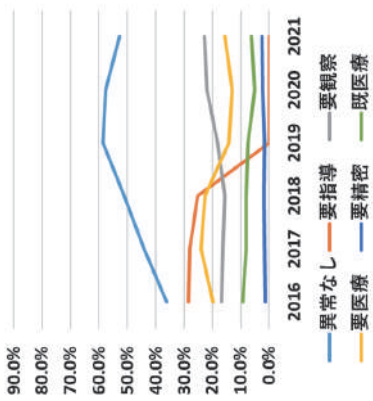
寝屋川市：3～4 か月健診



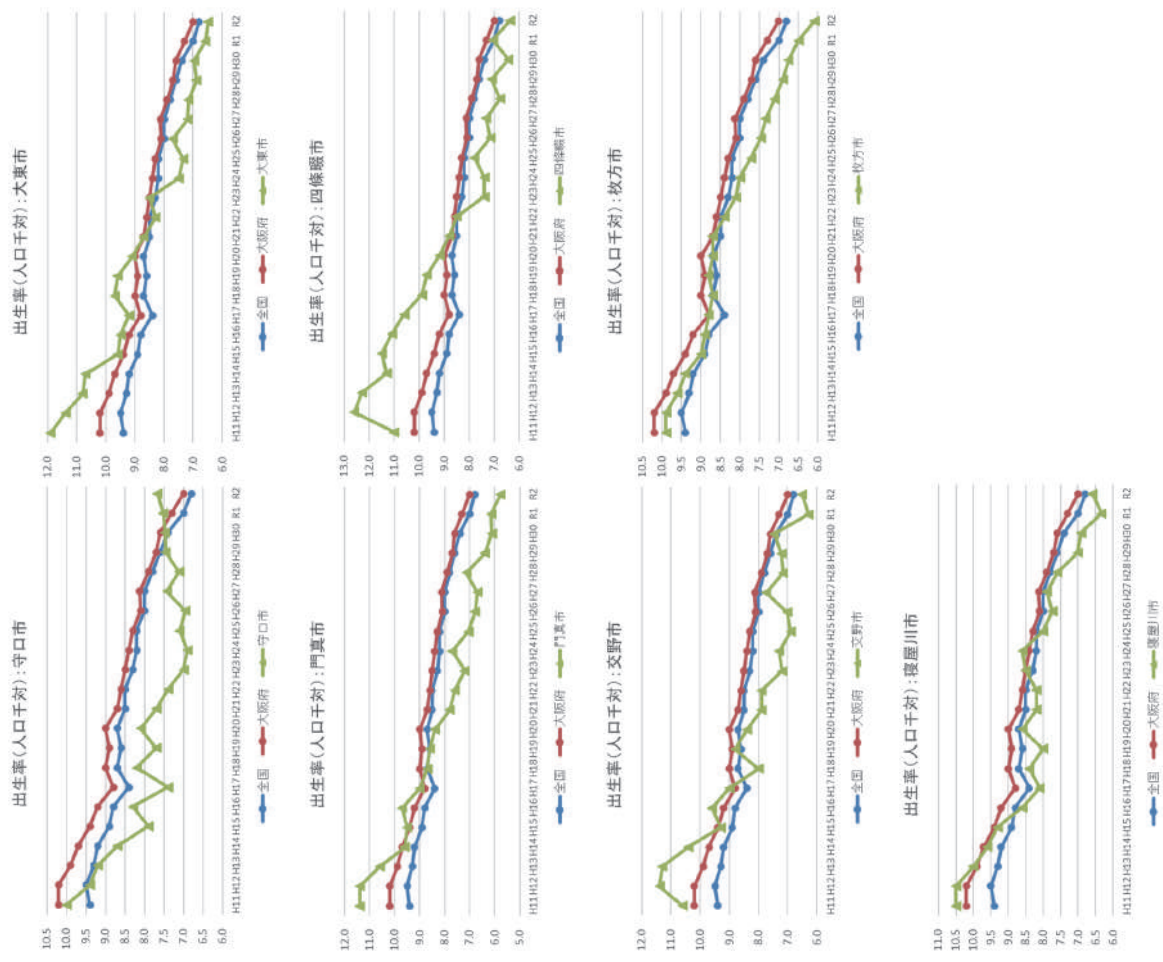
寝屋川市：1 歳 6 か月児健診



寝屋川市：3 歳児健診



⑧出生率推移（平成11年（1999年）～令和2年（2020年））



⑨乳幼児健康診査未受診者対応

3~4か月児 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
守口市	22	21 (95.5%)	0 (0.0%)	1 (4.5%)	0 (0.0%)
大東市	22	18 (81.8%)	0 (0.0%)	3 (13.6%)	1 (4.5%)
門真市	59	55 (93.2%)	4 (6.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
四條畷市	17	15 (88.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (11.8%)
交野市	11	9 (81.8%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)
枚方市	134	129 (96.3%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	4 (3.0%)
寝屋川市	121	102 (84.3%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	18 (14.9%)
大阪府	2,061	1,840 (89.3%)	28 (1.4%)	64 (3.1%)	129 (6.3%)

1歳6か月児 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
守口市	64	59 (92.2%)	2 (3.1%)	0 (0.0%)	3 (4.7%)
大東市	41	38 (92.7%)	0 (0.0%)	1 (2.4%)	2 (4.9%)
門真市	49	48 (98.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
四條畷市	25	22 (88.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (12.0%)
交野市	15	10 (66.7%)	3 (20.0%)	0 (0.0%)	2 (13.3%)
枚方市	201	189 (94.0%)	12 (6.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
寝屋川市	135	106 (78.5%)	12 (8.9%)	5 (3.7%)	12 (8.9%)
大阪府	3,039	2,548 (83.8%)	163 (5.4%)	181 (6.0%)	148 (4.9%)

3歳児健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
守口市	126	120 (95.2%)	5 (4.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
大東市	65	61 (93.8%)	0 (0.0%)	3 (4.6%)	1 (1.5%)
門真市	82	81 (98.8%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
四條畷市	54	46 (85.2%)	3 (5.6%)	0 (0.0%)	5 (9.3%)
交野市	36	28 (77.8%)	8 (22.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
枚方市	520	484 (93.1%)	23 (4.4%)	0 (0.0%)	13 (2.5%)
寝屋川市	220	190 (86.4%)	18 (8.2%)	5 (2.3%)	7 (3.2%)
大阪府	5,194	4,628 (89.1%)	189 (3.6%)	256 (4.9%)	120 (2.3%)

⑩乳幼児健康診査受診率の推移（平成25年度（2013年度）～令和3年度（2021年度））

守口市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	100.0	92.1	80.4
2014	92.7	95.1	79.0
2015	97.4	93.5	78.3
2016	99.5	95.1	82.9
2017	97.8	96.3	85.7
2018	98.5	93.0	87.3
2019	99.6	95.0	90.4
2020	92.0	95.6	88.6
2021	97.8	93.6	88.3

大東市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	93.8	91.0	87.0
2014	94.7	94.0	90.4
2015	96.7	92.9	91.9
2016	97.2	92.9	91.4
2017	96.5	93.2	90.8
2018	97.2	94.9	93.1
2019	96.7	96.8	92.6
2020	95.2	94.1	93.1
2021	96.7	93.9	91.5

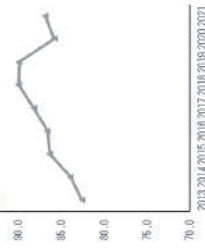
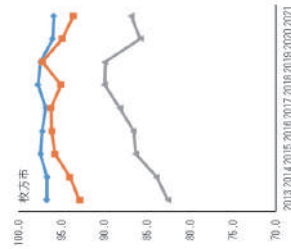
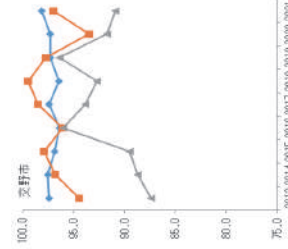
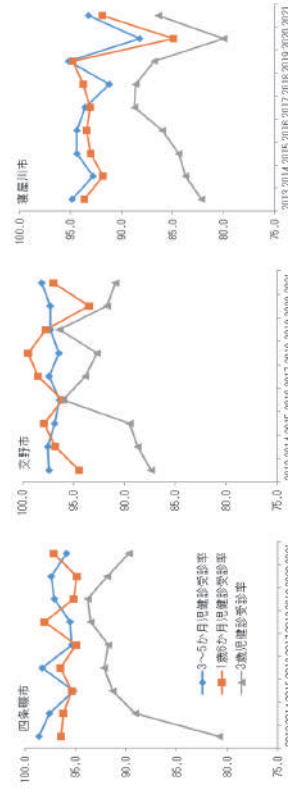
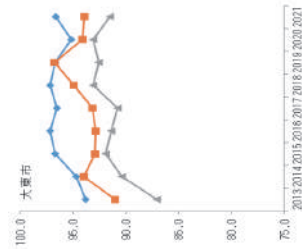
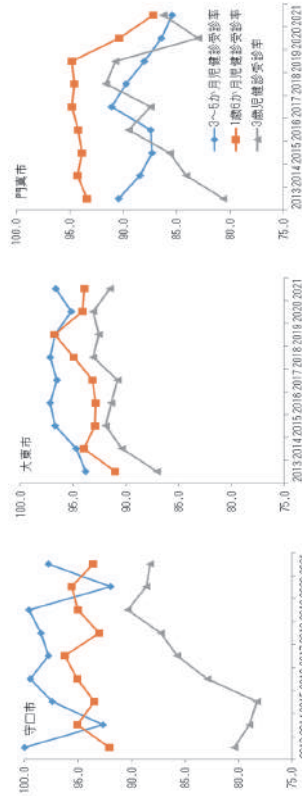
門真市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	90.5	93.4	80.6
2014	88.4	94.3	84.1
2015	87.3	93.8	85.6
2016	87.4	94.2	89.5
2017	91.1	94.8	87.4
2018	89.7	94.6	91.6
2019	88.0	94.8	90.7
2020	86.4	90.4	83.0
2021	85.4	87.2	86.3

四條畷市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	98.6	96.5	80.8
2014	97.6	96.2	89.1
2015	95.2	95.4	91.3
2016	98.3	96.5	92.2
2017	95.4	94.9	91.8
2018	95.5	98.1	93.5
2019	97.1	95.2	93.8
2020	97.4	94.9	91.9
2021	95.9	97.1	89.7

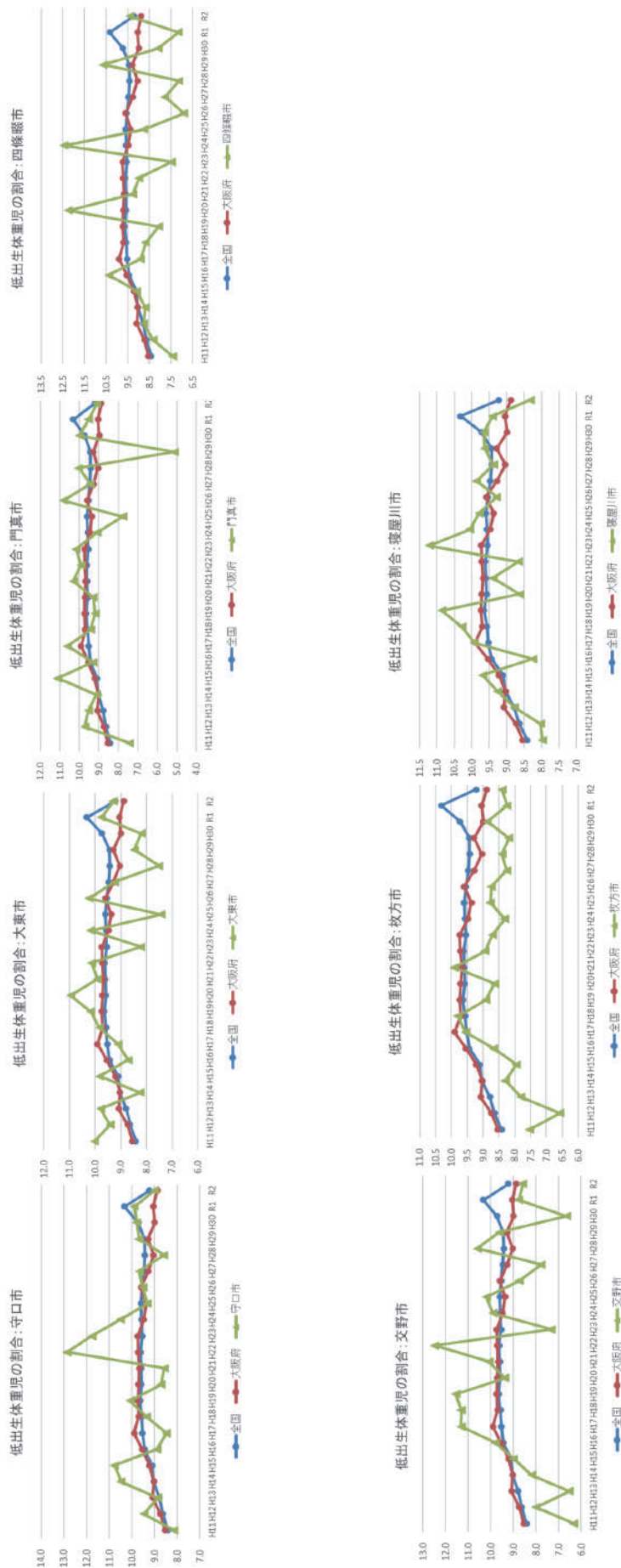
交野市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	97.4	94.5	87.3
2014	97.5	96.8	88.7
2015	96.8	97.9	89.5
2016	96.4	96.1	96.0
2017	97.4	98.5	93.8
2018	96.4	99.5	92.7
2019	97.3	97.7	96.4
2020	97.3	93.5	91.7
2021	98.1	97.0	90.9

枚方市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	96.7	92.9	82.6
2014	96.6	94.0	83.9
2015	97.4	95.7	86.3
2016	97.2	96.1	86.6
2017	96.8	96.2	88.2
2018	97.7	95.1	90.0
2019	97.4	97.2	89.9
2020	96.0	94.9	85.8
2021	95.9	93.6	86.9

寝屋川市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	94.8	93.6	82.2
2014	92.8	91.8	83.7
2015	94.4	93.0	84.4
2016	94.4	93.4	86.0
2017	93.6	93.1	88.7
2018	91.2	93.8	88.6
2019	95.2	94.8	86.8
2020	88.2	84.9	80.0
2021	93.2	91.9	86.4



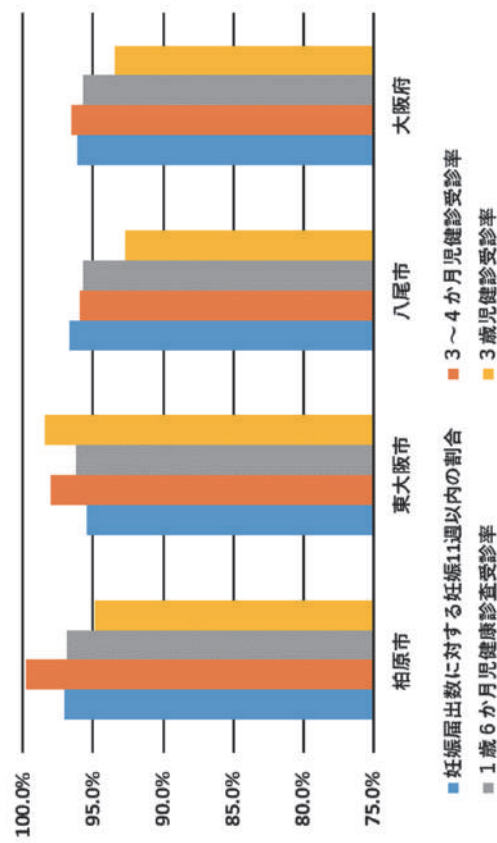
⑪低出生体重児の推移（平成11年（1999年）～令和2年（2020年））



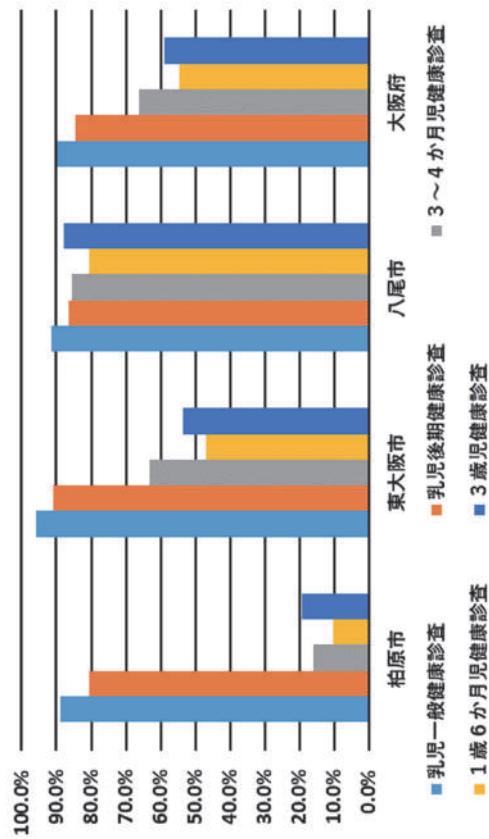
4) 中河内医療圏 令和3年度(2021年度)実施分

中核市：東大阪市・八尾市（④～⑥のデータなし）

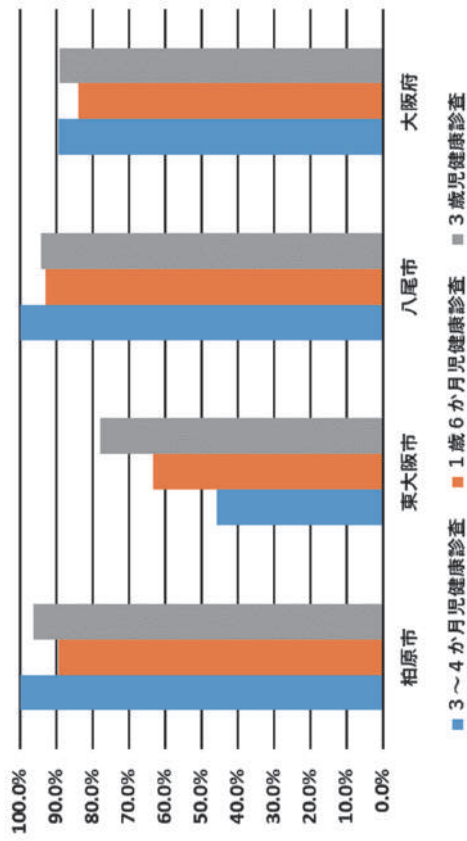
①妊娠届出数に対する妊娠11週以内の割合、乳幼児健康診査受診率



③乳幼児健康診査異常なし割合



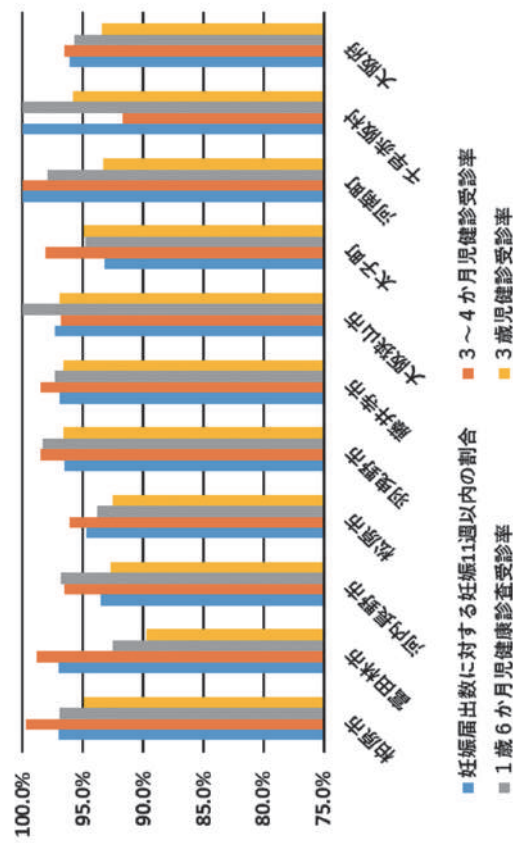
②乳幼児健康診査未受診者の現認できた割合



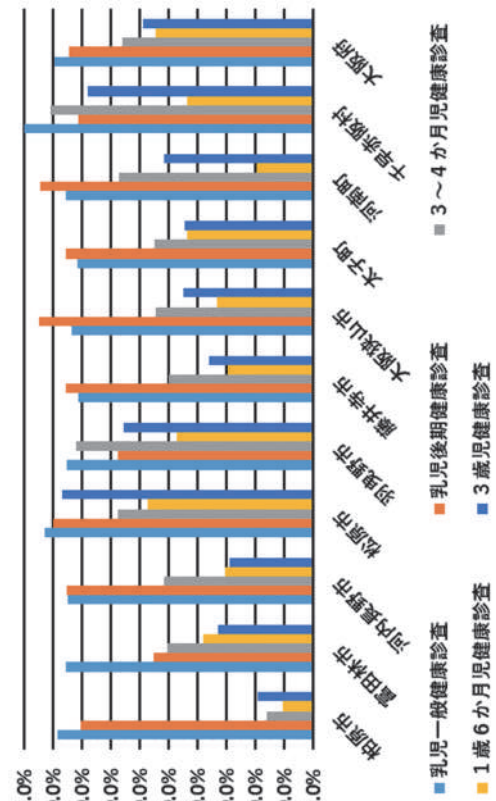
5) 南河内医療圏及び柏原市（藤井寺・富田林保健所管轄）

令和3年度（2021年度）実施分

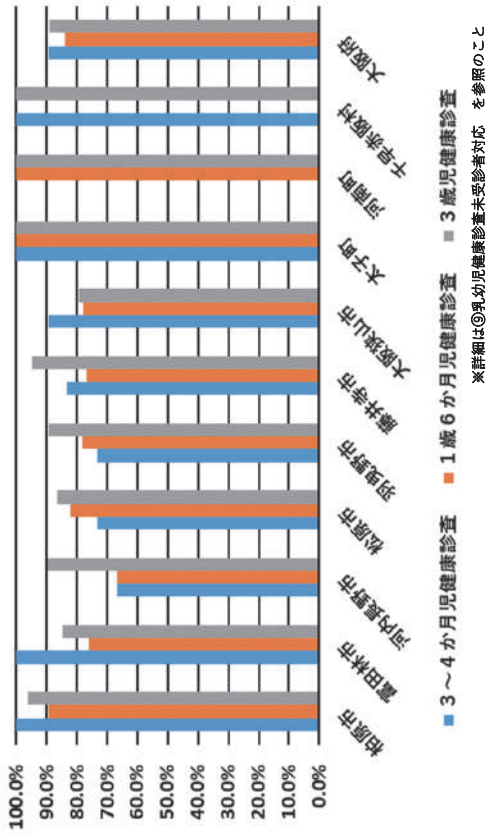
①妊娠届出数に対する妊娠11週以内の割合、乳幼児健康診査受診率



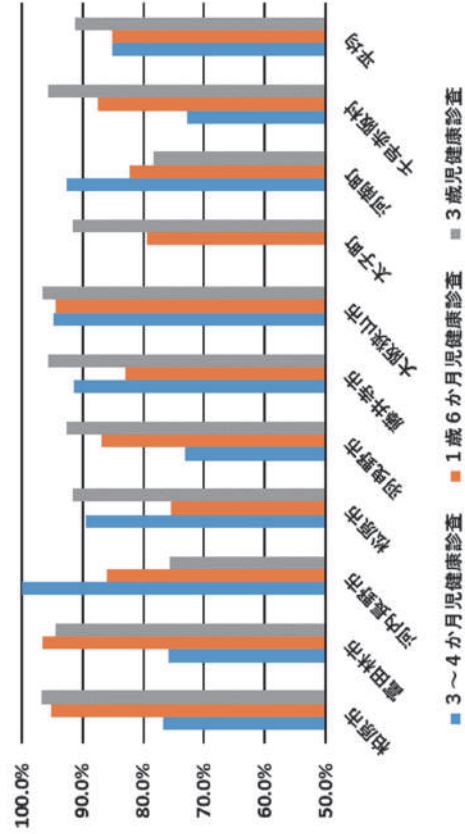
③乳幼児健康診査異常なし割合



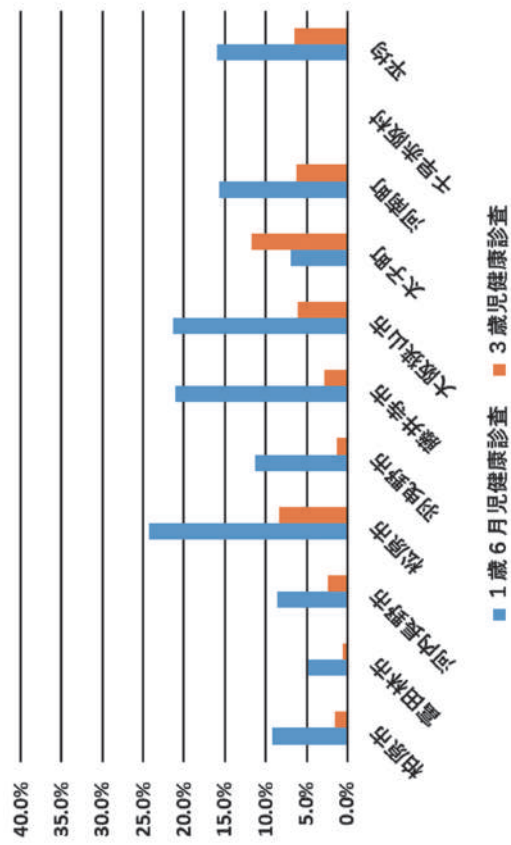
②乳幼児健康診査未受診者の現認できた割合



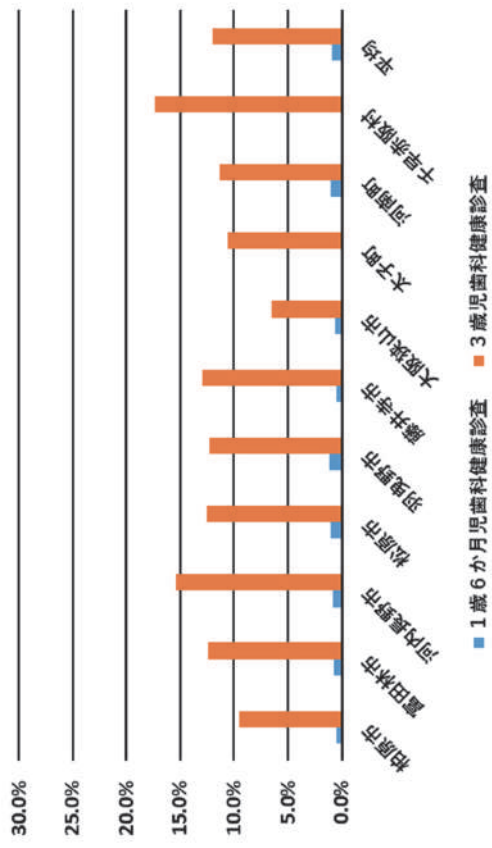
④乳幼児健康診査育児支援・養育問題等異常なし割合



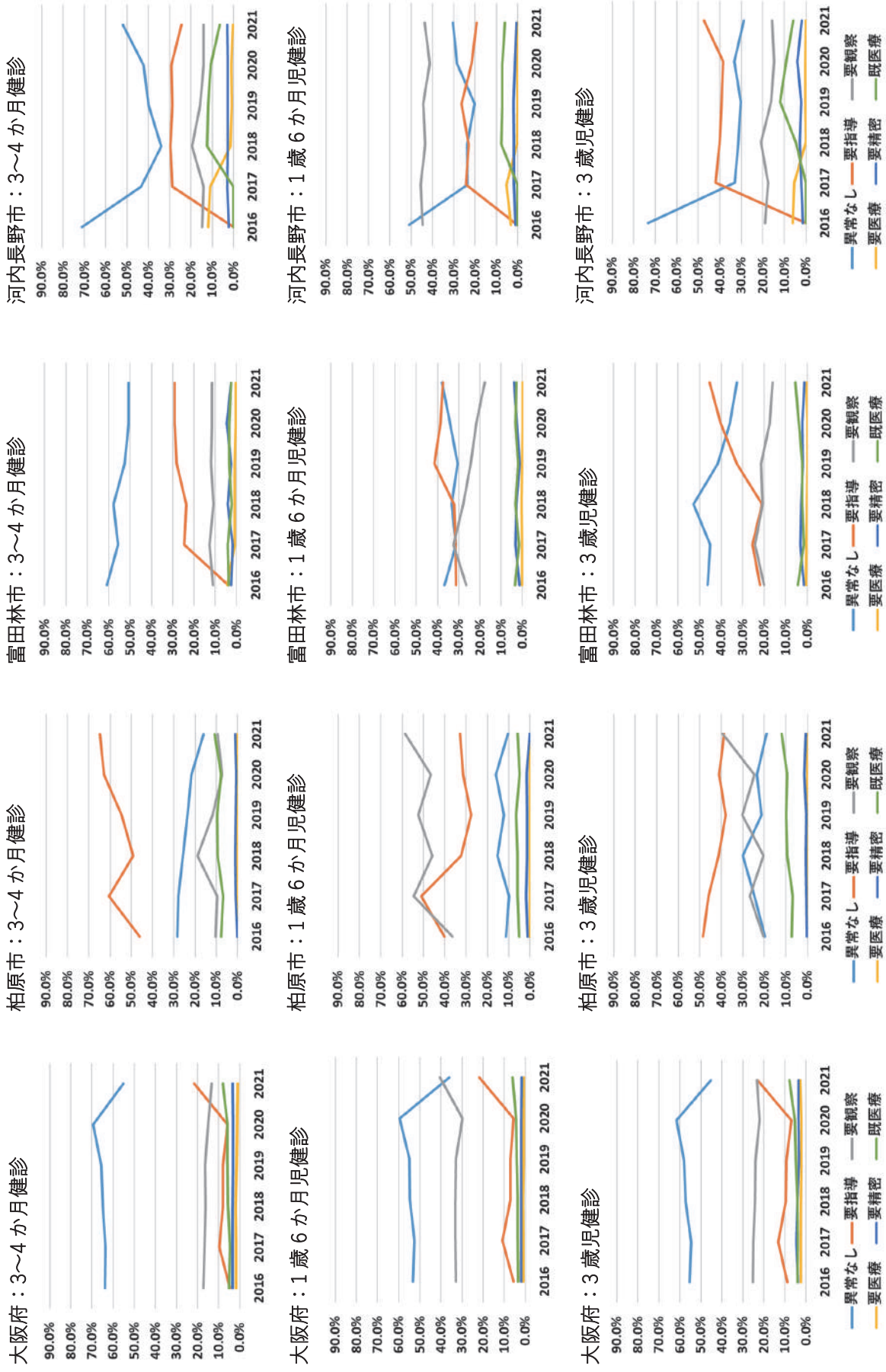
⑤乳幼児健康診査発達障がい（疑い）による要観察割合



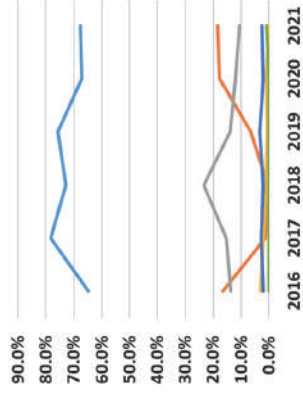
⑥歯科健康診査虫歯割合



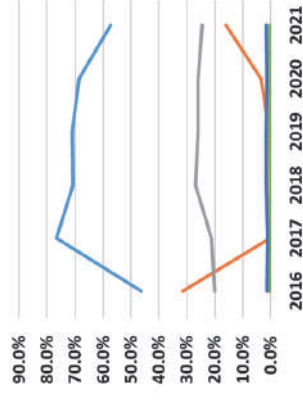
⑦異常なし・要指導・要観察・要医療・要精密・既医療の割合の推移（平成28年度（2016年度）～令和3年度（2021年度））



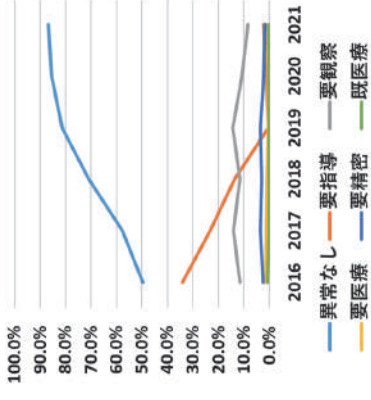
松原市：3～4 か月健診



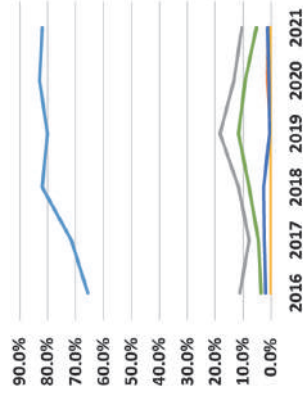
松原市：1 歳 6 か月児健診



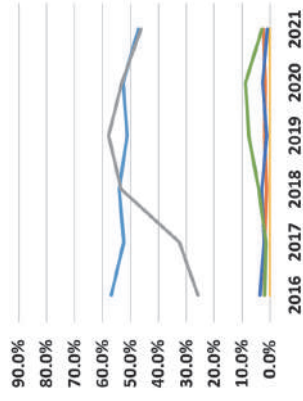
松原市：3 歳児健診



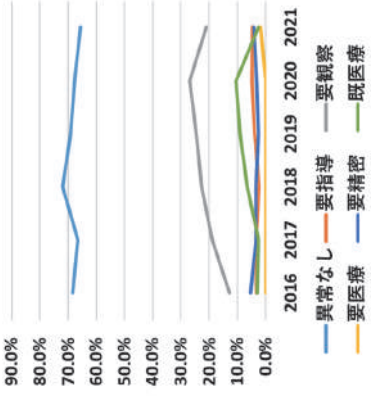
羽曳野市：3～4 か月健診



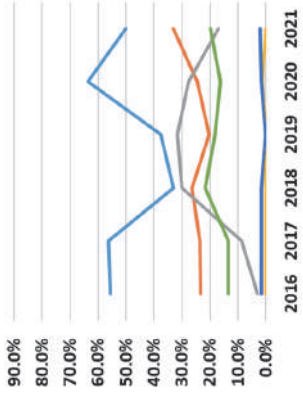
羽曳野市：1 歳 6 か月児健診



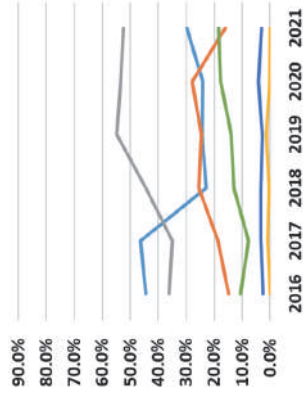
羽曳野市：3 歳児健診



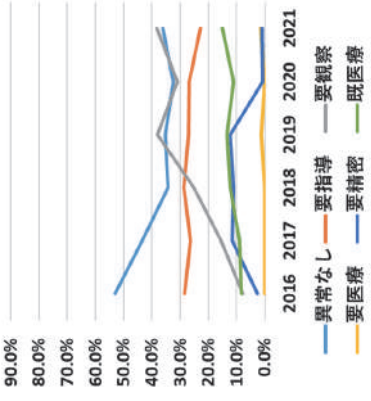
藤井寺市：3～4 か月健診



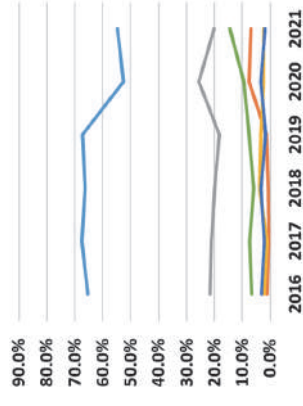
藤井寺市：1 歳 6 か月児健診



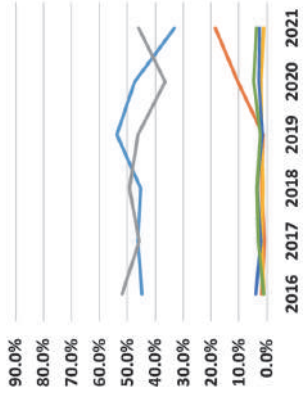
藤井寺市：3 歳児健診



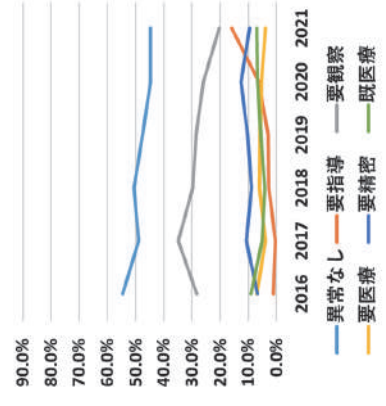
大阪狭山市：3～4 か月健診

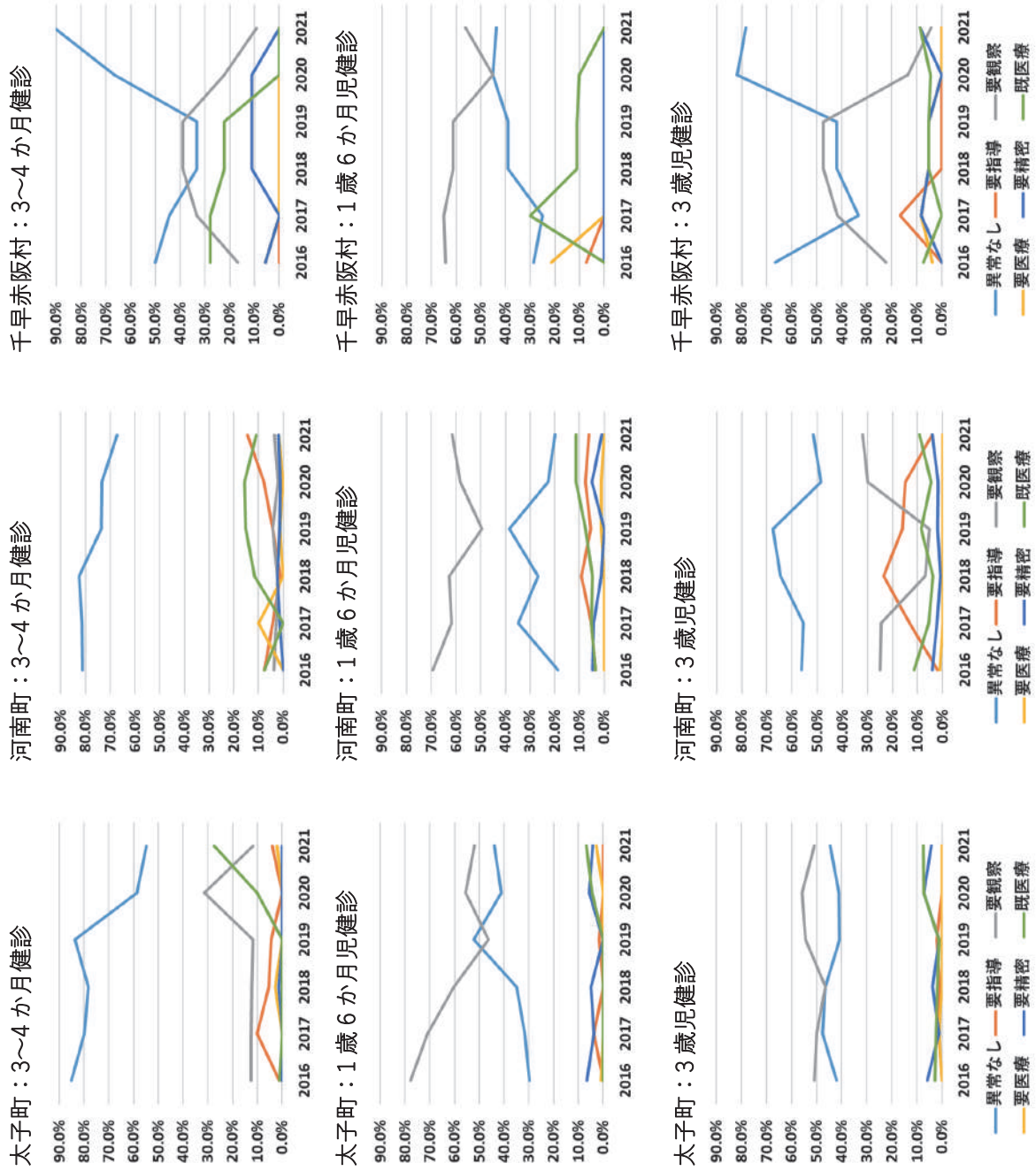


大阪狭山市：1 歳 6 か月児健診

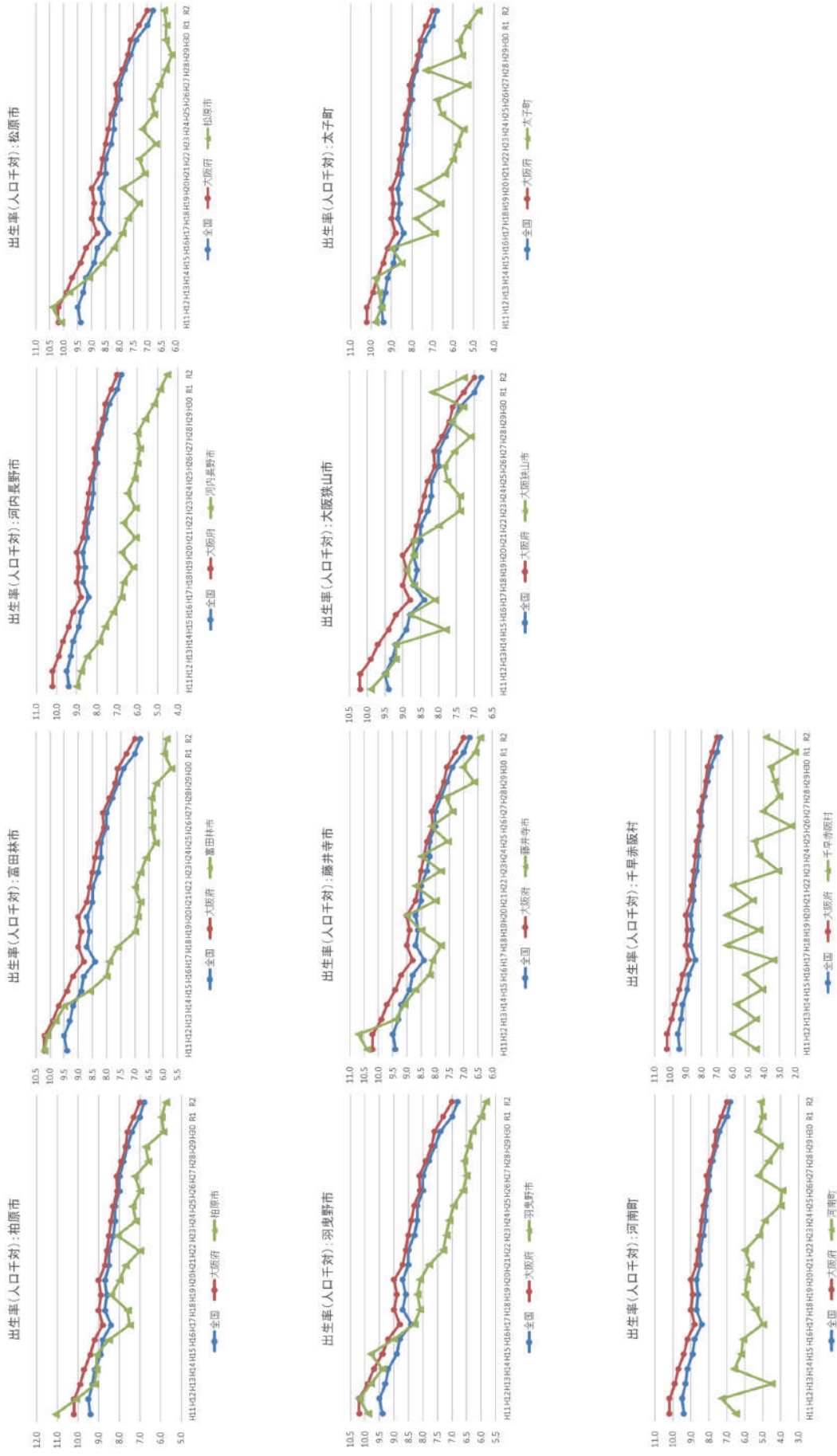


大阪狭山市：3 歳児健診





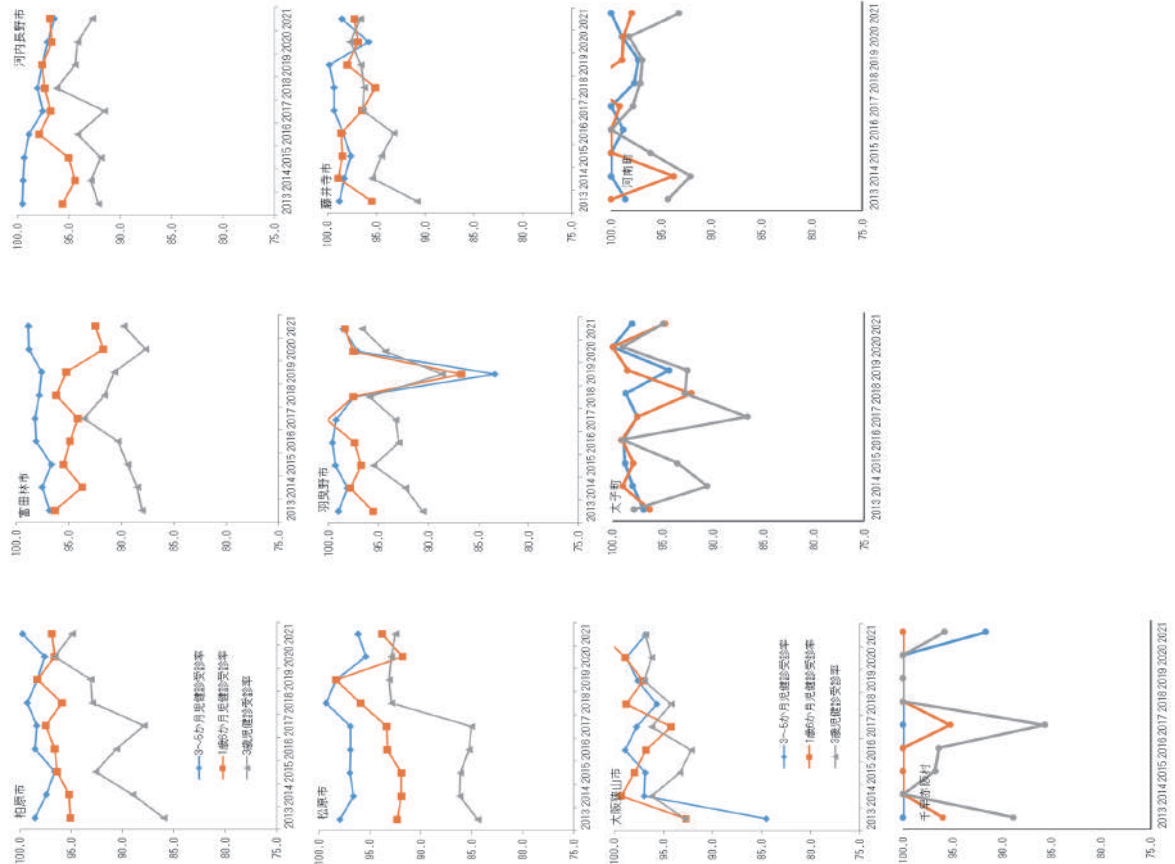
⑧出生率推移（平成 11 年（1999 年）～令和 2 年（2020 年））



⑨乳幼児健康診査未受診者対応

3-4か月児 健診		未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
柏原市	2	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
富田林市	6	6 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
河内長野市	6	4 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)
松原市	30	22 (73.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (26.7%)
羽曳野市	15	11 (73.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (26.7%)
藤井寺市	6	5 (83.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)
大阪狭山市	38	34 (89.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.6%)	3 (7.9%)
太子町	1	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
河南町	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
千早赤阪村	1	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
大阪府	2,061	1,840 (89.3%)	28 (1.4%)	64 (3.1%)	129 (6.3%)	
1歳6か月児 健診		未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
柏原市	19	17 (89.5%)	2 (10.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
富田林市	50	38 (76.0%)	10 (20.0%)	1 (2.0%)	1 (2.0%)	1 (2.0%)
河内長野市	18	12 (66.7%)	0 (0.0%)	2 (11.1%)	2 (11.1%)	4 (22.2%)
松原市	50	41 (82.0%)	0 (0.0%)	2 (4.0%)	2 (4.0%)	7 (14.0%)
羽曳野市	23	18 (78.3%)	2 (8.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (13.0%)
藤井寺市	13	10 (76.9%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	2 (15.4%)	2 (15.4%)
大阪狭山市	18	14 (77.8%)	0 (0.0%)	2 (11.1%)	2 (11.1%)	2 (11.1%)
太子町	2	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
河南町	2	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)
千早赤阪村	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
大阪府	3,039	2,548 (83.8%)	163 (5.4%)	181 (6.0%)	148 (4.9%)	
3歳児健診		未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
柏原市	26	25 (96.2%)	1 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
富田林市	66	56 (84.8%)	8 (12.1%)	0 (0.0%)	2 (3.0%)	2 (3.0%)
河内長野市	39	35 (89.7%)	0 (0.0%)	1 (2.6%)	3 (7.7%)	3 (7.7%)
松原市	59	51 (86.4%)	0 (0.0%)	3 (5.1%)	5 (8.5%)	5 (8.5%)
羽曳野市	37	33 (89.2%)	2 (5.4%)	0 (0.0%)	2 (5.4%)	2 (5.4%)
藤井寺市	19	18 (94.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	1 (5.3%)
大阪狭山市	24	19 (79.2%)	0 (0.0%)	2 (8.3%)	3 (12.5%)	3 (12.5%)
太子町	2	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
河南町	3	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
千早赤阪村	1	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
大阪府	5,194	4,628 (89.1%)	189 (3.6%)	256 (4.9%)	120 (2.3%)	

⑩乳幼児健康診査受診率の推移 (平成25年度 (2013年度) ~令和3年度 (2021年度))

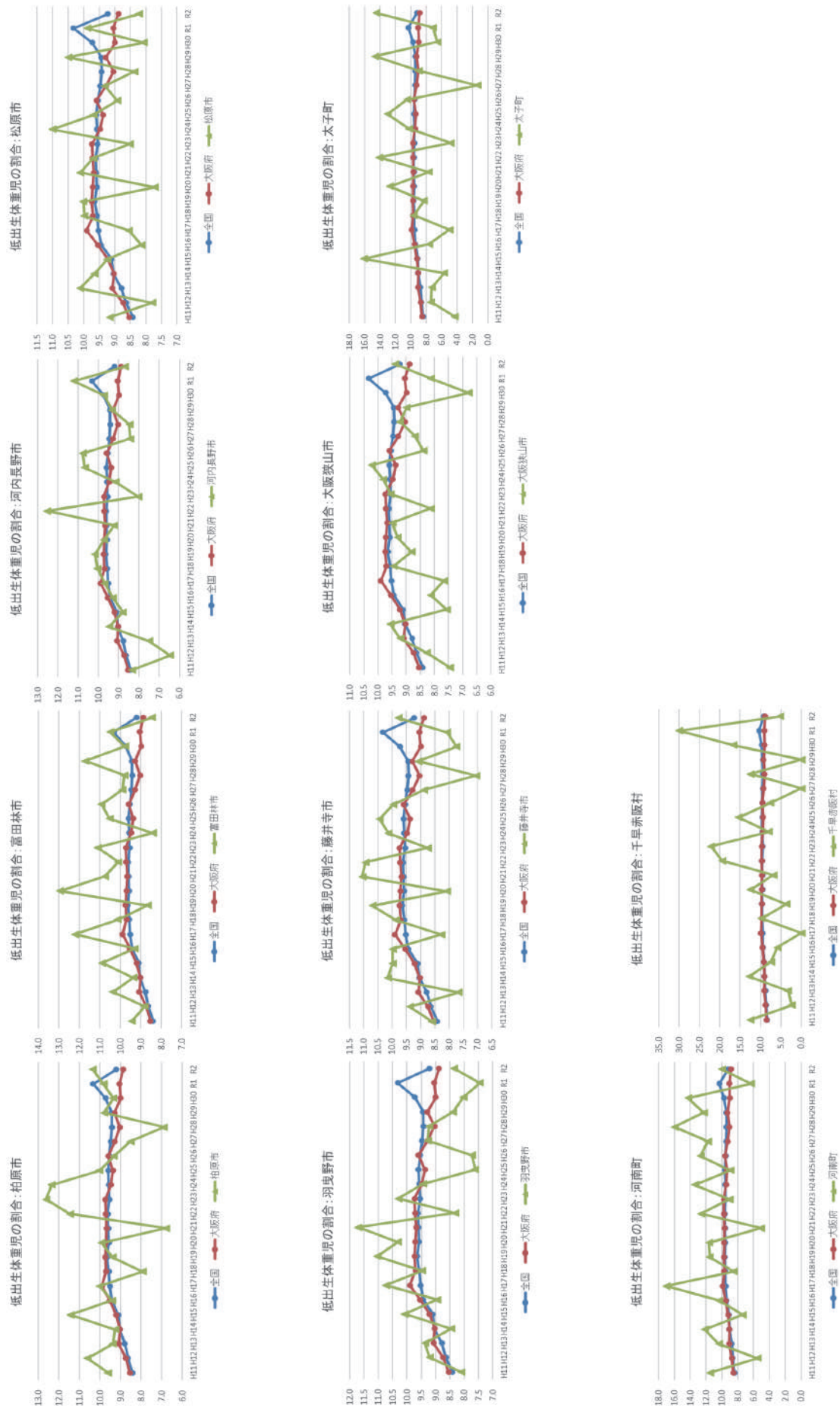


柏原市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	98.5	95.1	86.0
2014	97.4	95.2	89.0
2015	96.6	96.4	92.7
2016	98.5	96.6	90.6
2017	98.3	97.4	87.9
2018	99.3	95.9	92.9
2019	98.3	98.3	93.1
2020	97.6	96.6	96.6
2021	99.8	96.9	94.9
松原市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	97.9	92.3	84.4
2014	96.6	91.9	86.2
2015	97.0	91.9	86.1
2016	96.9	93.3	85.3
2017	96.9	93.3	85.0
2018	99.3	95.9	92.9
2019	98.3	98.3	93.1
2020	95.4	91.8	92.9
2021	96.1	93.8	92.5
大阪狭山市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	84.5	92.7	92.8
2014	97.0	99.3	96.2
2015	96.9	97.9	93.4
2016	98.9	96.8	92.2
2017	97.7	94.2	96.2
2018	95.7	98.8	94.2
2019	97.6	97.1	97.0
2020	98.8	98.9	96.2
2021	96.8	101.2	96.9
千早赤阪村	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	100.0	96.0	88.9
2014	100.0	100.0	100.0
2015	100.0	100.0	96.8
2016	100.0	100.0	96.4
2017	100.0	95.2	85.7
2018	100.0	100.0	100.0
2019	100.0	100.0	100.0
2020	100.0	100.0	100.0
2021	91.7	100.0	95.8

富田林市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	96.8	96.3	88.0
2014	97.5	93.7	88.5
2015	96.6	95.5	89.4
2016	98.1	94.9	90.3
2017	98.2	94.1	93.5
2018	97.8	96.2	91.6
2019	97.6	95.2	90.7
2020	98.8	91.7	87.7
2021	98.8	92.5	89.7
羽曳野市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	99.0	95.6	90.6
2014	98.1	97.8	92.3
2015	99.3	96.7	95.5
2016	99.6	97.4	93.0
2017	99.3	100.1	93.3
2018	97.5	97.5	95.9
2019	83.4	86.7	88.6
2020	97.1	97.5	94.3
2021	98.5	98.3	96.6
太子町	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	96.9	96.3	97.9
2014	98.0	99.0	90.6
2015	98.8	97.9	93.5
2016	98.9	99.1	99.0
2017	97.6	97.5	86.6
2018	98.7	92.2	92.8
2019	94.4	98.5	92.6
2020	100.0	100.0	99.0
2021	98.1	94.8	94.9

河内長野市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	99.6	95.6	92.1
2014	99.5	94.4	92.9
2015	99.4	95.1	91.9
2016	98.9	97.9	94.2
2017	97.6	96.8	91.5
2018	98.1	97.4	96.2
2019	97.6	97.6	94.4
2020	97.1	96.7	94.2
2021	96.5	96.8	92.8
藤井寺市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	98.8	95.5	90.8
2014	98.3	98.9	95.4
2015	97.6	98.5	94.5
2016	98.4	98.6	93.2
2017	99.3	96.5	96.4
2018	99.3	95.1	96.3
2019	99.8	98.0	96.6
2020	95.8	96.9	97.7
2021	98.5	97.3	96.7
河南町	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	98.6	100.0	94.4
2014	100.0	93.8	92.1
2015	100.0	100.0	96.1
2016	98.8	100.0	100.0
2017	100.0	99.1	97.8
2018	97.7	102.4	97.1
2019	97.3	98.9	96.9
2020	98.9	98.8	98.2
2021	100.0	98.0	93.3

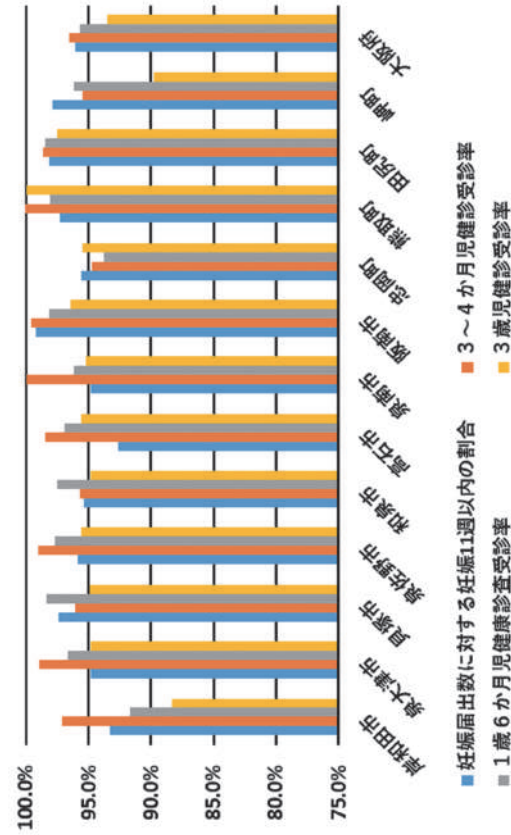
⑪低出生体重児の推移（平成11年（1999年）～令和2年（2020年））



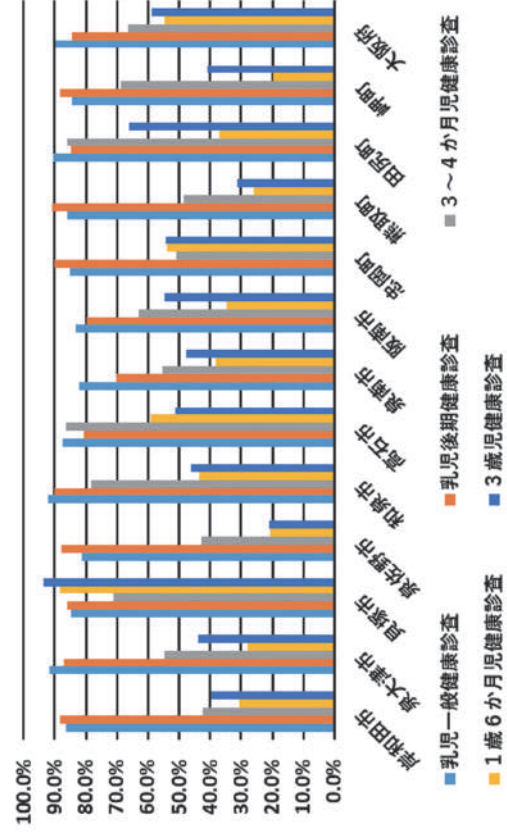
6) 泉州医療圏（和泉・岸和田・泉佐野保健所管轄）

令和3年度（2021年度）実施分

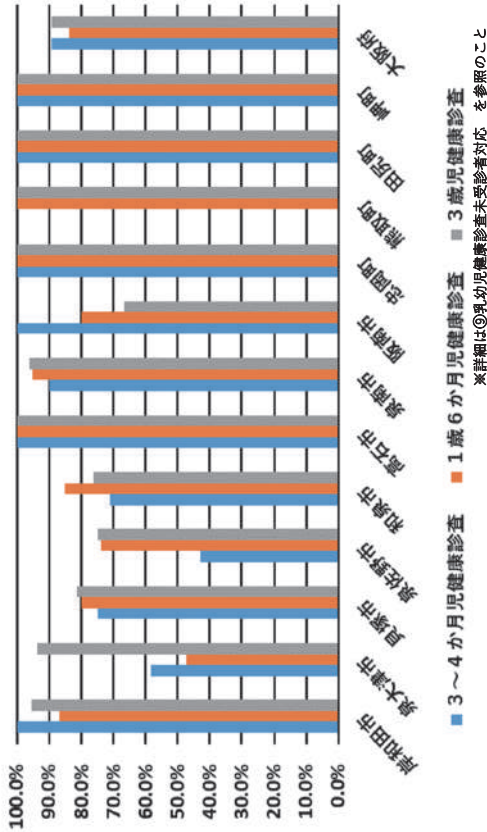
①妊娠届出数に対する妊娠11週以内の割合、乳幼児健康診査受診率



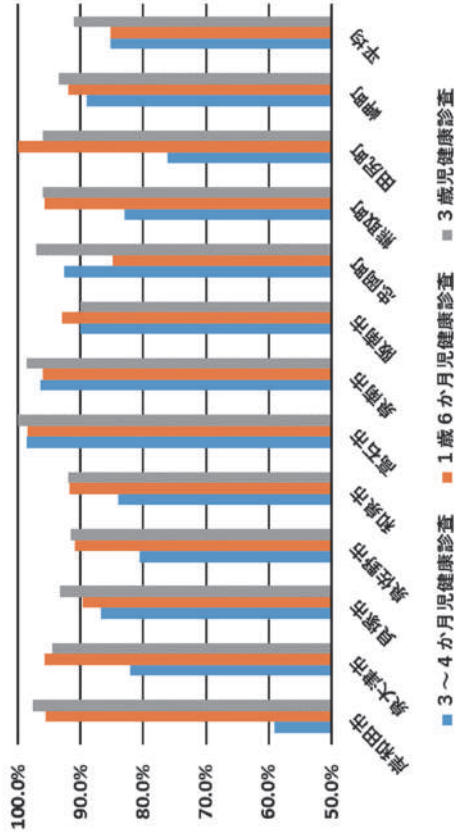
③乳幼児健康診査異常なし割合



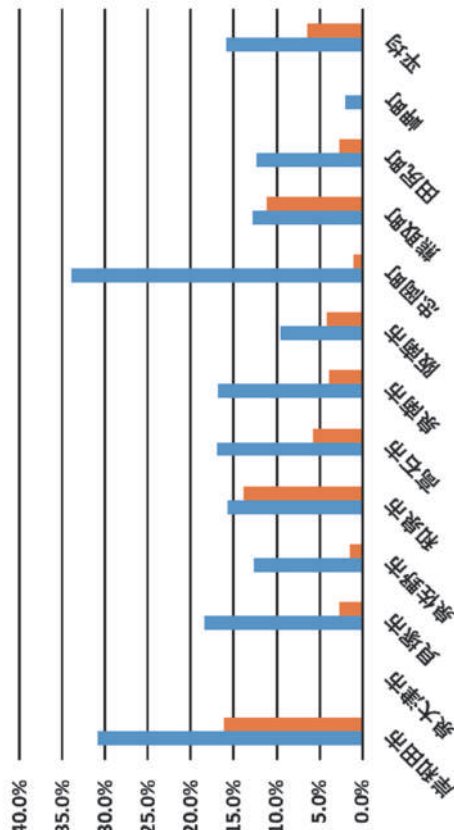
②乳幼児健康診査未受診者の現認できた割合



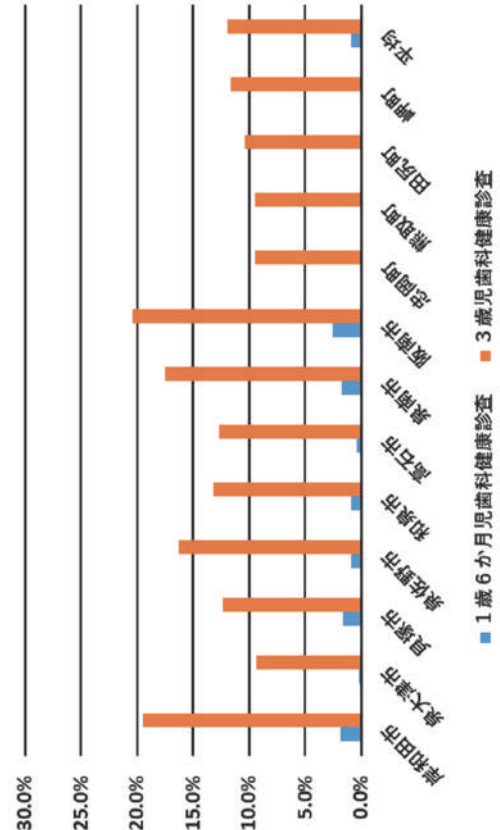
④乳幼児健康診査育児支援・養育問題等異常なし割合



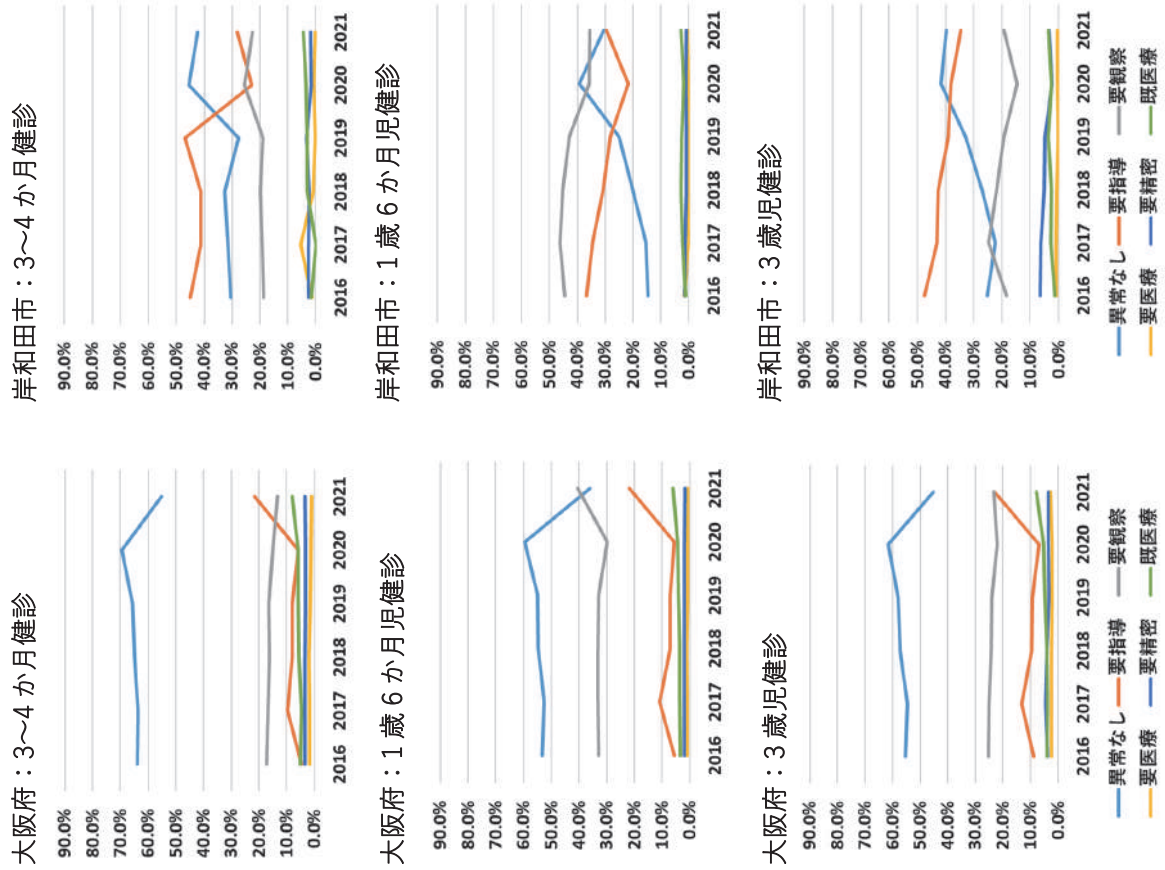
⑤乳幼児健康診査発達障がい（疑い）による要観察割合



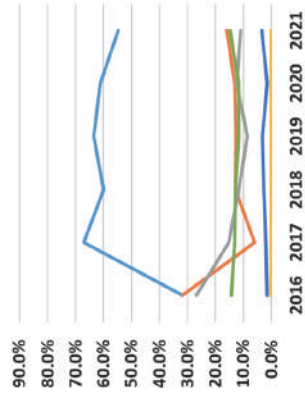
⑥歯科健康診査虫歯割合



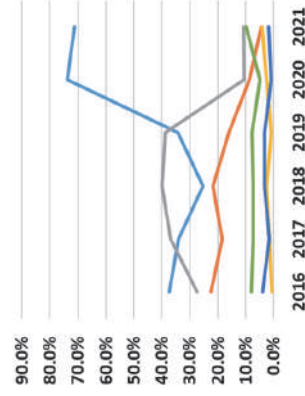
⑦異常なし・要指導・要観察・要医療・要精密・既医療の割合の推移
(平成28年度(2016年度)～令和3年度(2021年度))



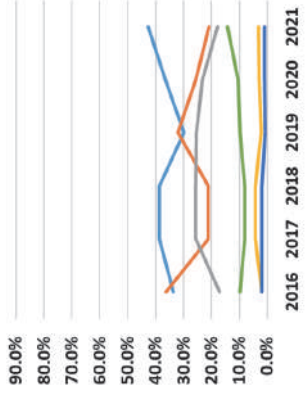
泉大津市：3～4 か月健診



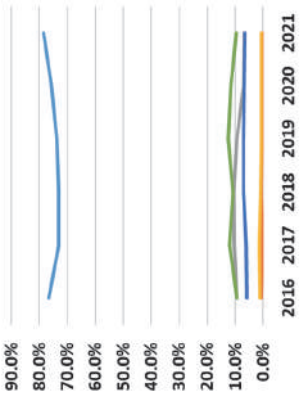
貝塚市：3～4 か月健診



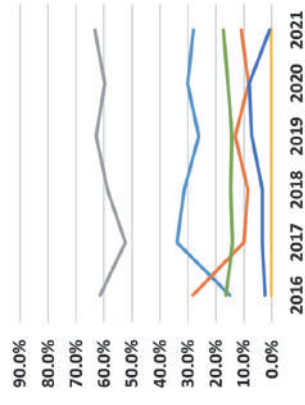
泉佐野市：3～4 か月健診



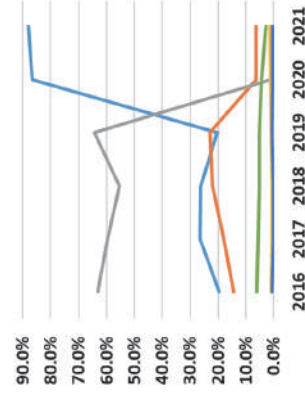
和泉市：3～4 か月健診



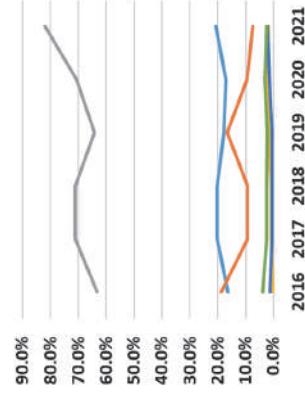
泉大津市：1 歳 6 か月児健診



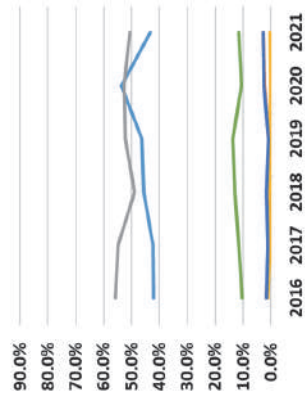
貝塚市：1 歳 6 か月児健診



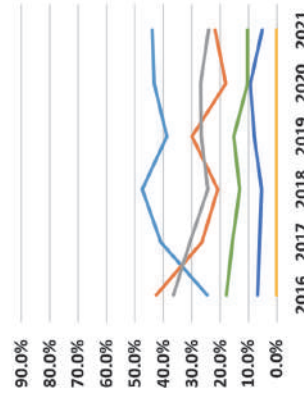
泉佐野市：1 歳 6 か月児健診



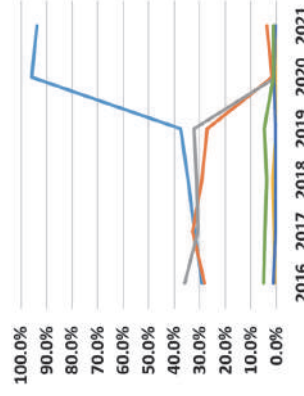
和泉市：1 歳 6 か月児健診



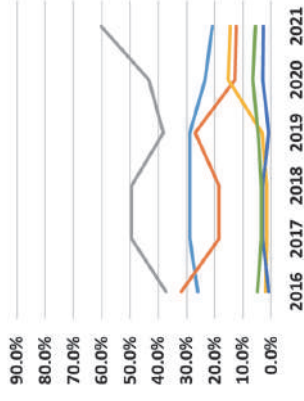
泉大津市：3 歳児健診



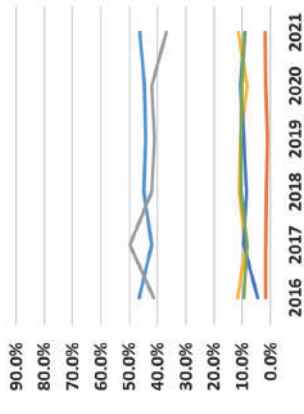
貝塚市：3 歳児健診

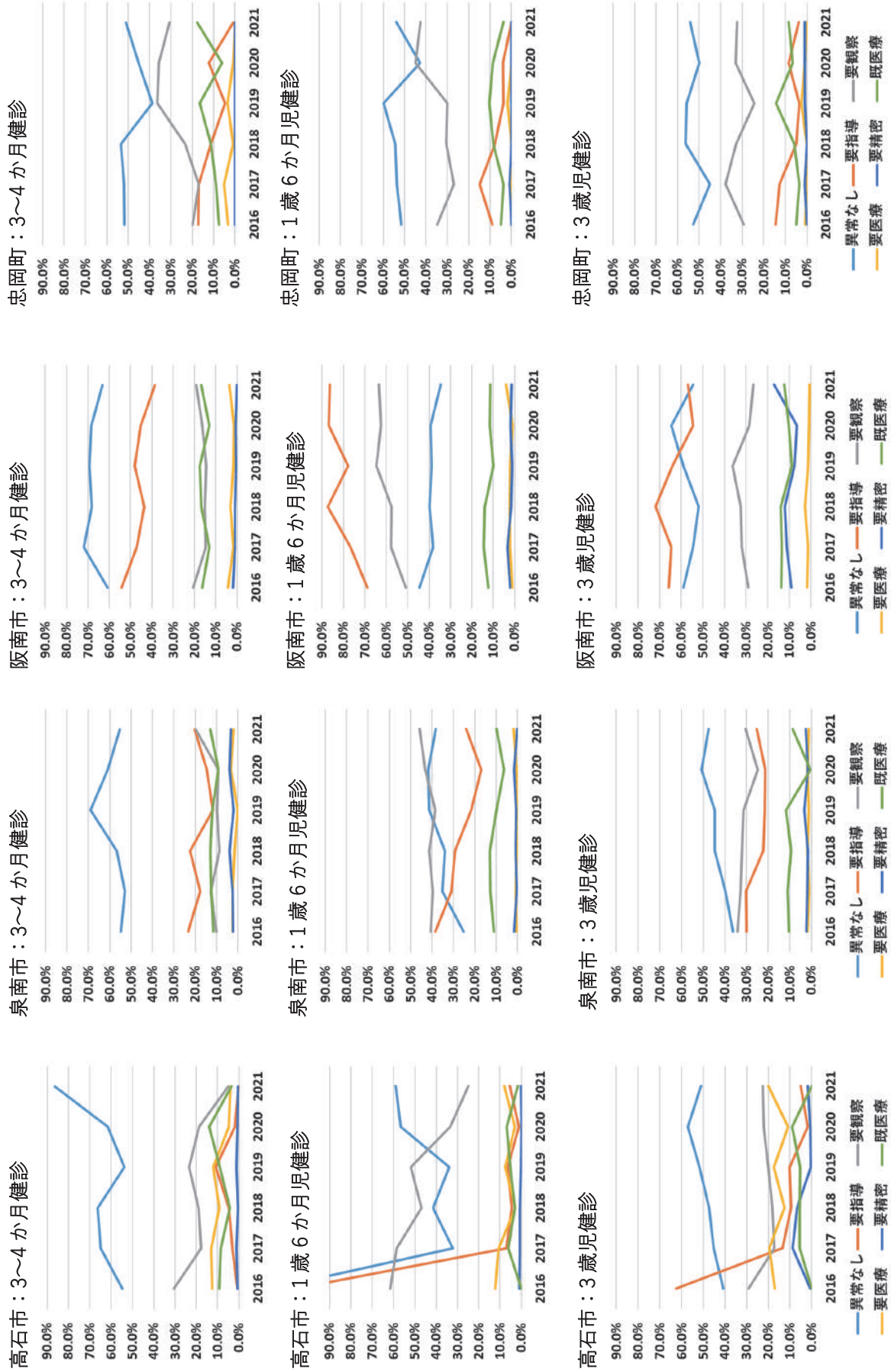


泉佐野市：3 歳児健診

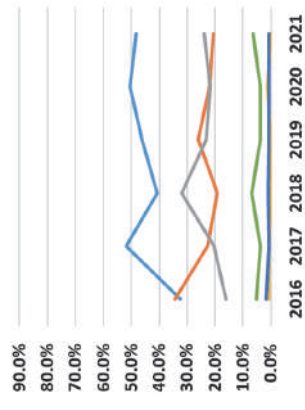


和泉市：3 歳児健診

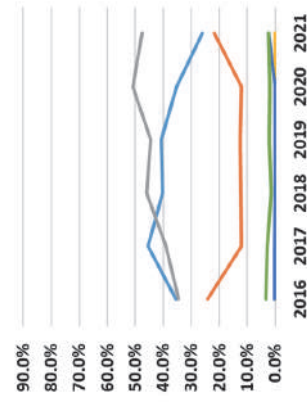




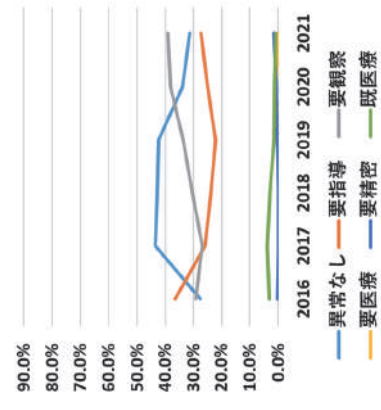
熊取町：3～4 か月健診



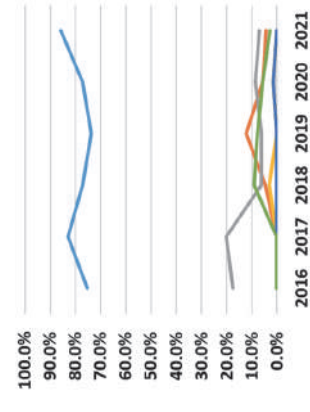
熊取町：1 歳 6 か月健診



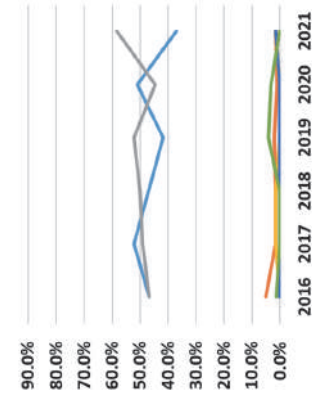
熊取町：3 歳児健診



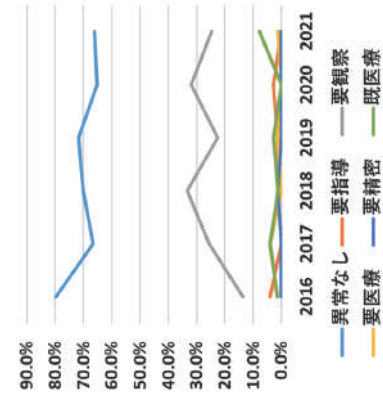
田尻町：3～4 か月健診



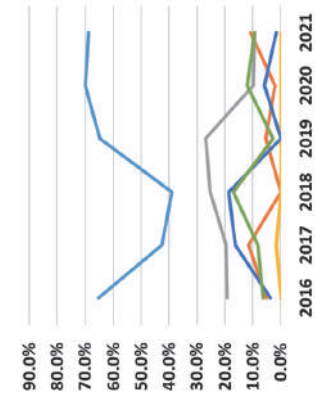
田尻町：1 歳 6 か月健診



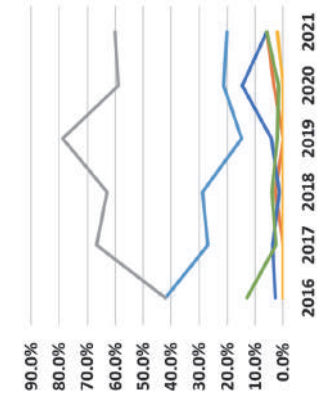
田尻町：3 歳児健診



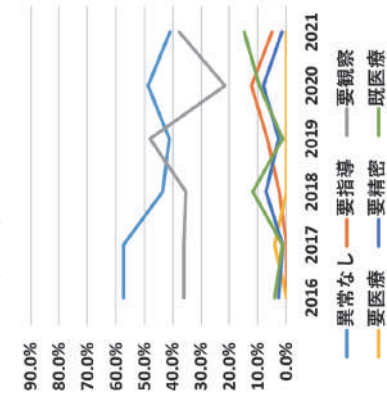
岬町：3～4 か月健診



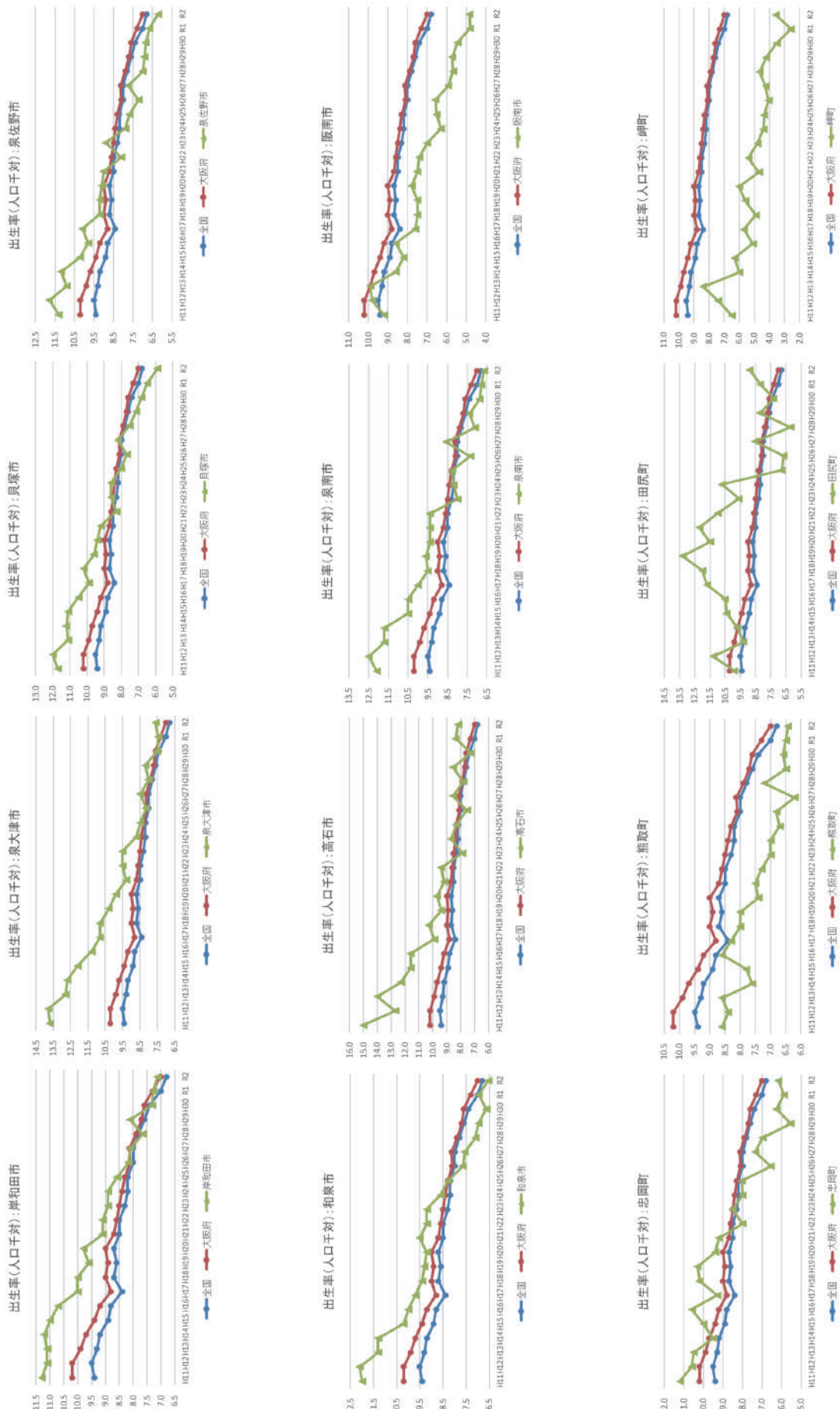
岬町：1 歳 6 か月健診



岬町：3 歳児健診



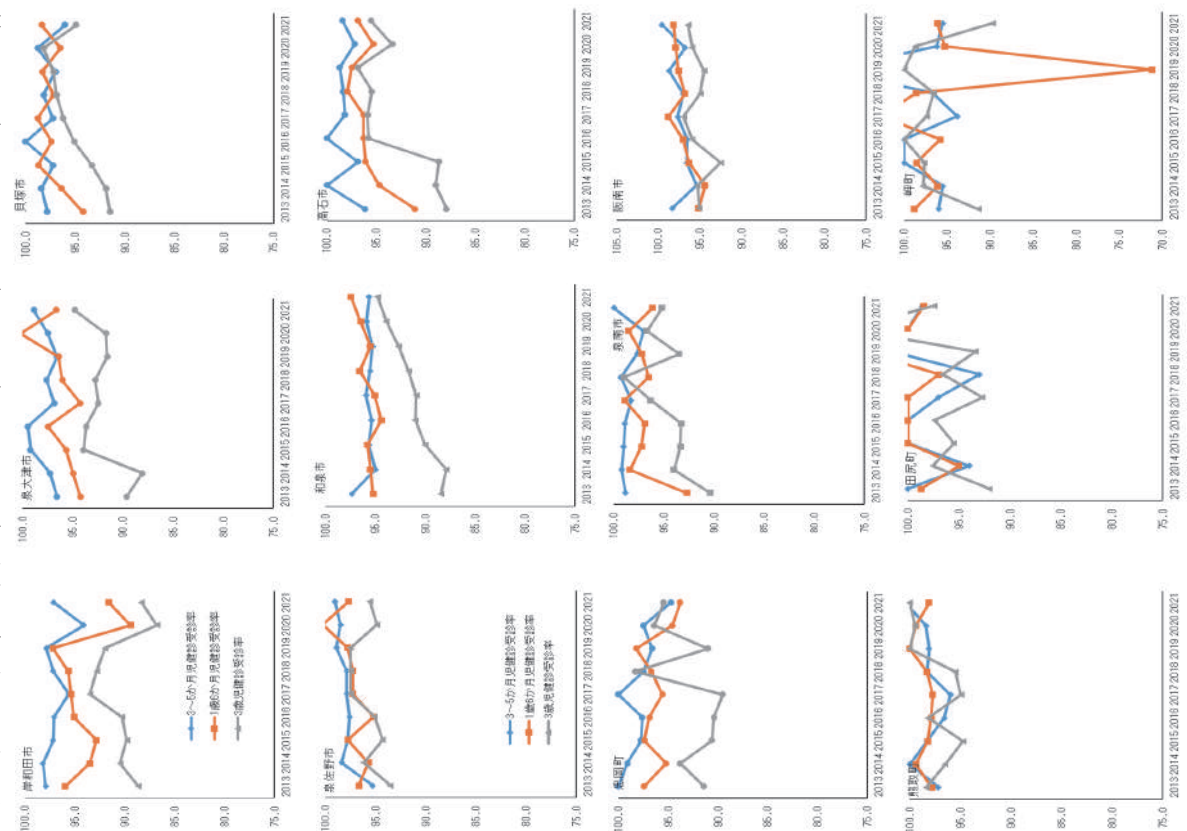
⑧出生率推移（平成11年（1999年）～令和2年（2020年））



⑨乳幼児健康診査未受診者対応

3-4か月児 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
岸和田市	147	147 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
泉大津市	12	7 (58.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (41.7%)
貝塚市	20	15 (75.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (25.0%)
泉佐野市	14	6 (42.9%)	2 (14.3%)	0 (0.0%)	6 (42.9%)
和泉市	55	39 (70.9%)	1 (1.8%)	0 (0.0%)	15 (27.3%)
高石市	4	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
泉南市	10	9 (90.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)
阪南市	1	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
忠岡町	3	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
熊取町	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
田尻町	1	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
岬町	1	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
大阪府	2,061	1,840 (89.3%)	28 (1.4%)	64 (3.1%)	129 (6.3%)
1歳6か月児 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
岸和田市	373	324 (86.9%)	31 (8.3%)	4 (1.1%)	14 (3.8%)
泉大津市	19	9 (47.4%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	9 (47.4%)
貝塚市	15	12 (80.0%)	1 (6.7%)	0 (0.0%)	2 (13.3%)
泉佐野市	19	14 (73.7%)	0 (0.0%)	3 (15.8%)	2 (10.5%)
和泉市	34	29 (85.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (14.7%)
高石市	14	14 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
泉南市	20	19 (95.0%)	0 (0.0%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)
阪南市	5	4 (80.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)
忠岡町	7	7 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
熊取町	3	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
田尻町	2	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
岬町	2	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
大阪府	3,039	2,548 (83.8%)	163 (5.4%)	181 (6.0%)	148 (4.9%)
3歳児健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
岸和田市	369	352 (95.4%)	13 (3.5%)	4 (1.1%)	0 (0.0%)
泉大津市	47	44 (93.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (6.4%)
貝塚市	43	35 (81.4%)	5 (11.6%)	0 (0.0%)	3 (7.0%)
泉佐野市	32	24 (75.0%)	1 (3.1%)	4 (12.5%)	3 (9.4%)
和泉市	71	54 (76.1%)	3 (4.2%)	5 (7.0%)	9 (12.7%)
高石市	20	20 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
泉南市	26	25 (96.2%)	0 (0.0%)	1 (3.8%)	0 (0.0%)
阪南市	6	4 (66.7%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)
忠岡町	5	5 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
熊取町	7	7 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
田尻町	2	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
岬町	3	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
大阪府	5,194	4,628 (89.1%)	189 (3.6%)	256 (4.9%)	120 (2.3%)

⑩乳幼児健康診査受診率の推移 (平成 25 年度 (2013 年度) ～令和 3 年度 (2021 年度))



貝塚市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	97.8	94.2	91.5
2014	98.4	96.4	91.9
2015	97.2	98.7	93.3
2016	100.0	97.4	95.1
2017	97.2	98.8	96.2
2018	98.2	97.2	96.9
2019	97.0	98.3	97.2
2020	98.8	96.5	98.2
2021	96.0	98.4	94.9

高石市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	96.2	91.1	87.9
2014	100.0	94.7	89.0
2015	96.9	96.1	88.7
2016	100.0	96.3	95.8
2017	98.2	96.3	95.9
2018	98.3	97.9	95.5
2019	98.7	97.5	96.9
2020	97.2	95.3	93.4
2021	98.4	96.9	95.5

忠岡町	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	100.0	97.4	91.4
2014	99.1	95.2	93.8
2015	97.7	97.4	90.6
2016	97.6	96.9	90.4
2017	100.0	95.6	89.5
2018	97.5	96.7	98.3
2019	96.6	98.2	91.0
2020	97.5	94.6	96.4
2021	94.7	93.8	95.5

岬町	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	96.0	98.8	91.4
2014	95.5	96.1	97.8
2015	100.0	98.6	97.7
2016	100.0	95.8	100.0
2017	93.8	102.6	97.4
2018	96.7	98.6	96.6
2019	108.8	71.2	100.0
2020	96.2	95.3	98.7
2021	95.5	96.2	89.7

泉大津市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	96.6	94.3	89.6
2014	97.3	95.0	88.1
2015	99.2	95.7	94.0
2016	99.5	97.5	93.7
2017	96.9	94.3	92.5
2018	97.6	96.1	92.8
2019	96.6	96.4	91.6
2020	97.5	100.2	91.7
2021	98.9	96.7	94.8

和泉市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	97.4	95.3	88.4
2014	95.0	95.5	87.9
2015	95.7	95.8	90.0
2016	95.4	94.4	91.0
2017	96.0	95.1	90.9
2018	95.5	96.6	91.7
2019	95.3	95.5	92.7
2020	95.9	96.5	93.9
2021	95.6	97.5	94.8

阪南市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	98.4	95.2	95.1
2014	95.4	94.4	95.3
2015	96.6	96.3	92.5
2016	96.5	97.0	95.9
2017	97.7	98.8	97.0
2018	97.0	96.8	95.0
2019	98.7	97.6	94.5
2020	96.8	97.9	95.9
2021	99.5	98.2	96.4

田尻町	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	100.0	98.7	92.0
2014	94.0	95.0	97.6
2015	100.0	100.0	95.5
2016	100.0	100.0	97.4
2017	97.0	100.0	92.7
2018	93.0	97.0	96.6
2019	101.6	104.3	93.4
2020	100.0	100.0	105.9
2021	98.6	98.5	97.5

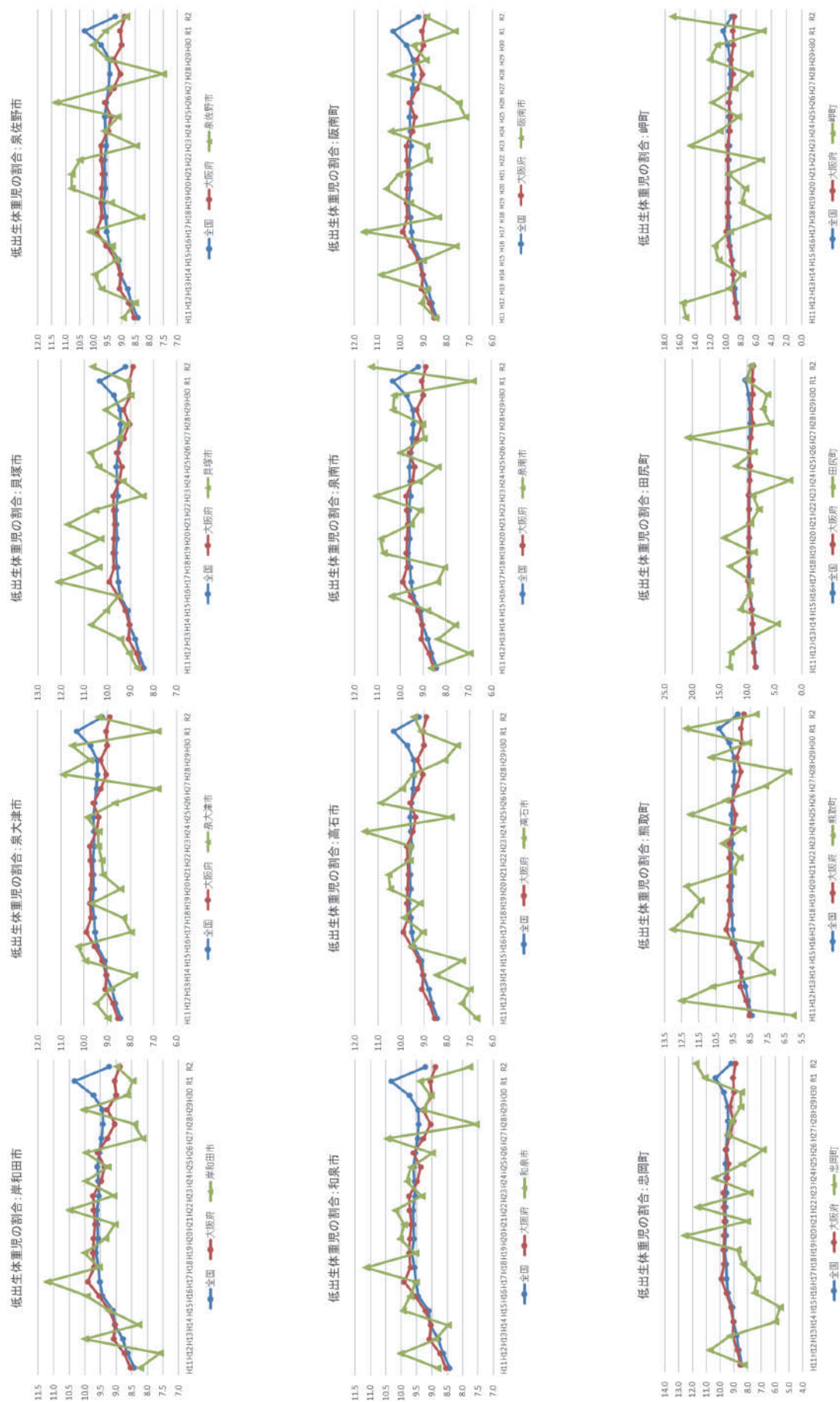
岸和田市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	97.9	96.0	88.7
2014	98.2	93.5	90.5
2015	97.2	92.8	89.8
2016	97.1	95.1	90.3
2017	95.6	95.4	93.5
2018	97.2	95.7	92.8
2019	97.9	97.2	92.0
2020	94.1	89.4	86.8
2021	97.1	91.6	88.3

泉佐野市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	95.3	96.7	93.5
2014	98.4	95.7	96.2
2015	97.8	97.8	94.3
2016	97.6	95.2	95.1
2017	97.9	97.3	97.5
2018	97.9	97.3	97.5
2019	98.9	97.8	97.5
2020	98.5	100.3	94.9
2021	99.0	97.7	95.6

泉南市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	98.8	92.7	90.4
2014	99.2	98.4	94.0
2015	99.0	97.2	93.4
2016	98.9	96.9	93.3
2017	98.3	98.9	96.3
2018	99.3	96.5	99.0
2019	97.7	97.2	93.5
2020	97.0	98.5	96.7
2021	100.0	96.1	95.2

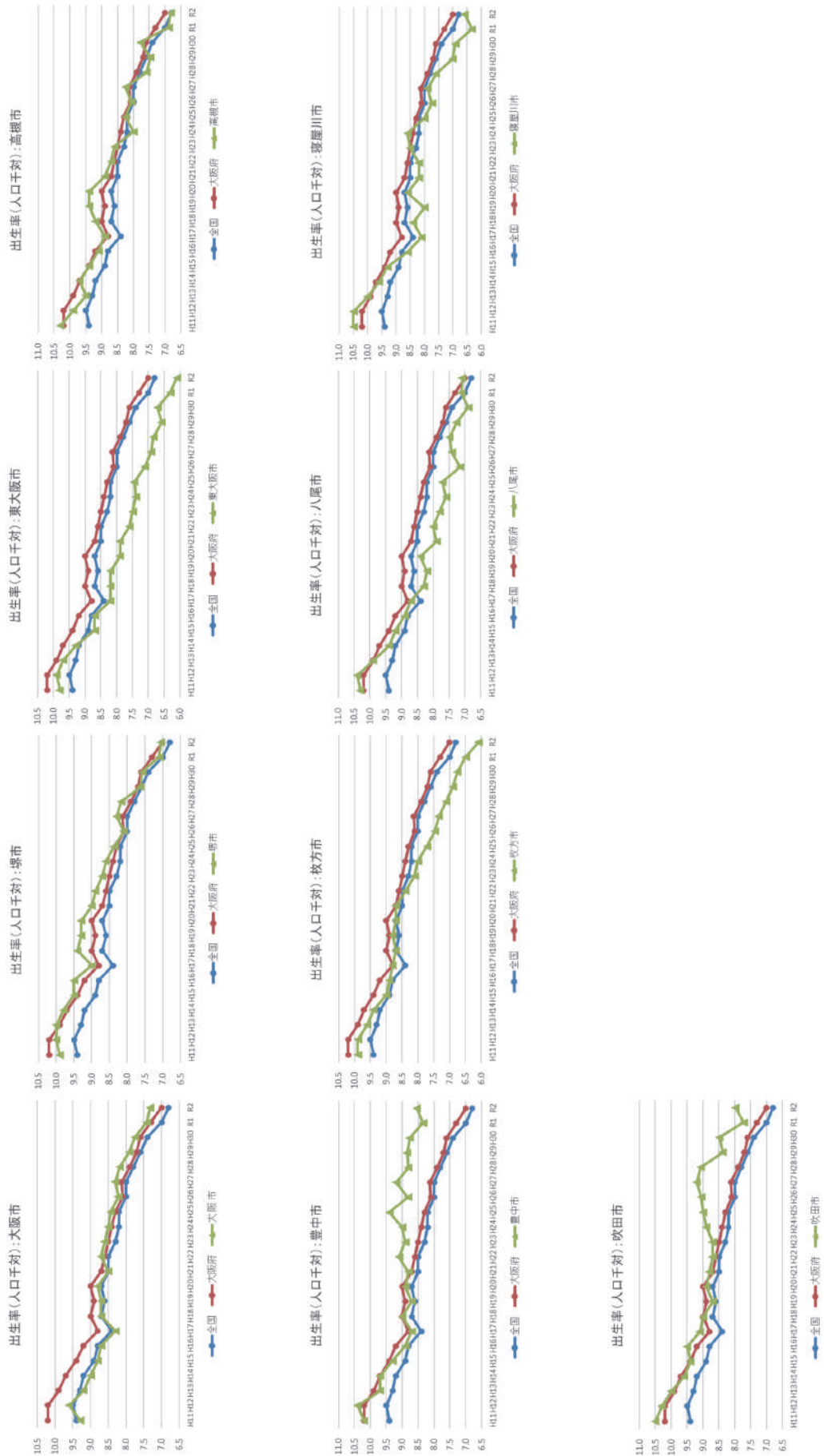
熊取町	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	97.2	97.8	98.4
2014	100.0	99.4	96.5
2015	98.3	98.2	94.8
2016	96.6	97.9	98.2
2017	96.0	97.7	95.0
2018	98.3	98.3	95.5
2019	98.1	100.0	100.0
2020	98.4	99.4	99.5
2021	100.4	98.1	100.0

⑪低出生体重児の推移（平成11年（1999年）～令和2年（2020年））



7) 政令市・中核政令市 令和3年度(2021年度)実施分

①出生率推移(平成11年(1999年)～令和2年(2020年))



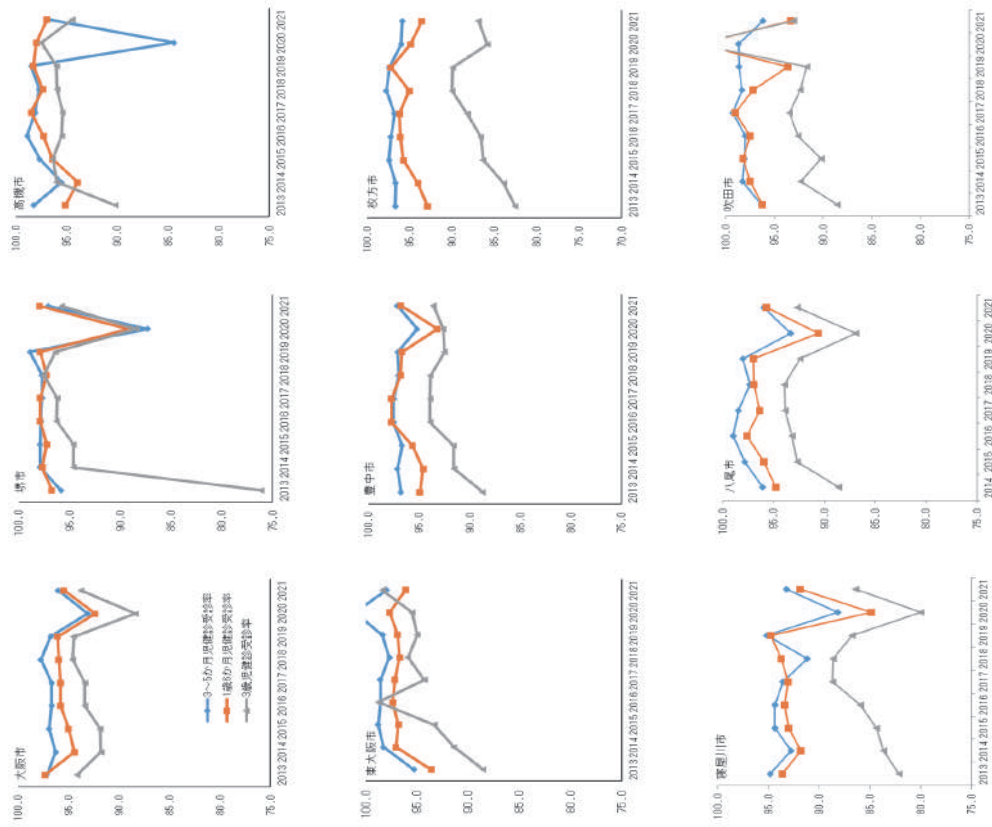
②乳幼児健康診査未受診者対応

3-4歳児 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
大阪市	575	487 (84.7%)	9 (1.6%)	39 (6.8%)	40 (7.0%)
堺市	132	132 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
東大阪市	24	11 (45.8%)	9 (37.5%)	4 (16.7%)	0 (0.0%)
高槻市	60	59 (98.3%)	0 (0.0%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)
豊中市	97	90 (92.8%)	1 (1.0%)	4 (4.1%)	2 (2.1%)
枚方市	134	129 (96.3%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	4 (3.0%)
八尾市	73	73 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
寝屋川市	121	102 (84.3%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	18 (14.9%)
吹田市	201	193 (96.0%)	0 (0.0%)	3 (1.5%)	5 (2.5%)
大阪府	2,061	1,840 (89.3%)	28 (1.4%)	64 (3.1%)	129 (6.3%)

1歳6か月児 健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
大阪市	716	536 (74.9%)	30 (4.2%)	110 (15.4%)	40 (5.6%)
堺市	162	162 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
東大阪市	79	50 (63.3%)	17 (21.5%)	12 (15.2%)	0 (0.0%)
高槻市	111	105 (94.6%)	0 (0.0%)	6 (5.4%)	0 (0.0%)
豊中市	199	188 (94.5%)	4 (2.0%)	4 (2.0%)	3 (1.5%)
枚方市	201	189 (94.0%)	12 (6.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
八尾市	87	81 (93.1%)	4 (4.6%)	1 (1.1%)	1 (1.1%)
寝屋川市	135	106 (78.5%)	12 (8.9%)	5 (3.7%)	12 (8.9%)
吹田市	188	154 (81.9%)	0 (0.0%)	14 (7.4%)	20 (10.6%)
大阪府	3,039	2,548 (83.8%)	163 (5.4%)	181 (6.0%)	148 (4.9%)

3歳児健診	未受診 人数	現認できた	現認調査中	児童虐待担当課に 調査依頼・通告	転出
大阪市	1,034	813 (78.6%)	33 (3.2%)	160 (15.5%)	28 (2.7%)
堺市	237	235 (99.2%)	2 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
東大阪市	140	109 (77.9%)	21 (15.0%)	10 (7.1%)	0 (0.0%)
高槻市	154	146 (94.8%)	0 (0.0%)	8 (5.2%)	0 (0.0%)
豊中市	387	350 (90.4%)	16 (4.1%)	18 (4.7%)	3 (0.8%)
枚方市	520	484 (93.1%)	23 (4.4%)	0 (0.0%)	13 (2.5%)
八尾市	154	145 (94.2%)	6 (3.9%)	0 (0.0%)	3 (1.9%)
寝屋川市	220	190 (86.4%)	18 (8.2%)	5 (2.3%)	7 (3.2%)
吹田市	635	611 (96.2%)	0 (0.0%)	10 (1.6%)	14 (2.2%)
大阪府	5,194	4,628 (89.1%)	189 (3.6%)	256 (4.9%)	120 (2.3%)

③乳幼児健康診査受診率の推移 (平成25年度 (2013年度) ~令和3年度 (2021年度))



大阪市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	97.2	97.4	94.2
2014	96.3	94.4	91.8
2015	97.0	95.0	91.9
2016	96.7	95.8	93.4
2017	96.7	95.8	93.4
2018	97.7	96.0	94.6
2019	96.8	96.1	94.5
2020	93.1	92.4	88.4
2021	96.0	95.5	93.8

東大阪市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	95.3	93.6	88.6
2014	98.3	97.1	91.4
2015	98.8	96.8	93.4
2016	98.6	97.4	98.8
2017	98.6	97.2	94.3
2018	97.7	96.7	95.9
2019	98.4	96.9	95.0
2020	101.1	97.7	95.5
2021	98.0	96.2	98.4

八尾市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	97.8	93.7	89.0
2014	96.1	94.8	88.6
2015	97.9	96.0	92.7
2016	99.0	97.6	93.2
2017	98.5	96.4	93.9
2018	97.3	97.0	93.9
2019	98.0	97.0	92.4
2020	93.3	90.6	86.9
2021	96.0	95.7	92.7

堺市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	95.9	96.8	76.2
2014	97.9	97.7	94.6
2015	97.9	97.2	94.6
2016	97.8	97.9	96.3
2017	97.7	97.9	96.2
2018	97.7	97.3	97.5
2019	98.9	97.9	96.4
2020	87.3	89.2	88.5
2021	97.1	98.0	95.8

豊中市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	96.8	94.9	88.7
2014	97.1	94.6	91.6
2015	96.7	95.7	91.6
2016	97.5	97.7	93.9
2017	97.5	97.7	93.9
2018	97.0	96.8	93.9
2019	97.1	96.7	92.5
2020	95.2	93.2	92.6
2021	97.1	96.8	93.6

寝屋川市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	94.8	93.6	82.2
2014	92.8	91.8	83.7
2015	94.4	93.0	84.4
2016	94.4	93.4	86.0
2017	93.6	93.1	88.7
2018	91.2	93.8	88.6
2019	95.2	94.8	86.8
2020	88.2	84.9	80.0
2021	93.2	91.9	86.4

高槻市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	98.2	95.1	90.2
2014	95.5	93.9	96.0
2015	97.7	96.4	96.4
2016	98.9	97.3	95.5
2017	98.1	98.5	95.4
2018	97.7	97.4	95.9
2019	98.5	98.3	96.0
2020	84.4	98.0	97.5
2021	96.8	96.9	94.4

枚方市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	96.7	92.9	82.6
2014	96.6	94.0	83.9
2015	97.4	95.7	86.3
2016	97.2	96.1	86.6
2017	96.8	96.2	88.2
2018	97.7	95.1	90.0
2019	97.4	97.2	89.9
2020	96.0	94.9	85.8
2021	95.9	93.6	86.9

吹田市	3～5か月児 健診受診率	1歳6か月児 健診受診率	3歳児健診 受診率
2013	96.4	96.3	88.6
2014	98.3	97.5	92.3
2015	98.1	98.2	90.2
2016	98.0	97.5	92.6
2017	99.2	99.0	93.5
2018	98.3	97.2	92.4
2019	98.6	93.6	91.7
2020	98.7	102.7	103.0
2021	96.2	93.3	93.0

6 2021年母子保健情報センター業務報告

<母子保健調査室>

2014年度の組織改正により、母子保健調査室は、企画調査部企画調査室の研修・広報・図書活動等と企画調査部地域保健室の業務を行う部署となった。常勤職員は医師1名、大阪府より派遣の保健師2名、兼務事務職員2名（総括マネージャー、再雇用職員）である。また、非常勤職員の保健師・事務職員、図書室には3名の非常勤司書が在籍する。さらに、後述する大阪府委託事業の思いがけない妊娠の相談窓口「にんしんSOS」に非常勤職員として保健師・助産師が、環境省委託事業の「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」（以下、「エコチル調査」とする）を行っているエコチル調査室に非常勤職員が勤務している。

調査室全体で、3つの委託事業：（1）2011年10月から大阪府委託事業として「にんしんSOS」、（2）2020年4月から大阪府委託事業「児童虐待防止医療ネットワーク事業」の後継事業として「医療機関における児童虐待防止体制整備フォローアップ事業」、（3）2011年1月から環境省委託事業の「エコチル調査」を実施している。

I. 母子保健活動とそれにかかわる情報発信・多機関連携

1. 保健師活動

1) センター利用者の保健相談と地域保健機関との連携支援

母子医療センター出生児及び新生児科入院児の保護者（新生児）、及び小児医療で高度医療を受けた児の保護者（小児医療）や社会的ハイリスク妊婦（母性）に対して、地域保健機関への連携と予防医学・公衆衛生看護の立場からの保健指導を行うため、保健師による面接・相談を実施した。2021年の面接による保健相談数は918件、うち初回保健相談は733件、継続保健相談は185件であった（表1）。入院中に実施する病棟面接で最も多いの

表1 面接による保健指導数（2021年）

相談方法	面接区分	初 回	継 続	合 計
病棟面接	新 生 児	191	17	208
	小児医療	152	28	180
	母 性	278	54	332
	そ の 他	2	6	8
外来面接	新 生 児	4	11	15
	小児医療	40	19	59
	母 性	61	45	106
	そ の 他	5	5	10
総 計		733	185	918

（保健師業務システム：面談日報データより作成）

表2 大阪府内保健所・市町村／都府県別家庭訪問依頼数
及び報告書受理数（2021年）

大阪府内保健所・市町村／都府県			家庭訪問依頼数		訪問報告書受理数※	
大阪府	府保健所	池田	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		茨木	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		守口	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		四條畷	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		藤井寺	1	(0.2%)	1	(0.2%)
		富田林	4	(0.7%)	4	(0.9%)
		和泉	6	(1.1%)	7	(1.5%)
		岸和田	4	(0.7%)	1	(0.2%)
		泉佐野	1	(0.2%)	0	(0.0%)
	市保健所	大阪市保健所	47	(8.3%)	44	(9.5%)
		堺市保健所	202	(35.6%)	171	(36.9%)
		高槻市保健所	2	(0.4%)	2	(0.4%)
		東大阪市保健所	8	(1.4%)	7	(1.5%)
		豊中市保健所	3	(0.5%)	3	(0.6%)
		枚方市保健所	4	(0.7%)	0	(0.0%)
		八尾市保健所	0	(0.0%)	3	(0.6%)
		寝屋川市保健所	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		吹田市保健所	0	(0.0%)	0	(0.0%)
	市保健センター	豊能町	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		箕面市	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		能勢町	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		吹田市	2	(0.4%)	1	(0.2%)
		摂津市	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		茨木市	1	(0.2%)	1	(0.2%)
		島本町	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		寝屋川市	1	(0.2%)	0	(0.0%)
		守口市	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		門真市	2	(0.4%)	1	(0.2%)
		四條畷市	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		交野市	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		大東市	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		八尾市	6	(1.1%)	2	(0.4%)
		柏原市	2	(0.4%)	2	(0.4%)
		松原市	12	(2.1%)	11	(2.4%)
		羽曳野市	9	(1.6%)	3	(0.6%)
		藤井寺市	7	(1.2%)	7	(1.5%)
		大阪狭山市	13	(2.3%)	11	(2.4%)
		富田林市	8	(1.4%)	7	(1.5%)
		河内長野市	9	(1.6%)	9	(1.9%)
		河南町	1	(0.2%)	1	(0.2%)
		太子町	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		千早赤阪村	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		和泉市	56	(9.9%)	44	(9.5%)
		泉大津市	8	(1.4%)	8	(1.7%)
		高石市	14	(2.5%)	10	(2.2%)
		忠岡町	1	(0.2%)	1	(0.2%)
		岸和田市	34	(6.0%)	28	(6.0%)
		貝塚市	10	(1.8%)	8	(1.7%)
		泉佐野市	12	(2.1%)	8	(1.7%)
		熊取町	5	(0.9%)	5	(1.1%)
		田尻町	0	(0.0%)	0	(0.0%)
		泉南市	2	(0.4%)	2	(0.4%)
		阪南市	1	(0.2%)	2	(0.4%)
		岬町	1	(0.2%)	1	(0.2%)
	大阪府合計		499	(88.0%)	416	(89.8%)
他府県	北海道	北	1	(0.2%)	1	(0.2%)
	宮城県	宮	1	(0.2%)	0	(0.0%)
	茨城県	茨	1	(0.2%)	1	(0.2%)
	東京都	東	6	(1.1%)	2	(0.4%)
	神奈川県	神	1	(0.2%)	0	(0.0%)
	岐阜県	岐	1	(0.2%)	1	(0.2%)
	福井県	福	1	(0.2%)	0	(0.0%)
	三重県	三	3	(0.5%)	3	(0.6%)
	滋賀県	滋	5	(0.9%)	3	(0.6%)
	京都府	京	1	(0.2%)	1	(0.2%)
	奈良県	奈	7	(1.2%)	7	(1.5%)
	和歌山県	和	12	(2.1%)	9	(1.9%)
	兵庫県	兵	17	(3.0%)	15	(3.2%)
	徳島県	徳	2	(0.4%)	1	(0.2%)
	愛媛県	愛	2	(0.4%)	2	(0.4%)
	福岡県	福	1	(0.2%)	0	(0.0%)
	佐賀県	佐	1	(0.2%)	0	(0.0%)
	鹿児島県	鹿	1	(0.2%)	0	(0.0%)
	沖縄県	沖	1	(0.2%)	1	(0.2%)
他府県合計			65	(11.5%)	47	(10.2%)
総計			564	(99.5%)	463	(100.0%)

※前年分の返却を含む（保健師業務システム：面談日報データより作成）

は母性の332件で、その次に多いのは新生児の208件であった。次に、外来面接で最も多いのは母性の106件で、次点は小児医療の59件であった。外来面接のうち半数以上が継続面接であった。

初回と継続及び病棟と外来を合計した母性の面接は438件で、面接総数（918件）に占める母性患者の割合が多い状況が継続していた。

退院後の支援が必要な事例については適切な支援が速やかに実施されるよう地域保健機関に家庭訪問依頼等の情報提供を行った（表2）。情報提供にあたっては、当初「家庭訪問依頼書/報告書」を使用していたが、2021年1月下旬からは「要養育支援情報提供書」を使用した。大阪府内市町村への訪問依頼件数は499件、府外は65件、合計564件であった。堺市、大阪市、和泉市への依頼が多かった。

2) 病院内外の連携業務及びカンファレンス

院内連携業務2,666件のうち、最も多い連携先は母性で、なかでも助産師・看護師が多かった。小児医療では、看護師だけでなく、患者支援センターMSWとの連携業務也多かった。（表3）。院外では、地域保健機関、地域児童福祉機関等と連携して支援を行っており、年間で2,334件の連携業務を実施した。最も多い連携先は市町村保健センター（2,104件）であるが、在宅高度医療児の支援の場合は保健所（186件）と連携を密にとった（表4）。また、カンファレンスでは、養育問題を抱えている事例に対して、情報の共有やアセスメント、援助方針の協議等を行っており、地域（院外）カンファレンス回数は52回、院内カンファレンス回数は56回の計108回であった（表5）。

表3 院内連携業務（2021年）

相談対象	医 師	看護師	MSW	心 理	P T	院内職員 その他	総 計
新 生 児	21	421	28	47	0	1	518
小 児 医 療	50	449	206	26	0	22	753
母 性	11	1,142	142	0	0	3	1,298
そ の 他	10	44	41	0	0	2	97
総 計	92	2,056	417	73	0	28	2,666

（保健師業務システム：面談日報データより作成）

表4 院外連携業務（2021年）

相談対象	保 健 所	市 保 健 センター 村 1	他 医 療 機 関	児 童 相 談 所	家 児 相	市 町 村 福 祉 課	通 園 施 設	保 育 所	幼 稚 園	小 学 校	中 学 校	そ 関 係 機 他 関	総 計
電 話 発 信	82	1,483	0	0	12	2	0	1	0	0	0	3	1,583
電 話 受 信	103	612	0	1	18	0	0	0	0	0	0	5	739
文 書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
面 談	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	12
総 計	186	2,104	0	1	30	2	0	1	0	0	1	9	2,334

（保健師業務システム：面談日報データより作成）

表5 カンファレンス（2021年）

カンファレンス対象区分			院 内											関 係 機 関														小 計	総 計
			産科医	母性内科医	新生児科医	小児医療部門医	看護	M S	心 理	P T	保健師	院内職員その他	小 計	保健所	市町村保健センター	他医療機関	児童相談所	家児相	市町村福祉課	通園施設	保育園	幼稚園	小学校	中学校	関係機関その他				
区分	カンファレンス内容	回数	師	師	師	師	W	理	T	師	他	計	所	1	関	所	相	課	設	所	園	校	校	他	計	計			
外 院	在宅看護への支援	18	0	0	4	21	41	19	11	0	18	2	116	10	10	26	2	2	3	1	0	0	2	1	39	96	212		
	障 害 受 容 困 難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	育児能力、体制の不備	27	3	2	7	8	82	30	0	0	28	0	160	0	34	0	41	47	3	0	0	0	0	7	132	292			
	多問題を抱える	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	被虐待児及び疑い	6	0	0	0	9	20	7	1	0	6	0	43	0	5	0	4	10	0	1	0	0	5	1	13	39	82		
	そ の 他	1	1	0	0	0	5	2	0	0	1	0	9	0	2	0	2	3	0	0	0	0	0	0	7	16			
	小 計	52	4	2	11	38	148	58	12	0	53	2	328	10	51	26	49	62	6	2	0	0	7	2	59	274	602		
内 院	在宅看護への支援	36	0	0	25	49	102	34	25	1	35	6	277													0	277		
	障 害 受 容 困 難	1	0	0	0	3	1	0	1	0	1	0	6													0	6		
	育児能力、体制の不備	4	0	0	2	2	10	4	0	0	4	0	22													0	22		
	多問題を抱える	2	0	0	0	4	10	2	0	0	2	0	18													0	18		
	被虐待児及び疑い	13	0	0	0	27	29	15	2	0	12	1	86													0	86		
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													0	0		
	小 計	56	0	0	27	85	152	55	28	1	54	7	409													0	409		
総 計			108	4	2	38	123	300	113	40	1	107	9	737	10	51	26	49	62	6	2	0	0	7	2	59	274	1011	

（保健師業務システム：面談日報データより作成）

3）発達外来での保健相談

発達外来に通院する児とその保護者に対して、公衆衛生看護の立場からの育児支援を目的とした保健師面接・相談を実施してきた。当初は新生児科入院歴のある低出生出生児及びハイリスク児とその保護者を対象としていたが、現在では小児循環器科や小児外科における手術を受けた児も対象としている。年報における実施件数報告が今回初めてであるため過去年の実施件数についても報告する（表6）。2021年は732件の面接を実施し、内訳は新生児科503件、循環器科132件、小児外科97件であった。

表6 発達外来通院児の保護者への面接による保健相談

	新生児科	循環器科	小児外科	合計
2016	536	—	44	580
2017	510	75	18	603
2018	507	105	72	684
2019	520	124	88	732
2020	470	148	80	698
2021	503	132	97	732

（保健師業務システム：面談日報データより作成）

2. 地域保健機関に対する支援及び情報発信

1) 地域保健機関における母子保健活動推進のための技術的支援

母子保健の水準向上に寄与すべく、地域保健機関に対し事例の相談対応や、事例検討会におけるスーパーバイズなど、技術向上への支援を行った。

2013年に母子保健法の改正により未熟児支援が都道府県（保健所）から市町村に移管され、移管前の2012年より継続して当センター多部署の協力を得て市町村保健師等に研修を行った（表7）。2019年からはこれまでの母子保健研修の内容に加え、新たに「健やか親子21（第2次）」研修を実施した。2021年は、県型保健所を対象に母子保健事業検討会ワーキング会議を実施し、その中で「健やか親子21（第2次）」についても取り扱った。

表7 母子保健関連実習・研修（2021年）

分別	依頼内容	機関 対象	人数	日時	対応
実習	発達外来保健師面談見学	初期研修医師	2	4月～11月	母子保健調査室（保健師）
実習	母性看護学分野講義（オンライン）	大阪府立大学看護学部学生	16	7月19日	母子保健調査室（保健師）
実習	助産学実習（対面）	甲南女子大学 助産師学生	4	8月4日	母子保健調査室（保健師）
研修	子ども虐待予防研修（オンライン）	母子センター看護師	16	9月13日	母子保健調査室（保健師）
研修	保健師母子研修（オンライン）	府保健所・市町村母子担当保健師等	113 114 53	11月11日 11月18日 2月3日	母子保健調査室（保健師）
研修	退院調整看護師会研修（オンライン）	母子センター看護師	50	4～6月	母子保健調査室（保健師）
研修	母子保健コーディネーター育成研修（オンライン）	府保健所・市町村母子保健に従事する保健師等	65	12月10日	母子保健調査室（保健師）

2) 母子保健情報センター報告書の発行

母子保健情報センターの前身である企画調査部は、病院開設当初の1981年に設置された。大阪府の母子保健推進のため、母子保健にかかる調査分析や保健医療従事者の研修や教育を実施するほか、地域の関連機関と連携し、院内の患者支援のみならず地域の母子保健の推進を行ってきた。開設当初からの経緯を含め、大阪母子医療センターで行われている母子保健活動を横断的に取りまとめ、発信することで、患者支援における保健機関との更なる連携強化、大阪府内市町村における母子保健活動の更なる充実に寄与することを目的として、2016年度からは母子保健情報センター報告書を作成した。2017年度報告書では「健やか親子21の推進」に向けたデータ整備、2018年度報告書では、母性部門を中心とした社会的ハイリスク妊婦支援のとりくみ及び大阪府委託事業である「にんしんSOS」、2019年度報告書では、地域診療情報連携システムである「南大阪MOCOネット」について特集した2020年度報告書は、2021年度分と合併号として院内における新型コロナウイルス感染症対応について特集した。

3. WHO協力センター活動及び情報発信

WHO協力センター（WHO Collaborating Centre for Maternal and Child Health）は、1991年7月11日に指定を受け、現在においてもわが国で唯一の母子保健分野における協力センターである。WHO西太平洋地域事務所と協力して4年に1度の更新手続きを進め、承認された。2021年2月－2025年2月の期間に実施すべきTerm of Reference（業務内容）（日本語仮訳）は、以下の通りである。

TOR 1 WHOの提唱する早期必須新生児ケア（EENC）の実施評価を支援すること

TOR 2 国際基準のカンガルー・マザー・ケア（KMC）を継続的に実施すること

TOR 3 施設内での出産に際する軽蔑や虐待を防止・排除に関するWHOの活動と研究を支援すること

4. 委託事業

1) 大阪府委託事業：「にんしんSOS」

大阪府からの委託を受け、2011年10月から電話及びメールによる思いがけない妊娠で悩む人の相談事業「にんしんSOS」を実施している。助産師や保健師から成る相談員10名のうち原則2名が従事し、週6日（平日5日＋日曜日）稼働した。相談対応以外に、相談員相互の情報交換やケース検討のため1か月に1回連絡会を行った。また、質の向上のため、自主研修や定期研修を行った。センター内の関係者からの意見をより委託事業に反映するため、2018年4月より委託事業運営委員会を設置し、年に1回委員会を開催した。また、産科医師、外来及び病棟看護部門、保健師、母子保健調査室医師等からなるワーキンググループを設置して、地域への紹介事例や母子医療センターへの紹介事例などの情報交換を隔月で行った。2021年度（速報値）の電話相談実件数は481件、メールは922件、電話相談延件数は559件、メール1721件、関係機関への連絡延件数は電話51件、メール87件であった。また、府内からの相談は48.8%、府外からの相談は51.2%であり、例年よりも府内の占める割合が大きかった。啓発活動として、12月に府立高校136校に、「にんしんSOS」ステッカー・チラシ（A4サイズ）を送付した。

2) 大阪府委託事業：「医療機関における児童虐待防止体制整備フォローアップ事業」

地域の医療機関等の児童虐待対応のネットワークづくり、医療保健関係者への研修、連絡会等を行い、医療機関における児童虐待対応、発生予防、早期発見の対応能力の強化を図ることを目的に2017年度より「児童虐待防止医療ネットワーク事業」を大阪府より受託し3年間実施した。その後継事業として、2020年度より「医療機関における児童虐待防止体制整備フォローアップ事業」を受託した。拠点病院は、大阪府北部を担当する愛仁会高槻病院と、南部を担当する当センターである。

医療機関は、児童虐待を発見しやすい立場にあり、児童虐待を疑わせる児童の受診も多いことから、2017年度より救急告示医療機関の認定条件に、「児童虐待に組織として対応

するための院内体制整備」が要件化され、2018年度より運用されている。本事業は、これにより整備できた院内体制を、各医療機関が点検・改善し、より実効性の高い児童虐待防止体制を地域医療全体で整備することを目的としている。2021年度は、救急告示医療機関等における児童虐待対応体制に関する調査・分析を行った。また、高槻病院と協同して研修会「虐待を鑑別に入れた小児頭部外傷について」（参加者：58名）「BEAMSプログラム stage1」（参加者：79名）を開催した。

3) 環境省委託事業：子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）

大阪大学とともに大阪ユニットセンターとして当室にエコチル調査室を設置し、実施している。調査予定期間は2011年から2026年で、妊娠期から子どもが13歳になるまで調査を実施するものである。大阪ユニットセンターでは和泉市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町を対象地域とし、ベースラインで8,043件（全国103,102件）、2021年3月29日時点で子ども7,629件、母親（延べ）7,520件の参加が得られた。

当センターでは、全数に行う調査に加え、約5%に行う詳細調査（環境測定等調査、児の医学的検査や精神発達検査）を2014年12月から実施している。2021年度は、373人を対象に8歳医学的検査を開始したが、新型コロナウイルス感染症拡大により調査を中止していた期間があったため、実施数は102件であった。なお、詳細調査を再開するにあたっては、地域運営協議会委員に意見照会し、それら意見を踏まえ、感染症対策を徹底した。

主に大阪大学が分担している学童期検査（小学2年生）では、エコチル調査に参加しているすべての子どもとその母親を対象としている。2019年度より実施しており、2021年度は3年目で7月3日から2022年1月9日に行った。対象となる子どもは2,245人で914人が参加し、参加率は40.7%であった。また、コアセンターが全体調査として実施している乳歯調査について、当センターでは、各種媒体を利用した調査協力の呼びかけ、協力可否についての登録作業、乳歯回収キットの発送を行った。2022年3月末時点までに4,378件の登録作業を行いそのうち3,050件を「協力する」に登録した。

その他の活動として、2021年9月30日及び2022年3月17日にエコチル調査地域運営協議会を開催し、エコチル調査の進捗状況、調査分析結果等を報告した。11月28日には10周年記念事業「たこチル感謝祭」を浪切ホールで開催し、応募者多数のため抽選の上95組309名人が参加した。

また、広報活動の一環として大阪ユニットセンターのホームページを担当し、2013年9月より継続している医師、研究者等による育児に役立つ情報コラム「子育て応援コラム」では、院内の医師から協力を得て「子どもの夏バテ」、「HPVワクチン再開！」記事を配信した。2020年10月からは、大阪ユニットセンターより発表された学術論文の紹介ページを新設し、2018年～2021年までに公表された19本の論文について、和文抄録を掲載した。参加者から送られてくる「ぬり絵」134枚（2022年2月末日）を掲載した。

Ⅱ. 研修・教育等

研修・実地修練受け入れ

国内外から母子医療従事者及び研修者の受け入れ事業を行った。今年は13人の初期研修医(大阪大学医学部附属病院・大手前病院)、12人の実地修練生、6人の研修研究員(研究所)、93人の臨床実習生(大阪大学医学部・近畿大学医学部)、1,122人の受託実習生、42人の見学者を受け入れた。このうち、海外からの受け入れ人数は6人であった。

- 業務受託による研修

JICA関西から2021年課題別研修「周産期・新生児保健医療」にかかる業務を受託した。1月21日から2月18日まで6カ国6名(ブルンジ1名、カンボジア1名、タジキスタン1名、グレナダ1名、モザンビーク1名、ナイジェリア1名)の研修員に対し、ウェブ会議・オンデマンド配信による課題・添削型研修を実施した(上述)。

- センター内職員向け研修の推進

各種院内職員を対象としたセミナーの事務を行っている。また、2021年度からはE-learningによる研修の運営管理を行った。

- 府民公開講座

第12回きつずセミナー「未来のきみへ ―病院のお仕事2021―」(8月の6日間)、第17回光明池セミナー「小児循環器疾患」(11月13日(土))を開催した。きつずセミナーは204名、光明池セミナーは74名の参加があった。一般向けのセミナーである室堂セミナー(3月)は新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。

- 創立記念事業として、大阪母子医療センター40周年記念誌を発行した(2021年10月24日)
- センターの活動をまとめたデータブックであるセンター年報(2020年第39号)を発行した。
- センターの研究成果などをまとめた医学雑誌第37巻第1・2号(2021年10月30日、2022年3月31日)を発行した。

6. 図書活動

① 医学図書室(24時間開館)

医師や看護師など医療従事者対象の医学研究用図書室で、ジャーナルや書籍の貸出、レファレンス、ILLの図書館サービスをおこなっている。

- 電子カルテの更新に伴い、図書システムが「iLisWingV4」にアップデートされた。
- 蔵書点検: 10月に2F和雑誌・洋雑誌の棚卸を実施し、不明資料の発見や所蔵データの修正を行い、より正確な実態把握ができた。

<蔵書数>

和書	5,450冊
洋書	1,721冊
和雑誌	19,259冊
洋雑誌	35,619冊

<貸出状況>

貸出冊数	369冊
貸出人数	202人

<文献複写>

センター職員から外部機関への文献依頼	368件
センター図書室への外部機関からの文献依頼	421件

(ナクシス/Coimo/FAX受付分含む)

<データベース等の利用件数>

医中誌 Web	9,199
メディカルオンライン	12,062
LWW 電子ジャーナル	2,499
Springer Link Hospital Edition	12,025
UpToDate	2,433
ClinicalKey	8,141
MEDLINE Complete	4,303
Full Text Finder (リンクリゾルバ)	3,645

② 親と子のとしょかん (稼働日：288日)

入院患者とその家族を対象とする図書館サービスで、児童書を中心に本の貸出・レファレンス・読書指導をおこなっている。毎週金曜日に病棟を巡回する移動図書館サービスについては、コロナ禍にあってボランティア活動の継続が困難となった為、昨年に引き続き本年も巡回は休止となった。

- 人気の「アンパンマン」シリーズの別置スペースとして、木製コーナーシェルフを導入し、より利用しやすくなった。
- 親と子のとしょかん便り「モコッと通信」を月1回刊行し、定期的に親と子のとしょかんの催しやテーマ展示の案内を行った。
- 蔵書点検：6月に児童書をはじめDVD資料の棚卸を実施し、不明資料の発見や所蔵データの修正を行い、書架の整理・点検を行った。

<蔵書数>

児童書	6,895冊
大人用図書	917冊
DVD	508本

<貸出状況>

貸出冊数	11,077冊
貸出人数	2,493人

<移動図書館>

巡回日数	0日
貸出冊数	0冊
貸出人数	0人

＜情報企画室＞

1. 2021年の業務概要

当センターでは、総合診療情報システム（電子カルテ）を導入しており、院内業務の円滑化、効率化に寄与している。情報企画室では、2021年5月にそのシステムの更新を行い、円滑に稼働を開始することが出来た。またその後も、安定的な運用ができています。

電子カルテシステムの運用では、24時間、365日の安定稼働が求められる。情報企画室は、現場職員やベンダー技術員と協力し、業務に支障の出るような大きな障害なく、システムの運用を行った。

表1の開発・再開発件数については、年間736件（前年660件）と、11.5%増加した。電子カルテシステムが更新されたことにより、依頼が増加したものと思われる。

一方、表2の問い合わせ対応件数については、年間9,993件（前年9,537件）と、4.8%増加した。これは、電子カルテシステム更新にともない操作方法などについての問い合わせが増加したことによるものと思われる。

また、表3のインターネットシステム関連業務対応件数は、2,015件（前年2,159件）と、6.7%減少した。これは、前年度から導入されたWeb会議について、その利用も慣れ、インターネットの利用が進んでいるためと思われる。インターネット環境については、無線アクセスポイントを充実させ、全館での無線LAN利用を進めたことにより、医局などを含め、ノートパソコンや、タブレット端末などで、インターネットを利用できる環境が整えられている。

従来のソフト保守作業等としては、主に以下を実施した。

【主なソフト保守等項目】

- ・血漿分画製剤の運用変更に伴い、アルブミン製剤オーダー発行時にメッセージを表示
- ・手術申込一覧の希望手術室（実施場所）の名称変更
- ・在宅支援病床終了時の評価テンプレートの作成
- ・輸血認証ツールでの患者確認方法順守の徹底（ネームバンドのバーコードを用いて確認）
- ・電子カルテ端末機の新規設置（レジデントルーム、5西カンファレンス室、医療安全管理室）

表1 開発・再開発件数（2021. 1～2021. 12）

所属科名	依頼件数	実施件数				
		件数	内訳（X：人日）			
			X < 2	2 ≤ X < 5	5 ≤ X < 10	10 ≤ X
【病院】						
産科	41	41	41	0	0	0
新生児科	32	32	32	0	0	0
母性内科	7	7	7	0	0	0
総合小児科	3	3	3	0	0	0
消化器・内分泌科	55	55	55	0	0	0
腎・代謝科	5	5	5	0	0	0
血液・腫瘍科	10	10	10	0	0	0
小児神経科	22	22	22	0	0	0
子どものこころの診療科	2	2	2	0	0	0
遺伝診療科	1	1	1	0	0	0
呼吸器・アレルギー科	12	12	12	0	0	0
小児循環器科	77	77	77	0	0	0
心臓血管外科	20	20	20	0	0	0
小児外科	58	58	58	0	0	0
脳神経外科	11	11	11	0	0	0
泌尿器科	11	11	11	0	0	0
整形外科	5	5	5	0	0	0
眼科	33	33	33	0	0	0
耳鼻咽喉科	7	7	7	0	0	0
形成外科	8	8	8	0	0	0
口腔外科	13	13	13	0	0	0
麻酔科	34	34	34	0	0	0
集中治療科	24	24	24	0	0	0
放射線科・放射線部門	23	23	23	0	0	0
看護部	40	40	40	0	0	0
病理診断科	7	7	7	0	0	0
薬局	17	17	17	0	0	0
患者支援センター	6	6	6	0	0	0
MEセンター	1	1	1	0	0	0
医療安全管理室	13	13	13	0	0	0
感染管理室	0	0	0	0	0	0
栄養管理室	12	12	12	0	0	0
診療情報管理室	28	28	28	0	0	0
臨床検査部門	11	11	11	0	0	0
リハ・育療支援部門	0	0	0	0	0	0
その他	5	5	5	0	0	0
（小計）	654	654	654	0	0	0
【事務局】						
総務・人事 G	5	5	5	0	0	0
経営企画 G	29	29	29	0	0	0
施設保全 G	0	0	0	0	0	0
医事 G	45	45	45	0	0	0
（小計）	79	79	79	0	0	0
【母子保健情報センター】						
母子保健調査室	0	0	0	0	0	0
図書室	0	0	0	0	0	0
情報企画室	1	1	1	0	0	0
エコチル調査室	0	0	0	0	0	0
（小計）	1	1	1	0	0	0
【研究所】						
病因病態部門	0	0	0	0	0	0
分子遺伝病研究部門	0	0	0	0	0	0
免疫部門	0	0	0	0	0	0
骨発育疾患研究部門	2	2	2	0	0	0
（小計）	2	2	2	0	0	0
合 計	736	736	736	0	0	0

表2 総合診療情報システム問い合わせ対応件数〔部署別〕（2021. 1～2021. 12）

所 属	2021年												年 計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
事 務 局	144	123	198	211	210	172	121	124	144	125	136	127	1,835
母 子 保 健 調 査 室	109	96	99	141	107	89	117	100	67	72	78	83	1,158
病院管理部門・医局	189	144	252	337	306	223	158	200	193	191	149	175	2,517
小 児 外 来	37	35	52	55	83	56	40	53	39	27	24	23	524
母 性 外 来	17	11	12	18	41	20	25	16	15	11	8	6	200
母 性 東 棟	19	30	29	23	28	44	46	8	14	20	16	27	304
母 性 西 棟	14	18	15	19	31	24	16	13	11	11	18	15	205
分 娩 部	7	11	15	25	23	26	17	19	12	26	22	21	224
I C U	20	36	21	38	50	33	21	12	15	7	14	12	279
手 術 室	16	20	15	25	36	34	14	16	20	16	18	14	244
新 生 児 棟	19	13	17	41	40	46	38	23	26	19	18	22	322
1 階 東 棟	2	1	4	12	8	7	2	4	3	1	3	6	53
2 階 東 棟	9	8	9	9	11	13	13	7	3	5	6	4	97
3 階 東 棟	15	12	6	12	18	9	10	13	2	3	5	5	110
3 階 西 棟	5	4	11	9	28	14	9	15	15	10	17	8	145
4 階 東 棟	13	6	17	22	13	12	7	11	11	9	5	5	131
4 階 西 棟	10	5	5	8	21	9	7	2	9	7	7	5	95
5 階 東 棟	14	11	12	13	28	7	11	9	6	15	8	9	143
5 階 西 棟	19	10	23	14	23	12	11	14	8	3	6	11	154
検 査 科	18	12	32	33	60	21	23	6	12	25	18	16	276
放 射 線 科	7	5	7	14	18	18	6	4	2	8	6	6	101
薬 局	48	39	73	56	58	57	34	45	47	35	49	55	596
中央滅菌材料室	2	6	3	4	8	1	2	1	5	1	3	1	37
研 究 所	4	14	5	7	4	7	9	7	10	4	8	7	86
そ の 他	29	15	21	21	21	6	6	5	12	8	5	8	157
合 計	786	685	953	1,167	1,274	960	763	727	701	659	647	671	9,993

表3 インターネットシステム関連業務対応件数（2021. 1～2021. 12）

対 応 内 容	2021年												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
ク ラ イ ア ン ト 対 応	77	76	59	73	61	51	51	46	36	33	31	29	623
ホ ー ム ペ ー ジ 更 新 対 応	67	25	69	86	16	32	40	20	30	28	30	24	467
通 信 環 境 設 定 対 応	0	3	0	0	0	3	2	2	0	0	0	0	10
ウ イ ル ス 対 応	5	2	2	1	2	3	2	0	0	0	4	5	26
ハ ー ド 対 応	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3
メ ー ル ア カ ウ ン ト 対 応	56	58	74	217	91	96	89	57	52	25	30	34	879
インターネットサーバ対応	0	0	0	1	2	0	0	0	3	0	1	0	7
合 計	206	164	204	379	172	185	184	125	122	86	96	92	2,015

2. 2021年の活動

【診療情報システム（電子カルテ）】

2021年5月に、第7期総合診療情報システムの稼働を開始させた。また、その後も安定稼働させている。

診療情報システムに関連する作業として、主に次のものを実施した。

- ・地域医療連携システム（南大阪MOCOネット）のシステム運用
- ・小児治験ネットワーク事業（継続）
- ・タブレット端末を活用した会議資料閲覧システムの運用
- ・アメーバ方式病院経営分析システムへの協力
- ・薬学生実習対応

【インターネット等】

インターネット機器については、2021年も、インターネット環境についての円滑な運用に努めた。

新型コロナウイルス感染予防対策の一環として、昨年新たに導入したWeb会議システムの運用支援も行った。

インターネット環境に関わる作業であるホームページの更新については、変更依頼に柔軟に対応した。

また、無線アクセスポイントを活用してのインターネット利用を進め、職員に広く利用していただくようにし、電子メールの利用登録依頼についても順次対応した。

さらに、近年多く発生している、電子メールに送られてくるコンピュータウイルスについて、対策と院内への注意喚起を行った。

編集後記

大阪母子医療センターは、総長のもとに、病院・母子保健情報センター・研究所・事務局の4つの部門があります。大阪母子医療センターは、1981年に周産期部門の診療を開始し、1991年には小児医療部門と研究所を開設しました。

母子保健情報センターの前進の企画調査部は、開設当初の1981年から、母子保健にかかる調査分析や保健医療従事者の研修や教育、地域の関連機関と連携した患者支援など、大阪府の母子保健の推進を多岐にわたって行ってきました。

母子保健情報センター各業務をより詳細に記録すること、特に母子保健関連業務の実績を公衆衛生学的観点で取りまとめて発信することで、患者支援における地域機関との更なる連携強化や大阪府内市町村における母子保健活動の更なる充実に寄与することを目的に、2017年12月に、2016年度母子保健情報センター報告書（初版）を発行しました。今回は2022年12月に、2020・2021年度報告書を発行する形とさせていただきました。

この報告書では、2020年1月から続いている新型コロナウイルス感染症対応について、2年半近くの状況を集めました。院内関係各所からの支援、特に、感染制御チーム（ICT）の野崎昌俊先生・竹内宗之先生・錦戸知喜先生・木下真柄看護師に資料提供やご助言をいただきながらなんとかまとめることができました。その他、例年どおり大阪府母子保健指標のまとめ（担当：母子保健調査室 谷川果菜美保健師）と母子保健情報センター業務報告を掲載しました。貴重な市町村データを活用させていただきましたこと、心より御礼申し上げます。

今後も、母子保健情報センター報告書を通じて、大阪母子医療センターにおける母子保健活動を発信していきたいと考えています。引き続き、皆様方のご指導、ご協力をどうぞよろしくお願いします。

（母子保健調査室 馬場 幸子）

<作成：母子保健推進委員会小委員会（50音順 2022年度メンバー）>

上田美香（患者支援センター）、江口奈美（看護部/患者支援センター）、川口めぐみ（患者支援センター）、佐々木歩（母子保健調査室）、清水仁美（母子保健調査室）、樽井富子（母子保健調査室）、西野淳子（看護部）、馬場幸子（母子保健調査室）、平野慎也（新生児科/発達外来推進室）、本城孝一郎（事務局/母子保健調査室）、松尾規佐（看護部）、山田俊哉（情報企画室）、山本悦代（育・療支援部門/発達外来推進室）、和田聡子（看護部）

母子保健推進委員会小委員会アドバイザー

上栴真由美（大阪府地域保健課課長補佐）、光田信明（病院長）、和田和子（統括診療局長／新生児科主任部長）

母子保健情報センター報告書

2022年12月 発行

発行元：地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター
〒594-1101 大阪府和泉市室堂町840
Tel 0725-56-1220 Fax 0725-56-5682

作成者 母子保健推進委員会小委員会

印刷所：和泉出版印刷株式会社
〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目5番4-201号
Tel 06-6946-1073 Fax 06-6946-7684

